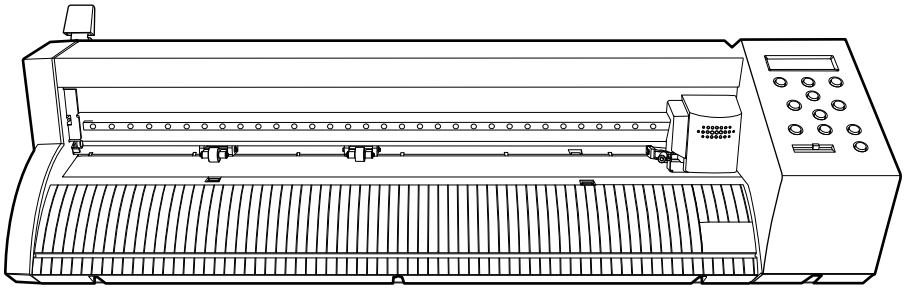
Roland

VersaSTUDIO GS2-24

ユーザーズマニュアル



このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、本書を必ずお読みください
- 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません
- 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります
- 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください
- 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません
- 本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません

FA04411
R3-250327

https://www.rolanddg.co.jp/

Copyright © 2022 - 2025 Roland DG Corporation

Roland DG Corporation

目次

基本的な扱い方 6

基本情報 7
はじめに 8
各部の名称と機能 9
カッティングマシン本体 9
操作パネル 11
キャリッジ LED ランプ 13
CutStudio の起動方法 14
Windows の〔スタートメニュー〕から起動する 14
Roland DG Connect Hub から起動する 14
使用するシートについて 15
シートの種類について 15
使用可能なシートの条件 15
クロップマーク/ツールマーク 17
クロップマーク 17
ツールマーク 18

基本操作 19
電源の操作 20
電源オン 20
電源オフ 20
ディスプレイメニューの確認 21
〔カットジョウケン〕 22
〔システムジョウホウ〕 24
〔ソノホカ ノ セッテイ〕 25
シートのセットアップ 27
シートのセット位置 27
平型シートのセットアップ 29
ロールシートのセットアップ 35
カット出力の準備 41
Step 1: カッターを準備する 41
Step 2: カッターホルダーを取り付ける 43
Step 3: テストカットする 45
Step 4: 出力開始位置を設定する 48

出力方法 49

CutStudio でカットデータを作成するとき 50
カットの方法 51
Step 1: カットデータを作成する 51
Step 2: カット条件を設定する 55
Step 3: カットする 58
プリント&カットの方法 59
Step 1: プリント&カットデータを作成する 59
Step 2: プリント条件を設定する 62
Step 3: プリント&カットデータを出力する 66
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 71
Step 5: カット条件を設定する 72
Step 6: カットする 75
応用的なデータ作成の方法 77
配置した画像の濃さを変える 77
フォントを縦書きにする 79
保存したシンボルを新しいコンピューターに移行する 81

Adobe Illustrator でカットデータを作成するとき（Windows をお使いの場合） 82

カットの方法 83
Step 1: カットデータを作成する 83
Step 2: CutStudio にカットデータを出力する 85
Step 3: カット条件を設定する 87
Step 4: カットする 90
Adobe Illustrator のヘルプを確認する 91
プリント&カットの方法 92
Step 1: プリント条件を設定する 92
Step 2: プリント&カットデータを作成する 95
Step 3: プリント&カットデータを出力する 98
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 103
Step 5: CutStudio にプリント&カットデータを送信する 104
Step 6: カット条件を設定する 105
Step 7: カットする 108

Adobe Illustrator でカットデータを作成するとき（Mac をお使いの場合） 110
カットの方法 111
Step 1: カットデータを作成する 111
Step 2: カット条件を設定する 113
Step 3: カットする 115
プリント&カットの方法 116
Step 1: プリント条件を設定する 116
Step 2: プリント&カットデータを作成する 119
Step 3: プリント&カットデータを出力する 121
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 126
Step 5: カット条件を設定する 127
Step 6: カットする 129

CorelDRAW でカットデータを作成するとき 131
カットの方法 132
Step 1: カットデータを作成する 132
Step 2: CutStudio にカットデータを出力する 134
Step 3: カット条件を設定する 136
Step 4: カットする 139
CorelDRAW のヘルプを確認する 140
プリント&カットの方法 141
Step 1: プリント条件を設定する 141
Step 2: プリント&カットデータを作成する 144
Step 3: プリント&カットデータを出力する 147
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 152
Step 5: CutStudio にプリント&カットデータを送信する 153
Step 6: カット条件を設定する 154
Step 7: カットする 157

出力後の作業 159
シートの取り外し／切り離し 160
シートを取り外す 160
シートを切り離す 162
出力の一時停止と中止 163
出力の一時停止 163
出力の中止 163

その他のカット 164
ツールモードでプリント＆カットする 165
Step 1: 位置合わせ方法を設定する（ツールモード） 165
Step 2: 位置合わせをしてカットする 166
マニュアルモードでプリント&カットする 170
Step 1: 手動でツールマークデータを作成する 170
Step 2: プリント&カットデータを出力する 173

Step 3: 位置合わせ方法を設定する（マニュアルモード）.....178
Step 4: カットする（マニュアルモード）.....183

品質と効率を最適化する.....186

カット品質を最適化する.....187
カット条件について.....188
カット条件の目安.....188
カットの設定を調整する.....189
切り込み量を調整する.....189
カット圧を設定する.....190
カット速度を設定する.....192
カッター刃先のオフセットを設定する.....193
カット座標の向きを設定する.....194
カット領域を広げる.....196
カット中の速度を設定する.....198
円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）.....199
同じ位置でくり返しカットする（重ね切り）.....200
角をきれいにカットする（オーバーカット）.....202
カットのずれを防ぐ/直す.....204
通常より薄い/硬いシートを使う.....204
カットの位置ずれを防ぐ.....205
カット位置を調整する.....207
印刷位置を調整する.....209

作業効率を最適化する.....212
同じデータをくり返しカットする.....213
Step 1: 再カットするデータを準備する.....213
Step 2: 再カットする.....214
よく使うカット条件を保存する.....215
カット条件を保存する.....215
カット条件を呼び出す.....216
カットした部分をあとで切り離す.....217
CutStudio でミシン目カットデータを作成するとき.....217
Adobe Illustrator でミシン目カットデータを作成するとき.....224
CorelDRAW でミシン目カットデータを作成するとき.....232
機体でミシン目カット条件を設定する.....239
カットデータを複数のシートに分割して出力する.....241
分割出力とは.....241
Step 1: データを何枚のシートに分割するか決める.....242
Step 2: 分割出力の条件を設定する.....243
Step 3: カットデータを作成する.....246
Step 4: カットする.....248

業務管理を最適化する.....251
機体の基本設定を管理する.....252
表示言語を変更する.....252
表示する長さの単位を変更する.....252
ディスプレイの明るさを調整する.....254
すべての設定を初期設定に戻す.....255

メンテナンス.....256

清掃と消耗部品.....257
清掃.....258
機体の清掃.....258
カッターホルダーキャップの清掃.....260
消耗部品.....261

カッター....261
カッターホルダー....263
カッタープロテクション....263

トラブルへの対応方法....264

カットのトラブル....265
プリントとカットがずれる....266
厚手のシートを使用していませんか？....266
カット前にシートが引き出されるように設定していますか？....266
切り残しがある/カットした線がきれいでない....267
カッター、カッターホルダーはしっかりと取り付けられていますか？....267
カッターの刃先が欠けていませんか？....267
刃先にほこりやシートの糊がついていませんか？....267
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？....267
厚手のシートを使用していませんか？....267
カット圧、カット速度は適切ですか？....267
カッター刃先のオフセットは適切ですか？....268
カット前にシートが引き出されるように設定していますか？....268
〔スムージング〕が〔オフ〕になっていませんか？....268
カッタープロテクションが傷ついたり、変形したりしていませんか？....268
台紙をカットしてしまう....269
カットするシートに対して、カッターの刃先調整、カッター圧は適切ですか？....269
二度切りされてしまう....270
CutSutudio の[**重ね切り回数**]は[**0**]になっていますか？....270
機体の重ね切り設定が「1~10」になっていませんか？....270
線が重なっていませんか？....270
クロップマークを検出できない....271
シートを正しく取り付けましたか？....271
白色以外、または光沢の強いシートを使っていませんか？....271
透明なシートを使っていませんか？....271
シートに折り目やしわがついていませんか？....271
クロップマークがかすれているか、黒以外の色ではありませんか？....271
クロップマークの大きさや形は正しいですか?....272
クロップマークは正しい位置に配置されていますか？....272
〔カイテン〕メニューを〔90 ド〕に設定していませんか？....272
直射日光や室内照明の強い光が当たっていませんか？....272
シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？印刷結果が斜めになっていませんか？....272
ソフトウェアで指定したクロップマーク間の距離は本機に入力した距離と同じですか?（マニュアルモード）....273
拡大／縮小印刷をしていませんか?....273
カッティング中、ピンチローラーからシートが外れる....274
ローディングレバーが下がっていませんか？....274
シートがガイドラインと平行に取り付けられていますか？....274
カット中にシートが障害物に当たっていませんか？....274
シート送りを確認せずにカットを実行しませんでしたか？（ロールシートの場合）....274
ピンチローラーでシートの両端を固定していますか？....274

機体のトラブル....275
機体が動作しない....276
ケーブルは正しく接続されていますか？....276
電源がオフになっていませんか？....276
シートのセットアップは完了していますか？....276
アプリケーションソフトウェアの設定が間違っていませんか？....276
電源をオフにできない....277
電源ボタンを 1 秒以上押し続けましたか？....277
カットシートを〔ハザイ〕でセットアップできない....278
1.6 m 以上の長さのシートを取り付けていませんか？....278

1 台のコンピューターに 2 台以上の機体を接続したい（Windows をお使いの場合） 279
USB ケーブルで接続する 279
イーサネットで接続する 282
1 台のコンピューターに 2 台以上の機体を接続したい（Mac をお使いの場合） 285
イーサネットで接続する (IP アドレスを手動で設定) 285
イーサネットで接続する (IP アドレスを自動で設定) 290

ソフトウェアのトラブル 295
ドライバーをインストールできない 296
ドライバーを再インストールする（Windows 10） 296
ドライバーを再インストールする（Windows 11） 297
ドライバーを再インストールする（Mac） 298
ドライバーをアンインストールしたい 299
ドライバーをアンインストールする（Windows 10） 299
ドライバーをアンインストールする（Windows 11） 300
ドライバーをアンインストールする（Mac） 301
インストール時にドライバーが[**未指定**]になる 302
ドライバーを正しくインストールできない（Windows 10） 302
ドライバーを正しくインストールできない（Windows 11） 303

データのトラブル 304
Illustrator データを読み込み（インポート）できない 305
データは AI8.0 / EPS8.0 で保存されていますか？ 305
サンプルデータが見つからない 306
隠しフォルダーが表示されない設定になっていませんか？ 306

操作パネルのメッセージ 307
エラーメッセージ 308
〔エラー 1：コマンド エラー〕 308
〔エラー 2：パラメータ カズ〕 308
〔エラー 3：ハンイガイ〕 308
〔オリジン エラー〕 308
〔クロップマーク エラー〕 308
〔クロップマーク エラー〕〔カタムキガオオスギマス〕 308
〔クロップマーク エラー〕〔ナガサガアイマセン〕 310
〔クロップマーク エラー〕〔ハバガアイマセン〕 310
〔カッティングハンイガイデス〕 310
〔シートガ ハズレテイマス〕 310
〔<センサーモード>ニ キリカエテクダサイ〕 311
〔<ツールモード>ニ キリカエテクダサイ〕 311
〔データガ オオキスギマス〕 311
〔ピンチイチ エラー〕 311
〔モーターエラー〕 312
〔EEPROM エラー〕/〔SOLENOID エラー〕 312

付録 313

主な仕様 314
カット領域 315
余白 / クロップマーク間の距離 316
クロップマークつきの印刷領域（CutStudio でカットデータを作成しているとき） 316
クロップマークつきの印刷領域 (Adobe Illustrator/CorelDRAW でカットデータを作成しているとき） 318
仕様一覧表 320
Memo 322

基本的な扱い方

基本情報

はじめに 8
各部の名称と機能 9
カッティングマシン本体 9
操作パネル 11
キャリッジ LED ランプ 13
CutStudio の起動方法 14
Windows の〔スタートメニュー〕から起動する 14
Roland DG Connect Hub から起動する 14
使用するシートについて 15
シートの種類について 15
使用可能なシートの条件 15
クロップマーク/ツールマーク 17
クロップマーク 17
ツールマーク 18

はじめに

取り扱い上のお願い

- 本機は精密機器ですので、衝撃や無理な力を加えないよう丁寧に取り扱ってください。
- 決まった温度と湿度の場所に設置してください。詳しくは「仕様一覧表（P. 320）」をご覧ください。
- AC アダプターや USB ケーブル、イーサネットケーブルは確実に接続してください。
- 本機を持ち運ぶときは、必ず底を手で支えてください。それ以外の場所を持って持ち運ぶと破損することがあります。

使用場所／使用スペースについて

水平で安定した場所に設置してください。

次の場所には本機を設置しないでください。品質低下や機体故障の原因になります。

- 温度・湿度の変化が大きい場所
- 揺れや振動のある場所
- 床が傾いていたり平らでなかったり不安定だったりする場所
- ほこりや塵の多い場所
- 直射日光のあたる場所
- 室内照明の強い光から 1m 以内の場所
- 冷暖房器具が近くにある場所
- 水などがかかったり、風が当たったりする場所
- 電磁波など電気的・磁気的なノイズが多い場所

ご注意

コンピューターの故障や破損による、データの消失、破損が生じた場合の補償はご容赦ください。（大切なデータは必ずバックアップをおとりください。）

サポートについて

当社ホームページのサポート情報では、困ったときに役立つ情報を随時更新しています。お問い合わせいただく前に、「トラブルへの対応方法」とあわせてご参照ください。

重要

本マニュアルに記載されている URL は、予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

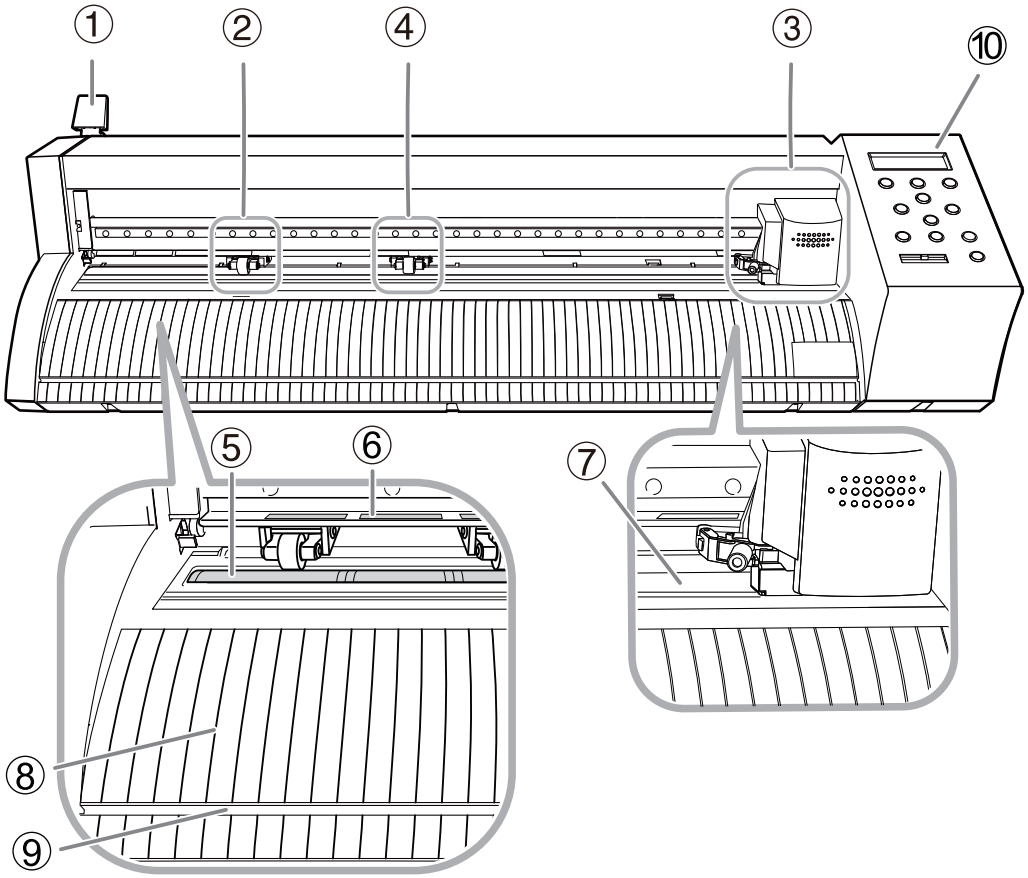
関連情報

- https://www.rolanddg.co.jp/

各部の名称と機能

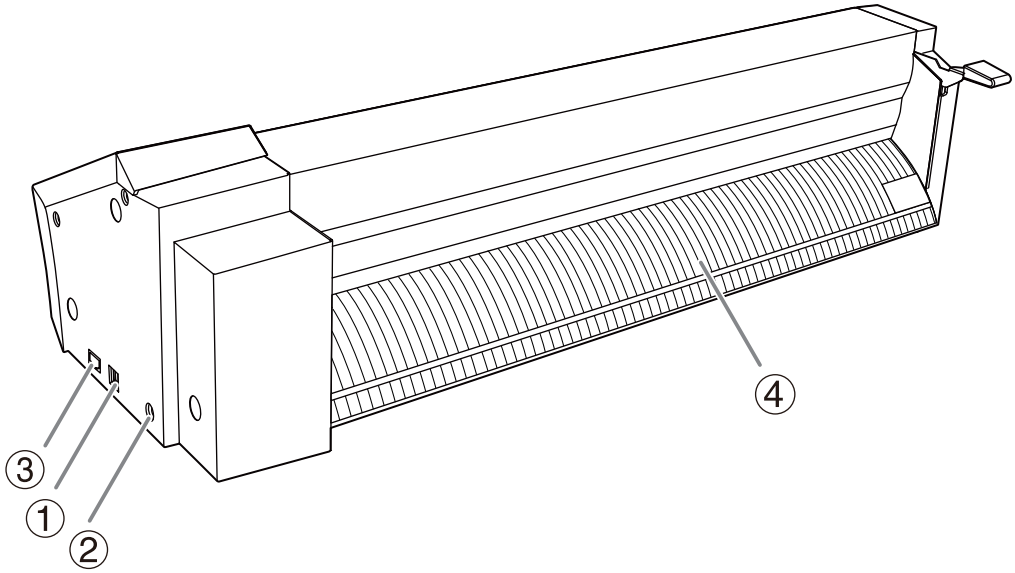
カッティングマシン本体

前面



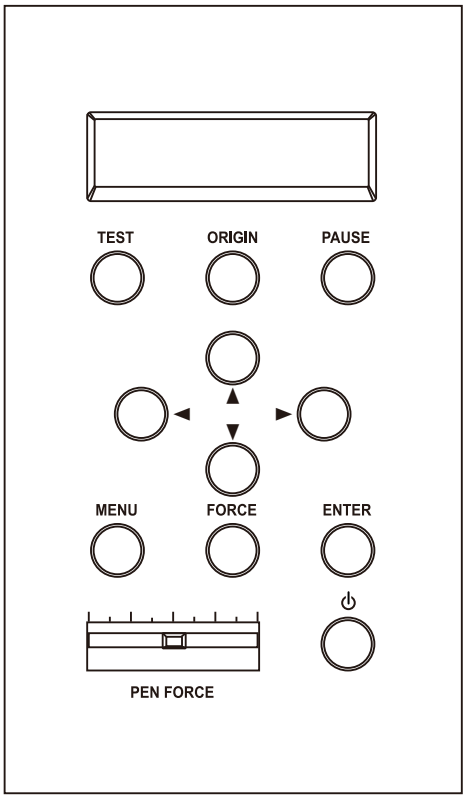
番号	名称	機能概要
①	ローディングレバー	シートをセットするときに操作します。
②	左ピンチローラー	ローディングレバーを上げるとシートを挟み込みます。シートの左端にセットします。
③	カッティングキャリッジ	カッターホルダーを取り付けます。左右に動いてシートをカットします。
④	右ピンチローラー	ローディングレバーを上げるとシートを挟み込みます。シートの右端にセットします。
⑤	グリットローラー	シートを前後に送り出すローラーです。
⑥	グリットマーク	グリットローラーの位置を示します。シートを取り付けるとき、ピンチローラーは必ずこのマークの範囲内に配置してください。
⑦	カッタープロテクション	カッティング時にカッターの刃先を保護します。
⑧	ガイドライン	シートを取り付けるときの位置合わせの目安となります。
⑨	ナイフガイド	カッターなどを差し込み、ガイドに沿って動かすと、シートを取り外さずに切り離すことができます。
⑩	操作パネル	各種の操作をします。

背面



番号	名称	機能概要
①	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
②	電源コネクター	本体に電源を供給します。
③	イーサネットコネクター	イーサネットケーブルを接続します。
④	ガイドライン	シートを取り付けるときの位置合わせの目安となります。

操作パネル



部位	名称	詳細	本書内での表記
W:261mm L:----- [0mm]	ディスプレイ	各種の設定メニューなどを表示します。	-
TEST	テストキー	1 秒以上押し続けると、あらかじめ登録されているテストパターンをカットします。	[TEST]
ORIGIN	オリジンキー	1 秒以上押し続けると、現在のカッター位置に原点を設定します。	[ORIGIN]
PAUSE	ポーズキー	作業を中断します。もう一度押すと作業を再開します。	[PAUSE]
◀ ▲ ▼ ▶	カーソルキー	カッティングキャリッジやシートの移動、各種メニューの選択や設定に使用します。	[▲] [▼] [◀] [▶]
MENU	メニューキー	押すたびにディスプレイの表示を切り替えます。 • 現在設定されているカット条件 • メニューモード • 幅表示画面またはシートの種類選択画面	[MENU]

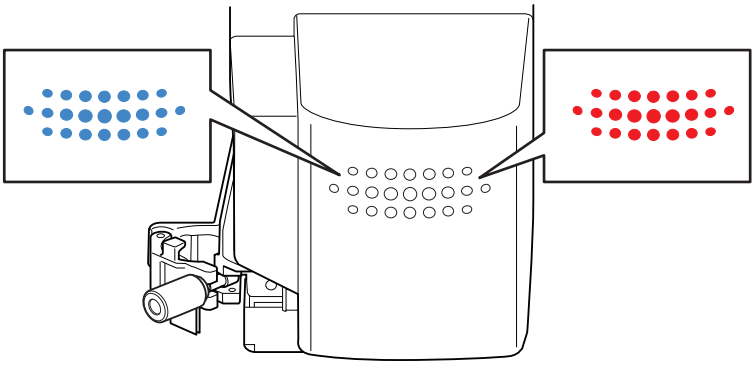
部位	名称	詳細	本書内での表記
FORCE	フォースキー	カット圧の調整メニューを表示します。	[FORCE]
ENTER	エンターキー	メニューの項目を選択したり、設定を決定したりします。	[ENTER]
PEN FORCE	ペンフォースつまみ	カット圧の微調整ができます。カッティング中でも調整することができます。	[PEN FORCE]
⏻	電源ボタン	押すと電源がオンになり、青色に点灯します。 1 秒以上押し続けると、電源がオフになります。	-

関連情報

- P. 22 〔カットジョウケン〕

キャリッジ LED ランプ

機体の状態を LED ランプの色や点灯パターンで表示します。



機体の状態	LED ランプの状態
電源オフ	消灯
電源オン	青色点灯
アンセットアップ時 (ローディングレバーを下げている状態)	青色で明るく点灯、暗く点灯を繰り返す
セットアップ時 (ローディングレバーを上げている状態)	青色で暗く点灯
カット中	青色点灯
一時停止時	青色点滅
機体に異常が発生したとき	赤色点滅

関連情報

- P. 308 エラーメッセージ

CutStudio の起動方法

Windows の〔スタートメニュー〕から起動する

Windows 11

1. [**スタート**]をクリックする。
2. [**すべてのアプリ**]>[**Roland CutStudio**]>[**CutStudio**]をクリックする。

Windows 10

1. [**スタート**]をクリックする。
2. [**Roland CutStudio**]>[**CutStudio**]をクリックする。

Roland DG Connect Hub から起動する

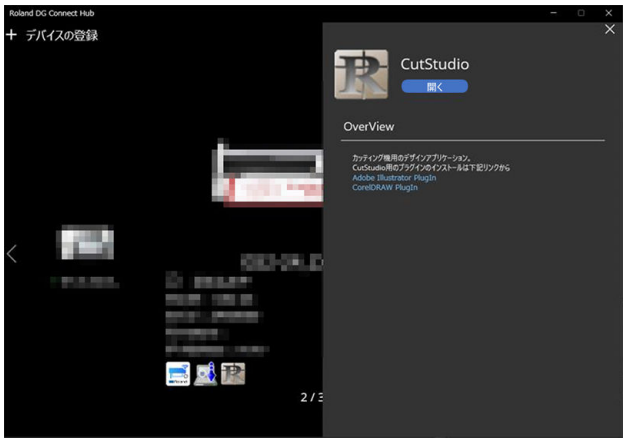
手順

1. [Roland DG Connect Hub]を起動する。

- Windows
  タスクトレイから[Roland DG Connect Hub]のアイコンをクリックする。
- Mac
  Dock から[Roland DG Connect Hub]のアイコンをクリックする。

2. メイン画面で使用する機体を選択する。

3. ソフトウェアアイコンをクリックする。
画面右側にサイドバーが表示されます。



4. [**開く**]をクリックする。

使用するシートについて

シートの種類について

本機で使用するシートは、大きく分けて次の 2 種類があります。

- ロールシート
  紙管などに巻かれているもの
- 平型シート
  定型サイズのシートなど、紙管などに巻かれていないもの

用途に合わせて、さまざまな種類のシートを選択できます。各シートの詳細については、シートの購入先にお問合せください。

メモ

本書ではロールシート、平型シートを総称して、「メディア」または「シート」と表記することがあります。

使用可能なシートの条件

本機にセットできるシートの条件は以下のとおりです。

サイズ	幅	50 ~ 700 mm（2 ~ 28 インチ）
	長さ*1	100 mm 以上（平型シート）
	カット可能なシートの厚み*2	0.3 mm 以下（シートの取り付けは 1.0 mm まで可能）
重量	ロールシートの最大重量	5 kg

*1　ロールシートについては、長さの制限はありません
*2　台紙（剥離紙）を含む厚みです

使用できないシート

本機では、次のようなシートは使用できません。シートのクセや形を直してからお使いください。

- シートが強く反っていたり、折れ曲がっている
- シートの左右端が平行ではない

上記のシートのほか、プリント＆カットをする場合は、次のようなシートも使用できません。

- 透明のシート
- 色付きのシート

メモ

プリント＆カットでは、レーザープリンターやインクジェットプリンターで印刷することができる、台紙のついた白地のシートを使用してください。ラミネート加工したシートや光沢シートなど、種類によってはクロップマークの自動読み取りができないことがあります。

- レーザープリンターで印刷できるシートの種類
  上質紙
  コート紙
  アート紙
  PET
- インクジェットプリンターで印刷できるシートの種類
  上質紙

コート紙

クロップマーク/ツールマーク

クロップマーク

クロップマークは、お使いのプリンターで印刷したシートを本機でカットするときに位置合わせをするための目印です。画像と一緒に印刷されたクロップマークの位置を本機に記憶させることで、カット位置の補正を行います。

読み取り可能なクロップマーク

本機のセンサーでは以下のような円だけをクロップマークとして読みとります。

- 直径：10 mm
- 色：黒

メモ

お使いのプリンターのインクによっては、印刷したクロップマークを正常に読みとれないことがあります。

クロップマーク[3 点配置]と[4 点配置]の使い分け

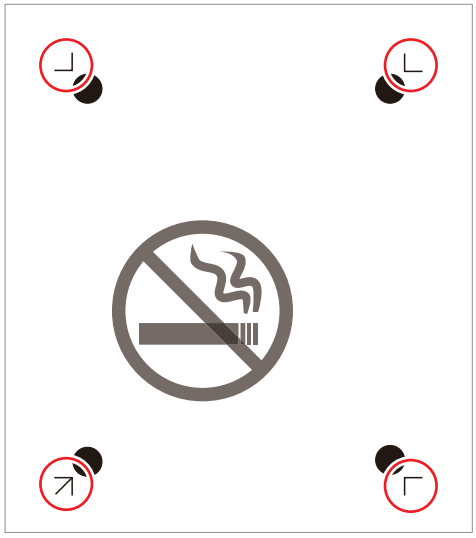
通常は[**4 点配置**] を使用します。[**3 点配置**]は[**4 点配置**]より読み込むクロップマークの数が少ないため、カットに要する時間を短縮することができます。ただし、[**3 点配置**]ではツールモードを使用することができません。

関連情報

- P. 316 余白 / クロップマーク間の距離

ツールマーク

ツールマークは、クロップマークによる自動位置合わせができない場合に、手動で位置合わせをするための目印です。
CutStudio やプラグインを使用すると、クロップマークの周りに印刷できます。



関連情報

- P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

基本操作

電源の操作.....**20**
電源オン.....20
電源オフ.....20
ディスプレイメニューの確認.....**21**
〔カットジョウケン〕.....22
〔システムジョウホウ〕.....24
〔ソノホカ ノ セッテイ〕.....25
シートのセットアップ.....**27**
シートのセット位置.....27
平型シートのセットアップ.....29
ロールシートのセットアップ.....35
カット出力の準備.....**41**
Step 1: カッターを準備する.....41
Step 2: カッターホルダーを取り付ける.....43
Step 3: テストカットする.....45
Step 4: 出力開始位置を設定する.....48

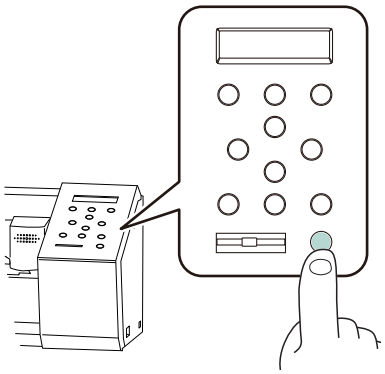
電源の操作

電源オン

手順

1. 電源ボタンを押す。

機体の電源がオンになり、電源ランプが点灯します。

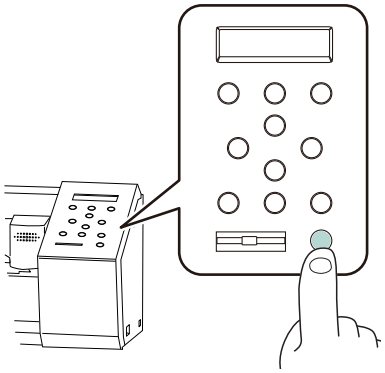


電源オフ

手順

1. 電源ボタンを 1 秒以上押し続ける。

電源がオフになります。



2. ローディングレバーを下げ、シートを取り外す。

電源がオンの状態でも、本機を使用しないときはローディングレバーを下げておいてください。

関連情報

- P. 277 電源をオフにできない

ディスプレイメニューの確認

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、次の手順で画面を表示します。

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を押す。

2. ［▲］［▼］を押して、確認したいメニューを表示する。

表示されるメニューは以下の通りです。

それぞれのメニューで［▶］を押して、詳細な情報の確認や設定の変更をします。

ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ	**〔アンセットアップ〕** シートが取り付けられているときに表示されます。［ENTER］を押すと、シートをアンセットアップします。
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ	**〔カットジョウケン〕** カット圧やカット速度など、カット条件を設定します。設定された条件はカット品質に影響を及ぼします。お使いのシートに合わせてカット条件を変更してください。 P. 22 〔カットジョウケン〕
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ	**〔システムジョウホウ〕** ファームウェアのバージョン、IP アドレス、サブネットマスクなどのシステム情報を確認します。 P. 24 〔システムジョウホウ〕
ｸﾛｯﾌﾟﾏｰｸ 〈ｾﾝｻｰﾓｰﾄﾞ〉	**〔クロップマーク〕** クロップマークまたはツールマークを印刷したシートを本機でカットするときの位置合わせ方法を設定します。通常は〔センサーモード〕を使用します。
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ	**〔ソノホカ ノ セッテイ〕** ディスプレイの表示や、その他機能のオンオフなどを設定します。 P. 25 〔ソノホカ ノ セッテイ〕
ﾘﾌﾟﾛｯﾄ 〈ﾃﾞｰﾀｱﾘ〉	**〔リプロット〕** コンピューターから受け取ったデータを機体のメモリーに保存し、そのデータを繰り返しカット（再カット）できます。 P. 213 同じデータをくり返しカットする
ﾒﾓﾘｰ 〈ﾕｰｻﾞｰ 1〉	**〔メモリー〕** シートを変更するたびにカット条件を設定する手間を省くため、よく利用するシートのカット条件を本機のメモリーに保存できます。 P. 215 よく使うカット条件を保存する

関連情報

- P. 165 ツールモードでプリント＆カットする
- P. 170 マニュアルモードでプリント&カットする
- P. 186 品質と効率を最適化する

〔カットジョウケン〕

カット圧やカット速度など、カット条件の設定や確認をします。設定された条件はカット品質に影響を及ぼします。お使いのシートに合わせてカット条件を変更してください。

- **〔カットアツ〕**

  ```
  ｶｯﾄｱﾂ 50gf
  ```

  カット圧を設定できます。図形が一緒にはがれたり、台紙も一緒にカットされるなどうまく切れないときに、〔カットアツ〕の設定を変更します。

  P. 190 カット圧を設定する

- **〔ソクド〕**

  ```
  ｿｸﾄﾞ 40cm/s
  ```

  カット速度を設定できます。カット線がゆがんでいたり、部分的に切り残しがあったりするときに、〔ソクド〕の設定を変更します。

  P. 192 カット速度を設定する

- **〔オフセット〕**

  ```
  ｵﾌｾｯﾄ 0.250mm
  ```

  カッター刃先のオフセットを設定できます。カットの始まりにずれがあったり、図形の角がしっかり出なかったりするときに、〔オフセット〕の設定を変更します。

  P. 193 カッター刃先のオフセットを設定する

- **〔アップソクド〕**

  ```
  ｱｯﾌﾟｿｸﾄﾞ40cm/
  ```

  カット中に、カッターをシートから離して次のカット位置まで移動させるときの速度を設定できます。標準的なシートよりも 薄かったり厚かったりするシートをカットするときは、シートの浮き上がりを防ぐなどの目的で、〔アップソクド〕の設定を変更します。

  P. 198 カット中の速度を設定する

- **〔カイテン〕**

  ```
  ｶｲﾃﾝ 0ﾄﾞ A
  ```

  カット座標を回転し、シートに対してどの向きでカットするかを設定できます。

  P. 194 カット座標の向きを設定する

- **〔ヒンシツ〕**

  ```
  ﾋﾝｼﾂ ﾉｰﾏﾙ
  ```

  カット品質を設定できます。厚手のシートをお使いのときなどに、〔ヒンシツ〕の設定を変更します。

- **〔ハバカクチョウ〕**

  ```
  ﾊﾊﾞｶｸﾁｮｳ 0.0m
  ```

カット領域を通常よりも広げるかどうかを設定できます。シートを最大限に使用したいときに、〔ハバカクチョウ〕の設定を変更します。

P. 196 カット領域を広げる

- **〔エリア〕**

```
ｴﾘｱ 1.0m
```

ロールシートをお使いの場合に、カットに必要なシートの長さを設定します。ロールシートをセットアップするときに、〔エリア〕の設定を変更します。

P. 40 シート送りを確認する

〔システムジョウホウ〕

ファームウェアのバージョン、IP アドレス、サブネットマスクなどのシステム情報を確認します。

- **〔モデル〕**

```
システムジョウホウ      ◀◆
モデル                  ▶
```

機種名を確認できます。

- **〔SERIAL NO.〕**

```
システムジョウホウ      ◀◆
SERIAL NO.              ▶
```

シリアル番号を確認できます。

- **〔ファームウエア〕**

```
システムジョウホウ      ◀◆
ファームウェア          ▶
```

ファームウェアのバージョンを確認できます。

- **〔インターフェース〕**

```
システムジョウホウ      ◀◆
インターフェース        ▶
```

コンピューターとの接続設定を確認できます。

IP アドレスなどのネットワーク設定は、［▶］を 2 回押して、［▼］で表示したい情報を選択してから［▶］を押して確認します。

〔ソノホカ ノ セッテイ〕

ディスプレイの表示や、その他機能のオンオフなどを設定します。

- **〔スムージング〕**

  ```
  スムージング オン
  ```

  本機に送られるカットデータの曲線をなめらかに設定します。

  P. 199 円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）

- **〔タンイ〕**

  ```
  タンイ ミリ
  ```

  ディスプレイの表示に使う単位を設定します。

  P. 252 表示する長さの単位を変更する

- **〔コウジョウセッテイ〕**

  ```
  コウジョウセッテイ
  ```

  すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。それまでの各種設定が消去されるため、この機能を使用する前にカット条件などの必要な情報を記録しておいてください。

  P. 255 すべての設定を初期設定に戻す

- **〔コントラスト〕**

  ```
  コントラスト 5
  ```

  ディスプレイの明るさを調整します。お使いの環境に合わせて、ディスプレイが見やすい設定に変更してください。

  P. 254 ディスプレイの明るさを調整する

- **〔ファンノフウリョウ〕**

  ```
  ファンノフウリョウ オート
  ```

  吸着ファンをオンにしてカット中のシートを吸着し、シートのずれと浮き上がりを防ぎます。薄くてコシのないシートを使用する場合は、吸着ファンの風量を弱くすることをおすすめします。

  P. 204 通常より薄い/硬いシートを使う

- **〔ジドウサキオクリ〕**

  ```
  ジドウサキオクリ オフ
  ```

  カット前とカット中に自動でシートの送り出しを行い、カットの位置ずれを防ぎます。1 m 以上の大きなカットデータをカットするときなどに使用するとよいでしょう。

  P. 205 カットの位置ずれを防ぐ

- **〔オーバーカット〕**

  ```
  オーバーカット オフ
  ```

  カット線の最初と最後を少し長めにカットします。厚手のシートをカットするときなど、角を特にシャープに仕上げたい場合に有効です。

  P. 202 角をきれいにカットする（オーバーカット）

- **〔カサネギリ〕**

  ```
  カサネギリ オフ
  ```

1 つのカットデータを使って、同じ位置で何回か繰り返しカットします。厚いシートなど、一度にカットできない場合に使用してください。

P. 200 同じ位置でくり返しカットする（重ね切り）

- **〔ミシンメカット〕**

```
ミシンメカット オフ
```

台紙のないシートをカットしたり、カットデータに折り目をつけたりしたい場合、ミシン目カットの設定を行います。カット終了後にシートから切り離すことで、シートづまりを防止します。

P. 217 カットした部分をあとで切り離す

- **〔クロップイチチョウセイ〕**

```
クロップイチチョウセイ
```

印刷位置とカット位置がずれてしまうときに、印刷位置またはカット位置を調整してずれを直します。

P. 207 カット位置を調整する
P. 209 印刷位置を調整する

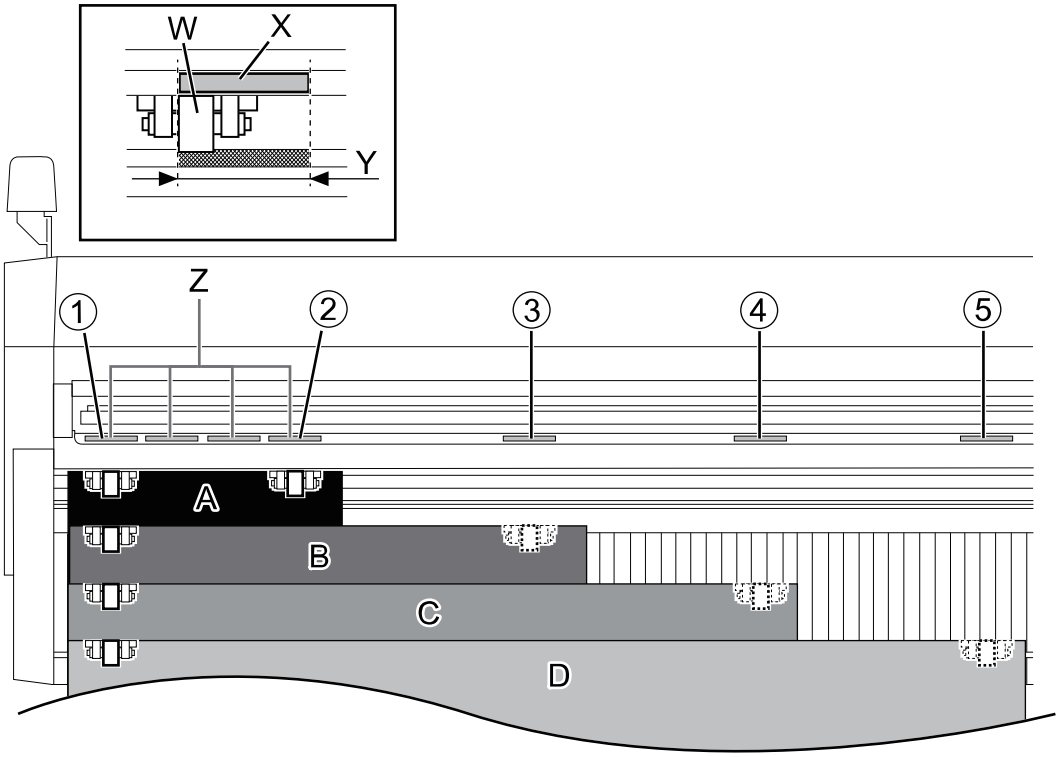
シートのセットアップ

シートのセット位置

シート端面からピンチローラーまでの余白が左右均等になるようにシートをセットします。ピンチローラー（W）は、グリットマーク（X）の範囲内（Y）にセットしてください。

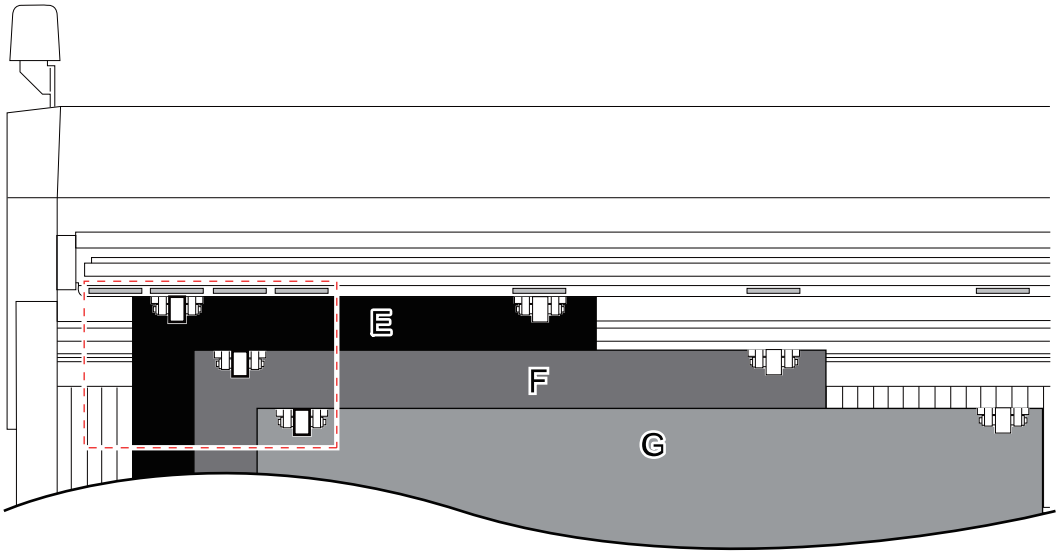
メモ

取り付けるシートの幅によっては、余白が左右均等にならず、シート右端の余白が左端の余白よりも大きくなる場合があります。



Z	左ピンチローラーの使用位置
①	左ピンチローラーの使用範囲 A～D 以外の幅のシートを取り付けるときは、左ピンチローラーを移動します。
②	A のシートをセットしたときの右ピンチローラー使用範囲
③	B のシートをセットしたときの右ピンチローラー使用範囲
④	C のシートをセットしたときの右ピンチローラー使用範囲
⑤	D のシートをセットしたときの右ピンチローラー使用範囲
A	約 150 mm (5 - 7/8 in.) 幅のシート
B	約 306 mm (12 in.) 幅のシート
C	約 457 mm (17 - 15/16 in.) 幅のシート
D	約 610 mm (24 in.) 幅のシート

上記以外のシートを取り付けるときは、シート幅に合わせて左ピンチローラーの位置を変えてシートを取り付けます。

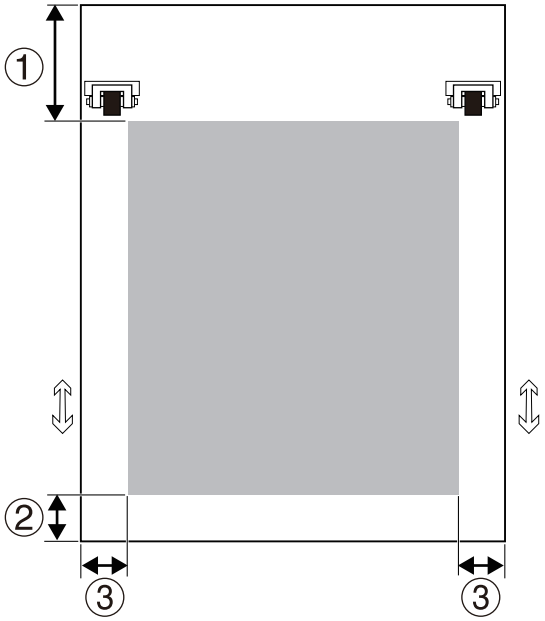


関連情報

- P. 9 前面

平型シートのセットアップ

平型シートをお使いのときは、カットデータの縦サイズより 70 mm 以上長いシートが必要です。これは、グリットローラーがシートを前後に送り出すのに必要な長さです。
下図を参考に、シートの前後左右に余白を確保してください。



①	50 mm 以上
②	15 mm 以上
③	25 mm 以上

重要

次のようなシートは使用できません。シートのクセや形を直してからお使いください。

- シートが上側に反っている
- シートの先端が曲がっている、折れている

1. 平型シートを取り付ける

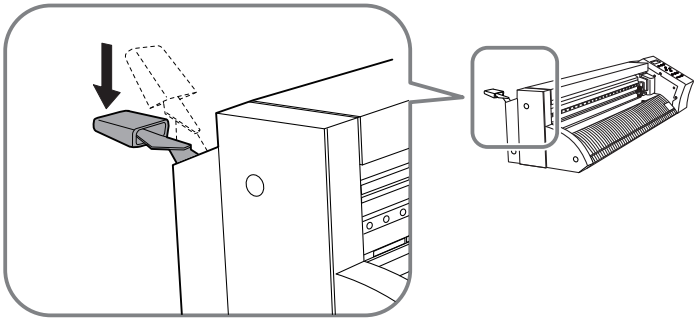
ここでは、A4 サイズのシートをセットする方法を説明します。

手順

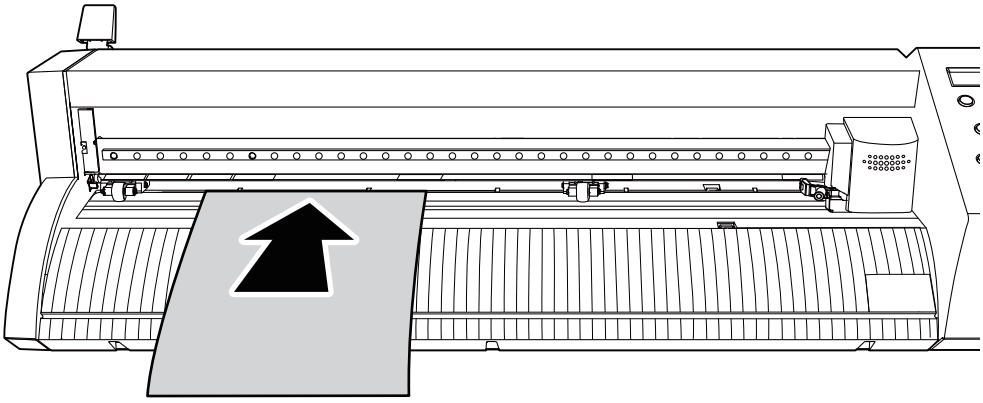
1. ローディングレバーを下げる。

重要

ローディングレバーを勢いよく操作しないでください。
破損することがあります。

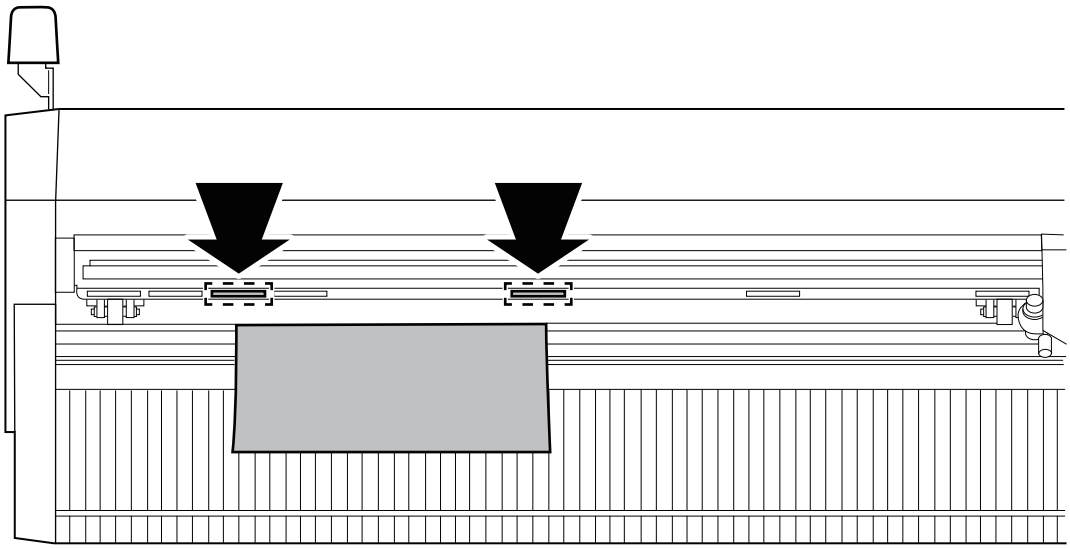


2. 機体の前面から、シートを通す。



3. シートを下図の位置にセットする。

セット位置は取り付けるシートのサイズによって異なります。

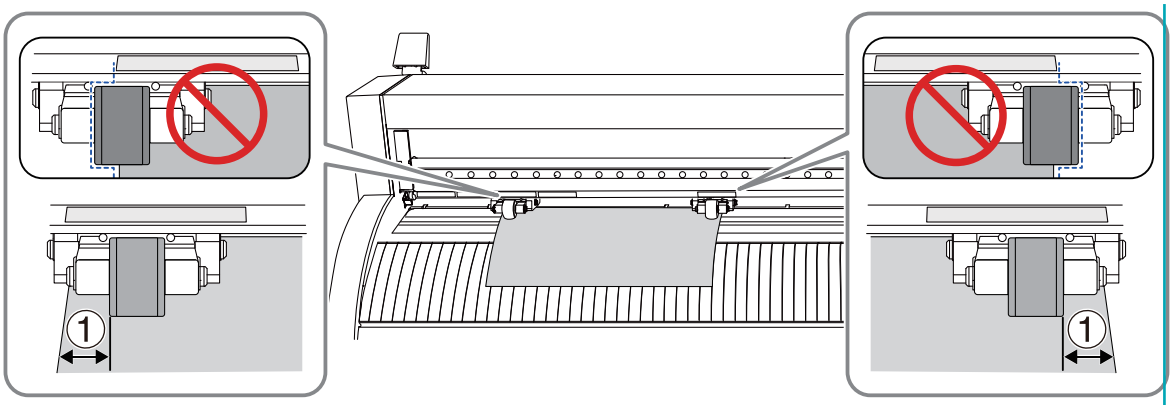


4. シートの両端かつグリットマークの範囲内に、ピンチローラーを移動する。

シート端面からピンチローラーまでの余白（①）が左右均等になるようにシートをセットします。

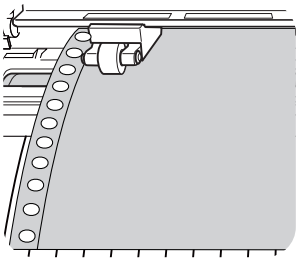
メモ

送り量が多い（シート長が長い）シートのときは、左右の余白をそれぞれ 25 mm 程度確保します。



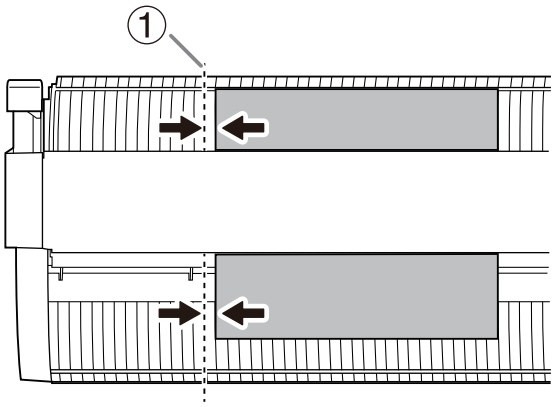
メモ

スプロケットフィード用穴あきシートは、両端にシート送り用の穴があります。この上にピンチローラーをセットすると正常にシート送りができません。本機で使用する場合は、シート送り用の穴を避けてピンチローラーを配置してください。



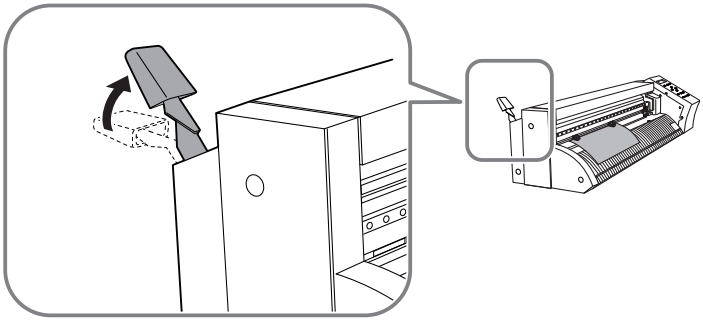
5. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



6. ローディングレバーを上げる。

シートが固定されます。



メモ

下記リンクから、本手順の参考動画をご覧いただけます。
参考動画 平型シートの取り付け

関連情報

- P. 15 使用可能なシートの条件
- P. 27 シートのセット位置
- P. 315 カット領域

2. シートの取り付けを確認する

手順

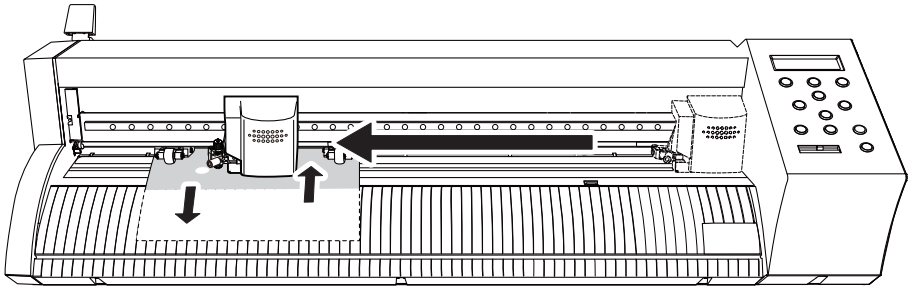
1. 機体の電源をオンにする。

2. ［▼］を何回か押して〔ハザイ〕を選択する。

```
シート ノ センタク
＊ハザイ
```

3. ［ENTER］を押す。

カッティングキャリッジが左ピンチローラー位置に移動したあと、シートが前後に動きます。



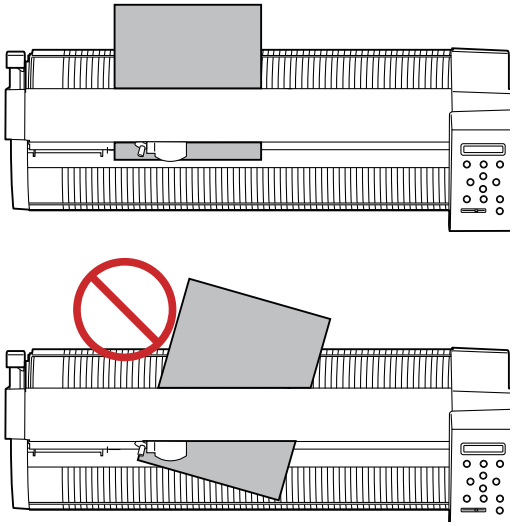
初期動作が終了すると、ディスプレイにカット可能な幅と長さが表示されます。

```
W:＊＊＊mm
L:＊＊＊mm
```

4. 動作が停止してから、以下の項目を確認する。

- シートの左端がガイドラインに対して傾いていないこと
- ピンチローラーがシートから外れていないこと

機体を上から見た図



メモ

シートが傾いていたり、ピンチローラーから外れていたりしたら、シートを正しくセットアップできていません。次の手順を行った後に、シートのセットアップを最初からやり直してください。

a. シートをアンセットアップして、カッティングキャリッジをスタンバイポジションに戻す。

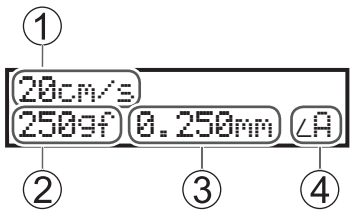
P. 160 シートを取り外す

b. 電源ボタンを 1 秒以上押し続けて電源をオフにする。

5. ［MENU］を押す。

各項目の値が表示されていることを確認してください。

下図の数値は参考例です。



①	カット速度
②	カット圧
③	カッター刃先のオフセット
④	カット座標の向き

重要

長さが 1.6 mを超える平型シートを取り付けた場合は、ロールシートとして認識されます。

この場合は、カットの前にシートを送り、正しくシートが送れるかを確認してください。

シート送りを確認せずにカットを始めると、カットの途中でシートが外れたり、精度良くシート送りができずにカット品質に悪い影響を与えたりします。

P. 40 シート送りを確認する

関連情報

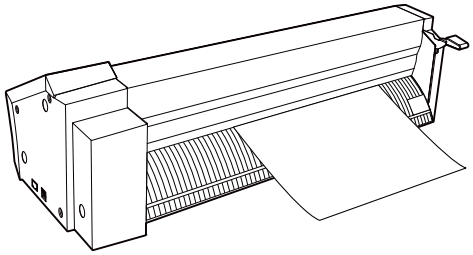
- P. 190 カット圧を設定する
- P. 193 カッター刃先のオフセットを設定する
- P. 194 カット座標の向きを設定する
- P. 192 カット速度を設定する

ロールシートのセットアップ

メモ

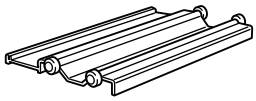
シートベースを使用しない場合は、あらかじめカットに必要な分をロールから切り離し、平型シートとして取り付けてください。

P. 29 平型シートのセットアップ



1. ロールシートを取り付ける

シートベースを使用して、機体にロールシートを取り付けます。

必要なもの

シートベース

⚠ 注意

ロールメディアは正しくセットする。

メディアが落下してけがをすることがあります。

⚠ 注意

ロールメディアは重さが 5 kg 程度ある。

取り扱うときはけがに注意すること。

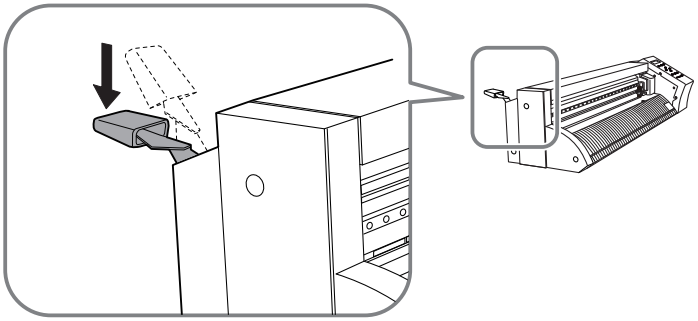
⚠ 注意

重さが 5 kg を超えるメディアをセットしない。

本機が重さに耐えられず、転倒したり、メディアが落下する恐れがあります。

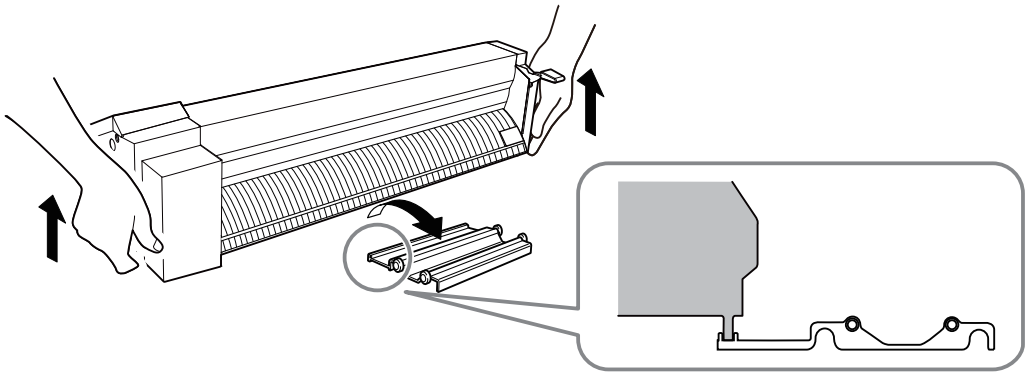
手順

1. ローディングレバーが下がっていることを確認する。



2. 機体をシートベースにはめ込む。

機体の端を持って持ち上げます。



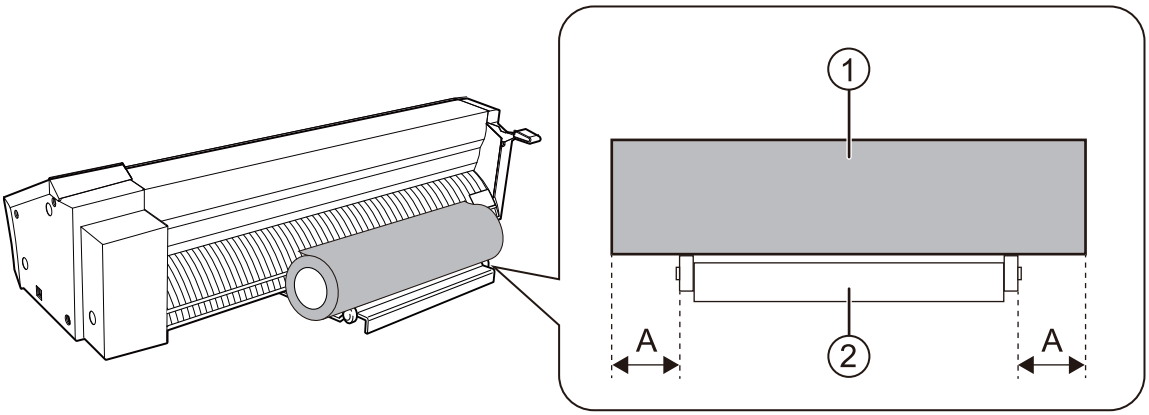
3. シートベースにロールシートを置く。

ロールシート（①）は、シートベース（②）に対して左右両端のはみ出し量（A）が均等になるようにセットします。

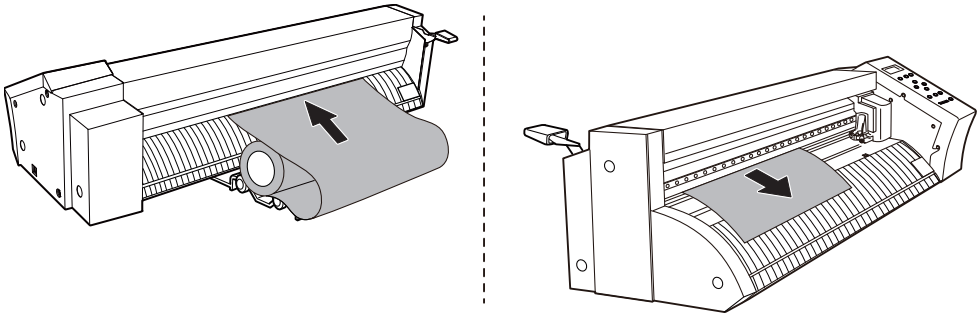
⚠ 注意

ロールメディアは正しくセットする。

メディアが落下してけがをすることがあります。

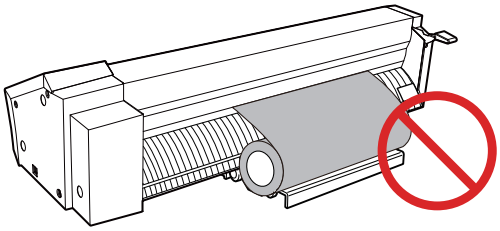


4. 使う分より少し長くロールからシートを引き出し、背面から前面に向けて機体の間にシートを通す。



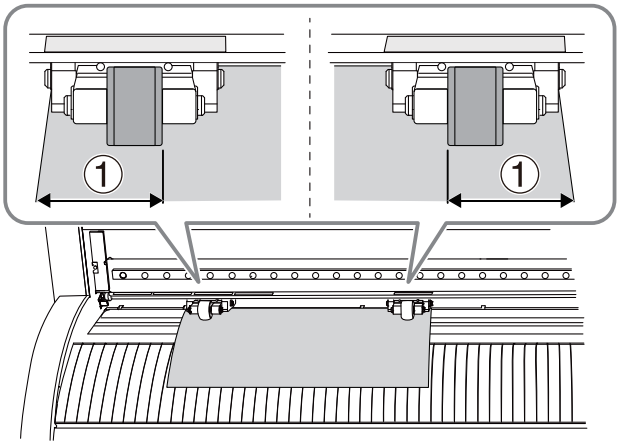
重要

引き出したシートはたるませてください。シートを十分引き出さずにセットすると、シート送りが正しくできません。



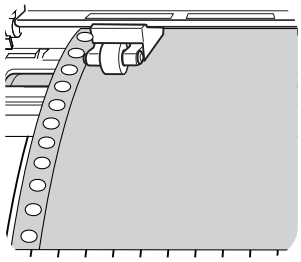
5. **ピンチローラーをシートの両端かつグリットマークの範囲内に移動する。**

ピンチローラーが、シートの左右端からそれぞれ 25 mm 以上（①）内側にくるようにセットします。



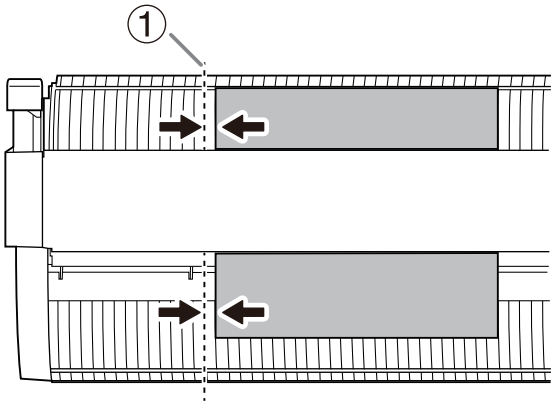
メモ

スプロケットフィード用穴あきシートは、両端にシート送り用の穴があります。この上にピンチローラーをセットすると正常にシート送りができません。本機で使用する場合は、シート送り用の穴を避けてピンチローラーを配置してください。



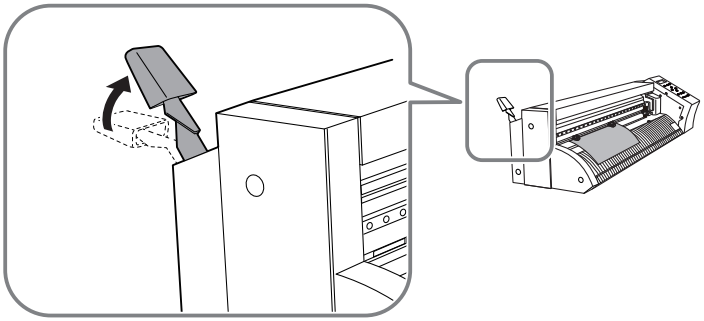
6. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



7. ローディングレバーを上げる。

シートが固定されます。



メモ

下記リンクから、本手順の参考動画をご覧いただけます。

参考動画 ロールシートの取り付け

関連情報

- P. 15 使用可能なシートの条件
- P. 27 シートのセット位置

2. シートの種類を選択する

機体に取り付けるシートの種類を選択します。

手順

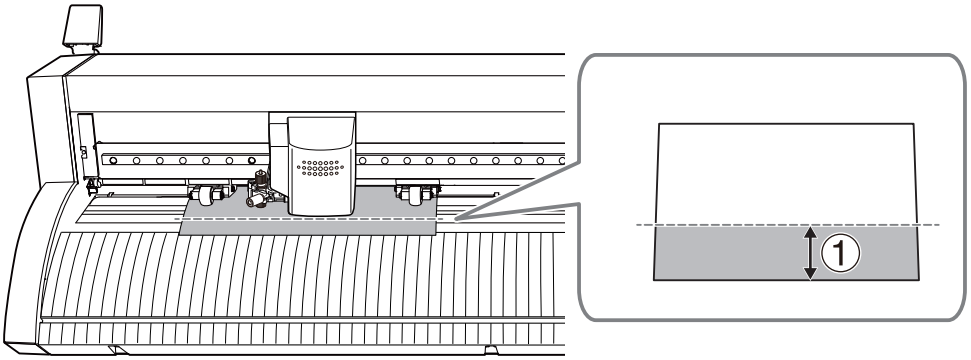
1. **機体の電源をオンにする。**

下図が表示されます。

```
シート ノ センタク
ロール
```

2. **［▲］［▼］を押して、〔ロール〕または〔ハシ〕を選択する。**

〔ハシ〕を選択してセットすると、シートの先端からおよそ 15 mm（①）までの領域は余白として確保されます。
〔ロール〕を選択してセットした場合は、余白は確保されません。



3. **［ENTER］を押す。**

カッティングキャリッジが左端に移動します。その後、カット可能な幅をディスプレイに表示します。

```
W:261mm
L:----  [0mm]
```

関連情報

- P. 35 ロールシートを取り付ける

3. シート送りを確認する

カットの前にシートを送り、正しくシートが送れるかを確認してください。
シート送りを確認せずにカットを始めると、カットの途中でシートが外れたり、精度良くシート送りができずにカット品質に悪い影響を与えたりします。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

3. ［▶］［▲］の順に押して、以下の画面を表示する。
下図のように表示されます。

```
ｴﾘｱ 1.0m
```

4. ［▶］を押す。

5. ［▲］［▼］を押して、カットに必要なシートの長さに値を設定する。
グリットローラーがシートを送り出すために、カッティング範囲の前後に余白が必要です。必要なシートの長さよりも0.2 m 程度長く設定するとよいでしょう。

```
ｴﾘｱ 1.0m
*-24.9m
```

6. ［ENTER］を押す。
設定した長さだけシートがいったん前方に移動し、すぐに引き戻されます。
ピンチローラーからシートが外れたときは、［PAUSE］を押して動作を停止します。
ローディングレバーを下げてシートを取り外したあと、シートのセットアップを最初からやり直してください。

7. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

関連情報

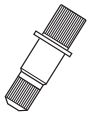
- P. 15 使用するシートについて
- P. 29 平型シートを取り付ける
- P. 35 ロールシートを取り付ける

カット出力の準備

Step 1: カッターを準備する

⚠ 注意

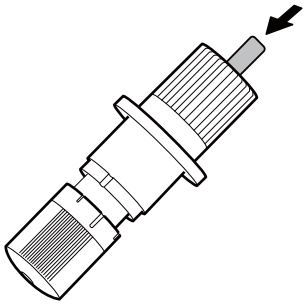
カッターの刃先に触らない。
けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

必要なもの（付属品）		
		
カッターホルダー	カッター	ピン*1

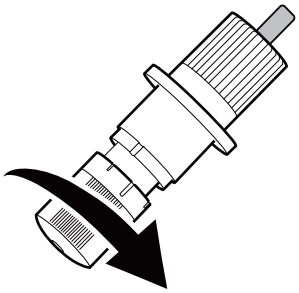
*1　ピンはホルダーに差し込まれています。

手順

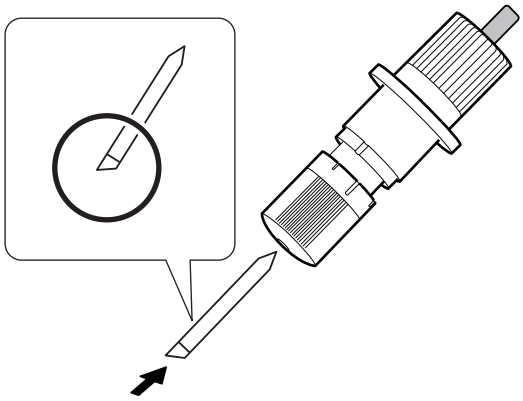
1. ピンがカッターホルダーから外れている場合は、カッターホルダーにピンを差し込む。



2. カッターホルダーのキャップを時計回りに回し、回らなくなるまで締める。



3. カッターを差し込む。



重要

シートの種類ごとに、切り込み量、カット速度、カット圧などのカット条件の調整が必要です。
必ず使用するシートでテストカットを実施し、カット条件を調整してください。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安
- P. 189 カットの設定を調整する

Step 2: カッターホルダーを取り付ける

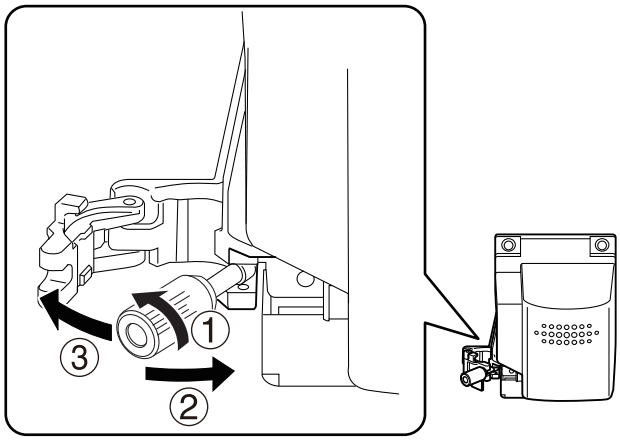
⚠ 注意

カッターの刃先に触らない。

けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

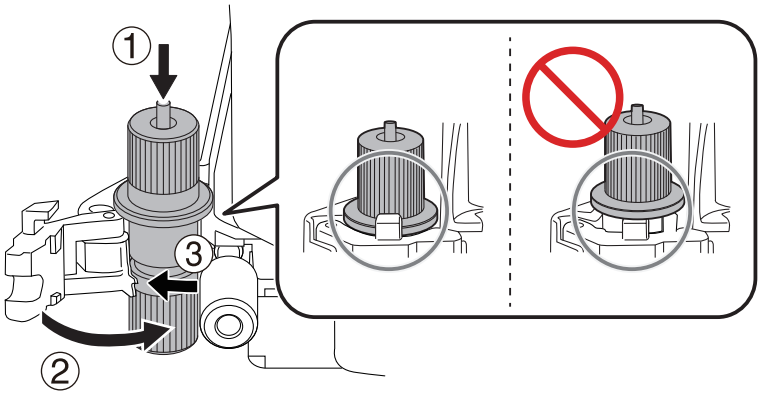
手順

1. カッティングキャリッジのネジを緩める。

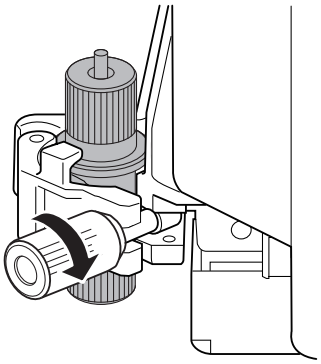


2. カッターホルダーを差し込む。

カッターホルダーとカッティングキャリッジがかみ合っていることを確認します。



3. カッティングキャリッジのネジをしっかりと締める。



メモ

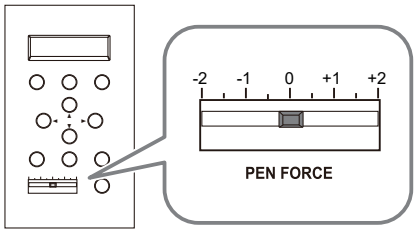
下記リンクから、本手順の参考動画をご覧いただけます。
参考動画 カッターの準備

Step 3: テストカットする

シートの種類、およびカッターの切れ具合によってカット条件を調整する必要があります。高品質なカット結果を得るために、カットする前にテストカットをしてシートの切れ具合を確認してください。

手順

1. ペンフォースつまみが中央（目盛「0」）にあることを確認する。



2. ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、カッティングキャリッジを移動する。

テストカットを開始したい位置がカッターの刃先となる位置に、カッティングキャリッジを移動します。

メモ

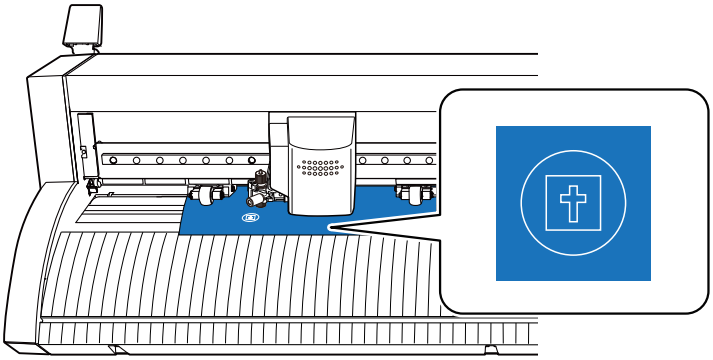
以下のいずれかの画面が表示されているとき、［ENTER］と［▲］［▼］［◀］［▶］のいずれかを同時に押すと、シートまたはカッティングキャリッジを高速移動できます。

```
20cm/s
250gf 0.250mm ∠A
```

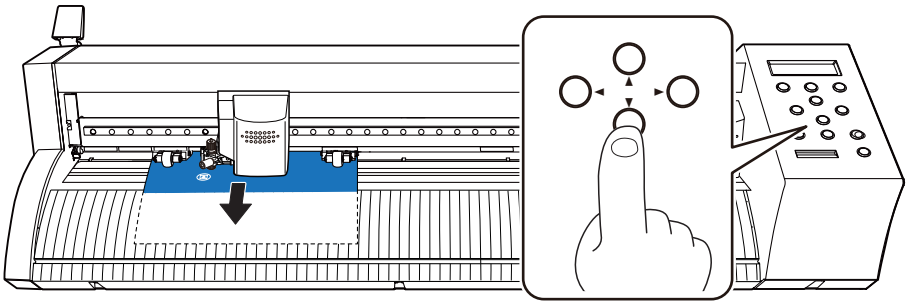
```
W:***mm
L:***mm
```

3. ［TEST］を 1 秒以上押し続ける。

［TEST］を押したときのカッターの位置で、テストパターンのカットが開始します。



4. カットが完了したら、［▼］を押してシートを手前に送る。



5. ピンセット等でカットされた図形をはがして切れ具合を確認する。

次の状態であれば、良好です。

- 円をはがしたとき、円だけがはがれる
- 四角をはがしたとき、台紙にカッター跡が薄くついている

次のいずれかに該当するときは、カット圧またはカット速度の設定をします。設定後、再度テストカットを実施して、良好になるまで設定を繰り返します。

確認項目	判定	設定項目	調整
形を確認する	形がゆがんでいる	カット速度	小さくする
円をはがす	他の図形も一緒にはがれる	カット圧	大きくする
	台紙までカットされる		小さくする
	部分的な切り残しがある	カット速度	小さくする
四角形をはがす	カッター跡が分からない	カット圧	大きくする
	カッター跡が深すぎる		小さくする

重要

硬いシートや台紙が薄いシートをお使いの場合、カット圧を変更しても良好な結果を得られないことがあります。カッターの刃先突出量を調節し、切り込み量を細かく調整してください。

メモ

下記リンクから、本手順の参考動画をご覧いただけます。

参考動画 テストカット

関連情報

- P. 188 カット条件の目安

- P. 190 カット圧を設定する
- P. 192 カット速度を設定する
- P. 189 切り込み量を調整する

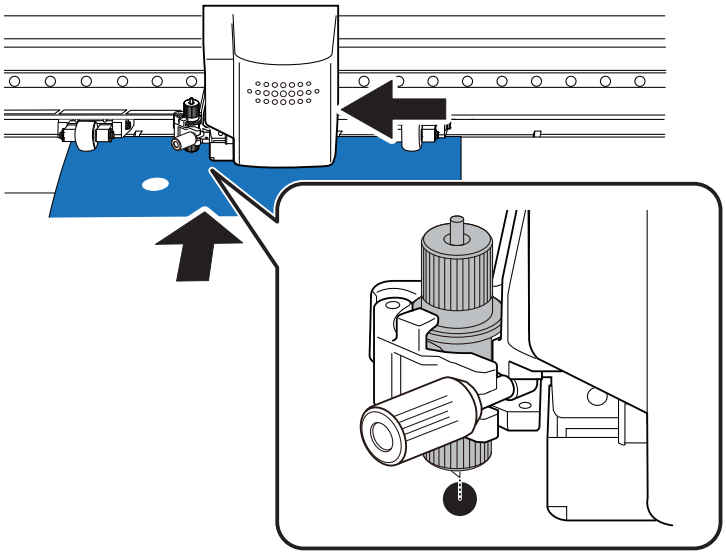
Step 4: 出力開始位置を設定する

カットを開始する前に、十分なカッティング範囲が確保できる位置に出力開始位置を設定します。
実際のカットは、テストカットと重ならないように出力します。

手順

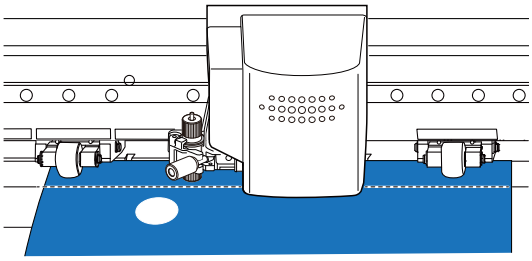
1. ［◀］［▲］を押し、原点に設定する位置までカッティングキャリッジを移動する。

原点に設定したい位置がカッターの刃先となる位置に、カッティングキャリッジを移動します。



2. ［▲］を押してシートを後ろに移動し、テストカットの跡がカッタープロテクションの手前にくるようにする。

カッターはカッタープロテクションの上を動きます。原点を設定すると、カッタープロテクションの後ろ側がカッティング範囲として設定されます。



3. ［ORIGIN］を一秒以上押し続ける。

ディスプレイが点滅し、カッターの刃先の位置が原点に設定されます。

出力方法

CutStudio でカットデータを作成するとき

カットの方法 51
Step 1: カットデータを作成する 51
Step 2: カット条件を設定する 55
Step 3: カットする 58
プリント&カットの方法 59
Step 1: プリント&カットデータを作成する 59
Step 2: プリント条件を設定する 62
Step 3: プリント&カットデータを出力する 66
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 71
Step 5: カット条件を設定する 72
Step 6: カットする 75
応用的なデータ作成の方法 77
配置した画像の濃さを変える 77
フォントを縦書きにする 79
保存したシンボルを新しいコンピューターに移行する 81

カットの方法

Step 1: カットデータを作成する

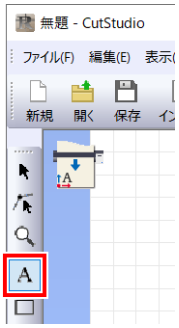
文字や図形を入力し、カットデータを作成します。ここでは「SALE」というカットデータを作成し、あとではがしやすくするための枠線「カス取り線」を追加する手順を説明します。

手順

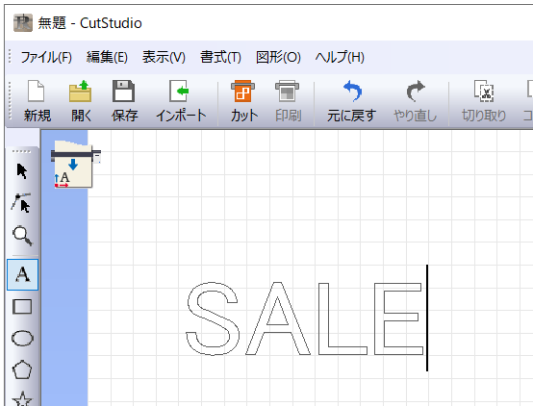
1. CutStudio を起動する。

P. 14 CutStudio の起動方法

2. をクリックする。

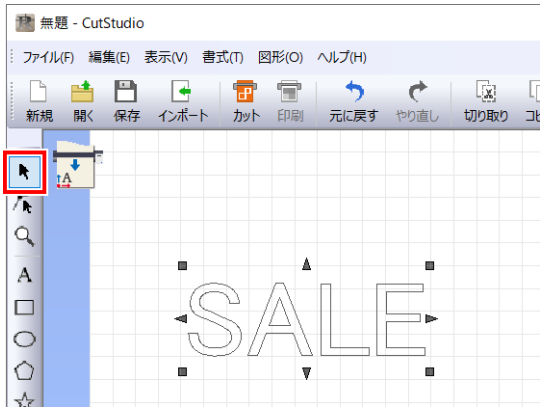


3. 任意の場所をクリックし、「SALE」と入力する。



4. をクリックし、文字のサイズを変える。

文字の周りに ■ や ◀ が表示されます。■ や ◀ をドラッグして、文字の大きさを変えます。

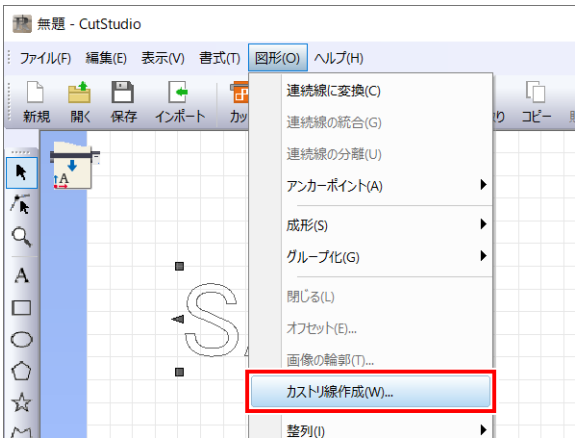


メモ

文字のサイズを数値で指定する場合は、対象のオブジェクトを選択して、 をクリックします。

5. [**図形**]>[**カストリ線作成**]をクリックする。

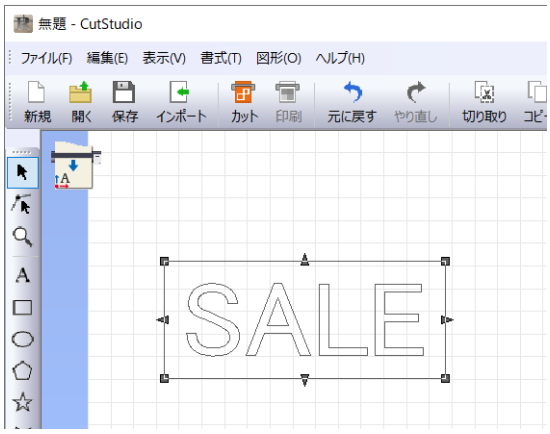
[**カストリ線作成**]画面が表示されます。



6. [**カストリ枠**]をオンにし、[**OK**]をクリックする。

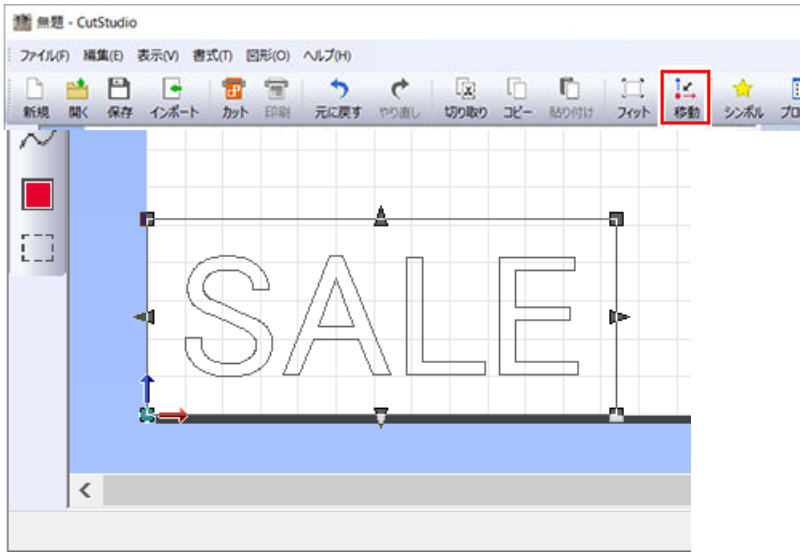
文字の周りにカス取り線が追加されます。

入力したオブジェクトは、カス取り線とともにグループ化されます。カス取り線についての詳細は、CutStudio のヘルプを参照してください。



7. オブジェクトを選択し、 をクリックする。

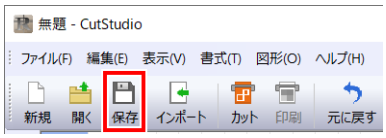
オブジェクトが原点に移動します。



メモ

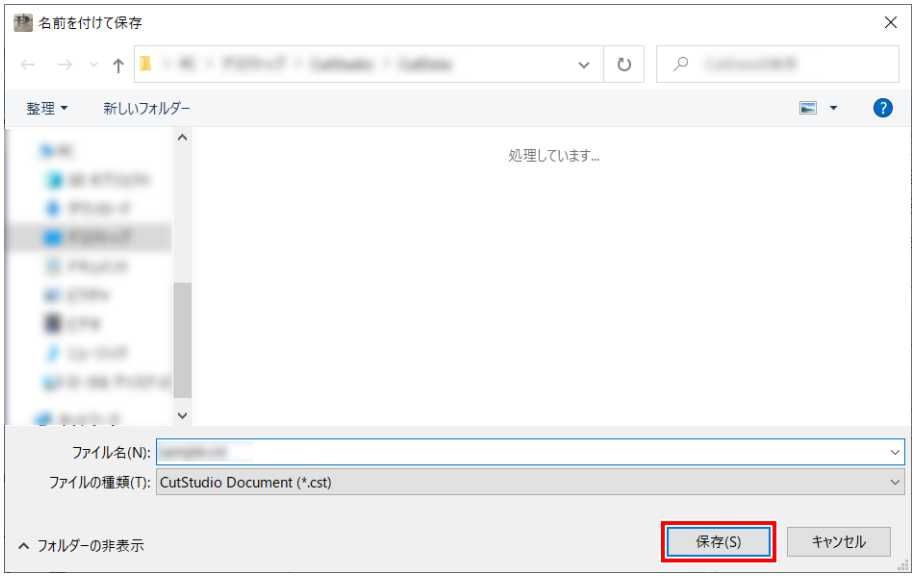
CutStudio に表示されている原点は、取り付けたシートの出力開始位置を示しています。
原点にオブジェクトを配置することで、シートが無駄に送られるのを防ぐことができます。

8. をクリックする。



9. 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[**保存**]をクリックする。

作成したデータが保存されます。



Step 2: カット条件を設定する

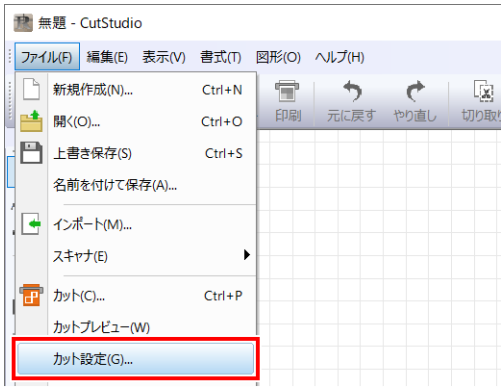
手順

1. シートがセットアップされていることを確認する。

P. 27 シートのセットアップ

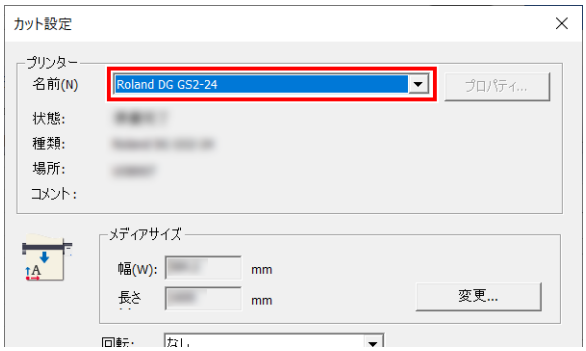
2. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

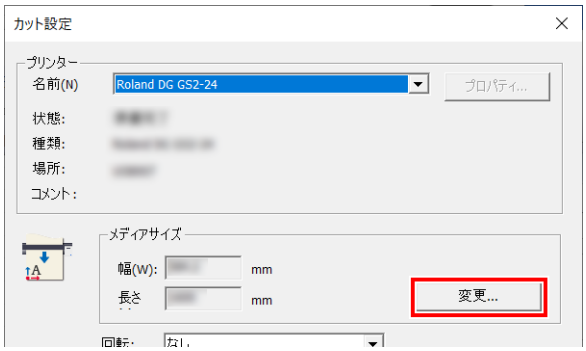


3. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。

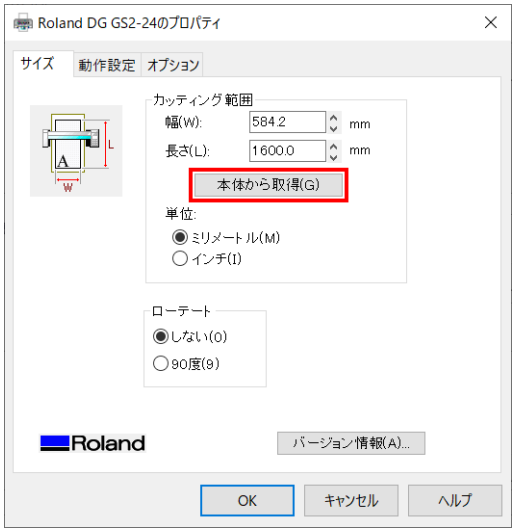


4. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。



5. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示が更新されます。

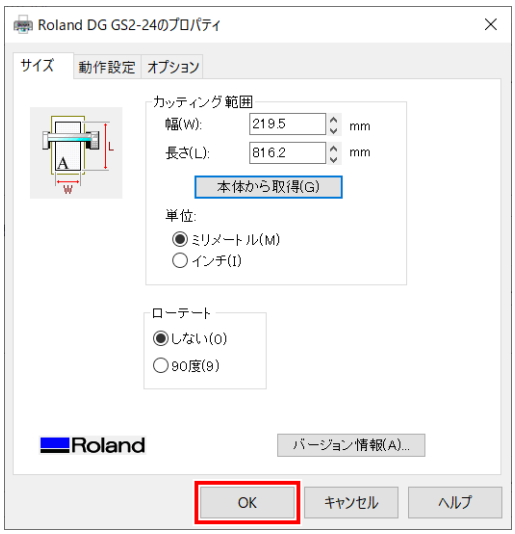


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

6. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

7. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]の設定になっています。

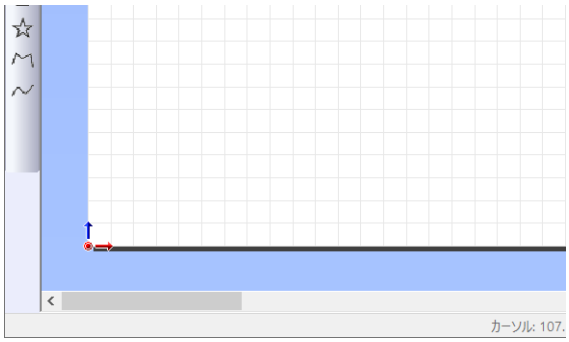
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

8. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。



Step 3: カットする

本機にカットデータを送信して、シートのカットを行います。

重要

シートが外れたときや、機体が異常な動作をしたときは、[PAUSE] を押して出力を中止してください。
ローディングレバーを下げてシートを取り外したあと、シートのセットアップを最初からやり直してください。

⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

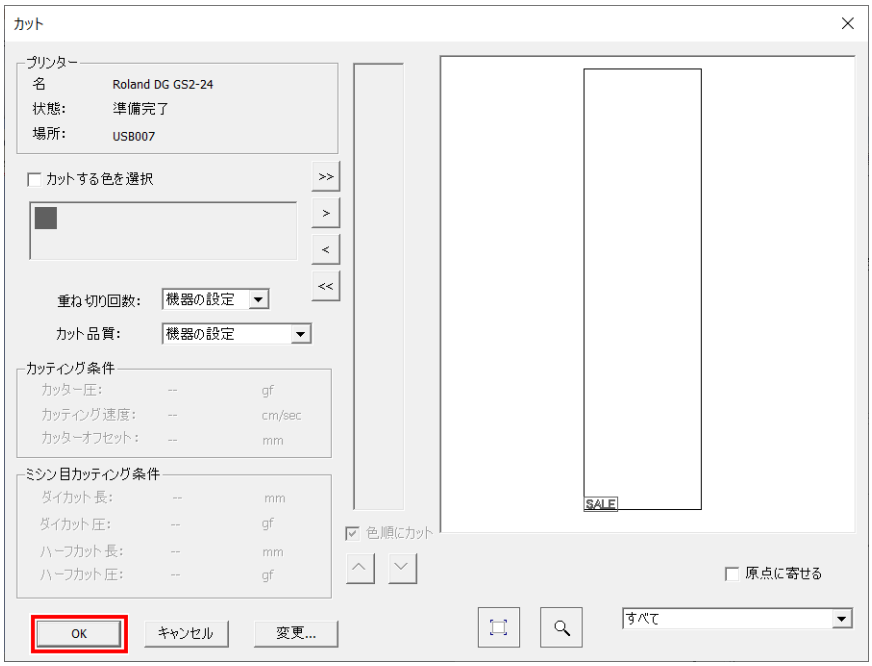
手順

1. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

2. [**OK**]をクリックする。

カットが開始されます。



関連情報

- P. 163 出力の一時停止と中止
- P. 27 シートのセットアップ

プリント&カットの方法

Step 1: プリント&カットデータを作成する

1. プリントデータを配置する

メモ

CutStudio で読み込むことができるのは、以下のファイル形式のデータのみです。

- JPEG 形式（CMYK で保存された JPEG 形式の画像は読み込めません）
- PNG 形式
- BMP 形式
- AI、EPS 形式（Illustrator8.0 バージョンのみ。その他のバージョンは読み込めないため、バージョンを落として保存し直してください）

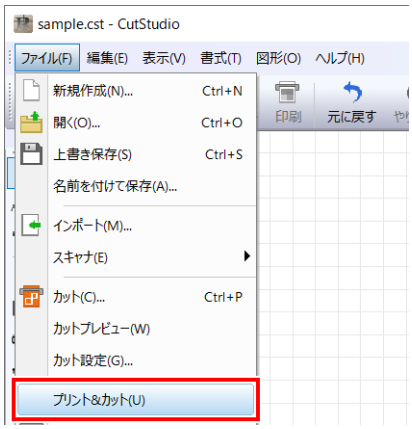
手順

1. CutStudio を起動する。

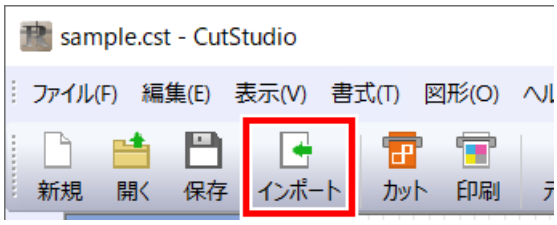
P. 14 CutStudio の起動方法

2. CutStudio の[**ファイル**]>[**プリント&カット**]をオンにする。

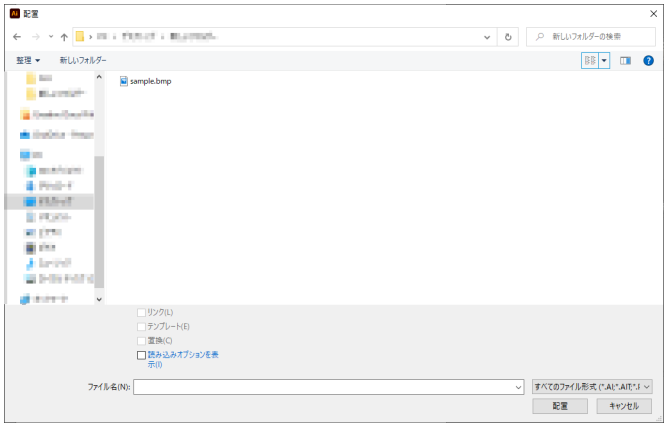
画面に印刷範囲とクロップマークが表示されます。印刷範囲は点線で表示されます。クロップマークは、[**プリンタ設定**]で指定する用紙のサイズから[**印刷設定**]で指定する余白を除いた範囲に表示されます。



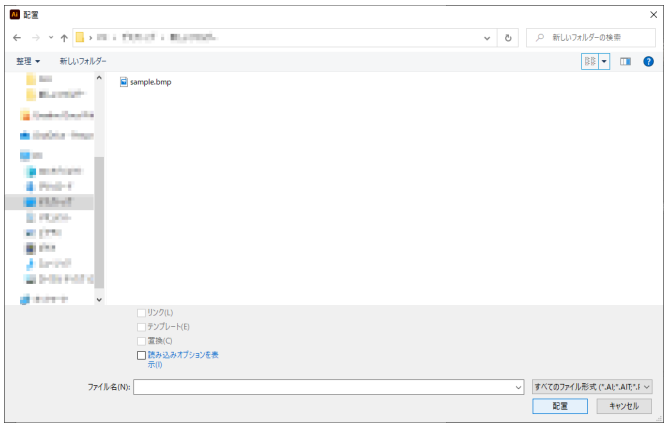
3. をクリックし、プリントデータを読み込む。



ここでは CutStudio のインストール先のフォルダ（通常は C ドライブの[**Program Files (x86)**]>[**CutStudio**]フォルダー）にある「Sample.bmp」をプリントデータとして開きます。

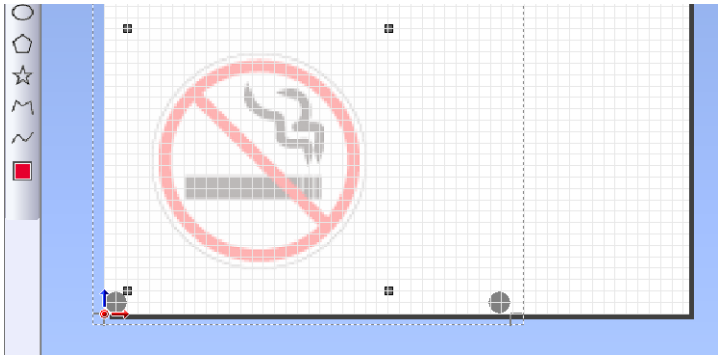


4. プリントデータを選択して、[**開く**]をクリックする。



5. プリントデータをクロップマーク内側の領域に配置する。

読み込んだ画像の濃さは変更できます。



関連情報

- P. 77 配置した画像の濃さを変える
- P. 305 Illustrator データを読み込み（インポート）できない
- P. 306 サンプルデータが見つからない

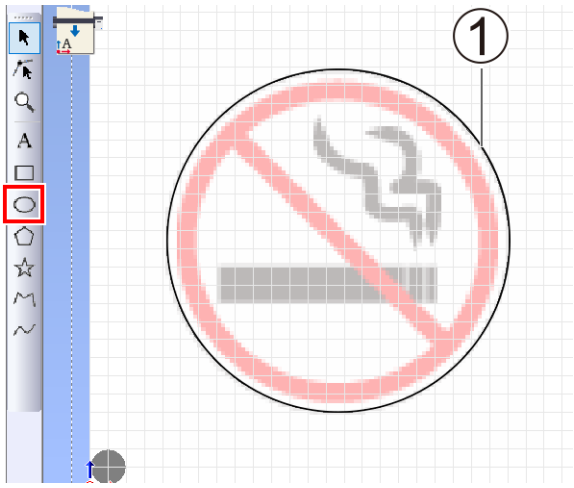
2. プリントデータにカット線を追加する

CutStudio で読み込んだプリントデータにカット線を追加して、プリント&カットデータを作成します。

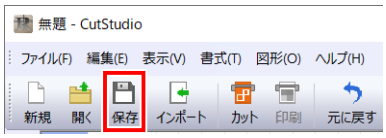
手順

1. を選択し、カット線を描く。

ここでは下記（①）のように、プリントデータの周りにカット線を描きます。

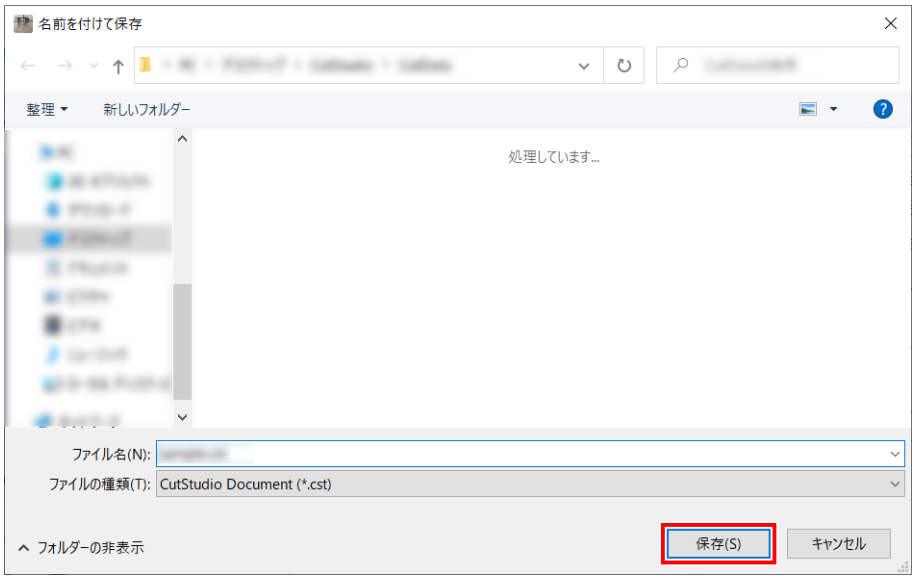


2. をクリックする。



3. 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[**保存**]をクリックする。

作成したプリント&カットデータが保存されます。

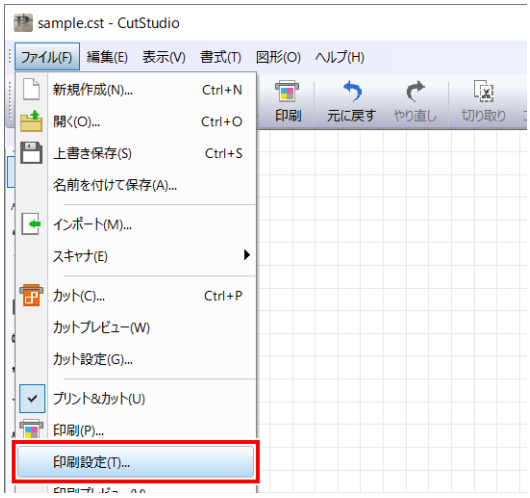


Step 2: プリント条件を設定する

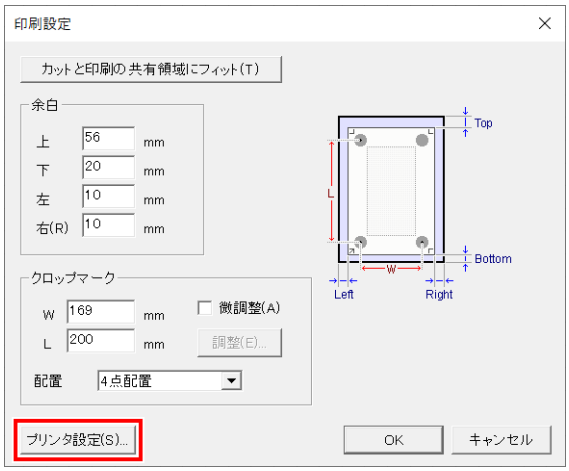
プリント＆カットの印刷範囲とクロップマークを設定します。

手順

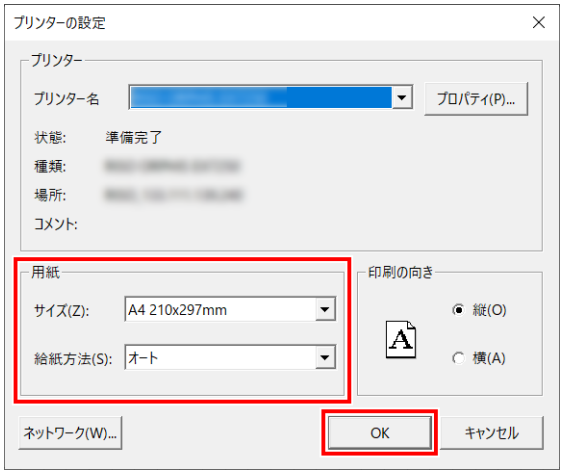
1. [**ファイル**]>[**印刷設定**]をクリックする。



2. [**プリンタ設定**]をクリックする。

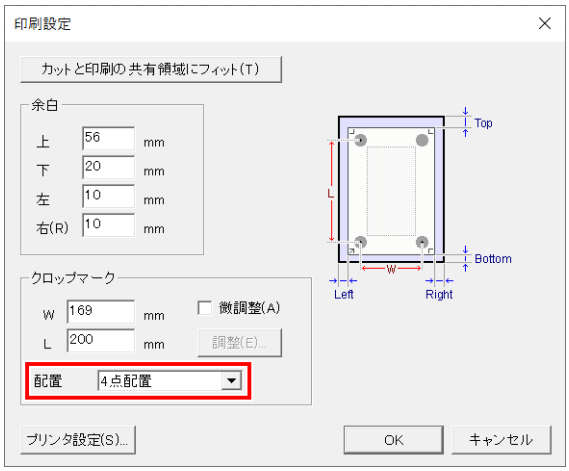


3. 用紙サイズを設定し、[**OK**]をクリックする。



4. クロップマークの数を選択する。

[**配置**]で[**4 点配置**]または[**3 点配置**]を選択します。



[**4 点配置**]	クロップマーク 4 点
[**3 点配置**]	クロップマーク 3 点

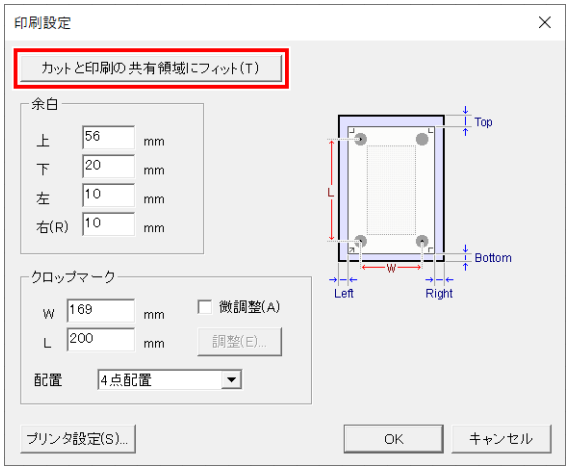
メモ

通常は[**4 点配置**]を使用します。

[**3 点配置**]は[**4 点配置**]より読み込むクロップマークの数が少ないため、カットに要する時間を短縮できますが、ツールモードは使用できません。

5. [**カットと印刷の共有領域にフィット**]をクリックする。

クロップマークの位置を自動で設定します。



メモ

クロップマークの位置を手動で設定する場合は、以下の表を参考にして余白とクロップマーク間の距離を指定してください。送り量が多い（シート長さが長い）シートのときは、左右の余白をそれぞれ 25 mm 程度確保することをおすすめします。

クロップマーク 4 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離　（単位：mm）

設定項目		A4		A3		B4	
		縦	横	縦	横	縦	横
[余白]	[上]	56	59	59	61	58	56
	[下]	20	20	20	20	20	20
	[左]	10	30	30	15	15	14
	[右]	10	16	16	14	16	14
[クロップマーク]	[W]	170	230	230	370	205	315
	[L]	200	110	320	195	265	160

クロップマーク 3 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離　（単位：mm）

設定項目		A4		A3		B4	
		縦	横	縦	横	縦	横
[余白]	[上]	56	60	60	62	59	57
	[下]	20	20	20	20	20	20
	[左]	15	30	30	15	15	15
	[右]	15	17	17	15	17	14
[クロップマーク]	[W]	170	240	240	380	215	325
	[L]	210	120	330	205	275	170

6. [OK]をクリックする。

設定後、クロップマークが印刷範囲内にあることを確認してください。

メモ

表に記載されたサイズより大きなシートをお使いの場合は、余白 / クロップマーク間の距離（P. 316）を参照して設定してください。

Step 3: プリント&カットデータを出力する

1. プリント&カットデータを印刷する

CutStudio からお使いのプリンターにプリントデータを送信し、プリント＆カットデータを印刷します。

手順

1. シートをプリンターにセットする。

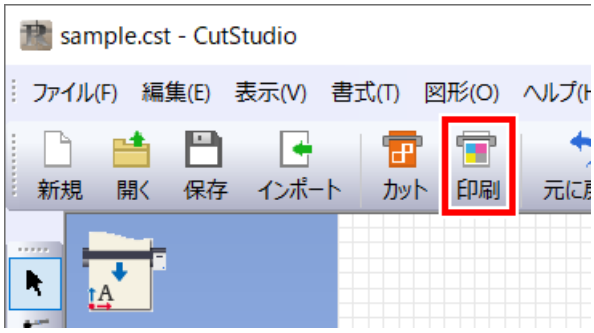
シートのセット方法については、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。

重要

拡大 / 縮小印刷がオンのときはオフにします。必ず縮尺率 100 %で印刷してください。

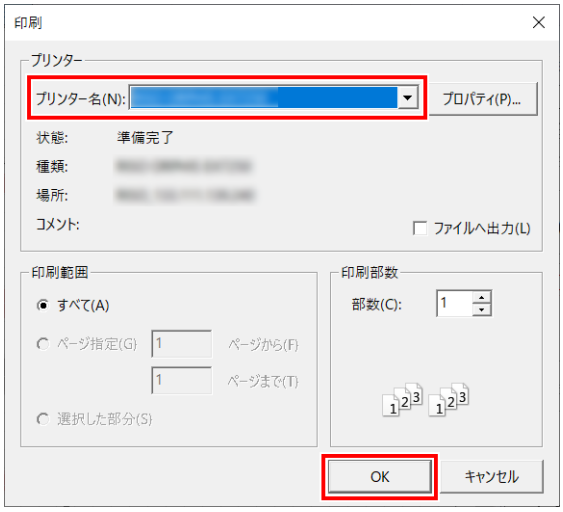
2. をクリックする。

[**印刷**]画面が表示されます。



3. 印刷するプリンターを選択し、[**OK**]をクリックする。

プリントデータのみが印刷されます。



2. 印刷したシートを取り付ける

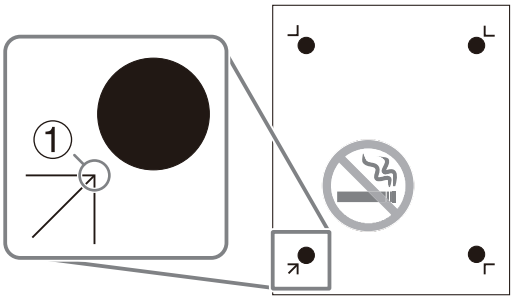
お使いのプリンターで印刷したシートを本機に取り付けます。

重要

クロップマークを読みとれない場合があるため、反ったシートは使用できません。プリンターで印刷する際にシートが反ってしまったときは、反りを直してから本機に取り付けてください。

手順

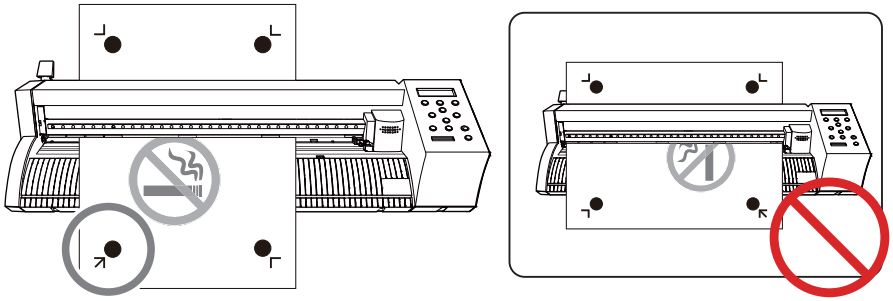
1. シートのカット原点（①）を確認する。



2. シートのカット原点を左下にして機体にセットする。

重要

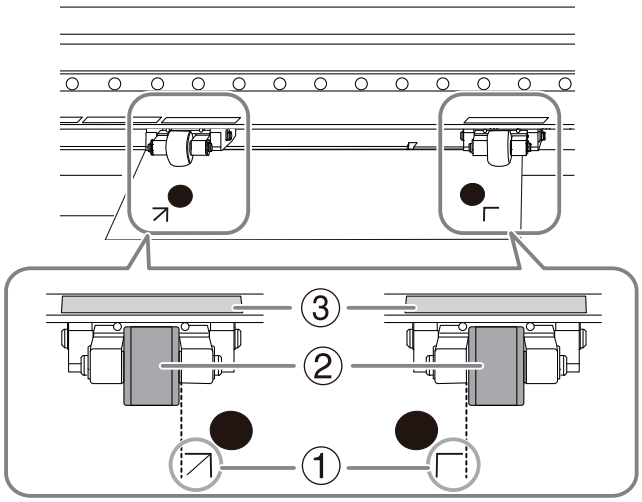
シートの向きを間違って取り付けると、クロップマークを読み取れません。



3. ピンチローラーを配置する。

ピンチローラーを配置するときは、次の点に注意してください。

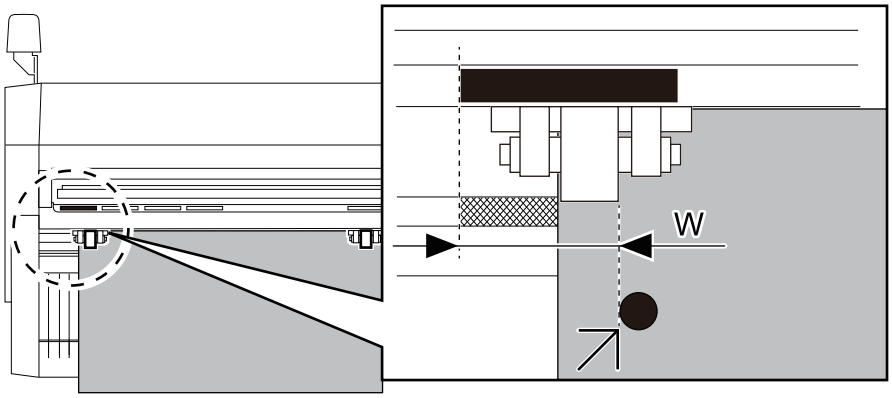
- ツールマーク（①）の外側にピンチローラー（②）を配置する
- ピンチローラー（②）はグリットマーク（③）の範囲内に入る位置にする



メモ

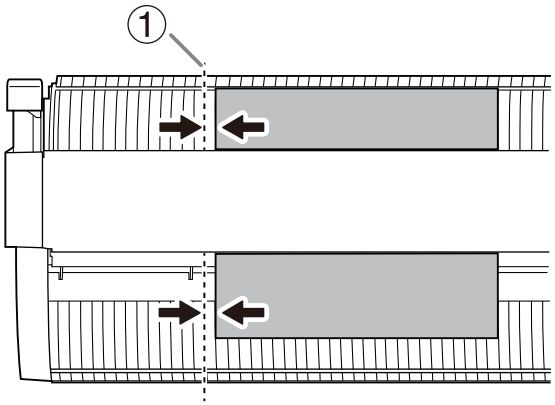
クロップマークの位置を手動で設定し、A3、A4、B4 以外のシートを使用するときは、次のことに注意してください。

- 一番左のグリットマークの範囲でピンチローラーを使用するときは、左グリットマーク左端からクロップマークまでの距離を 30 mm（W）以上確保してください。30 mm 以上確保しないとクロップマークを読み取ることができません。



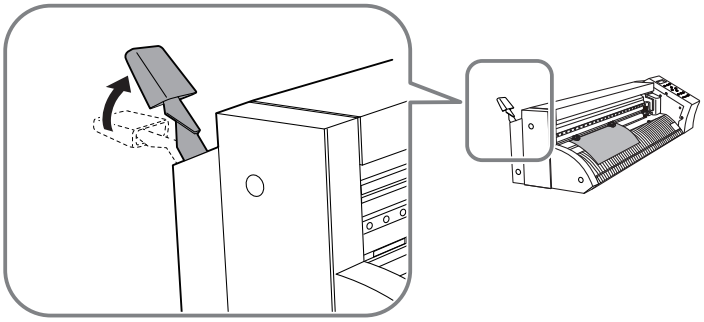
4. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



5. ローディングレバーを上げる。

シートが固定されます。



6. 機体の電源をオンにする。

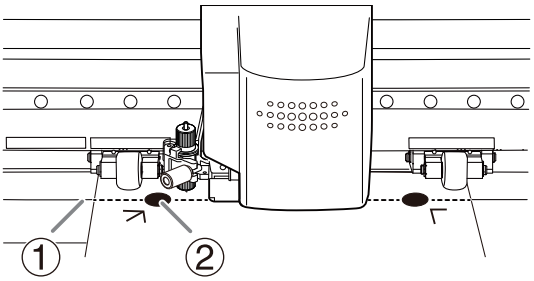
7. シートの種類で[**ハザイ**]を選択する。

8. [ENTER] を押す。

カット可能な幅と長さが表示されます。

```
W:***mm
L:***mm
```

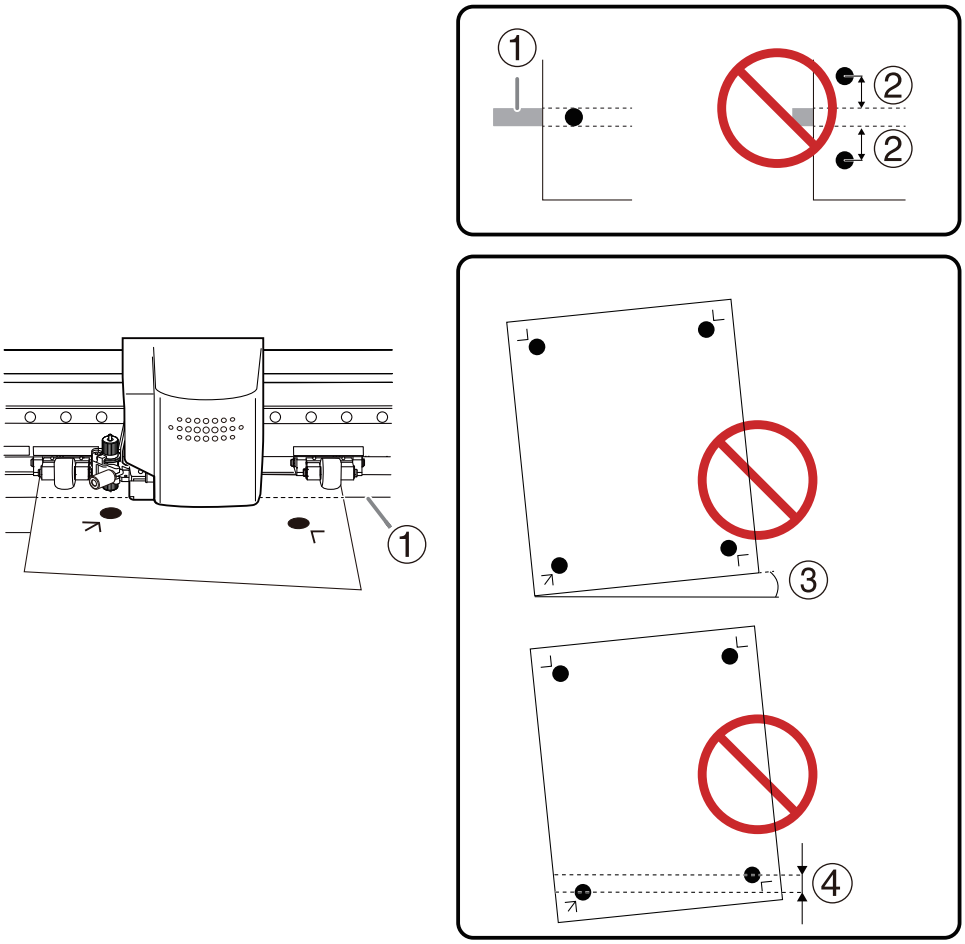
9. [▲] [▼] を押してシートを移動し、カッタープロテクション（①）の上にクロップマーク（②）を配置する。



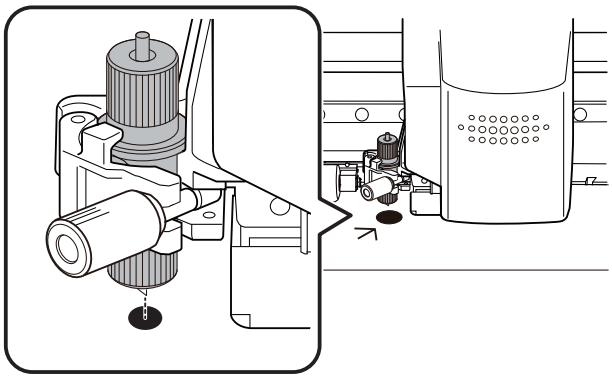
重要

以下の場合、クロップマークを読みとることができません。一旦シートを取り外し、取り付けなおしてください。

- クロップマークがカッタープロテクション（①）から 15 mm 以上（②）離れている
- 左右のクロップマークがカッティングキャリッジの移動方向に対して 5 度以上（③）傾いている
- 左右のクロップマークがシートの送り方向に対して 20 mm 以上（④）ずれている



10. ［◀］［▶］を押し、カッターの刃先が左下のクロップマークの中心となる位置にカッティングキャリッジを移動する。



Step 4: 自動で位置合わせするように設定する

本機に内蔵されたセンサーを使って、自動でクロップマークの位置合わせを行います。

手順

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クロップマーク
<ツールモード>
```

3. [▶] を押す。

4. [▲] [▼] を押して、〔センサーモード〕を選択する。

```
クロップマーク
 センサーモード
```

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

Step 5: カット条件を設定する

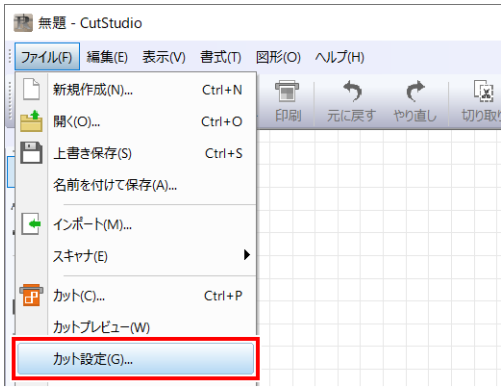
手順

1. シートがセットアップされていることを確認する。

P. 27 シートのセットアップ

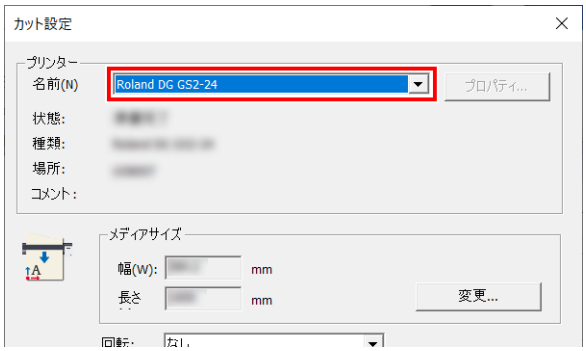
2. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

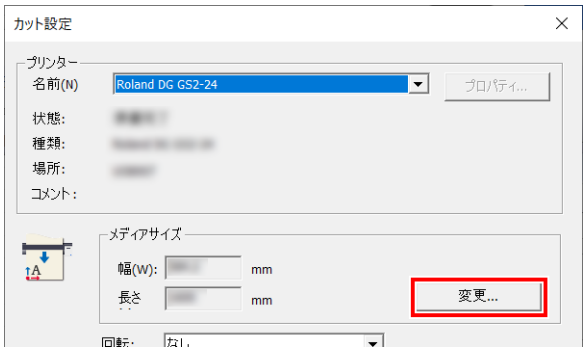


3. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。



4. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。

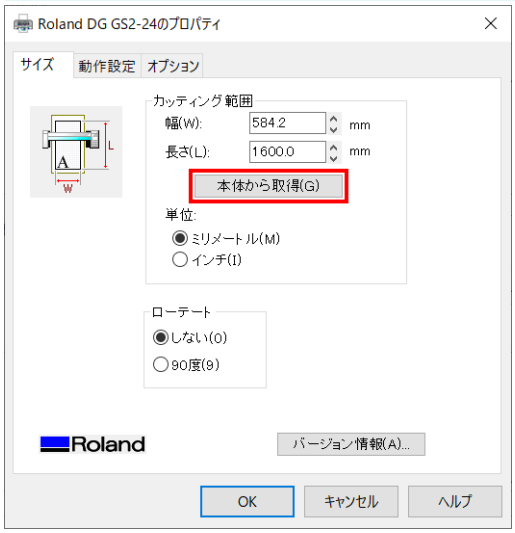


5. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示が更新されます。

メモ

[**ローテート**]は、[**しない (0)**]から変更しないでください。

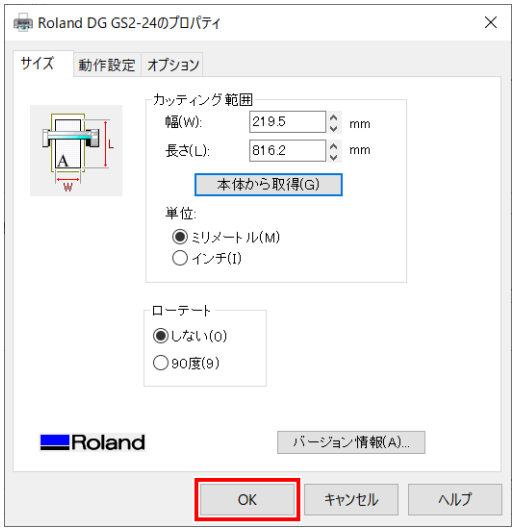


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

6. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

7. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]の設定になっています。

カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

8. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。

Step 6: カットする

本機にプリント&カットデータを送信し、カットを開始します。

⚠警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

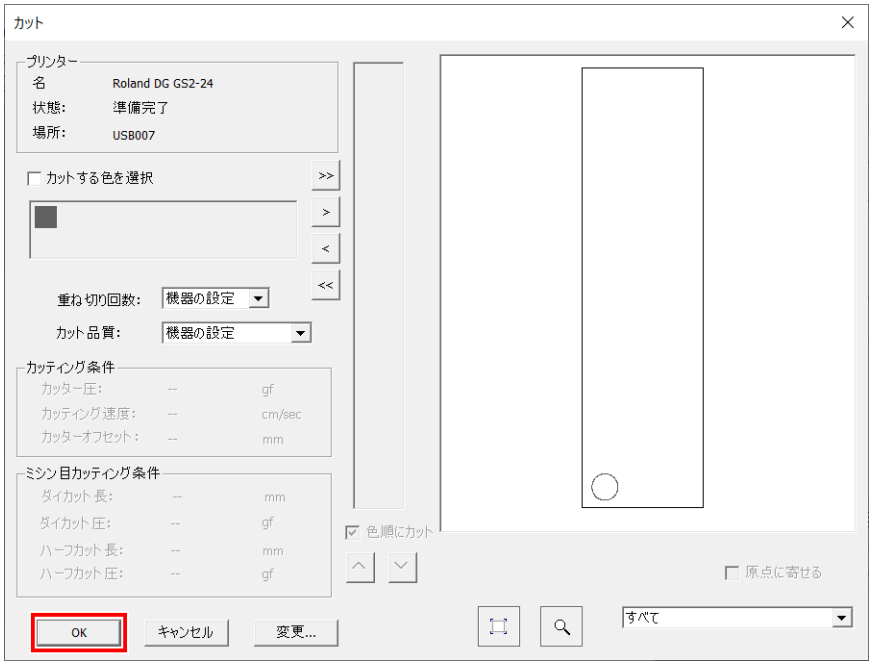
手順

1. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

2. [**OK**]をクリックする。

プリント&カットデータが本機に送信されます。本機がプリント&カットデータを受信すると、自動的にセンサーでクロップマークを読み取り、カットを開始します。



メモ

クロップマークの読み取りに失敗すると、以下の画面が表示されます。
以下の画面が表示された場合は、クロップマークを検出できない（P. 271）を参考にしてエラーを解決してください。

```
<ツールモード>ニ
 キリカエテクダサイ
```

それでも解決しないときは、ツールモードに切り替えて位置合わせを行ってください。

P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

3. カットされたシートを取り外す。

関連情報

- P. 160 シートを取り外す

応用的なデータ作成の方法

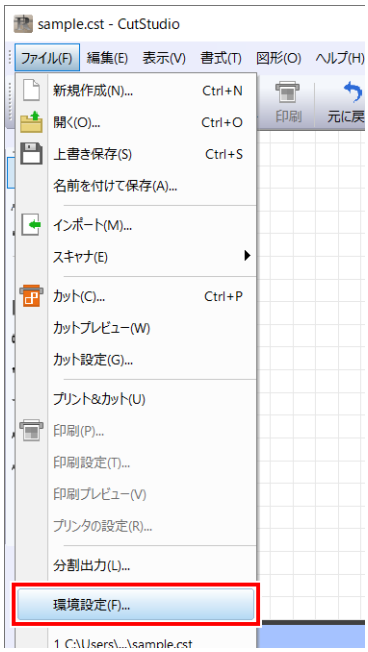
CutStudio でデータ作成するうえで、知っていると便利な使い方を紹介します。

配置した画像の濃さを変える

CutStudio にインポートした画像の濃さを変えることができます。

手順

1. **[ファイル]>[環境設定]**をクリックする。



2. **[全般]>[画像表示の濃度]**を設定する。

- 設定範囲：1 ～ 100 %

3. [**OK**]をクリックする。

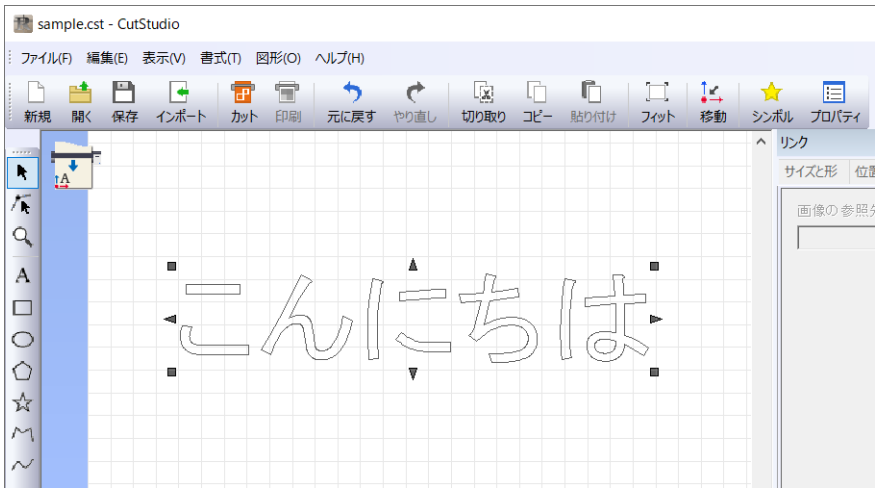
フォントを縦書きにする

重要

アルファベットには対応していません。

手順

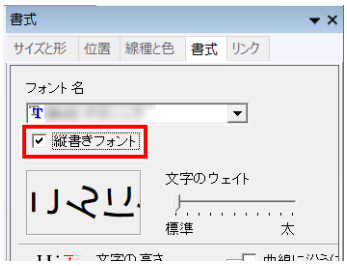
1. で縦書きにしたい文字を選択する。



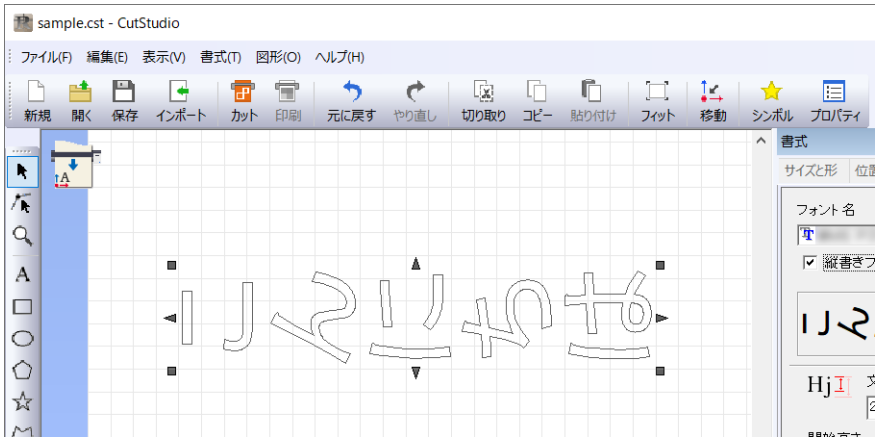
2. をクリックする。

ドッキングパネルが開きます。

3. [**書式**]パネルを選択後、[**縦書きフォント**]をオンにする。



フォントが縦書きになります。



メモ

文字の向きを変えたい場合は、[**サイズと形**]パネルの[**回転角**]で設定します。

4. フォントを選択する。

縦書きに対応している日本語フォントが表示されます。

保存したシンボルを新しいコンピューターに移行する

メモ

シンボルの保存方法は、CutStudio のヘルプを確認してください。

手順

1. 下記のアドレスにある[**Symbol**]フォルダーをコピーする。

- C:\ProgramData\Roland DG Corporation\CutStudio\Symbol

メモ

フォルダーが表示されない場合は、隠しファイルの表示設定を確認してください。
P. 306 サンプルデータが見つからない

2. 新しいコンピューターに[**Symbol**]フォルダーをコピーする。

新しいコンピューターの同じところに、フォルダーをコピーします。

Adobe Illustrator でカットデータを作成するとき（Windows をお使いの場合）

カットの方法 **83**
Step 1: カットデータを作成する 83
Step 2: CutStudio にカットデータを出力する 85
Step 3: カット条件を設定する 87
Step 4: カットする 90
Adobe Illustrator のヘルプを確認する 91
プリント&カットの方法 **92**
Step 1: プリント条件を設定する 92
Step 2: プリント&カットデータを作成する 95
Step 3: プリント&カットデータを出力する 98
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 103
Step 5: CutStudio にプリント&カットデータを送信する 104
Step 6: カット条件を設定する 105
Step 7: カットする 108

カットの方法

Adobe Illustrator を使用してカットデータを作成し、カットする方法を説明します。
Adobe Illustrator で作成したカットデータを CutStudio へ出力するには、CutStudio Plug-in for Adobe Illustrator をインストールする必要があります。
最新の対応バージョンについては、当社ウェブサイト（https://www.rolanddg.co.jp/）をご覧ください。

関連情報

- GS2-24 インストールと初期設定 Windows 版

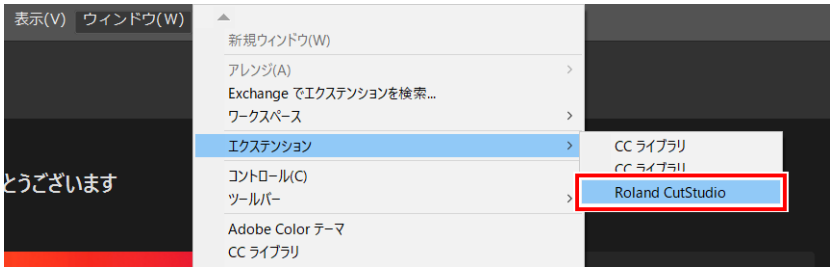
Step 1: カットデータを作成する

文字や図形を入力し、カットデータを作成します。ここでは、Adobe Illustrator 2020 でカットデータの作成方法を説明しますが、他のバージョンでも操作方法は同じです。

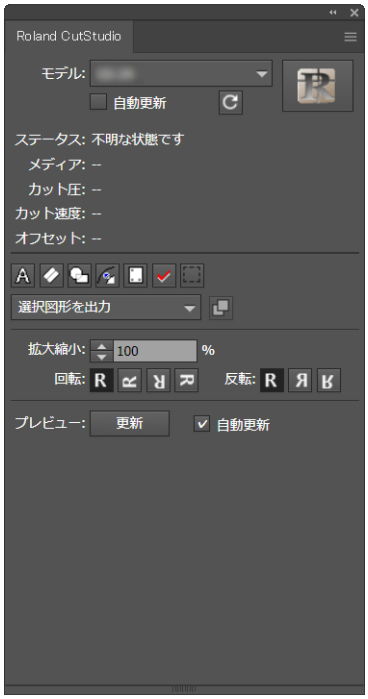
手順

1. Adobe Illustrator を起動する。

2. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。



[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

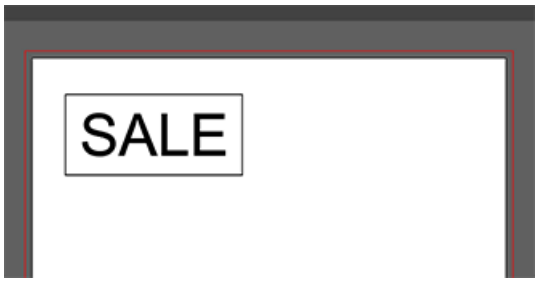


3. 新規ドキュメントを作成する。

ドキュメントのサイズは、シートのセットアップ後に機体のディスプレイに表示されたカット可能なサイズに設定します。

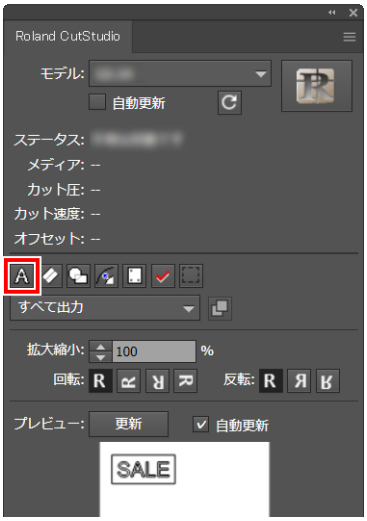
4. 文字または図形を入力する。

ここでは「SALE」と入力し、「SALE」を囲むように枠を描きます。この枠は「カス取り線」といい、カットデータをはがしやすくします。



メモ

文字はアウトライン化してください。文字を選択し、[**Roland CutStudio**]パレットの A をクリックするとアウトラインデータになります。

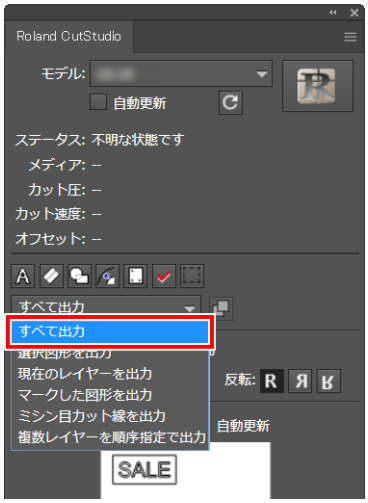


Step 2: CutStudio にカットデータを出力する

Adobe Illustrator で作成したカットデータを、CutStudio へ送信します。

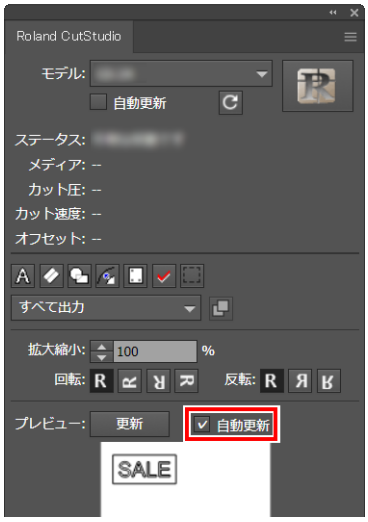
手順

1. [**Roland CutStudio**]パレットの[**すべて出力**]を選択する。



2. パレットの[**自動更新**]をオンにする。

出力するオブジェクトがプレビュー表示されます。

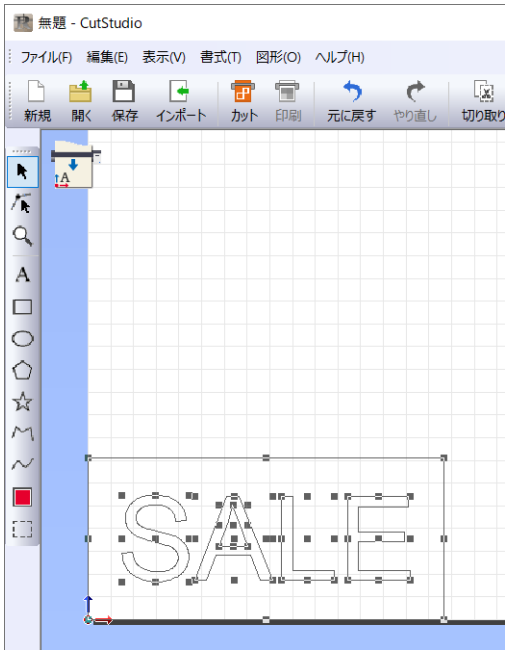


3. をクリックする。

CutStudio が起動し、カット線のデータが CutStudio に送られます。

メモ

出力されたデータは Adobe Illustrator 上の配置にかかわらず、常に CutStudio の原点に合わせて配置されます。（クロップマーク付きのデータは除きます。）


無題 - CutStudio
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 書式(T) 図形(O) ヘルプ(H)
新規 開く 保存 インポート カット 印刷 元に戻す やり直し 切り取り
SALE

Step 3: カット条件を設定する

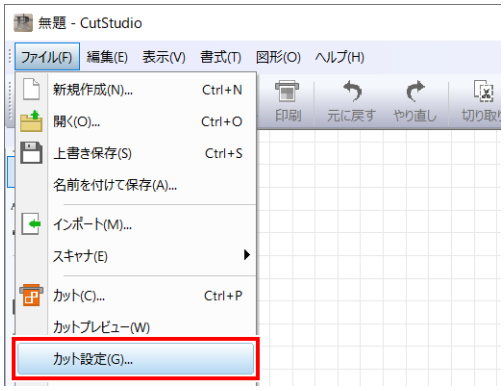
手順

1. シートがセットアップされていることを確認する。

P. 27 シートのセットアップ

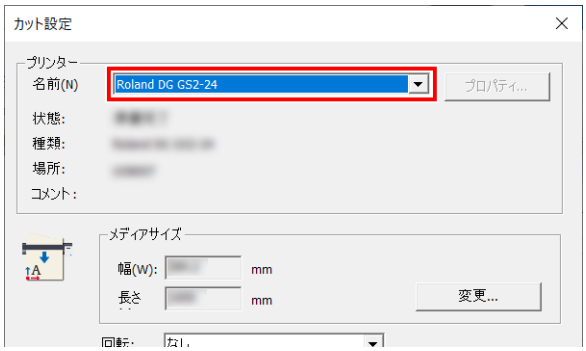
2. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

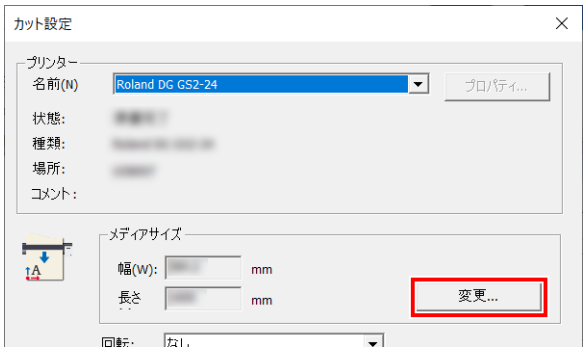


3. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。

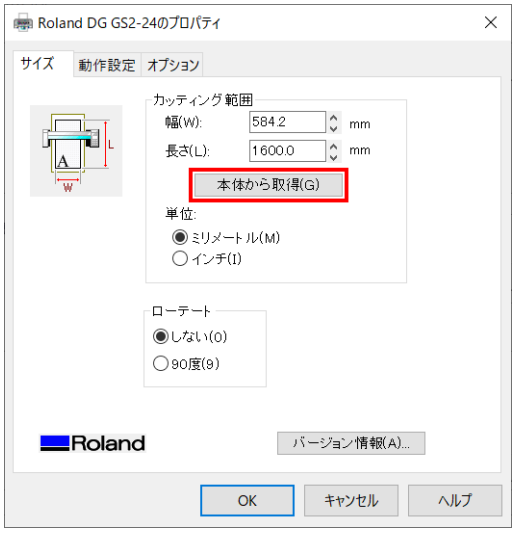


4. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。



5. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示が更新されます。

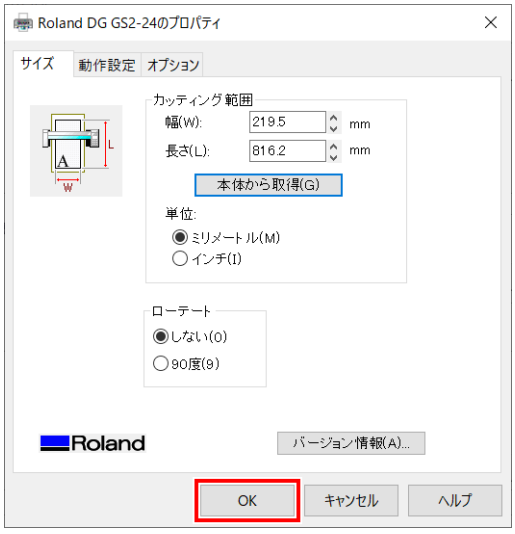


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

6. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

7. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]の設定になっています。

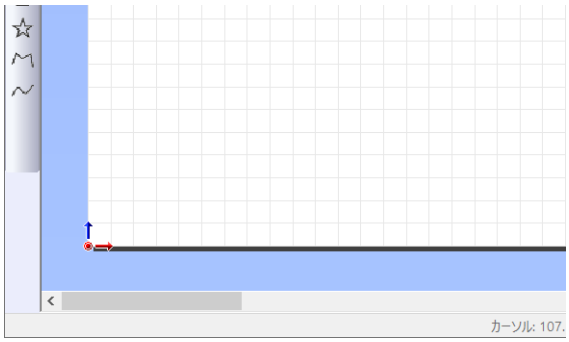
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

8. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。



Step 4: カットする

本機にカットデータを送信して、シートのカットを行います。

重要

シートが外れたときや、機体が異常な動作をしたときは、[PAUSE] を押して出力を中止してください。
ローディングレバーを下げてシートを取り外したあと、シートのセットアップを最初からやり直してください。

⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

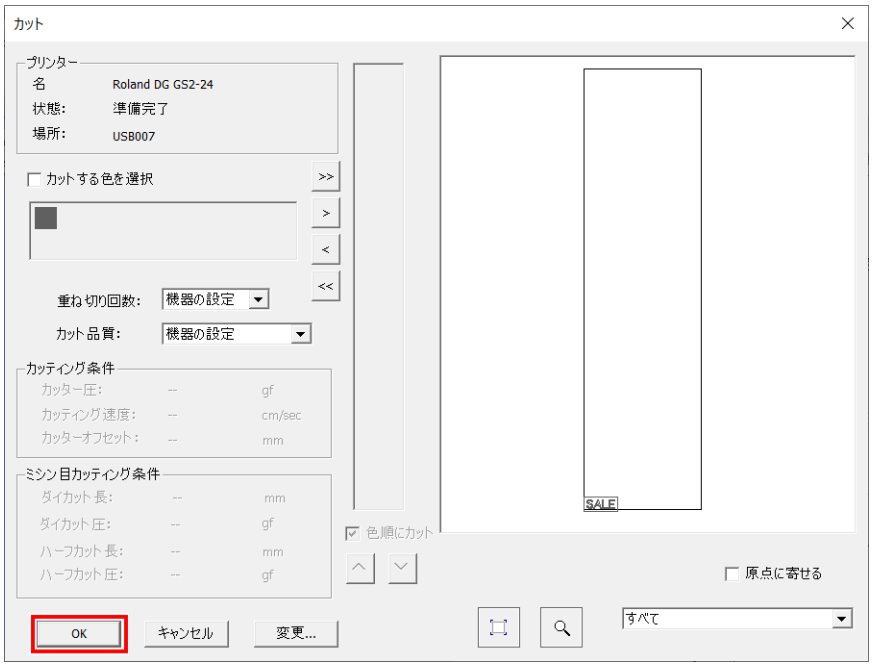
手順

1. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

2. [**OK**]をクリックする。

カットが開始されます。



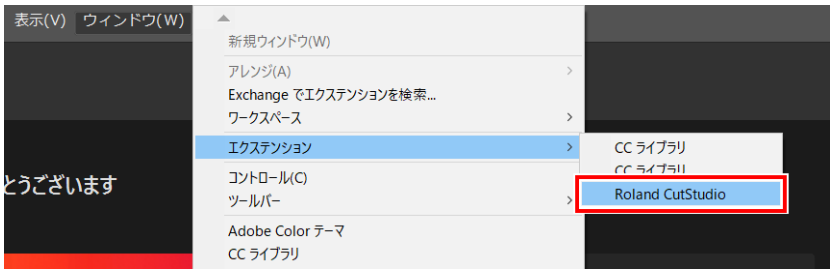
関連情報

- P. 27 シートのセットアップ

Adobe Illustrator のヘルプを確認する

手順

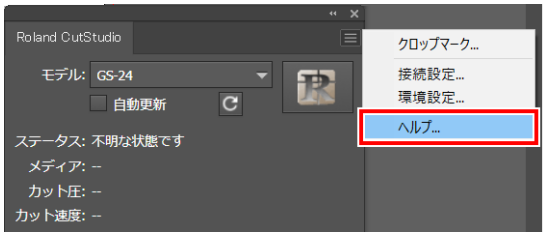
1. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。



[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

2. パレットの ☰ をクリックする。

3. [**ヘルプ**]をクリックする。



プリント&カットの方法

Step 1: プリント条件を設定する

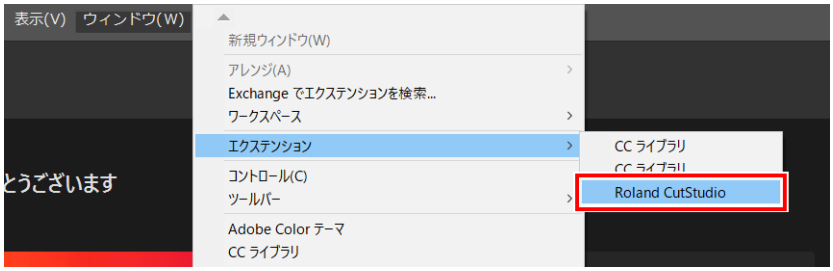
プリント＆カットの印刷範囲とクロップマークを設定します。

手順

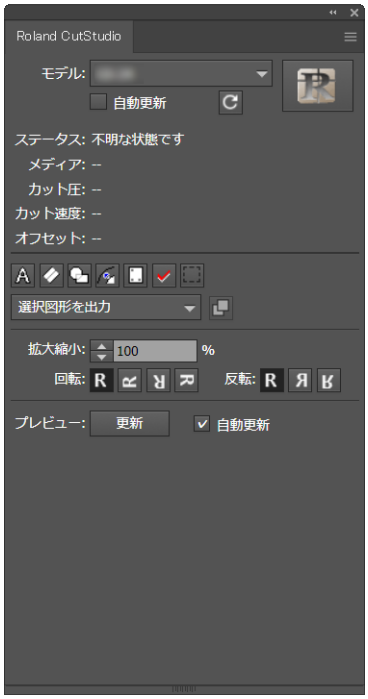
1. Adobe Illustrator を起動し、新規ドキュメントを開く。

アートボードの設定をします。

2. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。



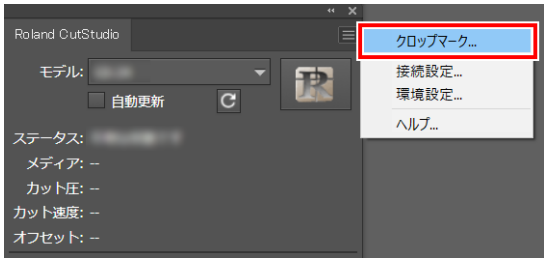
[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。



3. パレットの をクリックする。

アートボードにクロップマークが挿入されます。

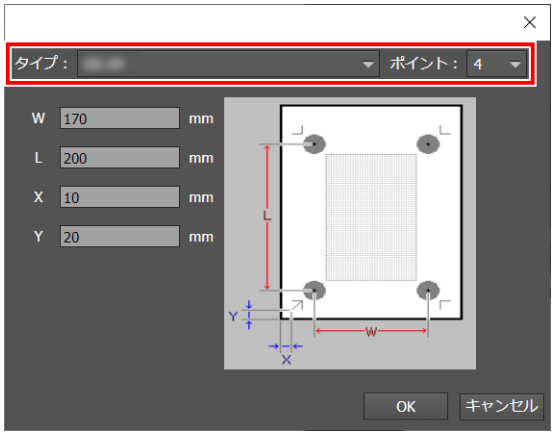
4. パレットの をクリックし、[**クロップマーク**]をクリックする。



5. **[タイプ]、[ポイント]を設定する。**

[**タイプ**]は「GS2-24」を選択します。

[**ポイント**]はクロップマークの数を表しています。



[**ポイント**]が「4」の場合	クロップマーク 4 点
[**ポイント**]が「3」の場合	クロップマーク 3 点

通常は[**ポイント**]で「4」を選択します。[**ポイント**]が「3」の場合、ツールモードが使用できません。

6. **余白およびクロップマーク間の距離を設定し、[OK]をクリックする。**

余白、クロップマーク間の距離については、以下の表を参考にしてください。送り量が多い（シート長が長い）シートのときは、左右の余白をそれぞれ 25 mm 程度確保することをおすすめします。

クロップマーク 4 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離（単位：mm）

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[W]	170	230	230	370	205	315
[L]	200	110	320	195	265	160
[X]	10	30	30	15	15	15
[Y]	20	20	20	20	20	20

クロップマーク 3 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離（単位：mm）

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[W]	170	240	240	380	215	325
[L]	210	120	330	205	275	170

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[X]	15	30	30	15	15	15
[Y]	20	20	20	20	20	20

メモ

上記以外のより大きなサイズのシートをお使いの場合は、余白 / クロップマーク間の距離（P. 316）を参照して設定してください。

アートボード内にクロップマークが表示されます。

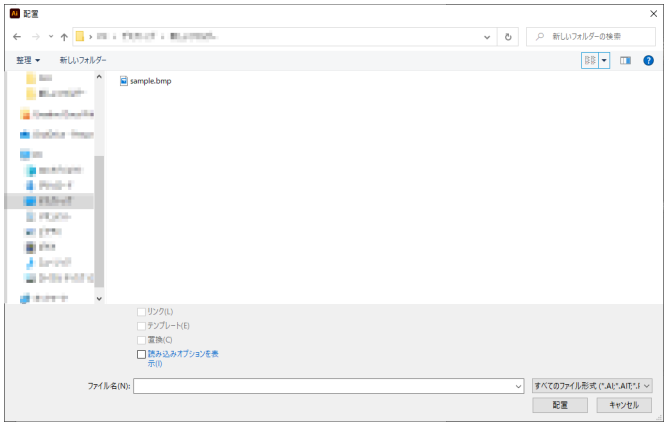
Step 2: プリント&カットデータを作成する

1. プリントデータを配置する

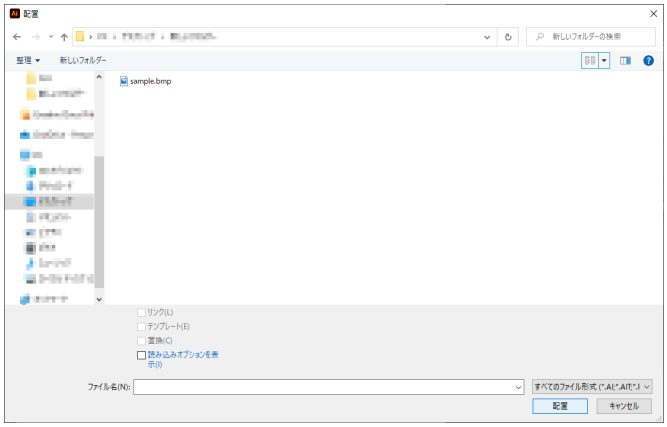
手順

1. [**ファイル**]>[**配置**]をクリックし、プリントデータを読み込む。

   ここでは CutStudio のインストール先のフォルダ（通常は C ドライブの[**Program Files (x86)**]>[**CutStudio**]フォルダー）にある「Sample.bmp」をプリントデータとして開きます。



2. プリントデータを選択して、[**配置**]をクリックする。



3. プリントデータをクロップマーク内側の領域に配置する。

2. プリントデータにカット線を追加する

配置したプリントデータにカット線を追加して、プリント&カットデータを作成します。

手順

1. **カット線用に新規レイヤーを作成し、カット線を描く。**
   ここでは下記（①）のように、プリントデータの周りにカット線を描きます。

2. [**ファイル**]>[**保存**]をクリックする。

3. **保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**
   作成したプリント&カットデータが保存されます。

Step 3: プリント&カットデータを出力する

1. プリント&カットデータを印刷する

お使いのプリンターにプリントデータを送信し、プリント＆カットデータを印刷します。

手順

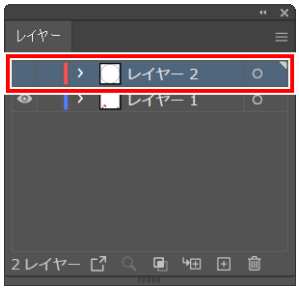
1. シートをプリンターにセットする。

シートのセット方法については、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。

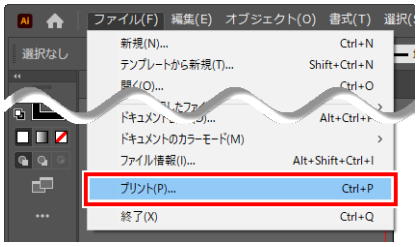
重要

拡大/ 縮小印刷がオンのときはオフにします。必ず縮尺率 100 %で印刷してください。

2. カット線が描かれたレイヤーを非表示にする。



3. [**ファイル**]>[**プリント**]をクリックする。



4. 印刷設定を確認し、[**プリント**]をクリックする。

プリントデータのみが印刷されます。

2. 印刷したシートを取り付ける

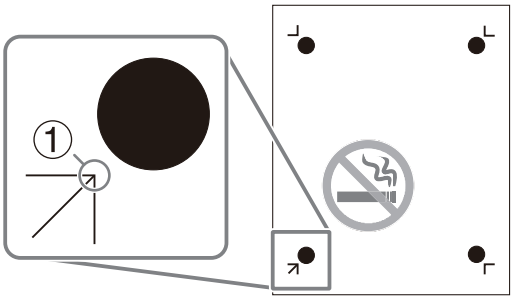
お使いのプリンターで印刷したシートを本機に取り付けます。

重要

クロップマークを読みとれない場合があるため、反ったシートは使用できません。プリンターで印刷する際にシートが反ってしまったときは、反りを直してから本機に取り付けてください。

手順

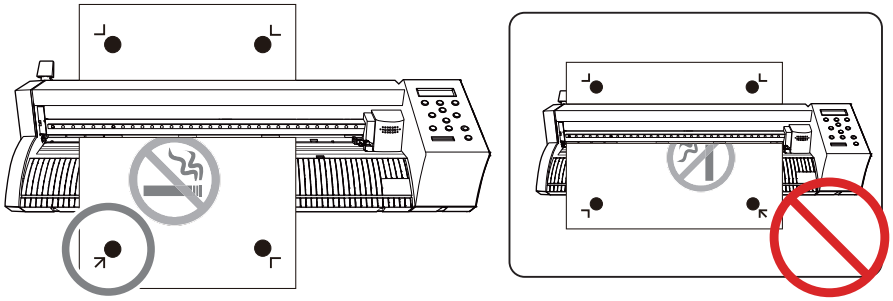
1. シートのカット原点（①）を確認する。



2. シートのカット原点を左下にして機体にセットする。

重要

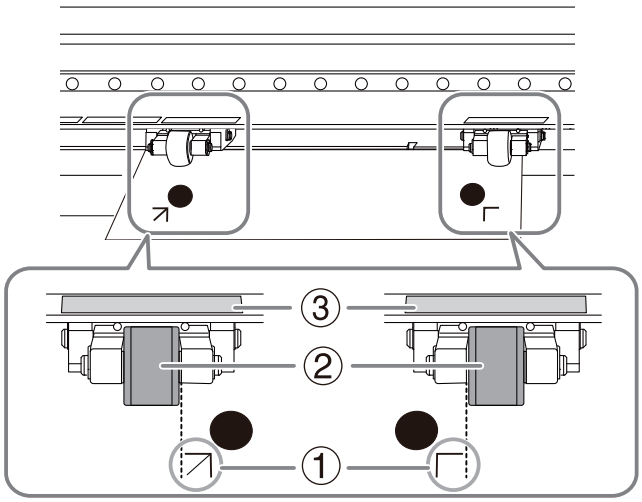
シートの向きを間違って取り付けると、クロップマークを読み取れません。



3. ピンチローラーを配置する。

ピンチローラーを配置するときは、次の点に注意してください。

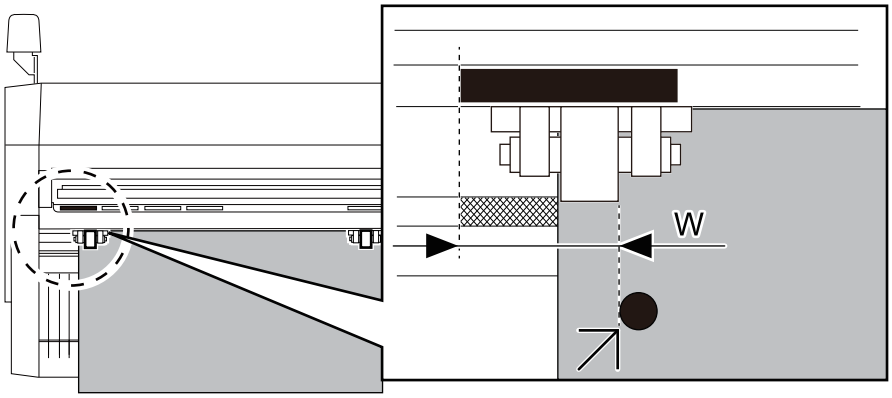
- ツールマーク（①）の外側にピンチローラー（②）を配置する
- ピンチローラー（②）はグリットマーク（③）の範囲内に入る位置にする



メモ

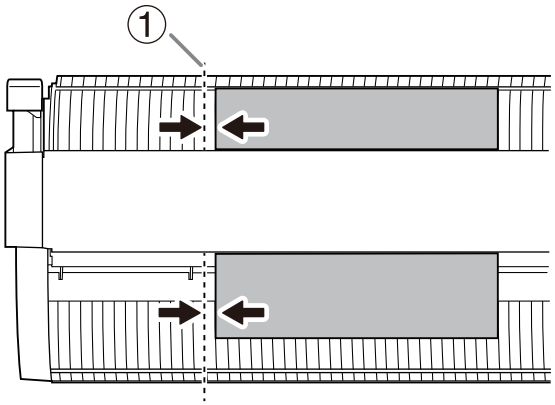
クロップマークの位置を手動で設定し、A3、A4、B4 以外のシートを使用するときは、次のことに注意してください。

- 一番左のグリットマークの範囲でピンチローラーを使用するときは、左グリットマーク左端からクロップマークまでの距離を 30 mm（W）以上確保してください。30 mm 以上確保しないとクロップマークを読み取ることができません。



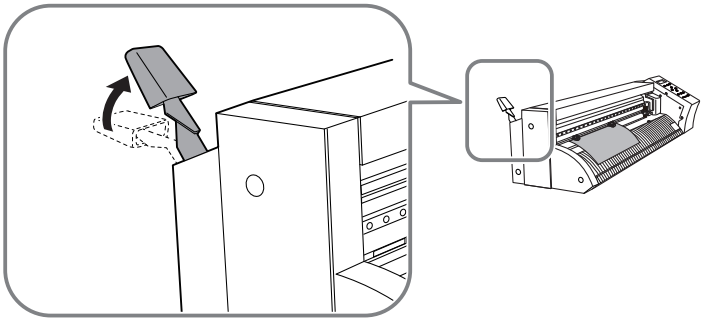
4. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



5. ローディングレバーを上げる。

シートが固定されます。



6. 機体の電源をオンにする。

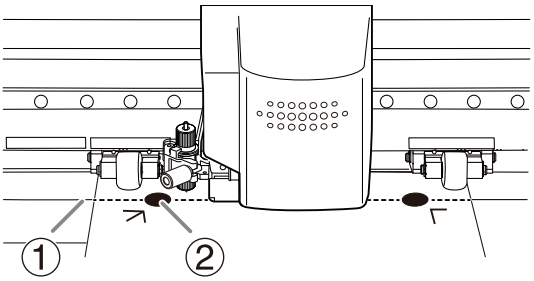
7. シートの種類で[**ハザイ**]を選択する。

8. [ENTER] を押す。

カット可能な幅と長さが表示されます。

```
W:***mm
L:***mm
```

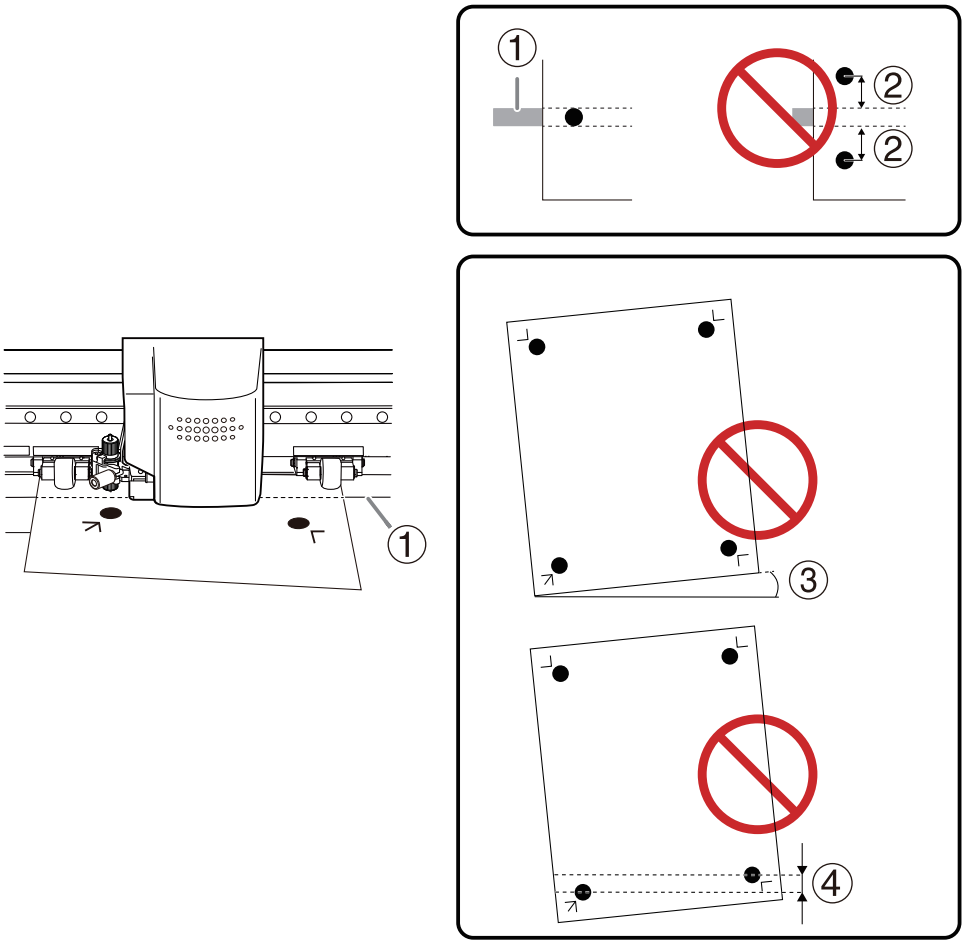
9. [▲] [▼] を押してシートを移動し、カッタープロテクション（①）の上にクロップマーク（②）を配置する。



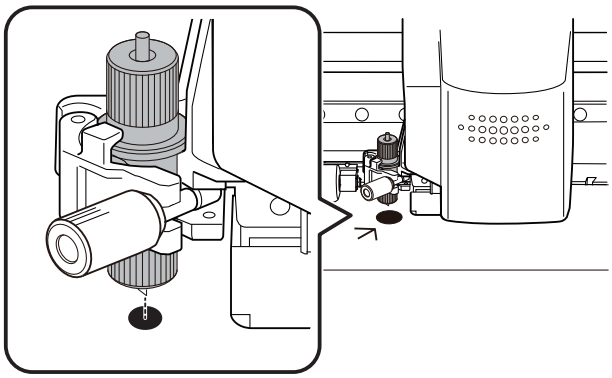
重要

以下の場合、クロップマークを読みとることができません。一旦シートを取り外し、取り付けなおしてください。

- クロップマークがカッタープロテクション（①）から 15 mm 以上（②）離れている
- 左右のクロップマークがカッティングキャリッジの移動方向に対して 5 度以上（③）傾いている
- 左右のクロップマークがシートの送り方向に対して 20 mm 以上（④）ずれている



10. ［◀］［▶］を押し、カッターの刃先が左下のクロップマークの中心となる位置にカッティングキャリッジを移動する。



Step 4: 自動で位置合わせするように設定する

本機に内蔵されたセンサーを使って、自動でクロップマークの位置合わせを行います。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クロップマーク
<ツールモード>
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、〔センサーモード〕を選択する。

```
クロップマーク
 センサーモード
```

5. ［ENTER］を押して決定する。

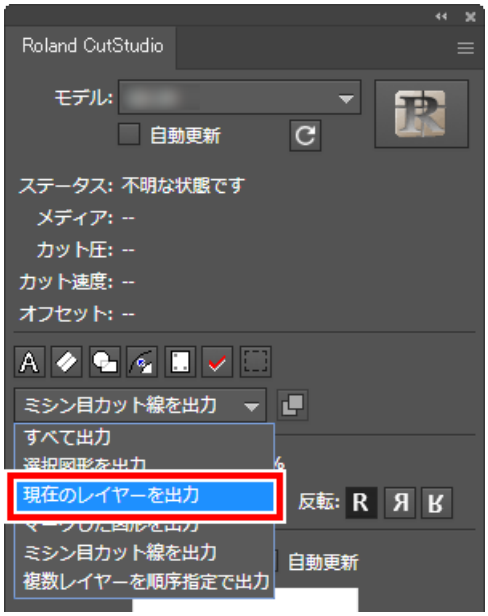
6. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

Step 5: CutStudio にプリント&カットデータを送信する

手順

1. Adobe Illustrator でカット線が描かれたレイヤーを表示し、選択する。

2. [**Roland CutStudio**]パレットで[**現在のレイヤーを出力**]を選択し、[**更新**]をクリックする。
   出力したいカット線がプレビュー画面に表示されていることを確認します。



3. をクリックする。

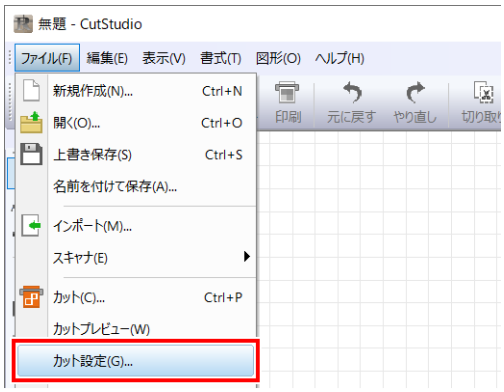
   CutStudio が起動し、カット線のデータが CutStudio に送られます。

Step 6: カット条件を設定する

手順

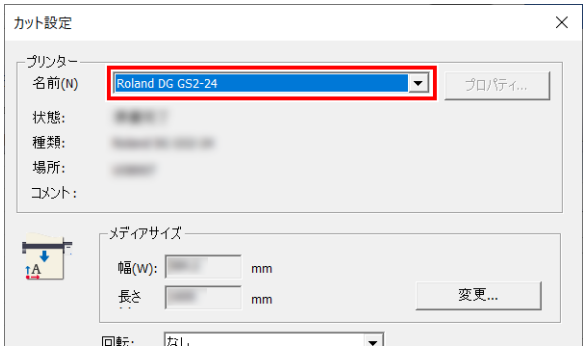
1. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

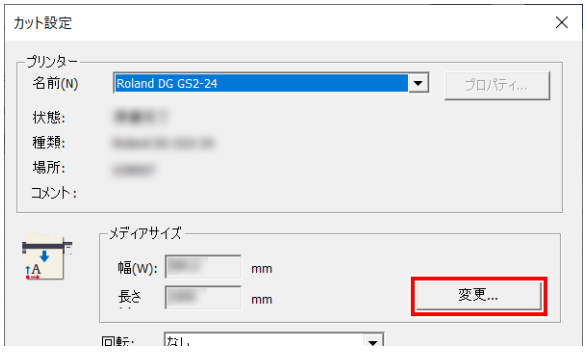


2. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。



3. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。

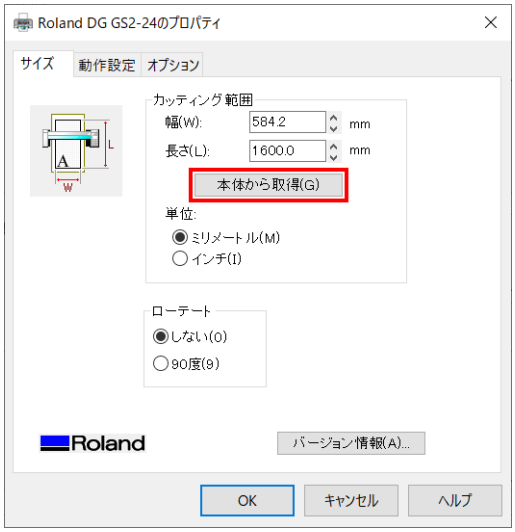


4. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示が更新されます。

メモ

[**ローテート**]は、[**しない (0)**]から変更しないでください。

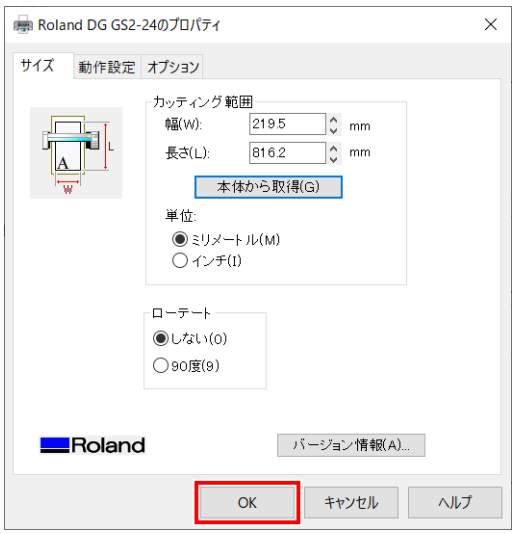


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

5. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

6. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]の設定になっています。

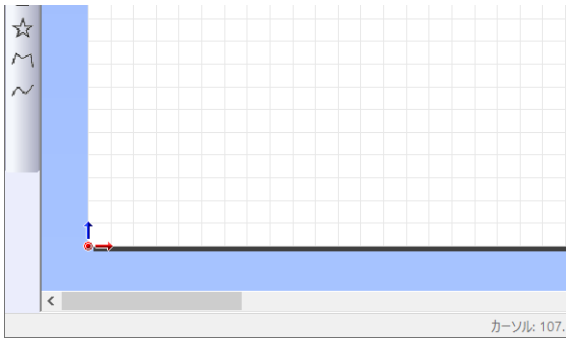
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

7. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。



Step 7: カットする

本機にプリント&カットデータを送信し、カットを開始します。

⚠警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

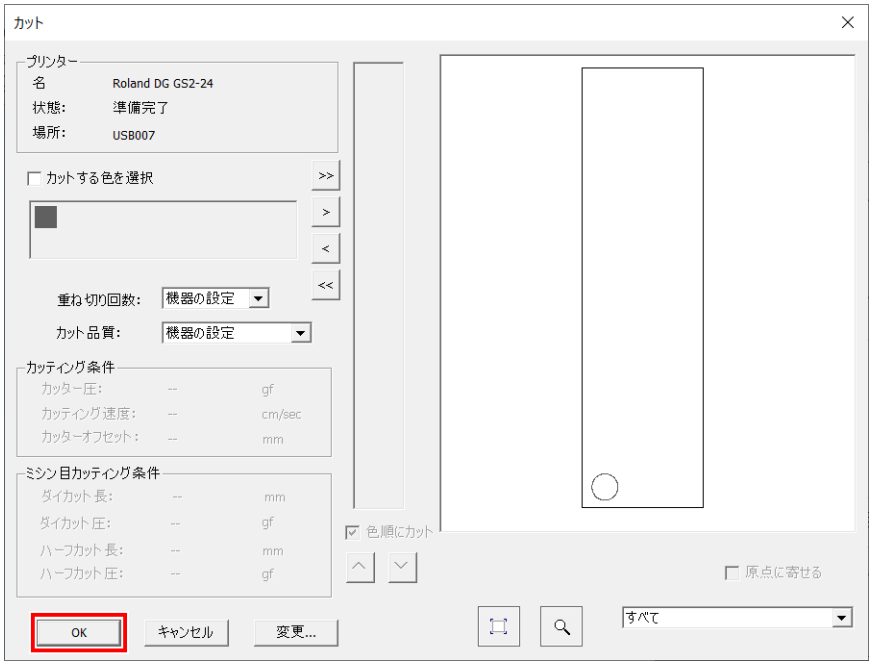
手順

1. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

2. [**OK**]をクリックする。

プリント&カットデータが本機に送信されます。本機がプリント&カットデータを受信すると、自動的にセンサーでクロップマークを読みとり、カットを開始します。



メモ

クロップマークの読み取りに失敗すると、以下の画面が表示されます。
以下の画面が表示された場合は、クロップマークを検出できない（P. 271）を参考にしてエラーを解決してください。
それでも解決しないときは、ツールモードに切り替えて位置合わせを行ってください。
P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

```
<ツールモード>ニ
 キリカエテクダサイ
```

3. カットされたシートを取り外す。

関連情報

- P. 160 シートを取り外す

Adobe Illustrator でカットデータを作成するとき（Mac をお使いの場合）

カットの方法 **111**
Step 1: カットデータを作成する 111
Step 2: カット条件を設定する 113
Step 3: カットする 115
プリント&カットの方法 **116**
Step 1: プリント条件を設定する 116
Step 2: プリント&カットデータを作成する 119
Step 3: プリント&カットデータを出力する 121
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 126
Step 5: カット条件を設定する 127
Step 6: カットする 129

カットの方法

Adobe Illustrator を使用してカットデータを作成し、カットする方法を説明します。
Adobe Illustrator で作成したカットデータを出力するには、CutStudio Plug-in for Adobe Illustrator をインストールする必要があります。
最新の対応バージョンについては、当社ウェブサイト（https://www.rolanddg.co.jp/）をご覧ください。

関連情報

- GS2-24 インストールと初期設定 Macintosh 版

Step 1: カットデータを作成する

文字や図形を入力し、カットデータを作成します。ここでは、Adobe Illustrator 2020 でカットデータの作成方法を説明しますが、他のバージョンでも操作方法は同じです。

手順

1. Adobe Illustrator を起動する。

2. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。

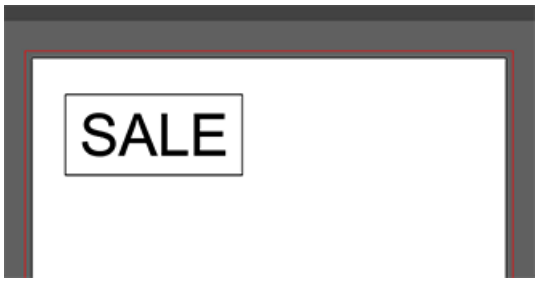
[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

3. 新規ドキュメントを作成する。

ドキュメントのサイズは、シートのセットアップ後に機体のディスプレイに表示されたカット可能なサイズに設定します。

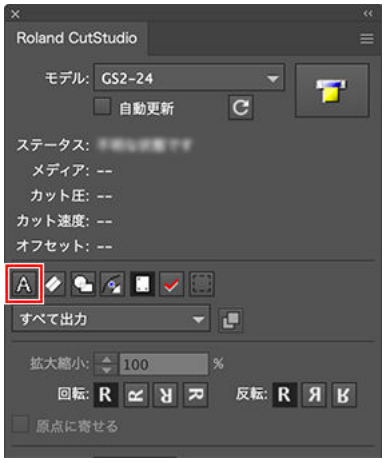
4. 文字または図形を入力する。

ここでは「SALE」と入力し、「SALE」を囲むように枠を描きます。この枠は「カス取り線」といい、カットデータをはがしやすくします。



メモ

文字はアウトライン化してください。文字を選択し、[**Roland CutStudio**]パレットの A をクリックするとアウトラインデータになります。



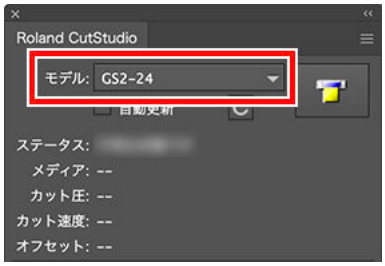
Step 2: カット条件を設定する

手順

1. シートがセットアップされていることを確認する。

P. 27 シートのセットアップ

2. [**Roland CutStudio**]パネルの[**モデル**]で[**GS2-24**]を選択する。



3. パネルの[**情報を更新**]をクリックする。

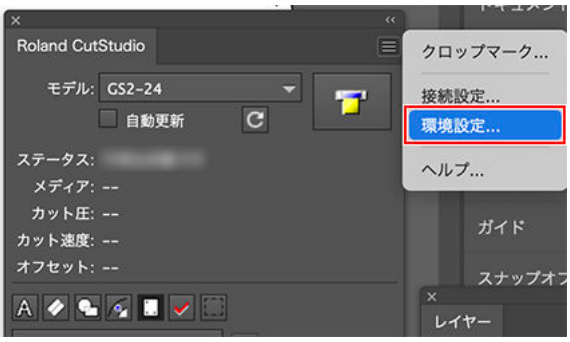
接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**メディア**]の表示が更新されます。

メモ

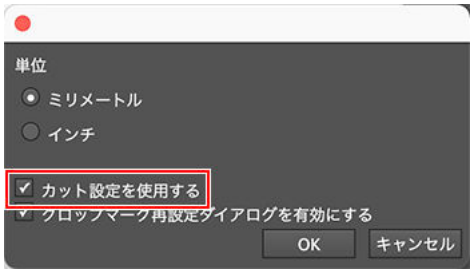
[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

4. パレットの ☰ をクリックし、[**環境設定**]をクリックする。



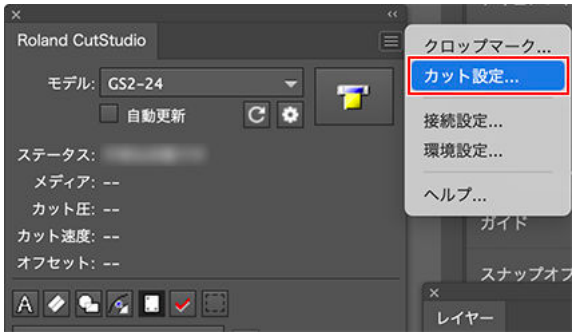
5. [**カット設定を使用する**]をオンにする。



6. [**OK**]をクリックする。

7. パレットの ☰ をクリックし、[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]は、[**カット設定**]をオンにすると表示されます。



8. カット条件を設定する。

通常は[**機器の設定を使用**]がオンになっています。

カット条件を変更する場合は、[**機器の設定を使用**]をオフにし、数値を入力します。

9. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

Step 3: カットする

本機にカットデータを送信して、シートのカットを行います。

重要

シートが外れたときや、機体が異常な動作をしたときは、[PAUSE] を押して出力を中止してください。
ローディングレバーを下げてシートを取り外したあと、シートのセットアップを最初からやり直してください。

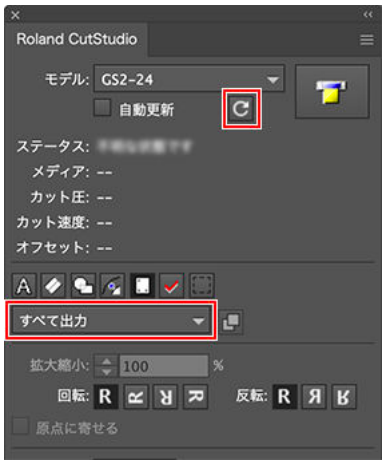
⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

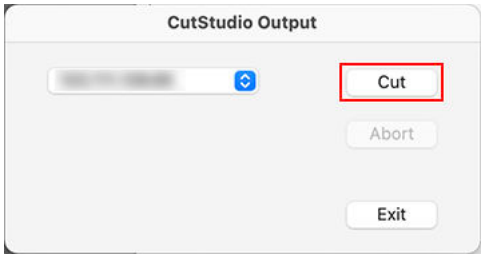
1. [**Roland CutStudio**]パレットで[**すべて出力**]を選択し、[**更新**]をクリックする。

   出力したいカット線がプレビュー画面に表示されていることを確認します。



2. パレットの をクリックする。

3. [**Roland GS2-24**]を選択し、[**Cut**]をクリックする。
   カットが開始されます。



   機種名が表示されない場合は、機体が動作しないを参照してください。

4. カットが終了したら、[**Exit**]をクリックして画面を閉じる。

プリント&カットの方法

Step 1: プリント条件を設定する

プリント＆カットの印刷範囲とクロップマークを設定します。

手順

1. Adobe Illustrator を起動し、新規ドキュメントを開く。

アートボードの設定をします。

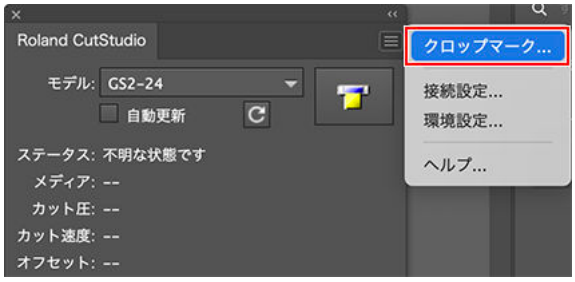
2. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。

[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

3. パレットの をクリックする。

アートボードにクロップマークが挿入されます。

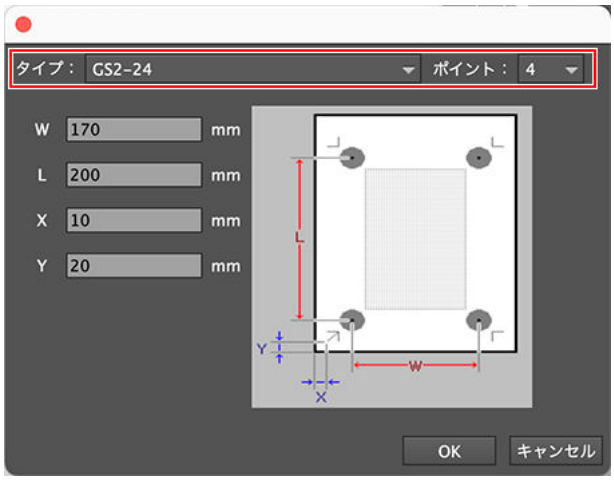
4. パレットの をクリックし、[**クロップマーク**]をクリックする。



5. [**タイプ**]、[**ポイント**]を設定する。

[**タイプ**]は「GS2-24」を選択します。

[**ポイント**]はクロップマークの数を表しています。



[**ポイント**]が「4」の場合	クロップマーク 4 点
[**ポイント**]が「3」の場合	クロップマーク 3 点

通常は[**ポイント**]で「4」を選択します。[**ポイント**]が「3」の場合、ツールモードが使用できません。

6. 余白およびクロップマーク間の距離を設定し、[**OK**]をクリックする。

余白、クロップマーク間の距離については、以下の表を参考にしてください。送り量が多い（シート長が長い）シートのときは、左右の余白をそれぞれ 25 mm 程度確保することをおすすめします。

クロップマーク 4 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離（単位：mm）

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[**W**]	170	230	230	370	205	315
[**L**]	200	110	320	195	265	160
[**X**]	10	30	30	15	15	15
[**Y**]	20	20	20	20	20	20

クロップマーク 3 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離（単位：mm）

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[**W**]	170	240	240	380	215	325

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[L]	210	120	330	205	275	170
[X]	15	30	30	15	15	15
[Y]	20	20	20	20	20	20

メモ

上記以外のより大きなサイズのシートをお使いの場合は、余白 / クロップマーク間の距離（P. 316）を参照して設定してください。

アートボード内にクロップマークが表示されます。

Step 2: プリント&カットデータを作成する

1. プリントデータを配置する

手順

1. [**ファイル**]>[**配置**]をクリックし、任意のプリントデータを読み込む。
2. プリントデータをクロップマーク内側の領域に配置する。

2. プリントデータにカット線を追加する

配置したプリントデータにカット線を追加して、プリント&カットデータを作成します。

手順

1. **カット線用に新規レイヤーを作成し、カット線を描く。**
   ここでは下記（①）のように、プリントデータの周りにカット線を描きます。

2. [**ファイル**]>[**保存**]をクリックする。

3. **保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**
   作成したプリント&カットデータが保存されます。

Step 3: プリント&カットデータを出力する

1. プリント&カットデータを印刷する

お使いのプリンターにプリントデータを送信し、プリント＆カットデータを印刷します。

手順

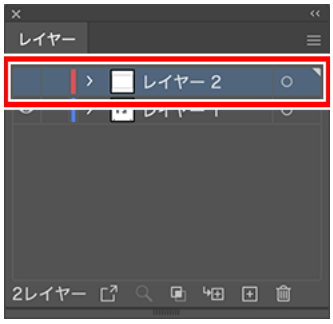
1. シートをプリンターにセットする。

シートのセット方法については、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。

重要

拡大/ 縮小印刷がオンのときはオフにします。必ず縮尺率 100 %で印刷してください。

2. カット線が描かれたレイヤーを非表示にする。



3. [**ファイル**]>[**プリント**]をクリックする。

4. 印刷設定を確認し、[**プリント**]をクリックする。

プリントデータのみが印刷されます。

2. 印刷したシートを取り付ける

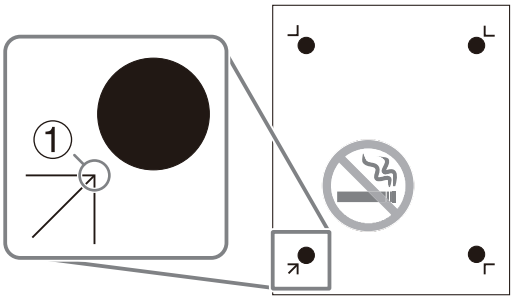
お使いのプリンターで印刷したシートを本機に取り付けます。

重要

クロップマークを読みとれない場合があるため、反ったシートは使用できません。プリンターで印刷する際にシートが反ってしまったときは、反りを直してから本機に取り付けてください。

手順

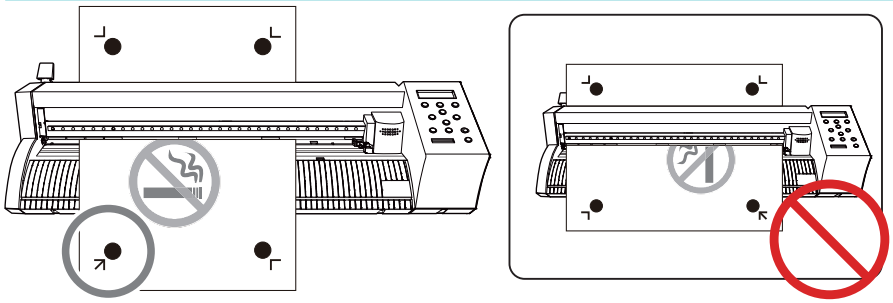
1. シートのカット原点（①）を確認する。



2. シートのカット原点を左下にして機体にセットする。

重要

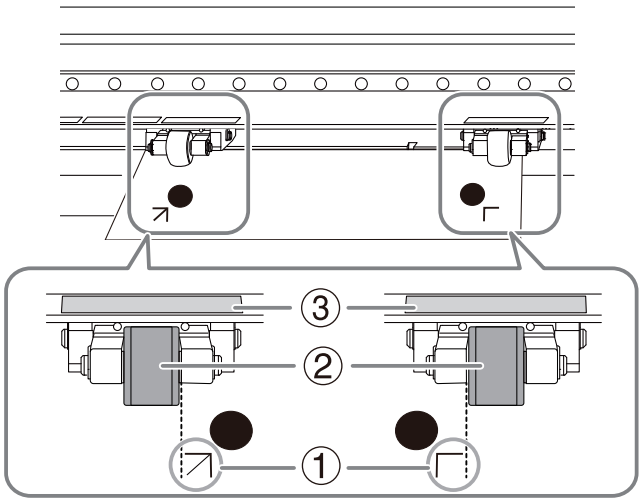
シートの向きを間違って取り付けると、クロップマークを読み取れません。



3. ピンチローラーを配置する。

ピンチローラーを配置するときは、次の点に注意してください。

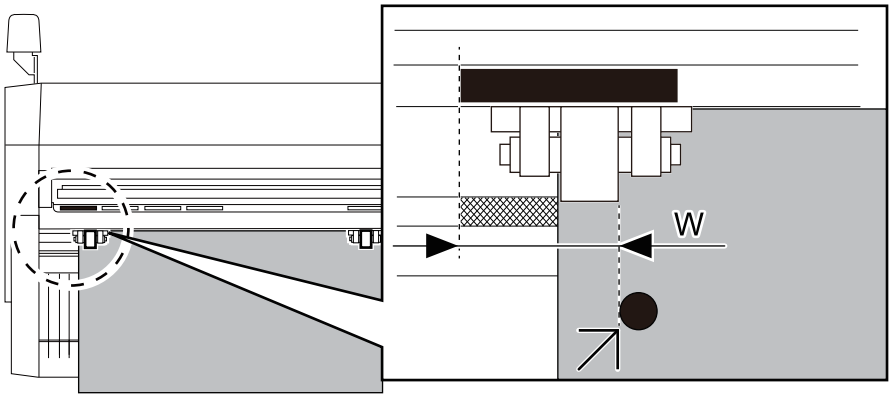
- ツールマーク（①）の外側にピンチローラー（②）を配置する
- ピンチローラー（②）はグリットマーク（③）の範囲内に入る位置にする



メモ

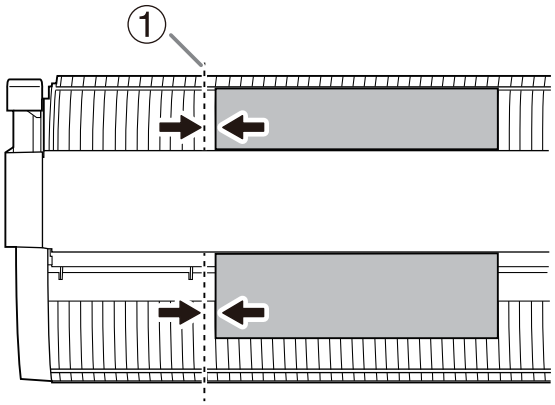
クロップマークの位置を手動で設定し、A3、A4、B4 以外のシートを使用するときは、次のことに注意してください。

- 一番左のグリットマークの範囲でピンチローラーを使用するときは、左グリットマーク左端からクロップマークまでの距離を 30 mm（W）以上確保してください。30 mm 以上確保しないとクロップマークを読み取ることができません。



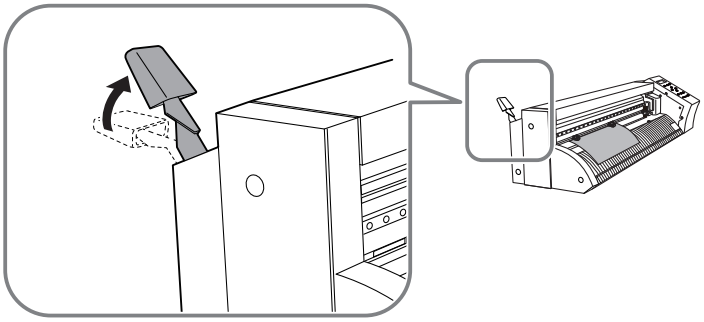
4. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



5. ローディングレバーを上げる。

シートが固定されます。



6. 機体の電源をオンにする。

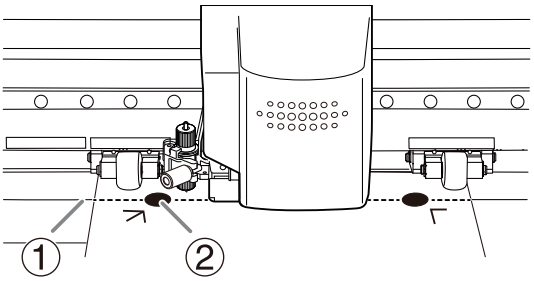
7. シートの種類で[**ハザイ**]を選択する。

8. [ENTER] を押す。

カット可能な幅と長さが表示されます。

```
W:***mm
L:***mm
```

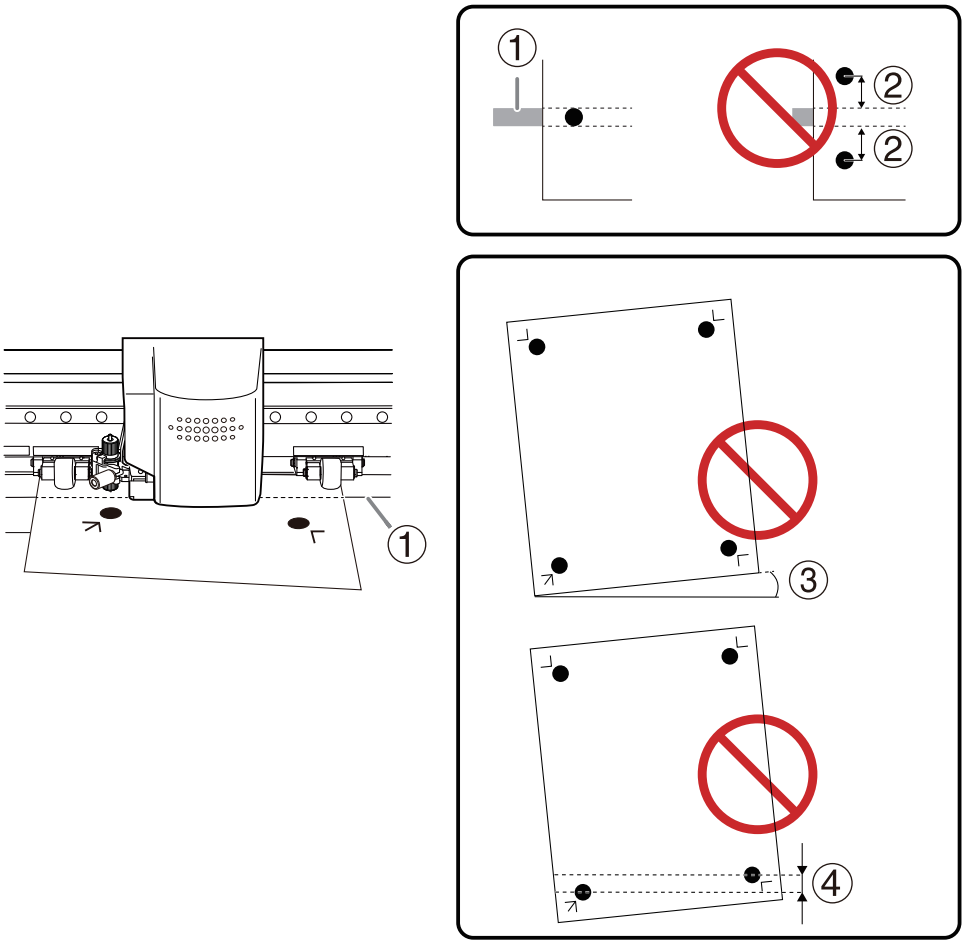
9. [▲] [▼] を押してシートを移動し、カッタープロテクション（①）の上にクロップマーク（②）を配置する。



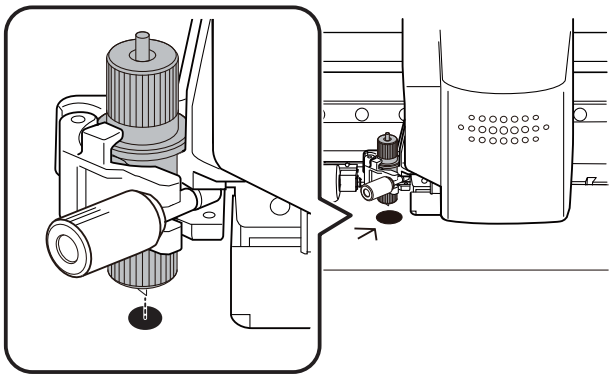
重要

以下の場合、クロップマークを読みとることができません。一旦シートを取り外し、取り付けなおしてください。

- クロップマークがカッタープロテクション（①）から 15 mm 以上（②）離れている
- 左右のクロップマークがカッティングキャリッジの移動方向に対して 5 度以上（③）傾いている
- 左右のクロップマークがシートの送り方向に対して 20 mm 以上（④）ずれている



10. ［◀］［▶］を押し、カッターの刃先が左下のクロップマークの中心となる位置にカッティングキャリッジを移動する。



Step 4: 自動で位置合わせするように設定する

本機に内蔵されたセンサーを使って、自動でクロップマークの位置合わせを行います。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クロップマーク
<ツールモード>
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、〔センサーモード〕を選択する。

```
クロップマーク
 センサーモード
```

5. ［ENTER］を押して決定する。

6. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

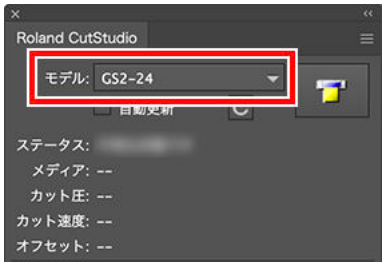
Step 5: カット条件を設定する

手順

1. シートがセットアップされていることを確認する。

P. 27 シートのセットアップ

2. [**Roland CutStudio**]パネルの[**モデル**]で[**GS2-24**]を選択する。



3. パネルの[**情報を更新**]をクリックする。

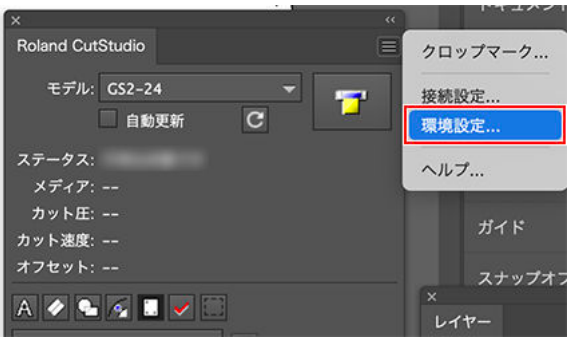
接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**メディア**]の表示が更新されます。

メモ

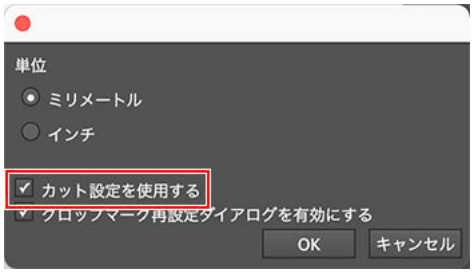
[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

4. パレットの ☰ をクリックし、[**環境設定**]をクリックする。



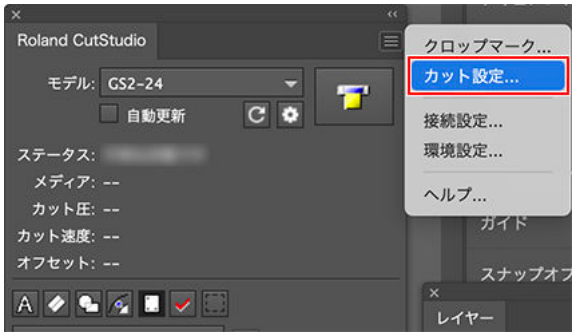
5. [**カット設定を使用する**]をオンにする。



6. [**OK**]をクリックする。

7. パレットの ☰ をクリックし、[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]は、[**カット設定**]をオンにすると表示されます。



8. カット条件を設定する。

通常は[**機器の設定を使用**]がオンになっています。

カット条件を変更する場合は、[**機器の設定を使用**]をオフにし、数値を入力します。

9. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

Step 6: カットする

本機にカットデータを送信し、カットを開始します。

⚠警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

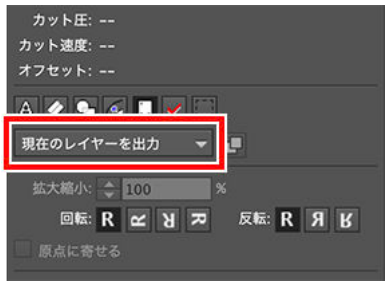
手順

1. カット線が描かれたレイヤーを表示し、選択する。
出力したいカット線がプレビュー画面に表示されていることを確認します。

2. [**現在のレイヤーを出力**]を選択する。
出力したいカット線がプレビュー画面に表示されていることを確認します。

メモ

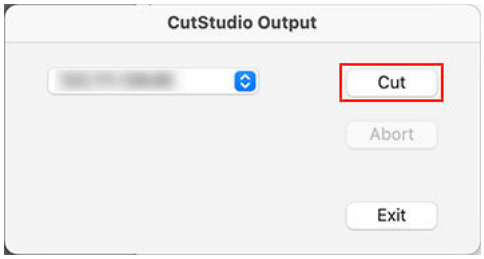
[**回転**]は、R から変更しないでください。



カット設定の変更、または確認する場合は、Step 2: カット条件を設定するを参照してください。

3. パレットの をクリックする。

4. [**Roland GS2-24**]を選択し、[**Cut**]をクリックする。



カットデータが本機に送信されます。データを受信すると、自動的にセンサーでクロップマークを読みとり、カットを開始します。

メモ

機種名が表示されない場合は、機体が動作しないを参照してください。

メモ

クロップマークの読み取りに失敗すると、以下の画面が表示されます。
以下の画面が表示された場合は、クロップマークを検出できないを参考にしてエラーを解決してください。

```
<ツールモード゛ンニ
 キリカエテクダ゛サイ
```

それでも解決しないときは、ツールモードに切り替えて位置合わせを行ってください。
P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

5. カットが終了したら、[**Exit**]をクリックして画面を閉じる。

6. カットされたシートを取り外す。

関連情報

- P. 160 シートを取り外す

CorelDRAW でカットデータを作成するとき

カットの方法 **132**
Step 1: カットデータを作成する 132
Step 2: CutStudio にカットデータを出力する 134
Step 3: カット条件を設定する 136
Step 4: カットする 139
CorelDRAW のヘルプを確認する 140
プリント&カットの方法 **141**
Step 1: プリント条件を設定する 141
Step 2: プリント&カットデータを作成する 144
Step 3: プリント&カットデータを出力する 147
Step 4: 自動で位置合わせするように設定する 152
Step 5: CutStudio にプリント&カットデータを送信する 153
Step 6: カット条件を設定する 154
Step 7: カットする 157

カットの方法

CorelDRAW を使用してカットデータを作成し、カットする方法を説明します。
CorelDRAW で作成したカットデータを CutStudio へ出力するには、CutStudio Plug-in for CorelDraw をインストールする必要があります。
最新の対応バージョンについては、当社ウェブサイト（https://www.rolanddg.co.jp/）をご覧ください。

関連情報

- GS2-24 インストールと初期設定 Windows 版

Step 1: カットデータを作成する

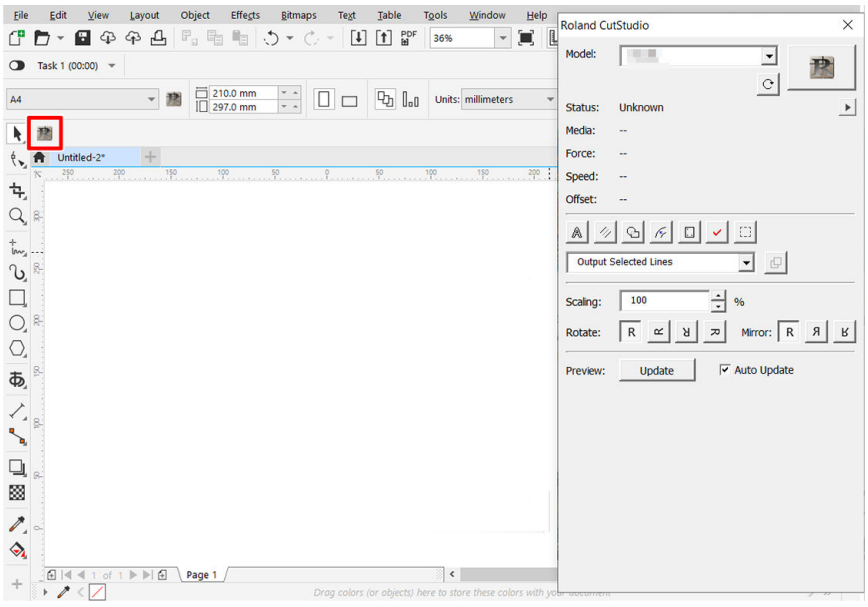
文字や図形を入力し、カットデータを作成します。ここでは、CorelDRAW 2020 でカットデータの作成方法を説明しますが、他のバージョンでも操作方法は同じです。

手順

1. CorelDRAW を起動する。

2. ツールバーの をクリックする。

[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。



3. 新規ドキュメントを作成する。

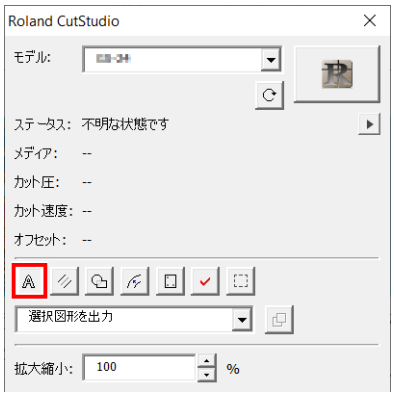
ドキュメントのサイズは、シートのセットアップ後に機体のディスプレイに表示されたカット可能なサイズに設定します。

4. 文字または図形を入力する。

ここでは「SALE」と入力し、「SALE」を囲むように枠を描きます。この枠は「カス取り線」といい、カットデータをはがしやすくします。

メモ

文字はアウトラインに変換してください。文字を選択し、[**Roland CutStudio**]パレットの をクリックするとアウトラインデータになります。

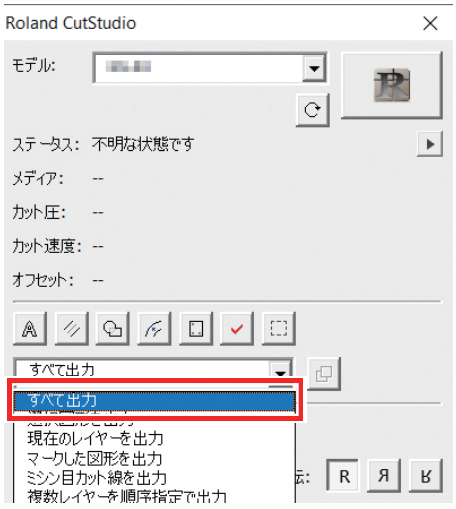


Step 2: CutStudio にカットデータを出力する

CorelDRAW で作成したカットデータを、CutStudio へ送信します。

手順

1. **[Roland CutStudio]**パレットの**[すべて出力]**を選択する。



2. **[自動更新]**をオンにする。

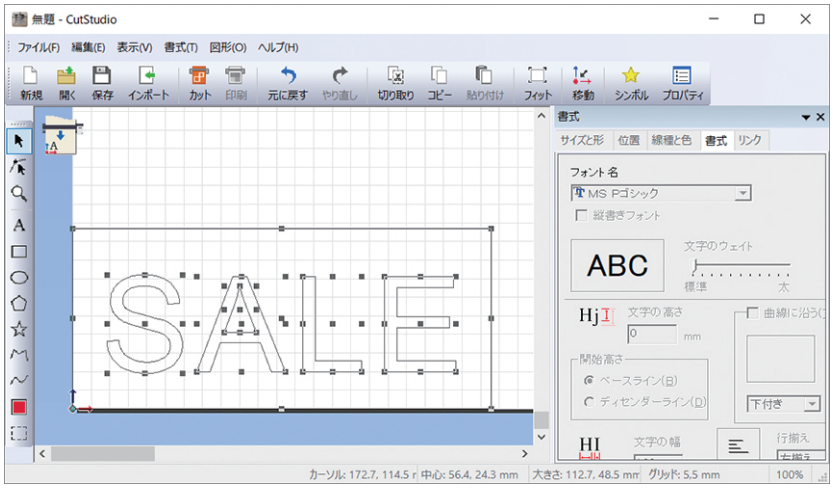
出力したいカット線がプレビュー画面に表示されていることを確認します。

3. をクリックする。

CutStudio が起動し、カット線のデータが CutStudio に送られます。

メモ

出力されたデータは CorelDRAW 上の配置にかかわらず、常に CutStudio の原点に合わせて配置されます。



メモ

CorelDRAW で作成したデータは、以下の条件で CutStudio に出力されます。

- 作図された全ての図形が CutStudio に出力されます。
- 文字列は CutStudio に出力されません。出力する前にアウトラインに変換してください。
- 線の太さ、塗り、矢印は無視されます。
- 太さの無い線は出力されません。
- 画像は出力されません。

Step 3: カット条件を設定する

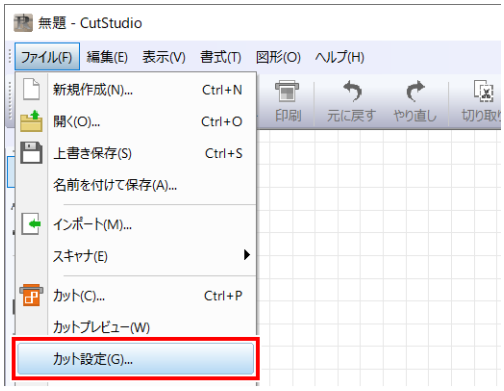
手順

1. シートがセットアップされていることを確認する。

P. 27 シートのセットアップ

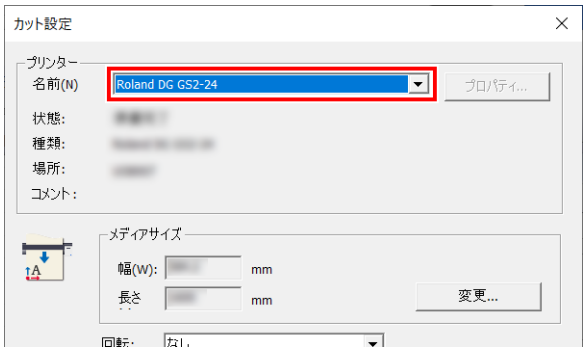
2. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

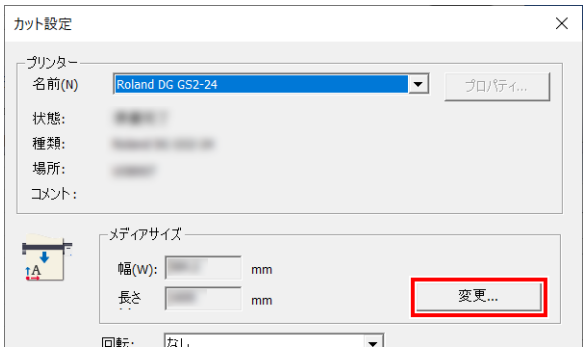


3. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。

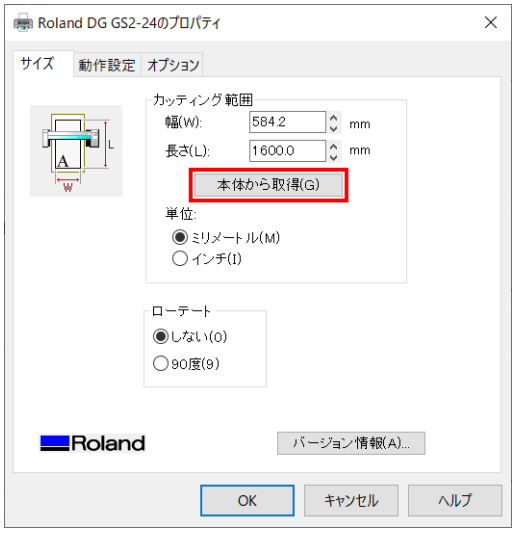


4. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。



5. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示が更新されます。

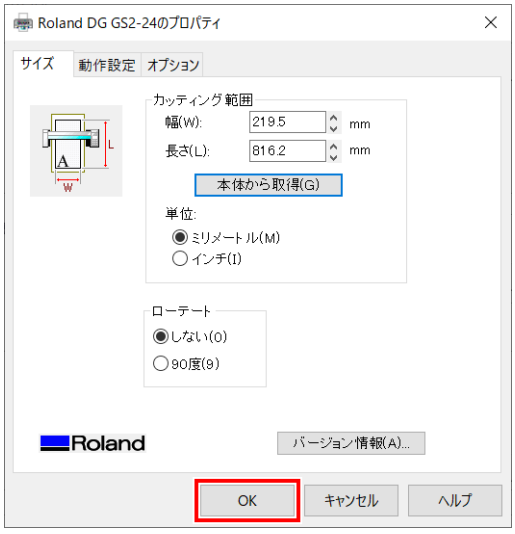


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

6. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

7. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]の設定になっています。

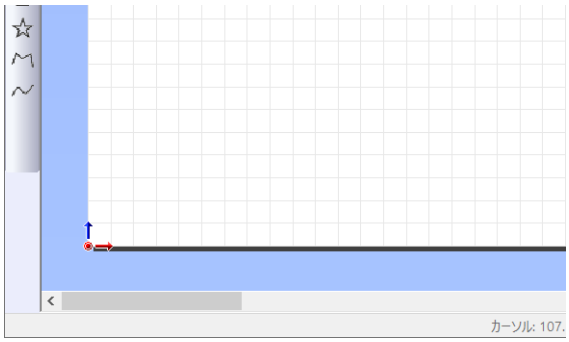
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

8. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。



Step 4: カットする

本機にカットデータを送信して、シートのカットを行います。

重要

シートが外れたときや、機体が異常な動作をしたときは、[PAUSE] を押して出力を中止してください。
ローディングレバーを下げてシートを取り外したあと、シートのセットアップを最初からやり直してください。

⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

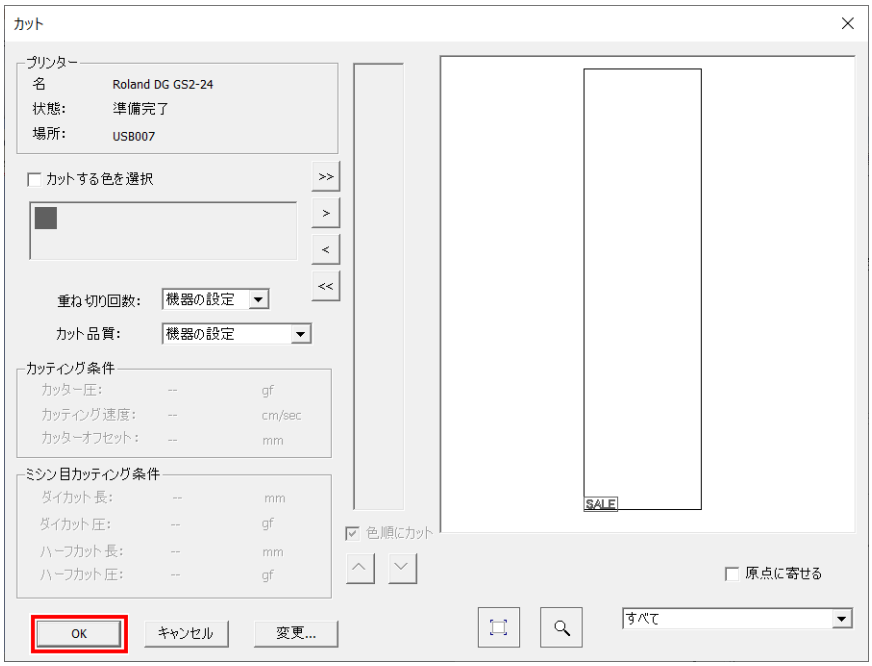
手順

1. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

2. [**OK**]をクリックする。

カットが開始されます。



関連情報

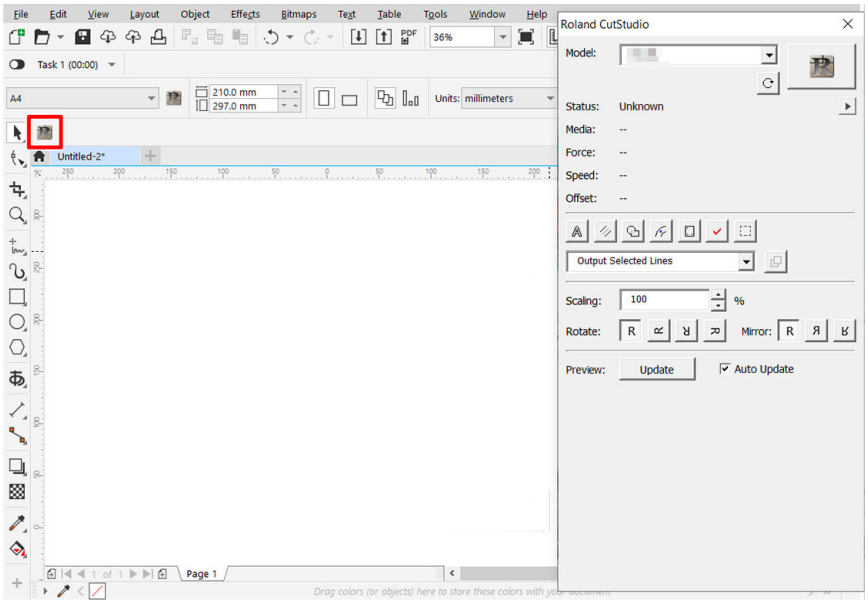
- P. 27 シートのセットアップ

CorelDRAW のヘルプを確認する

手順

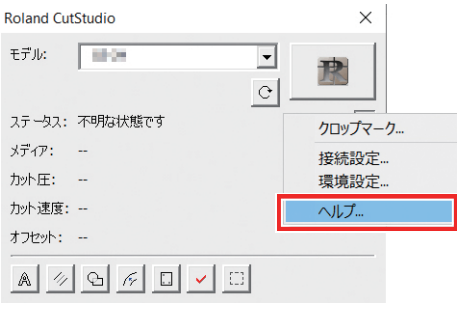
1. ツールバーの をクリックする。

   [**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。



2. パレットの をクリックする。

3. [**ヘルプ**]をクリックする。



プリント&カットの方法

Step 1: プリント条件を設定する

プリント＆カットの印刷範囲とクロップマークを設定します。

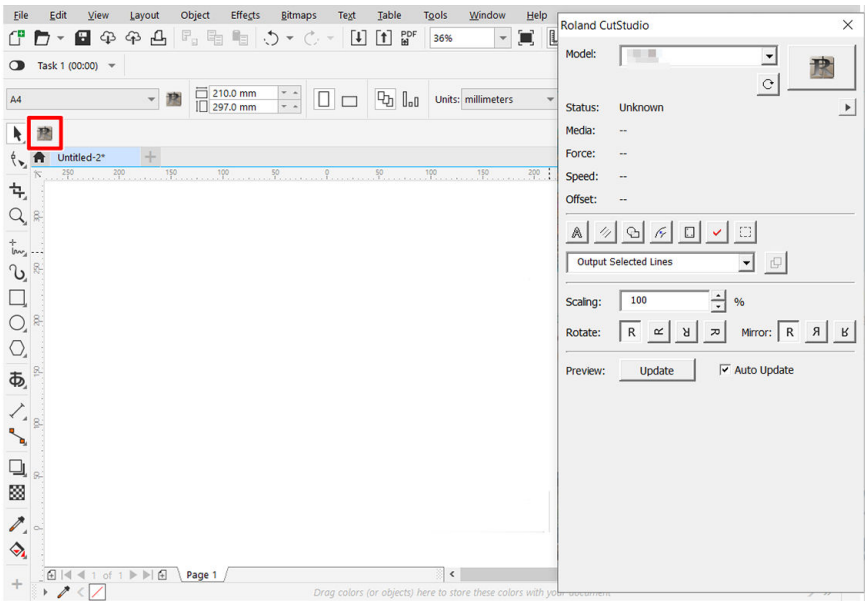
手順

1. CorelDRAW を起動し、新規ドキュメントを開く。

ドキュメントのサイズを設定をします。

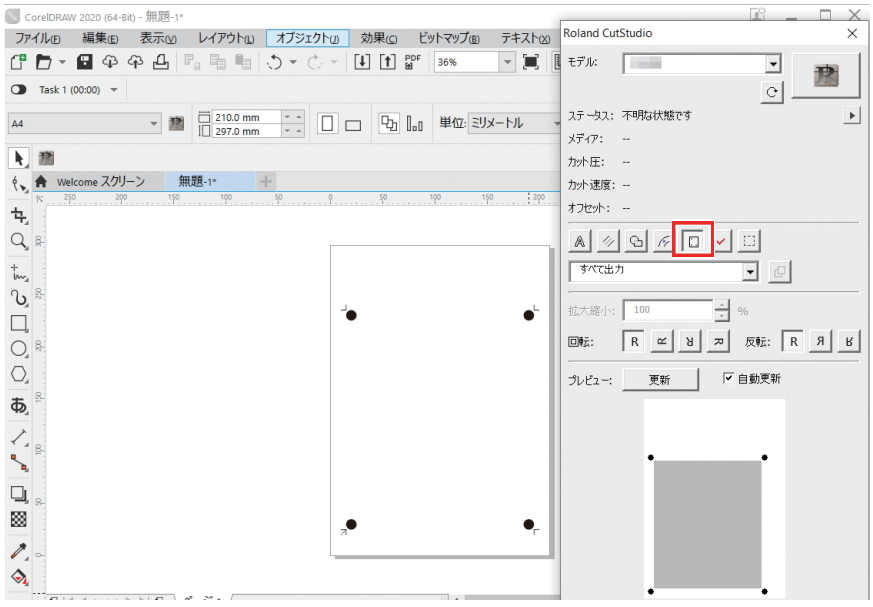
2. ツールバーの をクリックする。

[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

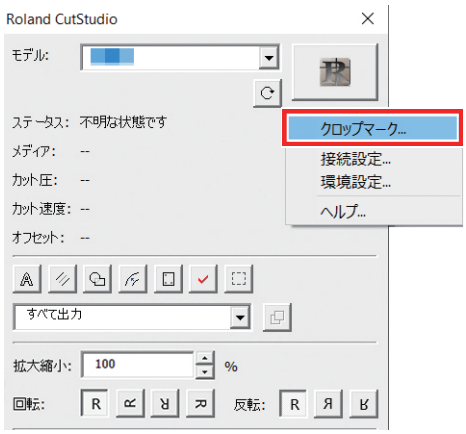


3. パレットの をクリックする。

ドキュメントにクロップマークが挿入されます。



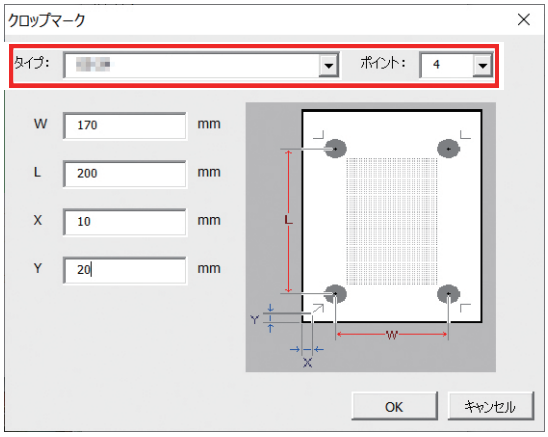
4. パレットの ▶ をクリックし、[**クロップマーク**]をクリックする。



5. [**タイプ**]、[**ポイント**]を設定する。

[**タイプ**]は「GS2-24」を選択します。

[**ポイント**]はクロップマークの数を表しています。



[**ポイント**]が「4」の場合	クロップマーク 4 点
[**ポイント**]が「3」の場合	クロップマーク 3 点

通常は[**ポイント**]で「4」を選択します。[**ポイント**]が「3」の場合、ツールモードが使用できません。

6. **余白およびクロップマーク間の距離を設定し、[OK]をクリックする。**

余白、クロップマーク間の距離については、以下の表を参考にしてください。送り量が多い（シート長が長い）シートのときは、左右の余白をそれぞれ 25 mm 程度確保することをおすすめします。

クロップマーク 4 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離（単位：mm）

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[**W**]	170	230	230	370	205	315
[**L**]	200	110	320	195	265	160
[**X**]	10	30	30	15	15	15
[**Y**]	20	20	20	20	20	20

クロップマーク 3 点 / シートサイズによる余白とクロップマーク間の距離（単位：mm）

	A4		A3		B4	
	縦	横	縦	横	縦	横
[**W**]	170	240	240	380	215	325
[**L**]	210	120	330	205	275	170
[**X**]	15	30	30	15	15	15
[**Y**]	20	20	20	20	20	20

メモ

上記以外のより大きなサイズのシートをお使いの場合は、余白 / クロップマーク間の距離（P. 316）を参照して設定してください。

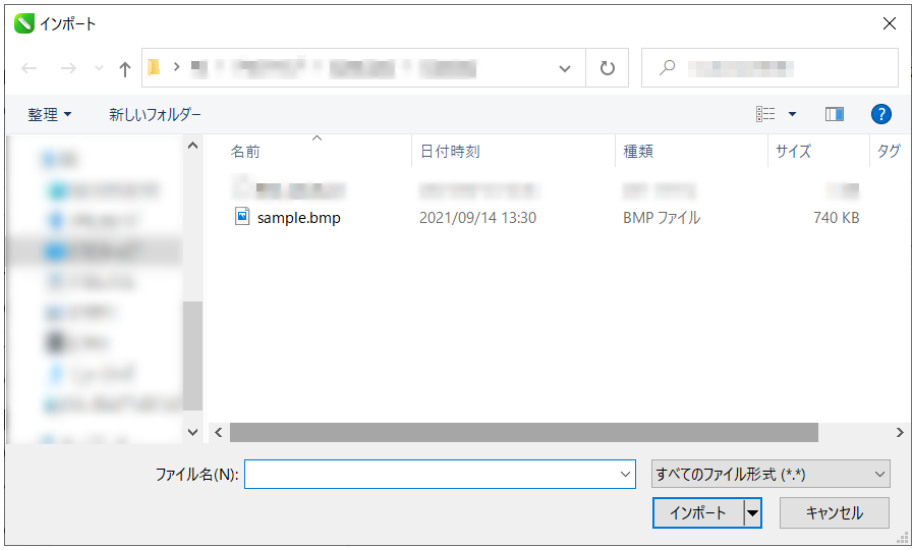
アートボード内にクロップマークが表示されます。

Step 2: プリント&カットデータを作成する

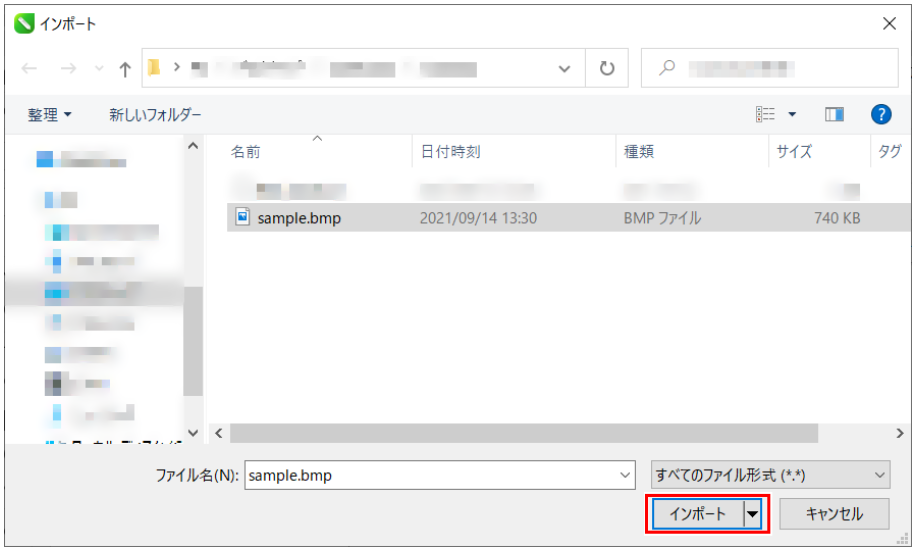
1. プリントデータを配置する

手順

1. [**ファイル**]>[**インポート**]をクリックし、プリントデータを読み込む。
   ここでは CutStudio のインストール先のフォルダ（通常は C ドライブの[**Program Files (x86)**]>[**CutStudio**]フォルダー）にある「Sample.bmp」をプリントデータとして開きます。



2. プリントデータを選択して、[**インポート**]をクリックする。



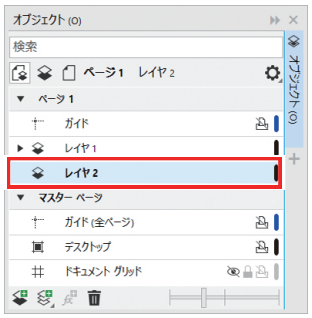
3. プリントデータをクロップマーク内側の領域に配置する。

2. プリントデータにカット線を追加する

配置したプリントデータにカット線を追加して、プリント&カットデータを作成します。

手順

1. **カット線用に新規レイヤーを作成し、カット線を描く。**
   ここでは下記（①）のように、プリントデータの周りにカット線を描きます。



2. **[ファイル]>[保存]をクリックする。**

3. **保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**
   作成したプリント&カットデータが保存されます。

Step 3: プリント&カットデータを出力する

1. プリント&カットデータを印刷する

お使いのプリンターにプリントデータを送信し、プリント＆カットデータを印刷します。

手順

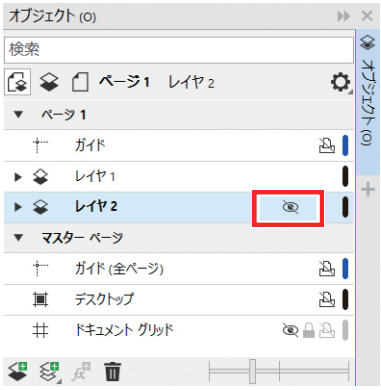
1. シートをプリンターにセットする。

シートのセット方法については、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。

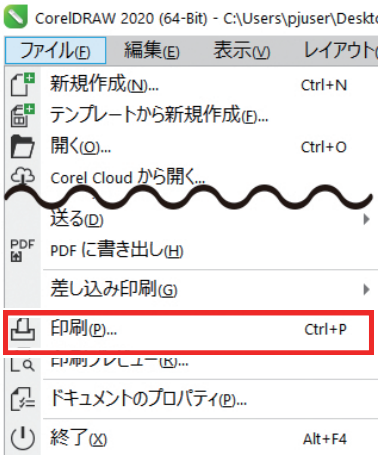
重要

拡大/ 縮小印刷がオンのときはオフにします。必ず縮尺率 100 %で印刷してください。

2. カット線が描かれたレイヤーを非表示にする。



3. [**ファイル**]>[**印刷**]をクリックする。



4. 印刷設定を確認し、[**印刷**]をクリックする。

プリントデータのみが印刷されます。

2. 印刷したシートを取り付ける

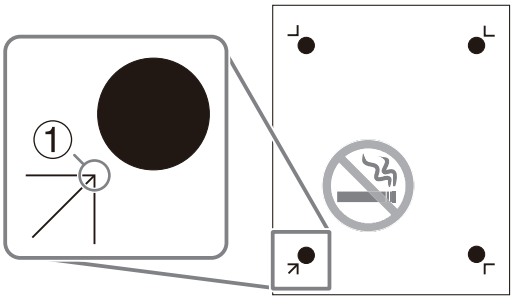
お使いのプリンターで印刷したシートを本機に取り付けます。

重要

クロップマークを読みとれない場合があるため、反ったシートは使用できません。プリンターで印刷する際にシートが反ってしまったときは、反りを直してから本機に取り付けてください。

手順

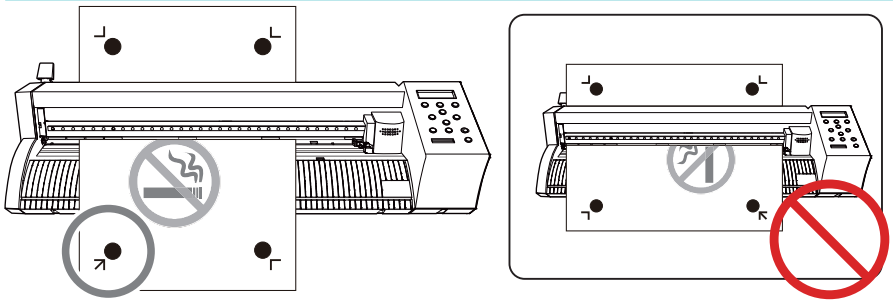
1. シートのカット原点（①）を確認する。



2. シートのカット原点を左下にして機体にセットする。

重要

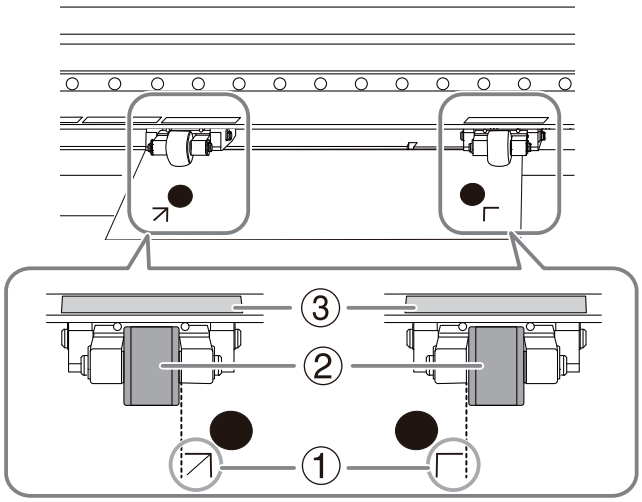
シートの向きを間違って取り付けると、クロップマークを読み取れません。



3. ピンチローラーを配置する。

ピンチローラーを配置するときは、次の点に注意してください。

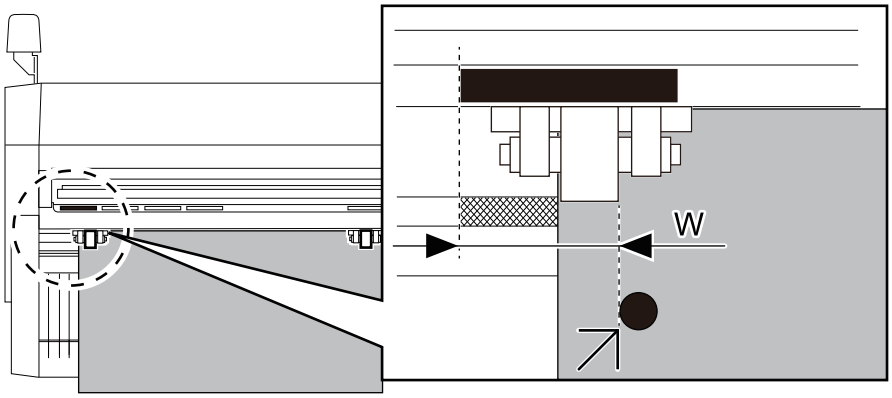
- ツールマーク（①）の外側にピンチローラー（②）を配置する
- ピンチローラー（②）はグリットマーク（③）の範囲内に入る位置にする



メモ

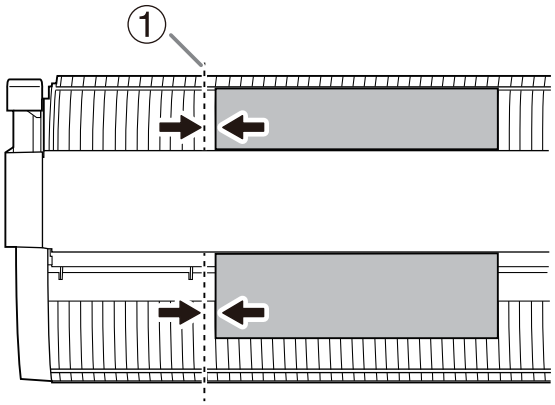
クロップマークの位置を手動で設定し、A3、A4、B4 以外のシートを使用するときは、次のことに注意してください。

- 一番左のグリットマークの範囲でピンチローラーを使用するときは、左グリットマーク左端からクロップマークまでの距離を 30 mm（W）以上確保してください。30 mm 以上確保しないとクロップマークを読み取ることができません。



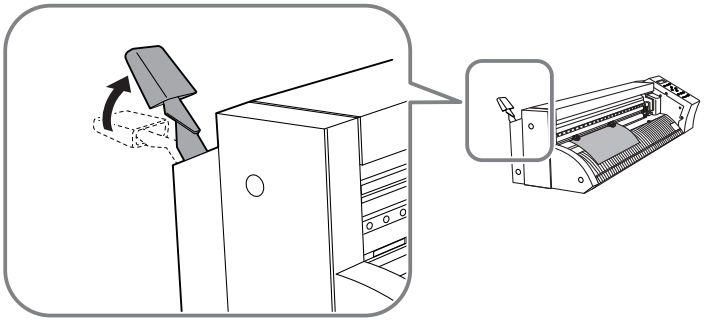
4. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



5. ローディングレバーを上げる。

シートが固定されます。



6. 機体の電源をオンにする。

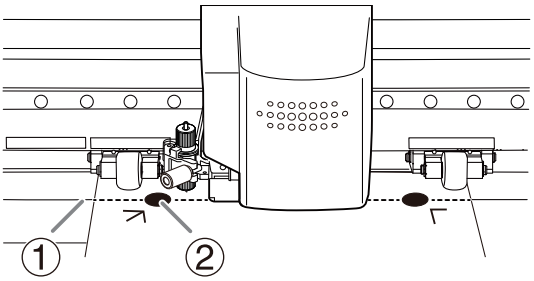
7. シートの種類で[**ハザイ**]を選択する。

8. [ENTER] を押す。

カット可能な幅と長さが表示されます。

```
W:***mm
L:***mm
```

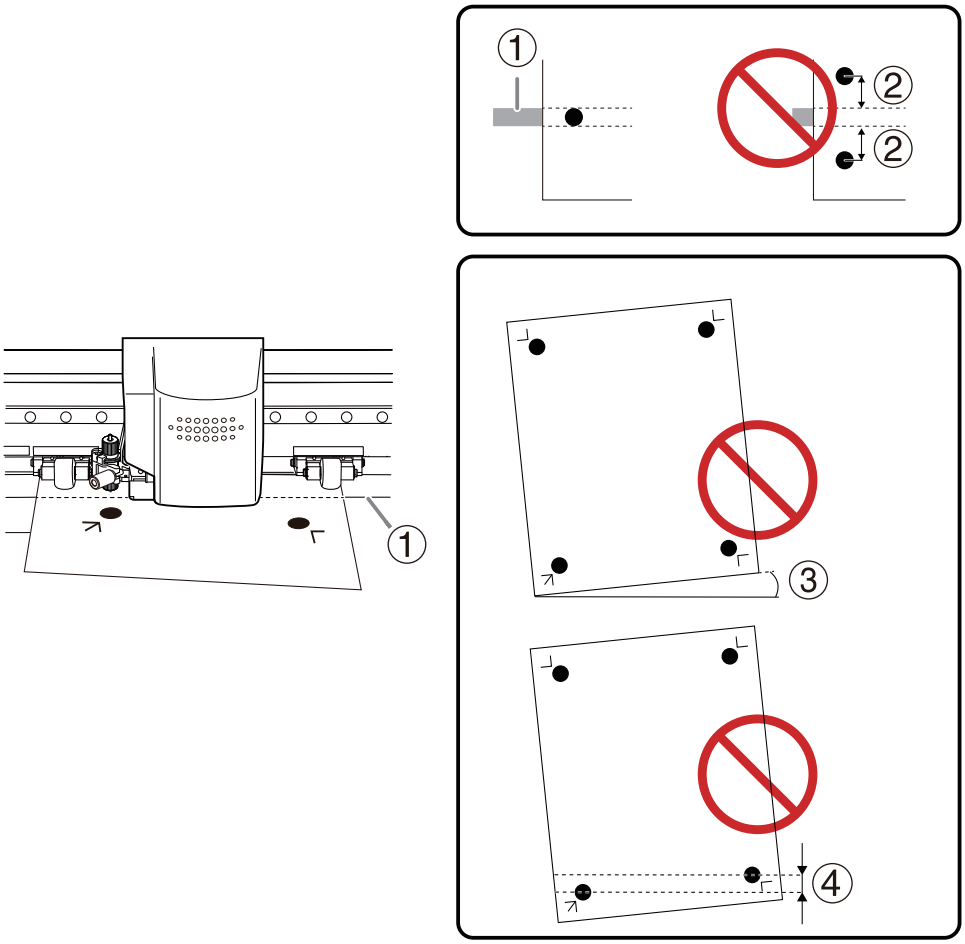
9. [▲] [▼] を押してシートを移動し、カッタープロテクション（①）の上にクロップマーク（②）を配置する。



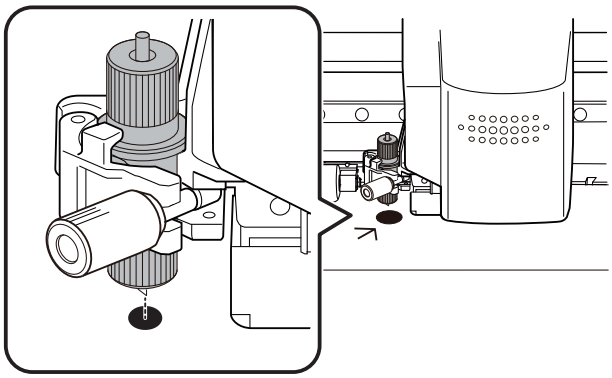
重要

以下の場合、クロップマークを読みとることができません。一旦シートを取り外し、取り付けなおしてください。

- クロップマークがカッタープロテクション（①）から 15 mm 以上（②）離れている
- 左右のクロップマークがカッティングキャリッジの移動方向に対して 5 度以上（③）傾いている
- 左右のクロップマークがシートの送り方向に対して 20 mm 以上（④）ずれている



10. ［◀］［▶］を押し、カッターの刃先が左下のクロップマークの中心となる位置にカッティングキャリッジを移動する。



Step 4: 自動で位置合わせするように設定する

本機に内蔵されたセンサーを使って、自動でクロップマークの位置合わせを行います。

手順

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. [▼] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クロップマーク
<ツールモード>
```

3. [▶] を押す。

4. [▲] [▼] を押して、〔センサーモード〕を選択する。

```
クロップマーク
 センサーモード
```

5. [ENTER] を押して決定する。

6. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

Step 5: CutStudio にプリント&カットデータを送信する

手順

1. CorelDRAW でカット線が描かれたレイヤーを表示し、選択する。

2. [**Roland CutStudio**]パレットで[**現在のレイヤーを出力**]を選択し、[**更新**]をクリックする。
   出力したいカット線がプレビュー画面に表示されていることを確認します。

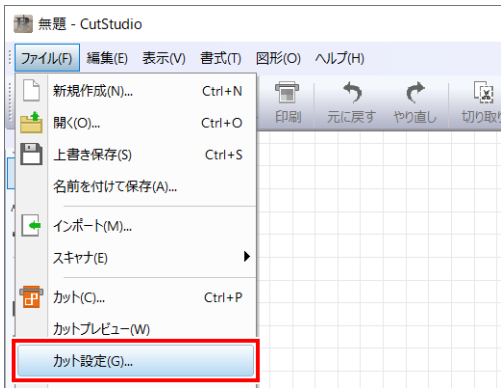
3. をクリックする。
   CutStudio が起動し、カット線のデータが CutStudio に送られます。

Step 6: カット条件を設定する

手順

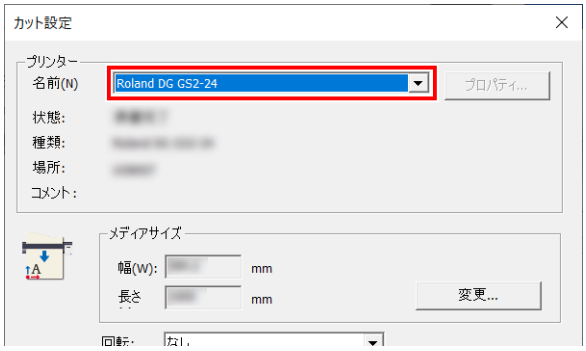
1. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

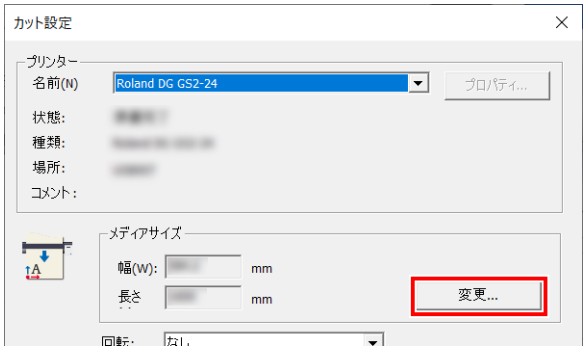


2. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。



3. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。

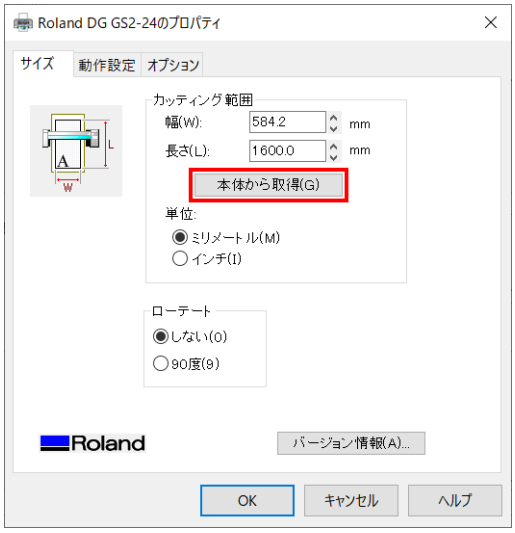


4. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示が更新されます。

メモ

[**ローテート**]は、[**しない (0)**]から変更しないでください。

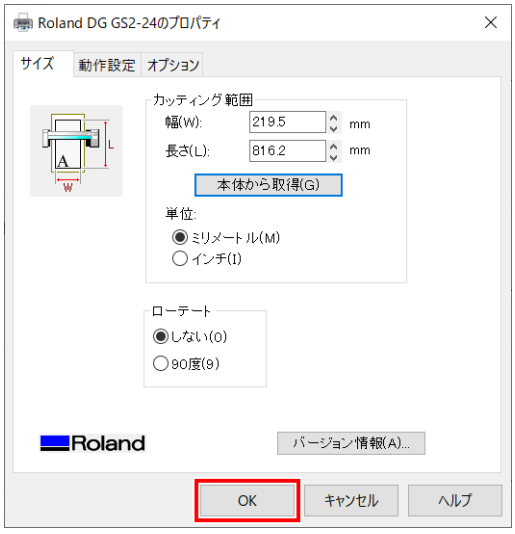


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

5. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

6. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]の設定になっています。

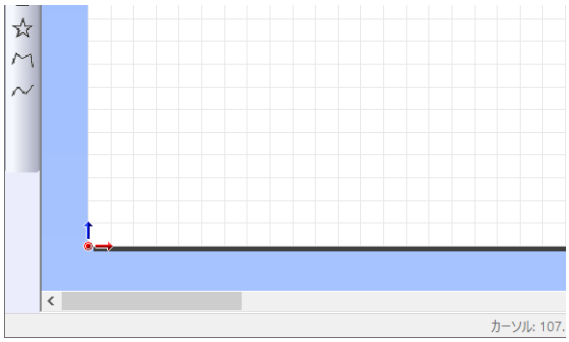
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

7. [**OK**]をクリックする。

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。



Step 7: カットする

本機にプリント&カットデータを送信し、カットを開始します。

⚠警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

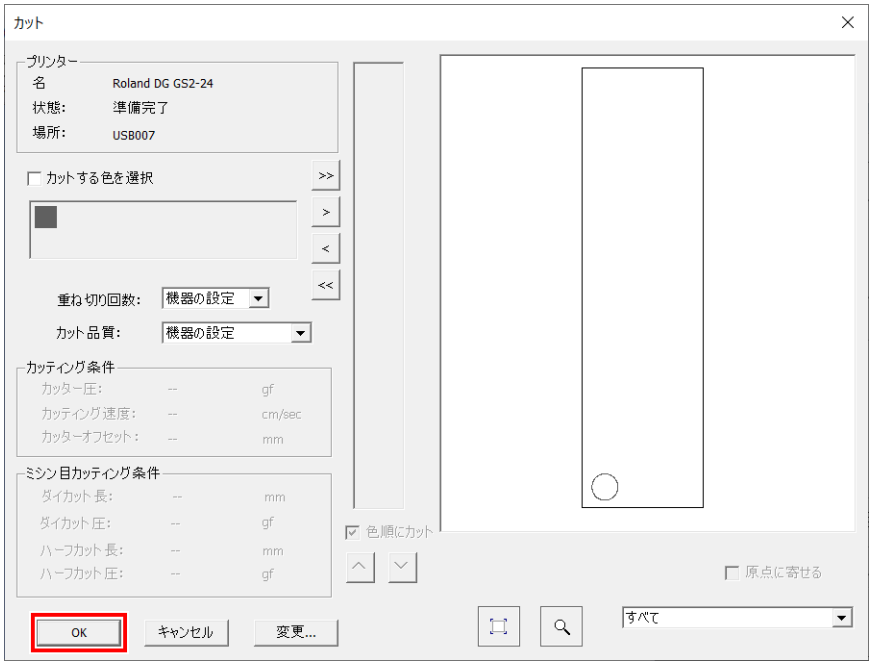
手順

1. CutStudio の をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

2. [**OK**]をクリックする。

プリント＆カットデータが本機に送信されます。本機がプリント＆データを受信すると、自動的にセンサーでクロップマークを読みとり、カットを開始します。



メモ

クロップマークの読み取りに失敗すると、以下の画面が表示されます。
以下の画面が表示された場合は、クロップマークを検出できない（P. 271）を参考にしてエラーを解決してください。
それでも解決しないときは、ツールモードに切り替えて位置合わせを行ってください。
P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

```
<ツールモード>ニ
 キリカエテクダサイ
```

3. カットされたシートを取り外す。

関連情報

- P. 160 シートを取り外す

出力後の作業

シートの取り外し／切り離し 160
シートを取り外す 160
シートを切り離す 162
出力の一時停止と中止 163
出力の一時停止 163
出力の中止 163

シートの取り外し／切り離し

出力したあとは、機体からシートの取り外しまたは切り離しを行います。

シートを取り外す

カットが終わったらシートを取り外します。

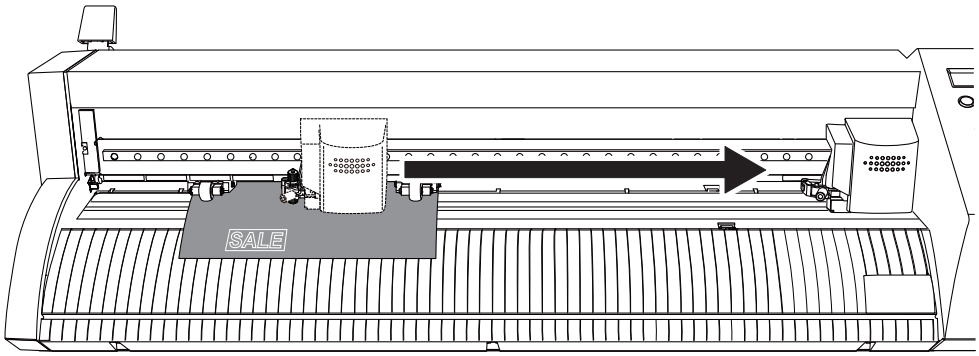
手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. ［ENTER］を押す。

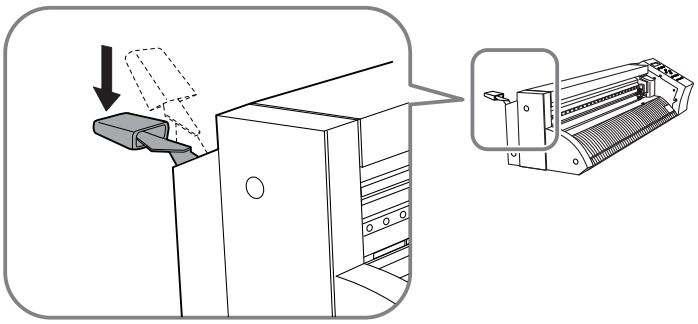
カッティングキャリッジがスタンバイポジションに戻ります。



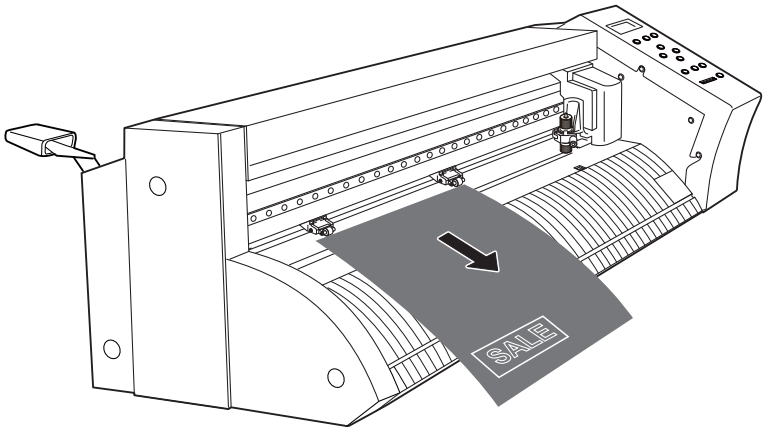
3. ローディングレバーを下げる。

重要

ローディングレバーを勢いよく操作しないでください。
破損することがあります。



4. シートを取り外す。


SALE

シートを切り離す

出力したあと、必要な分だけシートを切り離します。

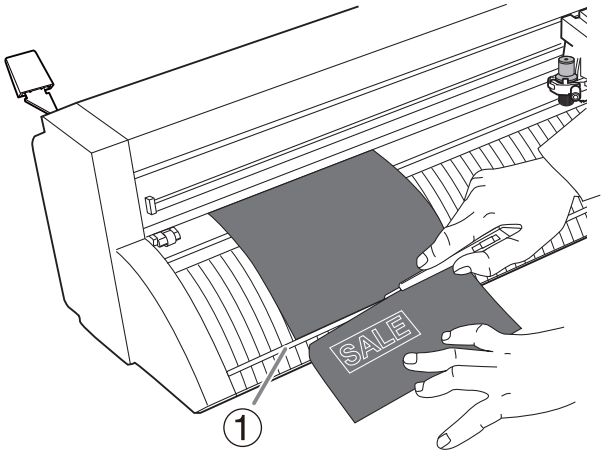
手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
W:***mm
L:***mm
```

2. ［▲］［▼］を押して、切り離したい部分がナイフガイド（①）の位置を越えるまでシートを送る。

3. 機体前面のナイフガイドに沿って、カッターなどでシートを切り離す。



出力の一時停止と中止

出力の一時停止

カットの途中で、カット出力の一時停止や一時停止したカット出力の再開を行います。

メモ

この操作をすると、カット品質が悪くなることがあります。なるべく一時停止しないでください。

手順

1. **出力中に［PAUSE］を押す。**
   カット出力が一時停止します。
2. **もう一度［PAUSE］を押す。**
   出力を再開します。

出力の中止

カットの途中でカット出力を中止する場合は、以下の操作をします。

メモ

この操作をすると、出力データはキャンセルされるためカット出力を再開できません。

手順

1. **出力中に［PAUSE］を押す。**
   カット出力が一時停止します。
2. **［ENTER］を 1 秒以上押し続ける。**
   出力データがキャンセルされます。もう一度カット出力をやり直してください。

その他のカット

ツールモードでプリント＆カットする..... 165
Step 1: 位置合わせ方法を設定する（ツールモード）..... 165
Step 2: 位置合わせをしてカットする..... 166
マニュアルモードでプリント&カットする..... 170
Step 1: 手動でツールマークデータを作成する..... 170
Step 2: プリント&カットデータを出力する..... 173
Step 3: 位置合わせ方法を設定する（マニュアルモード）..... 178
Step 4: カットする（マニュアルモード）..... 183

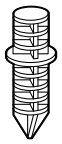
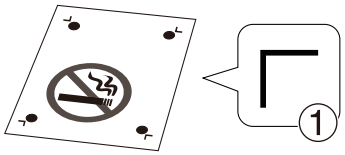
ツールモードでプリント＆カットする

次のような場合に、ツールモードを使用します。

- センサーモードで位置合わせができないとき
- シートの種類を選ばずにプリント＆カットをするとき

メモ

3 点のクロップマークではツールモードを使用できません。

必要なもの	
	
アライメントツール	ツールマーク（①）が印刷されたシート

Step 1: 位置合わせ方法を設定する（ツールモード）

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クロップマーク
<センサーモード>
```

3. ［▶］を押す。

```
クロップマーク
 センサーモード
```

4. ［▲］［▼］を押して、〔ツールモード〕を選択する。

```
クロップマーク
 ツールモード
```

5. ［ENTER］を押す。

```
クロップマーク
<ツールモード>
```

6. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

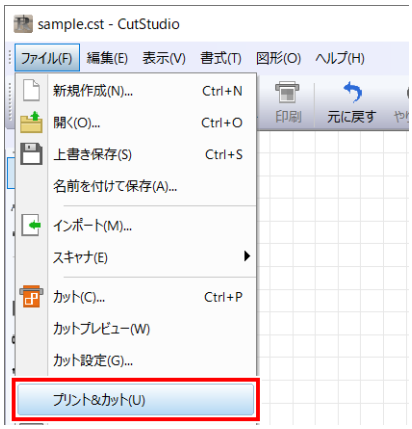
Step 2: 位置合わせをしてカットする

⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。
カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

1. CutStudio の[**ファイル**]>[**プリント&カット**]がオフの時は、オンにする。



2. カットデータを送信する。
以下の画面が表示されます。

メモ

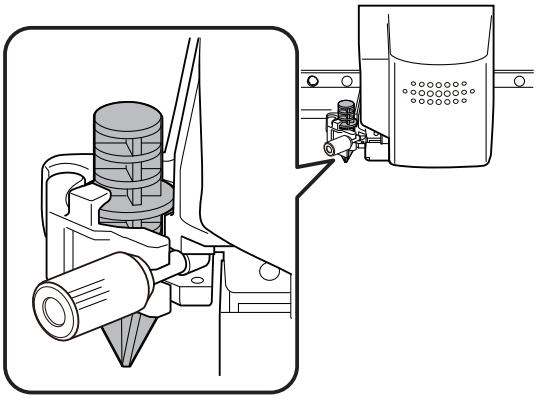
データ送信時に以下の設定は変更しないこと。

- Windows
  CutStudio の[ローテート]は、[しない (0)]から変更しないでください。
- Macintosh
  Adobe illustrator の [**回転**]は、R から変更しないでください。

```
ツール ニ コウカン
(チュウシ   ▸MENU)  ↵
```

3. カッターホルダーを取り外し、アライメントツールを取り付ける。

カッターホルダーと同様の手順でアライメントツールを取り付けることができます。



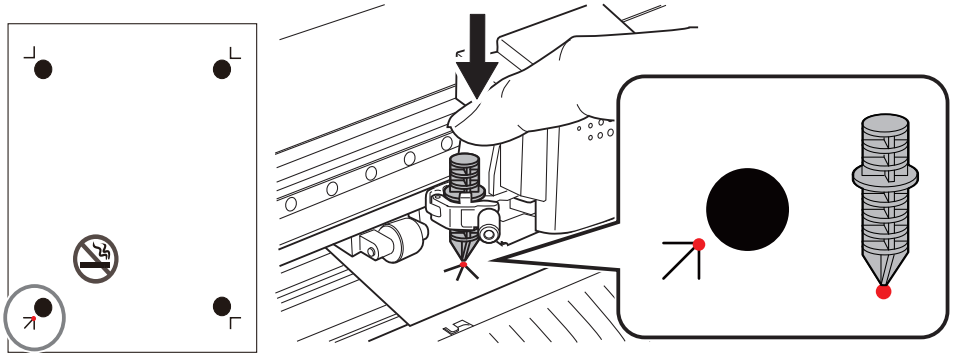
4. ［ENTER］を押す。

以下の画面が表示されます。

```
マーク1
(モドル  ▸MENU)  ↵
```

5. ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、アライメントツールの先端とツールマーク 1 の位置を合わせる。

アライメントツールを上から指で軽く押さえて、アライメントツールの先端がツールマークと重なることを確認します。



6. ［ENTER］を押す。

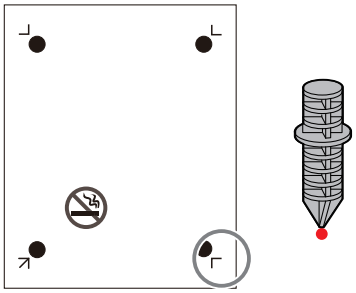
ツールが右下のクロップマーク付近に移動し、以下の画面が表示されます。

```
マーク2
(モドル  ▸MENU)  ↵
```

7. ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、アライメントツールの先端とツールマーク 2 の位置を合わせる。

メモ

位置合わせをやり直したい場合、設定の途中で［MENU］を押すと、1 つ前の画面に戻って位置合わせをやり直すことができます。



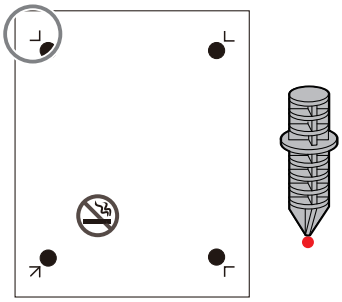
8. ［ENTER］を押す。

ツールが左上のクロップマーク付近に移動し、以下の画面が表示されます。

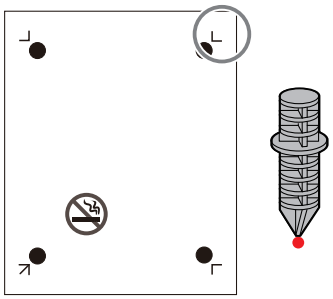
```
マーク3
<ﾓﾄﾞﾙ   ▸MENU>   ↵
```

9. 同様にツールマーク 3、4 の位置合わせをする。

ツールマーク 3



ツールマーク 4

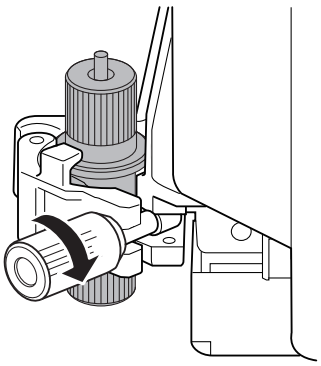


10. ツールマーク 4 の位置合わせが終了したら、［ENTER］を押す。

以下の画面が表示されます。

```
ｶｯﾀｰ ﾆ ｺｳｶﾝ
<ﾓﾄﾞﾙ   ▸MENU>   ↵
```

11. アライメントツールを取り外して、カッターホルダーを取り付ける。



12. ［ENTER］を押す。

13. 以下の画面が表示されたら、［ENTER］を押す。

カットが開始されます。

```
カンリョウ   ▸ENTER
チュウシ     ▸MENU
```

14. カットされたシートを取り外す。

関連情報

- P. 43 カッターホルダーを取り付ける
- P. 160 シートを取り外す

マニュアルモードでプリント&カットする

マニュアルモードを使用すると、CutStudio、Adobe Illustrator、CorelDRAW を使わずにプリント＆カットができます。
使用できるシート、印刷に使用するプリンターを事前に確認してください。

印刷に使用するプリンター

720 dpi 以上の解像度があるレーザープリンター、またはインクジェットプリンター

関連情報

- P. 15 使用可能なシートの条件

Step 1: 手動でツールマークデータを作成する

CutStudio、Adobe Illustrator、CorelDRAW 以外のソフトウェアでツールマークデータを作成します。
アプリケーションソフトウェアでイラストに追加してツールマークを描くときは、カットに必要な余白を考慮して位置を設定します。
ここではサンプルデータを使用して、手動でツールマークデータを作成する方法を説明します。

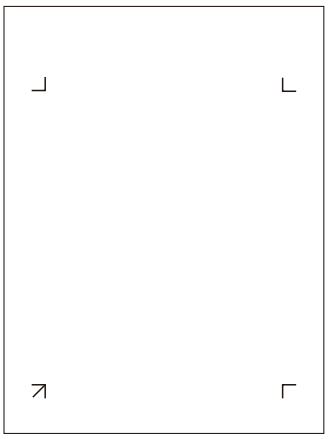
サンプルデータ：

CutStudio のインストール先のフォルダ（通常は C ドライブの[**Program Files (x86)**]>[**CutStudio**]フォルダー）にある Sample.bmp

手順

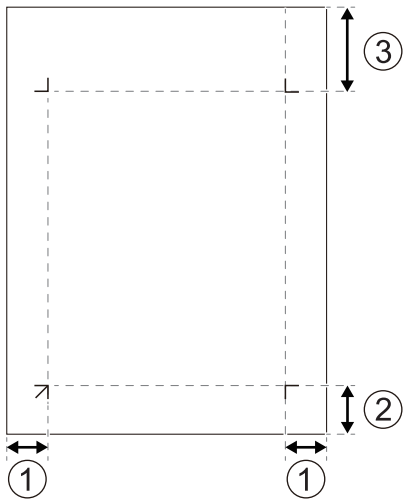
1. ツールマークを描く。

ツールマークの形状に決まりはありませんが、下図のように角がある図形を使うと位置を合わせやすくなります。
また、カッティング原点は左下になります。原点のツールマークは、他のツールマークと区別できるようにしておくとよいでしょう。

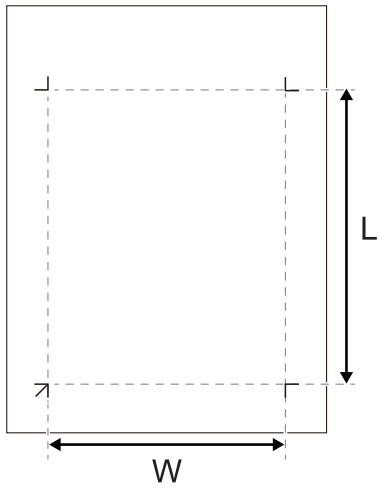


2. 余白を確保する。

送り量が多い（シート長が長い）シートのときは、左右の余白をそれぞれ 25 mm（①）程度、シートの送り方向の手前の余白を 20 mm（②）、奥の余白を 50 mm（③）程度確保することをおすすめします。

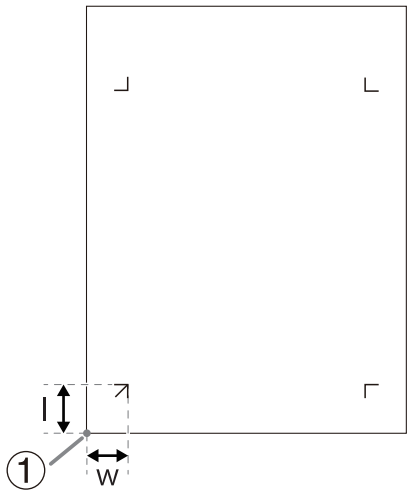


3. ツールマーク間の距離（幅：W、長さ：L）をメモする。

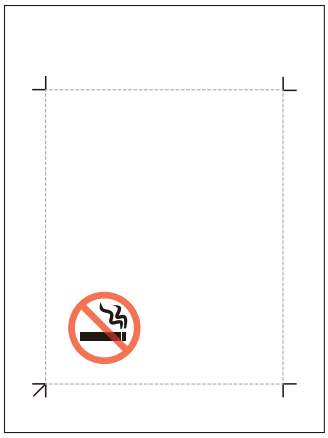


4. オフセット値をメモする。

お使いのソフトウェアの原点（X、Y がともに 0 の点）を確認し、原点（①）と左下ツールマークとの距離（w、l）をメモしてください。



5. ツールマークのカット領域内にイラストを配置する。



関連情報

- P. 316 余白 / クロップマーク間の距離

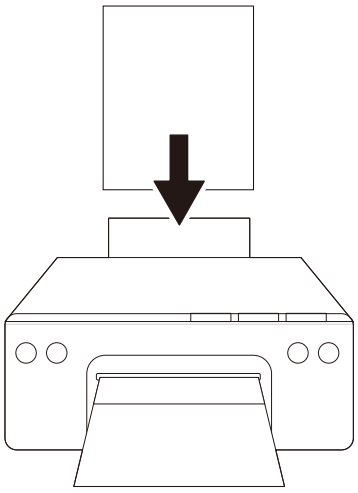
Step 2: プリント&カットデータを出力する

1. プリント＆カットデータを印刷する

手順

1. シートをお使いのプリンターにセットする。

シートのセット方法については、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。



重要

拡大 / 縮小印刷がオンのときはオフにします。必ず縮尺率 100 %で印刷してください。

2. プリント&カットデータを印刷する。

2. 印刷したシートを取り付ける

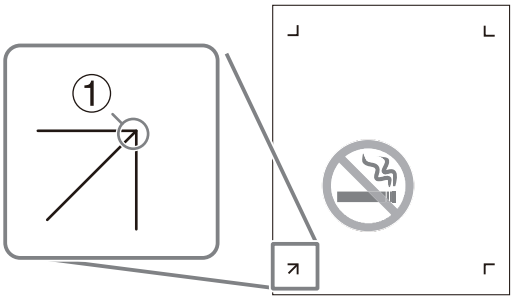
お使いのプリンターで印刷したシートを本機にセットアップします。

重要

プリンターで印刷する際に、シートが反ってしまうことがあります。反ったシートは、反りをなおしてから本機に取り付けてください。

手順

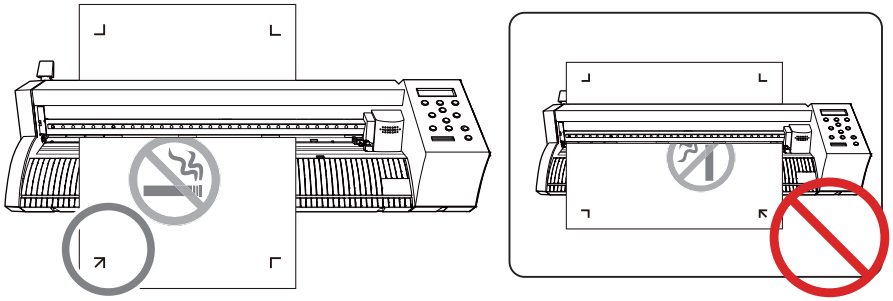
1. シートのカッティング原点（①）を確認する。



2. シートのカッティング原点を左下にして機体にセットする。

重要

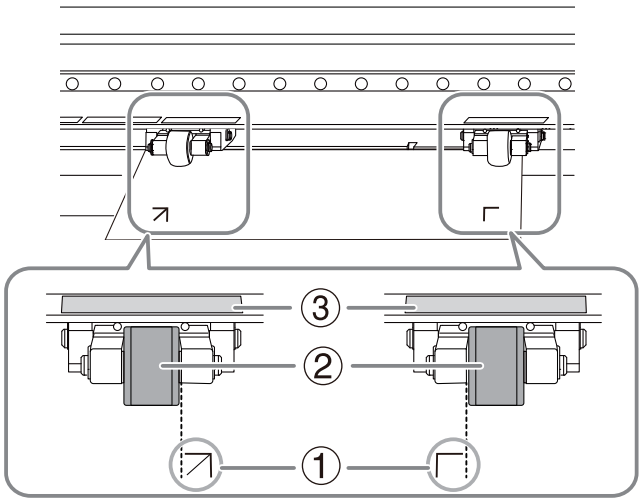
シートの向きを変えて取り付けた場合、Step 1 の手順 3 と 4 でメモした数値を使用できなくなり、正しくカットすることができません。



3. ピンチローラーを配置する。

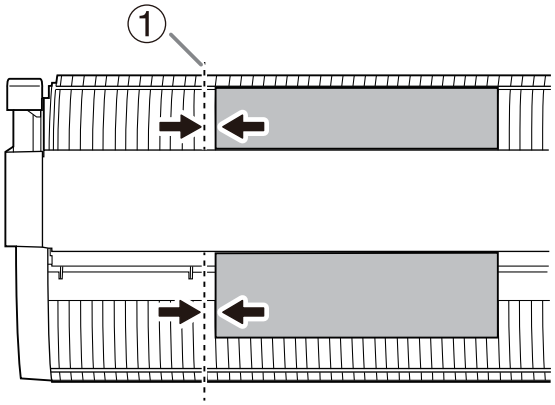
ピンチローラーを配置するときは、次の点に注意してください。

- ツールマーク（①）の外側にピンチローラー（②）を配置してください。
- ピンチローラー（②）はグリットマーク（③）の範囲内に入る位置にしてください。

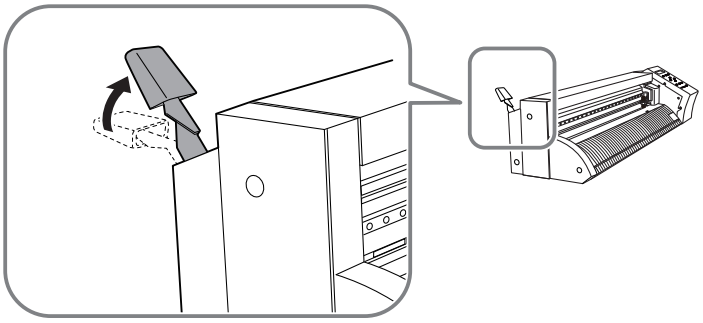


4. シートの左端をガイドライン（①）とほぼ平行になるように合わせる。

機体を上から見た図



5. ローディングレバーを上げてシートを固定する。



6. 機体の電源をオンにする。

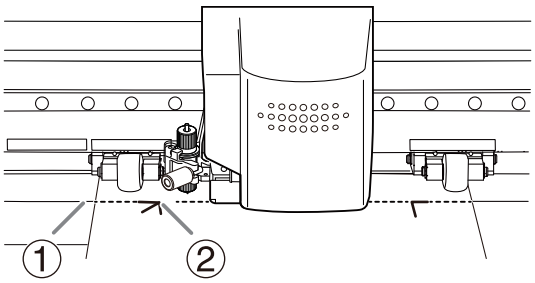
7. シートの種類で[**ハザイ**]を選択する。

8. ［ENTER］を押す。

カット可能な幅と長さが表示されます。

```
W:***mm
L:***mm
```

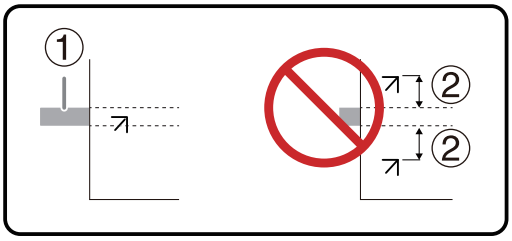
9. ［▲］［▼］を押してシートを移動させ、カッタープロテクション（①）の上にツールマーク（②）を配置する。

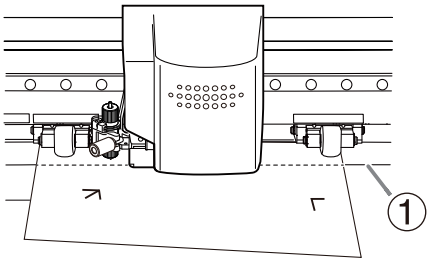


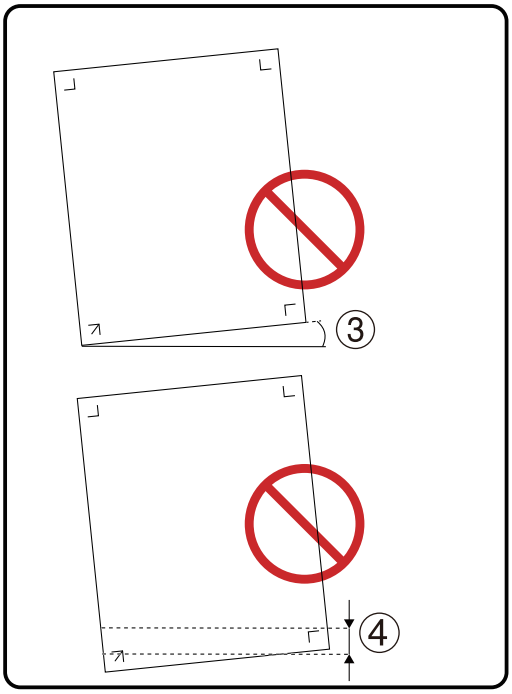
重要

以下の場合、一旦シートを取り外し、取り付けなおしてください。

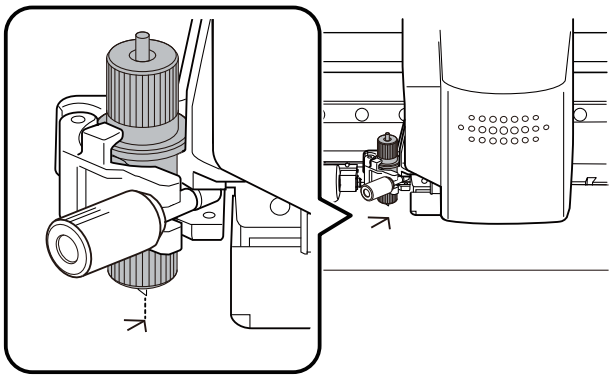
- ツールマークがカッタープロテクションから 15 mm 以上離れている
- 左右のツールマークがカッティングキャリッジの移動方向に対して 5 度以上傾いている
- シートの送り方向に 20 mm 以上ずれている







10. ［◀］［▶］を押してカッターの刃先が左下のツールマークの位置になるようにセットする。



Step 3: 位置合わせ方法を設定する（マニュアルモード）

1. マニュアルモードを選択する

クロップマークの位置合わせをマニュアルモードに設定します。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
クロップマーク
<センサーモード>
```

3. ［▶］を押す。

```
クロップマーク
 センサーモード
```

4. ［▲］［▼］を押し、〔マニュアル〕を選択する。

```
クロップマーク
 マニュアル
```

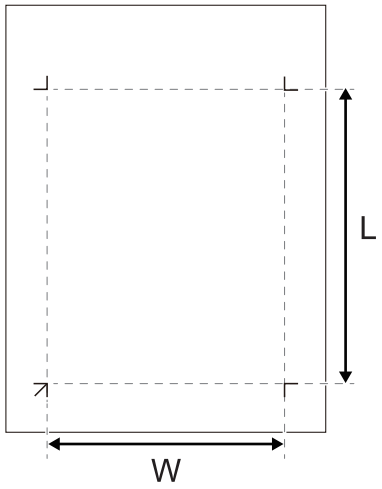
5. ［ENTER］を押す。

```
クロップマーク
<マニュアル>
```

6. ［▶］を押す。

2. ツールマーク間の距離を入力する

手動でツールマークを作成した際に書き留めたツールマーク間の距離（幅（W）、長さ（L））を入力します。



手順

1. ［▶］を 3 回押し、以下の画面を表示する。

```
ﾊﾊﾞ 160
*160mm
```

2. ［▲］［▼］を押して、ツールマーク間の横方向の距離（〔ハバ〕）を入力する。

```
ﾊﾊﾞ 160
*180mm
```

3. ［ENTER］を押して決定する。

```
ﾊﾊﾞ 180
```

4. ［▼］［▶］の順に押して、以下の画面を表示する。

```
ﾅｶﾞｻ 210
*210mm
```

5. ［▲］［▼］を押して、ツールマーク間の縦方向の距離（〔ナガサ〕）を入力する。

```
ﾅｶﾞｻ 210
*230mm
```

6. ［ENTER］を押して決定する。

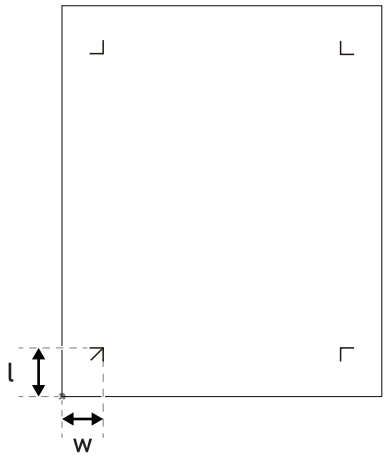
```
ﾅｶﾞｻ 230
```

関連情報

- P. 170 手動でツールマークデータを作成する

3. オフセット値を入力する

手動でツールマークを作成した際に書き留めたオフセット値の距離（w、l）を入力します。



手順

1. ［▼］［▶］の順に押して、以下の画面を表示する。

```
ｵﾌｾｯﾄ W 0.5
*0.5mm
```

2. ［▲］［▼］で幅方向のオフセット値（w）を入力する。

```
ｵﾌｾｯﾄ W 0.5
*0.0mm
```

3. ［ENTER］を押して決定する。

```
ｵﾌｾｯﾄ W 0.0
```

4. ［▼］［▶］の順に押して、以下の画面を表示する。

```
ｵﾌｾｯﾄ L 0.5
*0.5mm
```

5. ［▲］［▼］で長さ方向のオフセット値（l）を入力する。

```
ｵﾌｾｯﾄ L 0.5
*0.0mm
```

6. ［ENTER］を押して決定する。

```
ｵﾌｾｯﾄ L 0.0
```

関連情報

- P. 170 手動でツールマークデータを作成する

Step 4: カットする（マニュアルモード）

⚠ 警告

出力中はカッティングキャリッジにさわらない。

カッティングキャリッジは高速で動きます。ぶつかってけがをすることがあります。

手順

1. ［◀］［▼］の順に押し、以下の画面を表示する。

ツールマーク 3 点の場合は、〔3 テン スタート〕を選択してください。

```
マニュアル          ◀◆
4 テン スタート      ↵
```

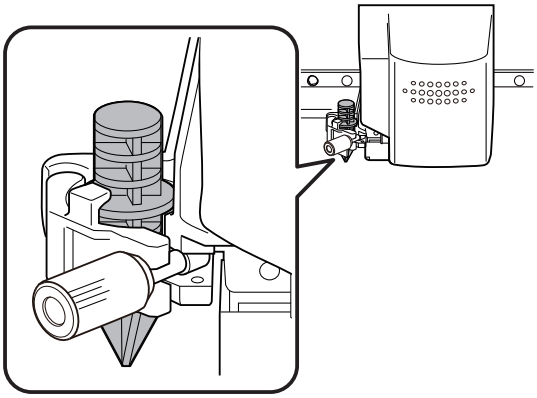
2. ［ENTER］を押す。

以下の画面が表示されます。

```
ツール ニ コウカン
(チュウシ   ▶MENU)  ↵
```

3. カッターホルダーを取り外し、アライメントツールを取り付ける。

カッターホルダーと同様の手順でアライメントツールを取り付けることができます。



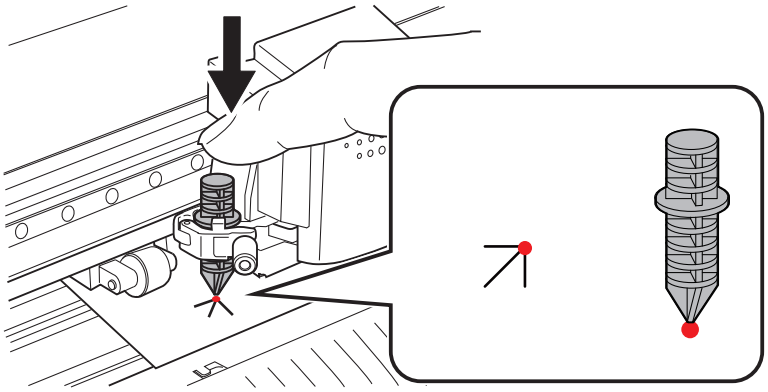
4. ［ENTER］を押す。

以下の画面が表示されます。

```
マーク 1
(モトゞル   ▶MENU)  ↵
```

5. ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、アライメントツールの先端とツールマーク 1 の位置を合わせる。

アライメントツールを上から指で軽く押さえて、アライメントツールの先端がツールマークと重なることを確認します。



6. ［ENTER］を押す。

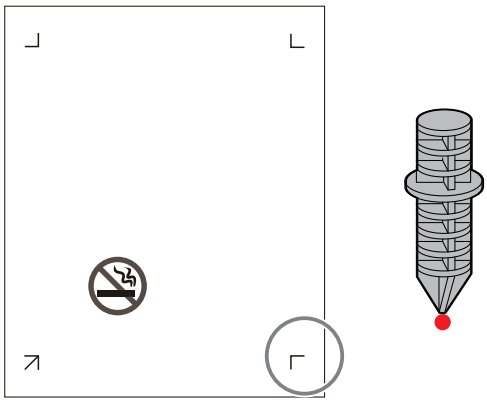
ツールが右下のツールマーク付近に移動し、以下の画面が表示されます。

```
マーク2
<ﾓﾄﾞﾙ   ▸MENU>   ↵
```

7. ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、アライメントツールの先端とツールマーク 2 の位置を合わせる。

メモ

位置合わせをやり直したい場合、設定の途中で［MENU］を押すと、1 つ前の画面に戻って位置合わせをやり直すことができます。

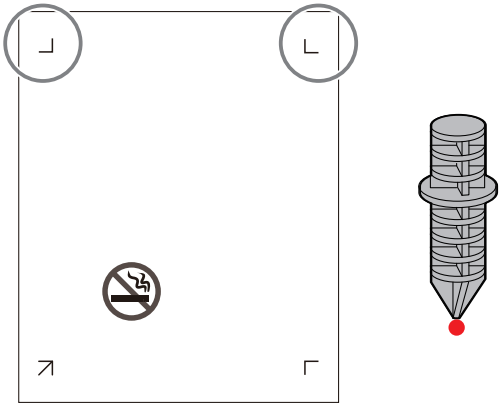


8. ［ENTER］を押す。

ツールが左上のツールマーク付近に移動し、以下の画面が表示されます。

```
マーク3
<ﾓﾄﾞﾙ   ▸MENU>   ↵
```

9. 同様にツールマーク 3、4 の位置合わせをする。

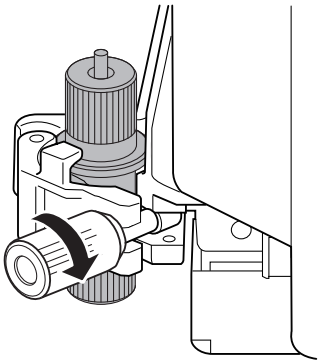


10. ツールマーク 4 の位置合わせが終了したら、[ENTER] を押す。

以下の画面が表示されます。

```
カッター ニ コウカン
<モトヘル  ▸MENU>  ↵
```

11. アライメントツールを取り外して、カッターホルダーを取り付ける。



12. [ENTER] を押す。

13. 以下の画面が表示されたら、[ENTER] を押す。

```
カンリョウ   ▸ENTER
チュウシ     ▸MENU
```

14. 以下の画面が表示されたら、コンピューターからカットデータを送る。

```
データ ヲ シュツリョク
シテクダサイ
```

データを受信すると、カットを開始します。

15. カットされたシートを取り外す。

関連情報

- P. 160 シートを取り外す
- P. 43 カッターホルダーを取り付ける

品質と効率を最適化する

カット品質を最適化する

カット条件について **188**
カット条件の目安 188
カットの設定を調整する **189**
切り込み量を調整する 189
カット圧を設定する 190
カット速度を設定する 192
カッター刃先のオフセットを設定する 193
カット座標の向きを設定する 194
カット領域を広げる 196
カット中の速度を設定する 198
円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング） 199
同じ位置でくり返しカットする（重ね切り） 200
角をきれいにカットする（オーバーカット） 202
カットのずれを防ぐ/直す **204**
通常より薄い/硬いシートを使う 204
カットの位置ずれを防ぐ 205
カット位置を調整する 207
印刷位置を調整する 209

カット条件について

カット条件の目安

カット条件には、カット圧・カット速度・カッター刃先のオフセットの 3 項目があります。
シートとカッターの組み合わせによる、カット条件と寿命のおおよその目安は以下のとおりです。
どんな場合でも以下の条件に従えば適切にカットできるわけではありません。カットの前に、必ずシート材料に適したカッターを使用してテストカットを行ってください。

重要

カッターにはシート材料との適性があり、適性指定されていないシートをカットするとカッターが破損する恐れがあります。

カッター	材料	カット圧（gf）	カット速度（cm/sec）*1	カッター刃先のオフセット（mm）	寿命（m）*2
ZEC-U5032	サインシート一般	30 ～ 100	20 以下	0.25	4,000
ZEC-U5025	サインシート一般	40 ～ 100	20 以下	0.25	4,000
	蛍光シート	120 ～ 200	10 以下		2,500

*1　カット速度が速いほど画質が悪化します。必要な画質に合わせて調整してください。
*2　寿命は、同一種類のシートをカットし続けた場合の目安です。

メモ

表に示したカット圧より 50 ～ 60 gf 以上高くしても切り残しができる場合は、カッターを交換してください。

関連情報

- P. 45 テストカットする
- P. 189 カットの設定を調整する
- P. 261 カッターを交換する

カットの設定を調整する

カットの設定を調整する前にテストカットを実施します。テストカットの結果を確認しながらカット条件を調整してください。カット圧、カット速度およびカッター刃先のオフセットについては、プリンタードライバーの[**印刷設定**]ウィンドウ（またはCutStudio / VersaWorks）からも変更することができます。

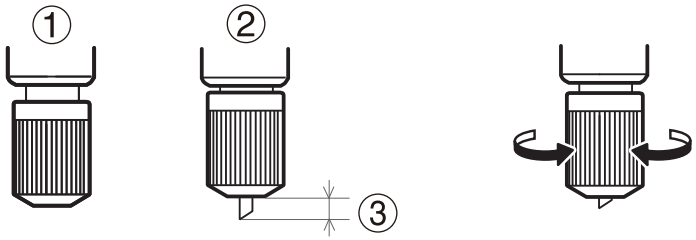
関連情報

- P. 45 テストカットする

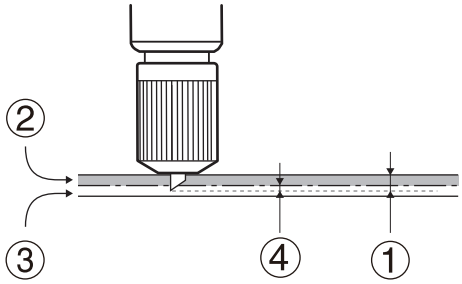
切り込み量を調整する

台紙が薄いシートをカットするなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量を調整すると良い結果が得られます。刃先突出量はカッターホルダーのキャップ部分を回して調整します。

刃先突出量（③）は、最小で 0 mm（①）、最大で 2.5 mm（②）です。一回転で 0.5 mm の調整ができます。

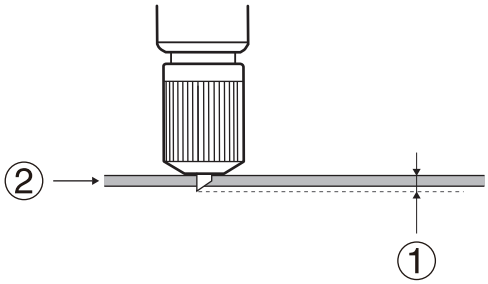


刃先突出量（①）は、シート部の厚み（②）と台紙の厚み（③）の半分（④）を足した量にしてください。



メモ

台紙のないシートをミシン目カットする場合、刃先突出量（①）はカッターがシート（②）を貫通して刃先がわずかに出る量にしてください。刃先を多く出しすぎると、カッターとカッタープロテクションの摩耗が激しくなり、劣化を早めますので注意してください。

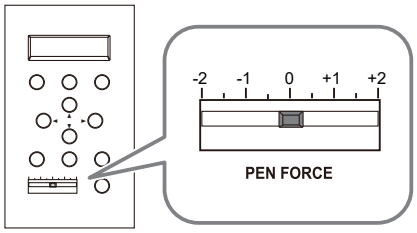


カット圧を設定する

図形が一緒にはがれたり、台紙も一緒にカットされるなどうまく切れなかったときは、カット圧を変更します。

手順

1. ペンフォースつまみ［PEN FORCE］が中央（目盛 0 の位置）にあることを確認する。



2. ［FORCE］を押す。

現在設定されているカット圧が表示されます。

```
ｶｯﾄｱﾂ 50gf
* 50gf
```

3. ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

4. ［ENTER］を押して決定する。

メモ

- 出荷時設定：50 gf
- 設定範囲：30～500 gf（10 gf 単位で変更可）

関連情報

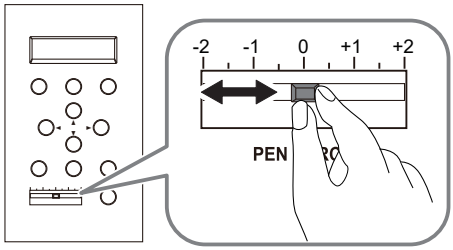
- P. 188 カット条件の目安

カット圧を微調整する

〔カットアツ〕メニューでカット圧を変更した後で、ペンフォースつまみを使ってさらに微調整をすることができます。〔カットアツ〕メニューで設定したカット圧よりももう少し大きく、または小さくしたいときに操作します。

手順

1. ペンフォースつまみを使って、カット圧を調整する。



- 調整できる範囲：± 約 30 gf

メモ

ここで調整した値は目安です。正確な値を保証するものではありません。

カット速度を設定する

カット速度を設定します。

手順

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、次の手順で画面を表示します。

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. [▼] を押す。

2. [▶] を押す。

3. [▲] [▼] を押して、以下の画面を表示する。

```
ｿｸﾄﾞ 40cm/s
```

4. [▶] を押す。

5. [▲] [▼] を押して、値を選択する。

```
ｿｸﾄﾞ 40cm/s
  10cm/s
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：20 cm/s
- 設定範囲：1～85 cm/s（1 cm/s きざみ）

関連情報

- P. 188 カット条件の目安

カッター刃先のオフセットを設定する

カッター刃先のオフセットを設定します。カッターに記載のオフセット値を入力してください。付属のカッターを使用するときは、出荷時の設定でカットできます。

メモ

カットの始まりにずれがあったり、図形の角がしっかりでていないときはオフセット値を調整してください。

手順

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、次の手順で画面を表示します。

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. [▼] を押す。

2. [▶] を押す。

3. [▲] [▼] を押して、以下の画面を表示する。

```
ｵﾌｾｯﾄ 0.250mm
```

4. [▶] を押す。

5. [▲] [▼] を押して、値を選択する。

```
ｵﾌｾｯﾄ 0.250mm
  0.500mm
```

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：0.250 mm
- 設定範囲：0.000～1.000 mm（0.025 mm きざみ）

関連情報

- P. 188 カット条件の目安

カット座標の向きを設定する

カット座標を回転し、シートに対してどの向きでカットするかを決めます。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、次の手順で画面を表示します。

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を押す。

2. ［▶］を押す。

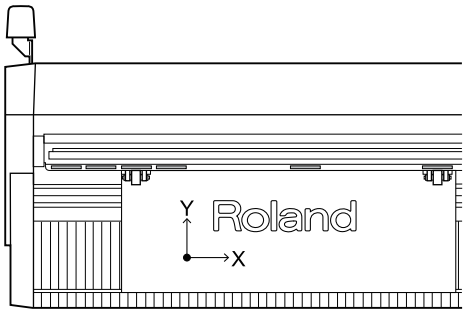
3. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

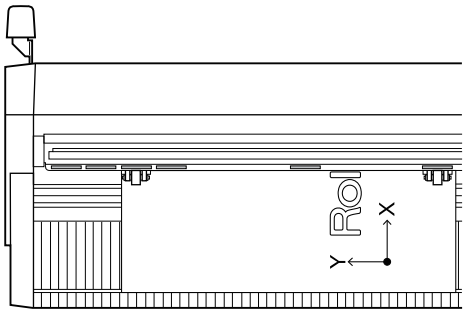
```
ｶｲﾃﾝ 0ﾄﾞ A
```

4. ［▶］を押す。

5. ［▲］［▼］を押して、設定を選択する。

```
ｶｲﾃﾝ  0ﾄﾞ A
＊ 0ﾄﾞ A
```

〔0 ド〕	下図の矢印は、X 軸・Y 軸それぞれのプラス方向を示しています。  	• 原点位置：左下 • 座標軸： 上下方向：Y 軸 左右方向：X 軸

〔90 ド〕	下図の矢印は、X 軸・Y 軸それぞれのプラス方向を示しています。  	• 原点位置：右下 • 座標軸： 上下方向：X 軸 左右方向：Y 軸

6. ［ENTER］を押して決定する。

メモ

- 出荷時設定：〔0 ド〕

設定値は、MENU を何回か押して以下の画面を表示しても確認できます。

- 〔0 ド〕に設定した場合

```
20cm/s
250gf 0.250mm ∠A
```

- 〔90 ド〕に設定した場合

```
20cm/s
250gf 0.250mm ∠C
```

7. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安

カット領域を広げる

カット領域を広げることで、シートを最大限に使用することができます。

メモ

カットするデザインによっては、ピンチローラーがカット線上を通過する場合があります。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ        ◀◆
                  ▶
```

メモ

シートがセットアップされているときは、次の手順で画面を表示します。

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ        ◀◆
                  ↵
```

2. ［▼］を押す。

2. ［▶］を押す。

3. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ﾊﾊﾞｶｸﾁｮｳ 0.0m   ◀◆
                  ▶
```

4. ［▶］を押す。

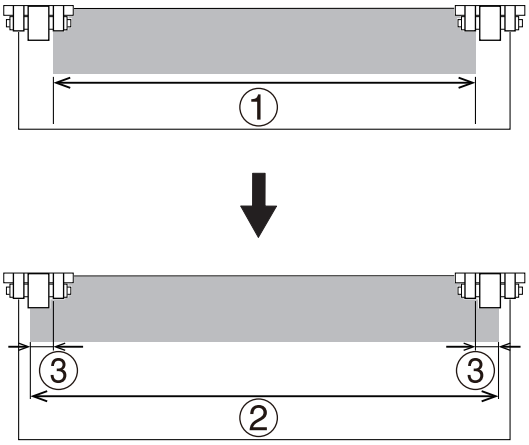
5. ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

```
ﾊﾊﾞｶｸﾁｮｳ 0.0m   ◀◆
  10.0mm          ↵
```

重要

- 設定した値は、カット領域の両端に適用されます。
- シートを取り付けた後に〔ハバカクチョウ〕を設定した場合、操作パネルに表示される〔W〕の値と実際のカット幅は異なります。

例：0 mm から 10.0 mm に設定した場合



①	200 mm
②	220 mm
③	10 mm

6. ［ENTER］を押して決定する。

7. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：0.0 mm
- 設定範囲：0.0～10.0 mm

関連情報

- P. 39 シートの種類を選択する

カット中の速度を設定する

カット中に、カッターをシートから離して次のカット位置まで移動させるときの速度を設定します。標準的なシートよりも薄かったり厚かったりするシートをカットするときは、シートの浮き上がりを防ぐなどの目的で、遅くしたほうがよいことがあります。

手順

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、次の手順で画面を表示します。

1. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. [▼] を押す。

2. [▶] を押す。

3. [▲] [▼] を押して、以下の画面を表示する。

```
ｱｯﾌﾟｿｸﾄﾞ40cm/
```

4. [▶] を押す。

5. [▲] [▼] を押して、値を選択する。

```
ｱｯﾌﾟｿｸﾄﾞ40cm/
 ｵｰﾄ
```

〔オート〕に設定されているときは、〔ソクド〕で設定された速さで移動します。〔アップソクド〕を速くすると、カット時間が短くなります。

6. [ENTER] を押して決定する。

7. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：〔オート〕
- 設定範囲：10～85 cm/s（5 cm/s きざみ）、〔オート〕

関連情報

- P. 188 カット条件の目安

円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）

本機に送られるカットデータの曲線をなめらかに設定します。通常は〔オン〕に設定してください。小さな文字や入り組んだ図形をカットするとき、角が丸くカットされる場合は〔オフ〕にします。また、品質を問わず生産性を上げたいときも〔オフ〕にしておくことをおすすめします。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ｵﾝ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、〔オン〕または〔オフ〕を選択する。

```
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ｵﾝ
*ｵﾝ
```

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：〔オン〕

同じ位置でくり返しカットする（重ね切り）

1 つのカットデータを使って、同じ位置で何回か繰り返しカットします。厚いシートなど、一度にカットできない場合に使用してください。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｻﾈｷﾞﾘ ｵﾌ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

```
ｶｻﾈｷﾞﾘ ｵﾌ
*ｵﾌ
```

メモ

通常のカットに加え、設定した値の回数が追加でカットされます。

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

メモ

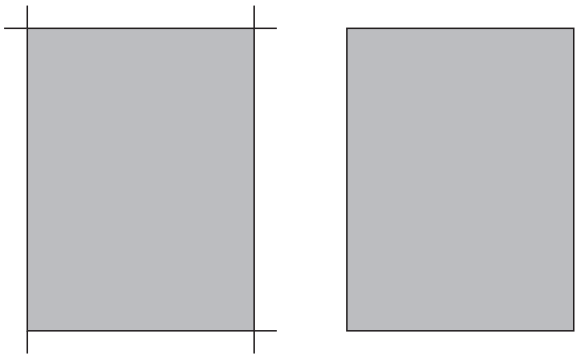
- 出荷時設定：〔オフ〕
- 設定範囲：〔オフ〕、1～10

関連情報

- P. 75 カットする

角をきれいにカットする（オーバーカット）

カット線の最初と最後を少し長めにカットします。厚手のシートをカットするときなど、角を特にシャープに仕上げたい場合に有効です。小さな文字や入り組んだ図形をカットする場合は、使用するシートの部分を切り込むことがあるため、通常は〔オフ〕に設定します。



〔オン〕　〔オフ〕

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
カットジョウケン
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
アンセットアップ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ソノホカ ノ セッテイ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
オーバーカット オフ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、〔オン〕または〔オフ〕を選択する。

```
オーバーカット オフ
*オフ
```

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：〔オフ〕

カットのずれを防ぐ/直す

通常より薄い/硬いシートを使う

吸着ファンをオンにしてカット中のシートを吸着し、シートのずれと浮き上がりを防ぎます。通常は設定を〔オート〕のまま使用します。薄くてコシのないシートを使用する場合は、設定を変更して吸着ファンの風量を弱くすることをおすすめします。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ﾌｧﾝﾉﾌｳﾘｮｳ ｵｰﾄ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

薄いシートを使用するときは、ファンの風量を弱くします。

```
ﾌｧﾝﾉﾌｳﾘｮｳ ｵｰﾄ
*ｵｰﾄ
```

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：〔オート〕
- 設定範囲：1~5、〔オート〕

カットの位置ずれを防ぐ

カット前とカット中に自動でシートの送り出しを行い、カットの位置ずれを防ぎます。〔オン〕に設定すると、コンピューターからカットデータが送られてきたとき、1m ごと（データによっては 1m 以上送り出す場合もあります）に自動で手前にシート送りを行ってからカットを行います。

メモ

〔エリア〕機能でシートの送り出しを行った場合は、〔ジドウサキオクリ〕を〔オン〕に設定していても送り出された長さまでは自動シート送りを行いません。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ｼﾞﾄﾞｳｻｷｵｸﾘ ｵﾌ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、〔オン〕または〔オフ〕を選択する。

```
ｼﾞﾄﾞｳｻｷｵｸﾘ ｵﾌ
*ｵﾌ
```

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. 〔オン〕を選択した場合は、シートの送り速度を設定する。

(1) ［▶］を 2 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｿｸﾄﾞ 40cm/s
```

(2) [▶] を押す。
(3) [▲] [▼] を押して、値を選択する。
(4) [ENTER] を押して決定する。

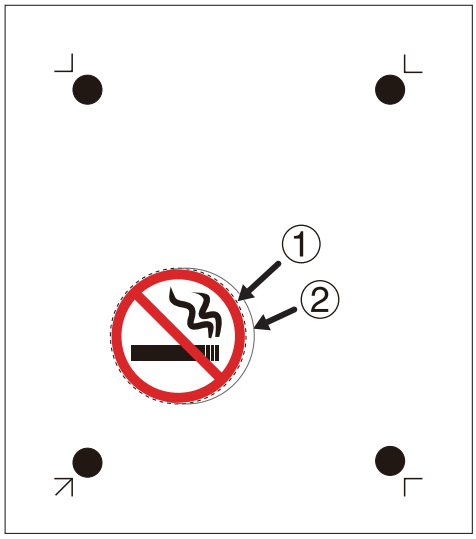
9. [MENU] を押して、もとの画面に戻る。

メモ

- 出荷時設定：〔オフ〕
- 設定範囲：〔オン〕（1～10 cm/s）、〔オフ〕

カット位置を調整する

印刷位置とカット位置が下図のようにずれてしまうときは、印刷位置またはカット位置を調整してずれを直します。ここではカット位置を調整します。



①：本来のカット線
②：実際のカット線

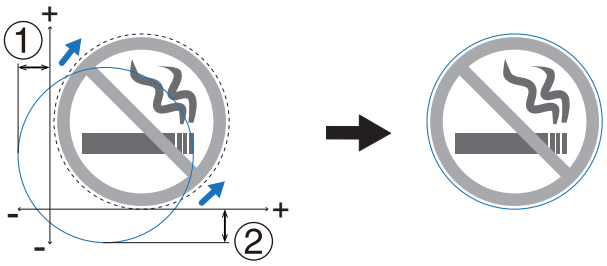
手順

1. シートがセットされていることを確認する。

2. カットの状態から補正値を確認する。

〔CROP-L〕はシートの送り方向、〔CROP-W〕はカッティングキャリッジの移動方向を示しています。

例：カット線を右に 0.5 mm（①）、上に 0.7 mm（②）移動したい場合



- CROP-W：+0.500 にする
- CROP-L：+0.700 にする

3. [MENU] を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

4. [▼] を押して、以下の画面を表示する。

```
ソノホカ ノ セッテイ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ｸﾛｯﾌﾟｲﾁﾁｮｳｾｲ
```

7. CROP-L と CROP-W の補正値を設定する。

(1) ［▶］を 2 回押して、以下の画面を表示する。

```
CROP-L 0.000
*0.000mm
```

(2) ［▲］［▼］を押して、CROP-L の補正値を設定する。

(3) ［ENTER］を押して決定する。

(4) 〔▼〕〔▶〕の順に押して、以下の画面を表示する。

```
CROP-W 0.000
*0.000mm
```

(5) ［▲］［▼］を押して、CROP-W の補正値を設定する。

(6) ［ENTER］を押して決定する。

8. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

9. 再度カットする。

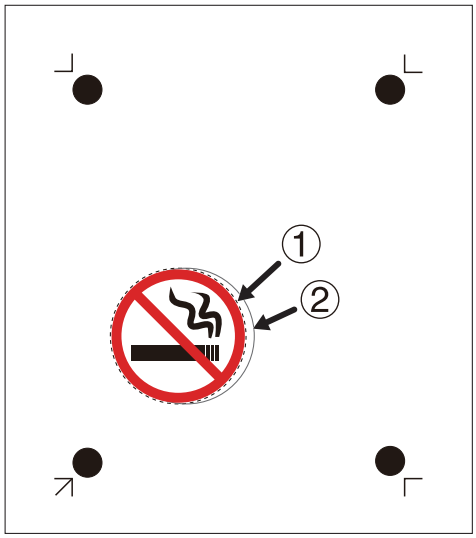
カット位置のずれが直っていれば調整完了です。さらに調整が必要な場合は、くり返し調整をしてください。

メモ

- 出荷時設定：
  〔CROP-L〕：（シートの送り方向）0.000
  〔CROP-W〕：（カッティングキャリッジの移動方向）0.000
- 設定範囲：-25.000 mm ～ +25.000 mm

印刷位置を調整する

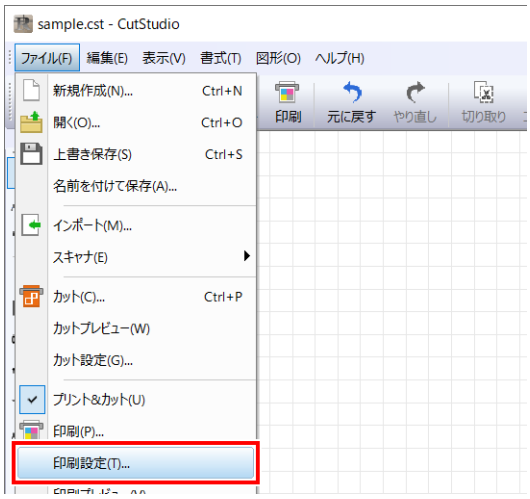
印刷位置とカット位置が下図のようにずれてしまうときは、印刷位置またはカット位置を調整してずれを直します。ここでは印刷位置を調整します。



①：本来のカット線
②：実際のカット線

手順

1. CutStudio の[**ファイル**]>[**印刷設定**]をクリックする。

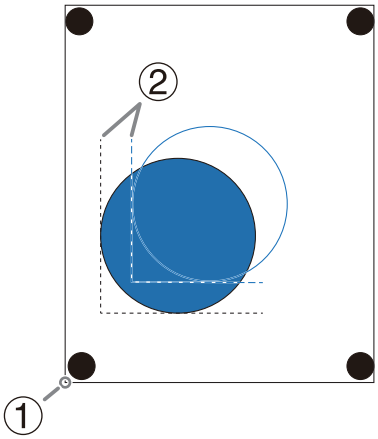


2. [**微調整**]をオンにして、[**調整**]をクリックする。

[**クロップマークの調整**]画面が表示されます。

3. 原点（①）に近い側の線や点（②）を基準として位置合わせをする。

ずれがないように[**BaseX**]と[**BaseY**]の値を次のように調整して、[**OK**]をクリックします。



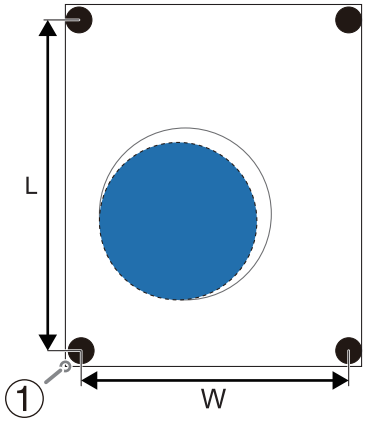
- **カット位置が印刷位置に対して左右にずれている場合**

  [**BaseX**]の値を変更します。カット位置が右にずれているときは大きく、左にずれているときは小さくします。上図の場合は、[**BaseX**]を大きくします。

- **カット位置が印刷位置に対して上下にずれている場合**

  [**BaseY**]の値を変更します。カット位置が上にずれているときは大きく、下にずれているときは小さくします。上図の場合は、[**BaseY**]を大きくします。

  [**BaseX**]、[**BaseY**]の値を調整して位置合わせをしたにもかかわらず、下図のように原点（①）から離れた場所で印刷位置とカット位置がずれる場合は、シートの伸縮や印刷のゆがみなどの影響で、印刷されたクロップマーク間の距離（[**W**]、[**L**]）が設定とずれていることが考えられます。下記手順４に進んでください。



4. [**クロップマークの調整**]画面の[**W**]と[**L**]を次のように設定して、誤差を調整する。

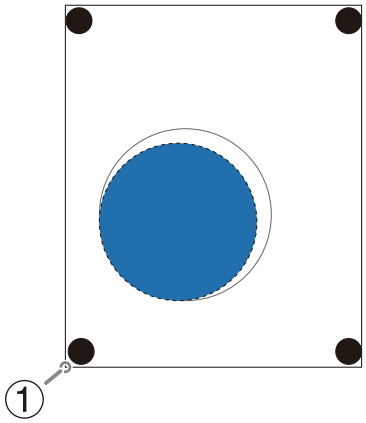
ただし、ここでの設定値はあくまでも目安です。実際には何度か値を変えて実際にカットしながら最適な設定値を見つけることが必要です。

重要

設定を行う前に、[**BaseX**]、[**BaseY**]の設定を、原点（①）に近い側の線や点を基準として調整したことを確認してください。離れたところで位置合わせをしていた場合、[**W**]と[**L**]の設定を行うと手順３の調整結果がずれてしまいます。

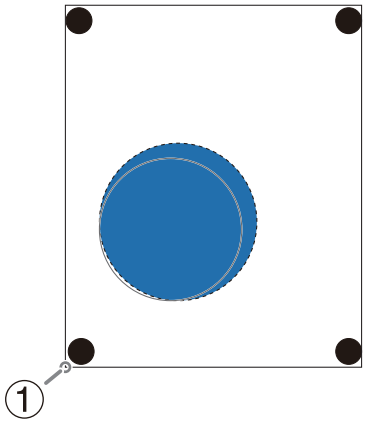
- **カット線が印刷位置から外側に離れている場合**

  印刷されたクロップマーク間の距離が設定より長くなっていることが考えられます。この場合は[**W**]、[**L**]の値を設定より大きくして補正します。



- **カット線が印刷位置より内側に離れている場合**

  印刷されたクロップマーク間の距離が設定より短くなっていることが考えられます。この場合は[**W**]、[**L**]の値を設定より小さくして補正します。



①：原点

重要

[**クロップマークの調整**]画面で入力した値は、[**印刷設定**]画面で[**調整**]をオンにしているときのみ有効です。一度[**微調整**]をオフにするか、[**クロップマーク**]の[**W**]、[**L**]の値を変えた場合、それまでに入力した値はすべて消去されます。

メモ

クロップマークの読み取りに失敗すると、以下の画面が表示されます。

以下の画面が表示された場合は、クロップマークを検出できない（P. 271）を参考にしてエラーを解決してください。

```
<ツールモードゾ>ニ
 キリカエテクダサイ
```

それでも解決しないときは、ツールモードに切り替えて位置合わせを行ってください。

P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

作業効率を最適化する

同じデータをくり返しカットする **213**
Step 1: 再カットするデータを準備する 213
Step 2: 再カットする 214
よく使うカット条件を保存する **215**
カット条件を保存する 215
カット条件を呼び出す 216
カットした部分をあとで切り離す **217**
CutStudio でミシン目カットデータを作成するとき 217
Adobe Illustrator でミシン目カットデータを作成するとき 224
CorelDRAW でミシン目カットデータを作成するとき 232
機体でミシン目カット条件を設定する 239
カットデータを複数のシートに分割して出力する **241**
分割出力とは 241
Step 1: データを何枚のシートに分割するか決める 242
Step 2: 分割出力の条件を設定する 243
Step 3: カットデータを作成する 246
Step 4: カットする 248

同じデータをくり返しカットする

〔リプロット〕

コンピューターから受け取ったデータを機体のメモリに保存し、そのデータをくり返しカット（再カット）できます。再カットするにはディスプレイメニューの〔リプロット〕を使います。

- 一度セットアップ状態にされてから解除されるまでに受け取った、すべてのデータを保存します。
- セットアップ状態を解除しても、データは消去されません。
- 一度セットアップ状態を解除してから、再びセットアップ状態に戻してコンピューターからデータを送ると、保存されていたデータは新しいデータに上書きされます。
- 電源をオフにすると、データはすべて消去されます。
- 機体に蓄積されたデータが 2 MB を越えると、一度データを消去しない限り再カットできません。このとき〔リプロット〕を実行すると、〔データガ オオキスギマス〕と表示されます。機体に何もデータがないときは、メニューで〔リプロット〕を選んだときに〔データナシ〕と表示されます。

Step 1: 再カットするデータを準備する

機体に残っているデータをすべて消去してから新たにデータを送り、必要なデータだけをメモリに記憶させます。

手順

1. シートがセットされていることを確認する。

2. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

3. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
リプロット
<データアリ>
```

〔データナシ〕と表示されている場合は、手順 6 に進んでください。

4. ［▶］を押す。

```
リプロット
*スタート
```

5. ［▼］を押して〔クリア〕を選択する。

```
リプロット
*クリア
```

6. ［ENTER］を押す。

データがクリアされます。

```
リプロット
<データナシ>
```

7. コンピューターからデータを送る。

Step 2: 再カットする

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
アンセットアップ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
リプロット
<データアリ>
```

3. ［▶］を押す。

```
リプロット
*スタート
```

4. ［ENTER］を押す。

以下の画面に戻り、メモリに記憶されたデータのカットが実行されます。

```
20cm/s
250gf 0.250mm ∠A
```

よく使うカット条件を保存する

カット条件を保存する

シートを変更するたびにカット条件を設定する手間を省くため、よく利用するシートについてはカット条件をメモリーに保存できます。次回からは保存したメモリーを呼び出すだけで、お使いのシートに最適な設定に変更されます。
メモリーはユーザー 1 ～ 8 まであり、8 通りの設定を保存できます。上書きすると古いカット条件は消去されます。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ﾒﾓﾘｰ
<ﾕｰｻﾞｰ1>
```

3. ［▶］［▼］［▶］の順に押す。

```
ﾎｿﾞﾝ ＊ﾕｰｻﾞｰ1
50-20-0.250
```

表示は左から〔カットアツ〕、〔ソクド〕、〔オフセット〕の各メニューの設定値を示しています。

4. ［▲］［▼］で保存したいメモリ番号を選択する。

5. ［ENTER］を押す。
以下の画面が表示されます。

```
ﾎｿﾞﾝ ﾕｰｻﾞｰ2
```

6. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

メモ

ディスプレイには表示されませんが、アップ速度（カッターの空送り速度）とカット品質も保存されています。

カット条件を呼び出す

操作パネルに保存したメモリーを選択して適用します。
ユーザー 1 ～ 8 までのいずれかを選べます。呼び出しをすると保存していなかったカット条件は消えてしまいますのでご注意ください。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ﾒﾓﾘｰ
<ﾕｰｻﾞｰ 1>
```

3. ［▶］を 2 回押す。

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ＊ﾕｰｻﾞｰ 1
50-20-0.250
```

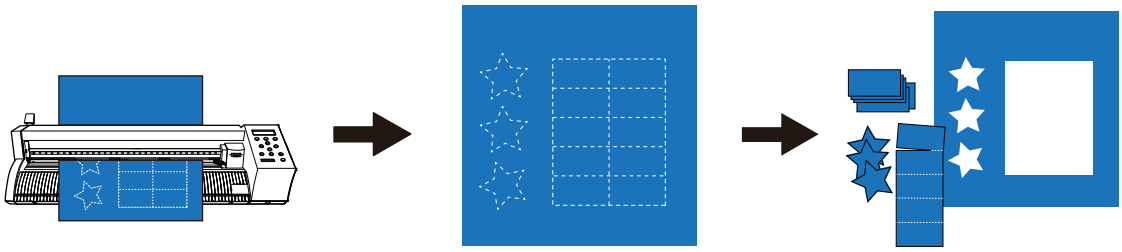
4. ［▲］［▼］で呼び出したいメモリ番号を選ぶ。

5. ［ENTER］を押して実行する。

6. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

カットした部分をあとで切り離す

台紙のないシートをカットしたり、カットデータに折り目をつけたりしたい場合、ミシン目カットの設定を行います。
カット終了後にシートから切り離すことで、シートづまりを防止します。



関連情報

- P. 27 シートのセットアップ
- P. 41 カット出力の準備
- P. 72 カット条件を設定する
- P. 62 プリント条件を設定する

CutStudio でミシン目カットデータを作成するとき

1. ミシン目カット用のカットデータを作成する

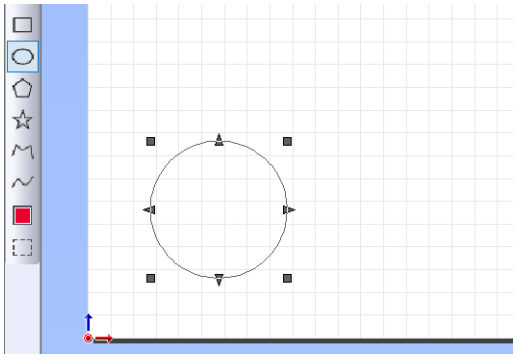
事前に本機にシートをセットし、カット出力の準備を完了しておいてください。
P. 27 シートのセットアップ
P. 41 カット出力の準備

手順

1. CutStudio を起動する。
P. 14 CutStudio の起動方法

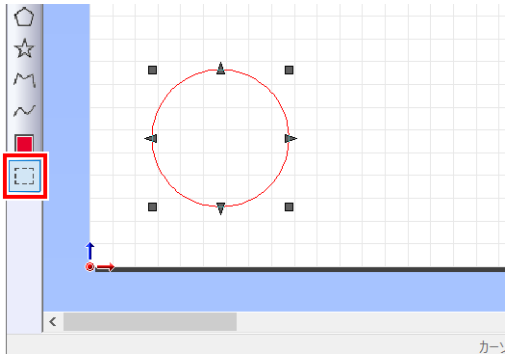
2. 図形を描く。

ここでは下図のように作図します。



3. をクリックする。

ミシン目カットが設定され、オブジェクトが赤く表示されます。



メモ

[**ファイル**]>[**環境設定**]をクリックすると、[**環境設定**]画面が表示されます。カット線の色や表示などの設定ができます。

メモ

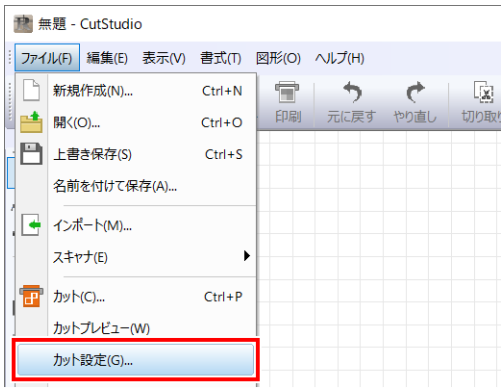
ミシン目の設定を解除する場合は、 でミシン目カットを解除する図形を選択してから をクリックしてください。ミシン目の設定が解除されるとカット線の色が黒に戻ります。

2. ミシン目カット条件を設定する

手順

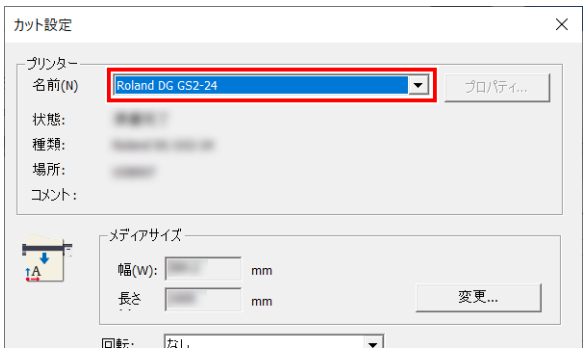
1. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

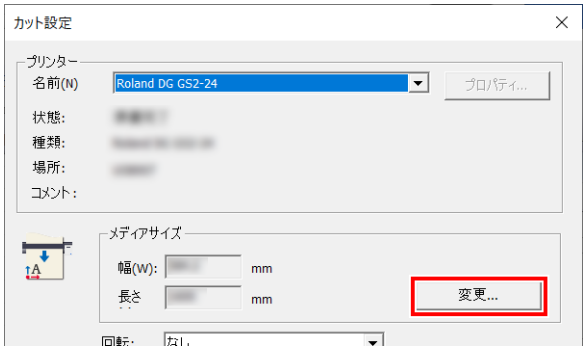


2. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。

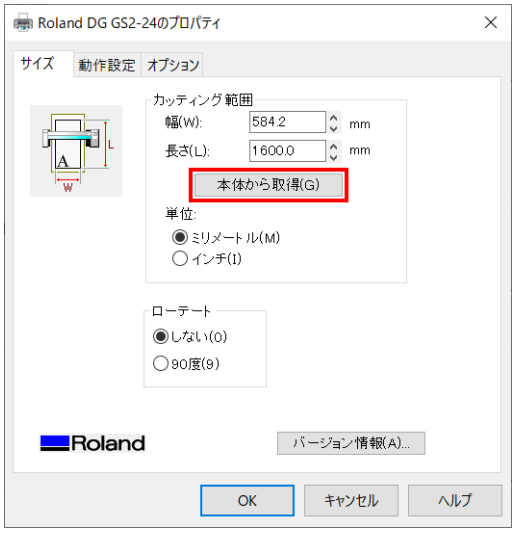


3. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。



4. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示を更新します。

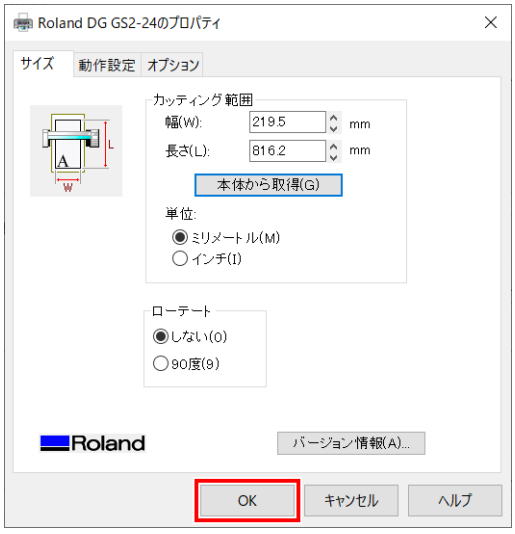


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

5. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

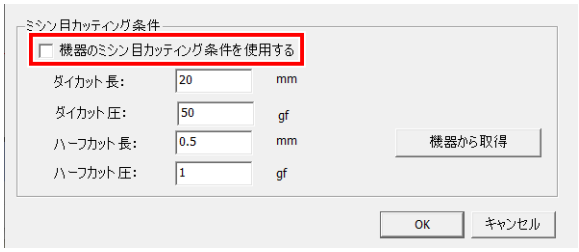
6. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]がオンになっています。

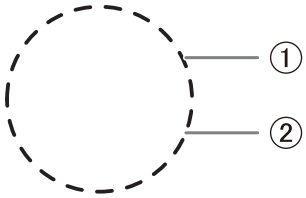
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

7. [**機器のミシン目カッティング条件を使用する**]をオフにする。

[**ミシン目カッティング条件**]に数値を入力できるようになります。

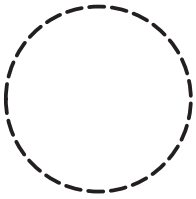
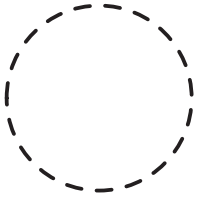
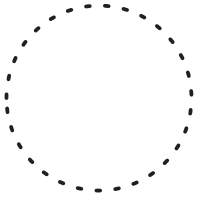


8. **[ミシン目カッティング条件]の[ダイカット長]、[ダイカット圧]、[ハーフカット長]、[ハーフカット圧]を設定する。**



- ①：ダイカット長
  シートを切り抜く部分の長さ
- ②：ハーフカット長
  カット圧を弱くしてシートを切り抜かない部分の長さ

ダイカット圧、ハーフカット圧は使用するシートの材質によって調整してください。

[ダイカット長] > [ハーフカット長]	[ダイカット長] = [ハーフカット長]	[ダイカット長] < [ハーフカット長]
		
ダイカット長：20 mm	ダイカット長：20 mm	ダイカット長：1 mm
ハーフカット長：1 mm	ハーフカット長：20 mm	ハーフカット長：20 mm

9. **[OK]をクリックする。**

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安
- P. 190 カット圧を設定する
- P. 239 機体でミシン目カット条件を設定する

3. ミシン目カットする

手順

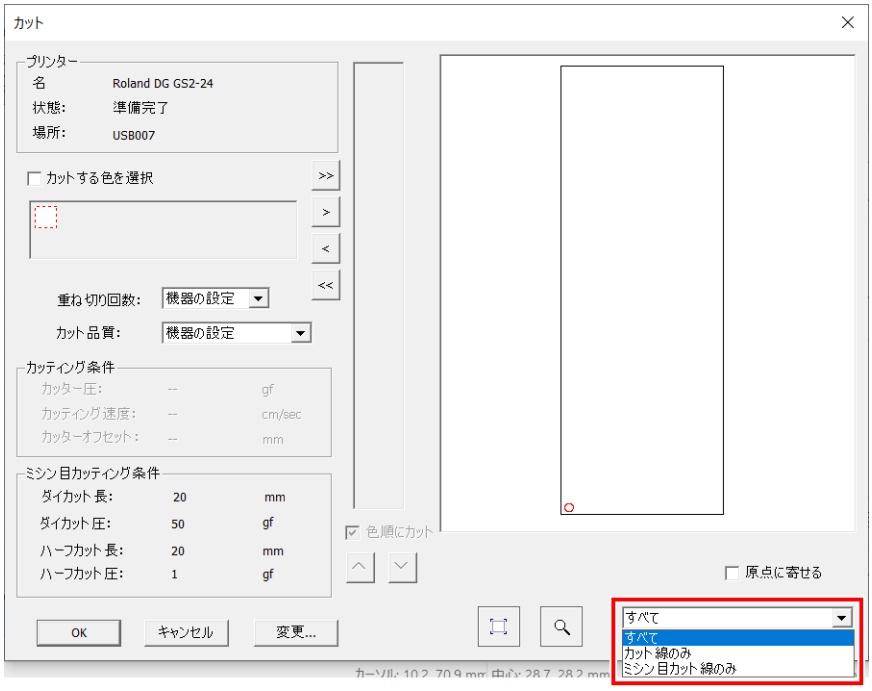
1. シートがセットされていることを確認する。

2. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

3. 出力するカット線を選択する。

[**すべて**]	カット線とミシン目カット線を出力する
[**カット線のみ**]	カット線だけを出力する
[**ミシン目カット線のみ**]	ミシン目カット線だけを出力する



4. [**OK**]をクリックする。

カットが開始されます。

5. カット結果を確認する。

必要に応じてカット条件を調整してください。

関連情報

- P. 219 ミシン目カット条件を設定する
- P. 189 カットの設定を調整する

Adobe Illustrator でミシン目カットデータを作成するとき

1. ミシン目カット用のカットデータを作成する

事前に本機にシートをセットし、カット出力の準備を完了しておいてください。

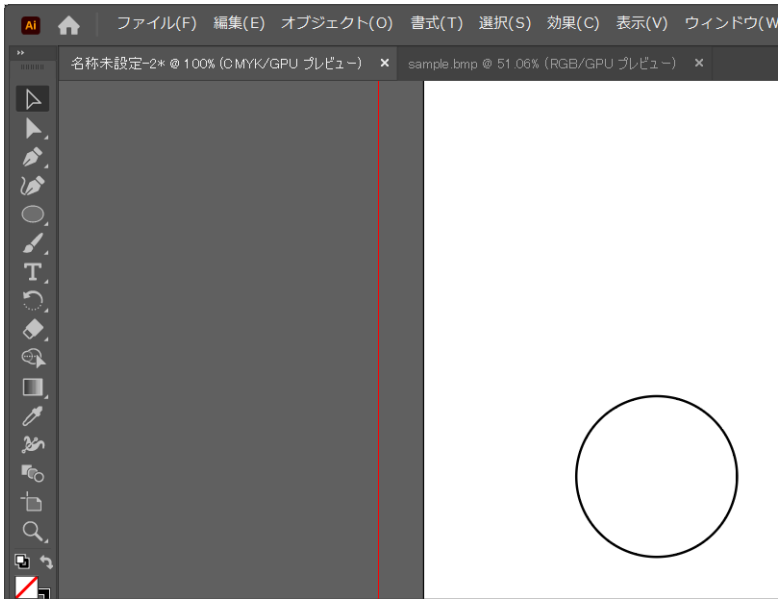
P. 27 シートのセットアップ
P. 41 カット出力の準備

ここでは、Adobe Illustrator 2020 でミシン目カットデータの作成方法を説明しますが、他のバージョンでも操作方法は同じです。

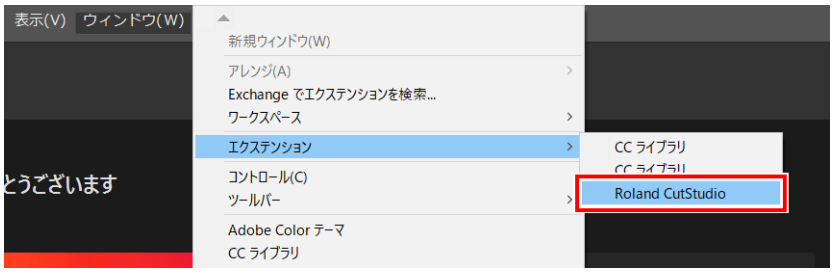
手順

1. **新規ドキュメントを作成して図形を描く、または既存のファイルを開く。**

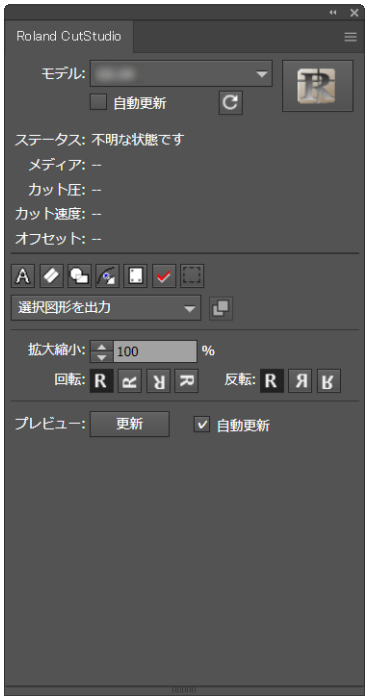
ここでは下図のように作図します。



2. **[ウィンドウ]>[エクステンション]>[Roland CutStudio]をクリックする。**

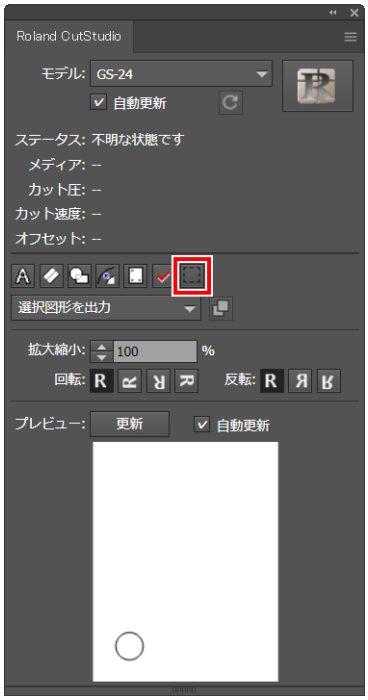


[**Roland CutStudio**]のパレットが表示されます。

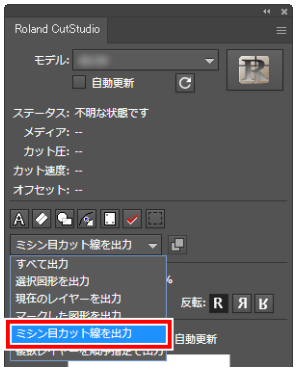


3. ミシン目カットを設定するオブジェクトを選択する。

4. をクリックする。



5. [**ミシン目カット線を出力**]を選択する。



6. パレットの[**更新**]をクリックする。

プレビュー画面に出力したいカット線が表示されていることを確認します。

7. をクリックする。

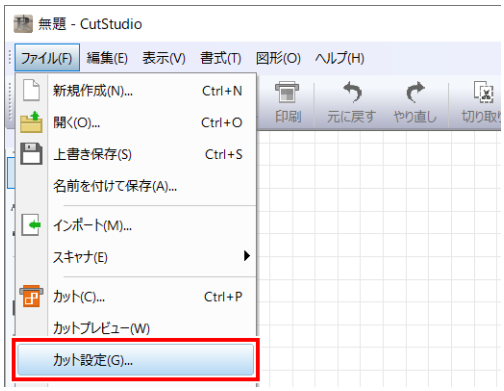
CutStudio が起動し、カットデータが CutStudio に送られます。出力されたカットデータは Adobe Illustrator の配置にかかわらず、常に CutStudio の原点に合せて配置されます（クロップマークのデータは除きます）。

2. ミシン目カット条件を設定する

手順

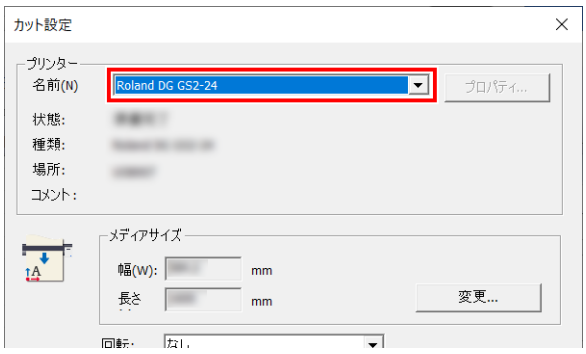
1. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

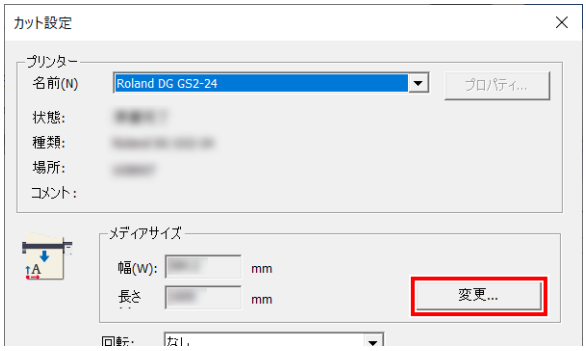


2. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。

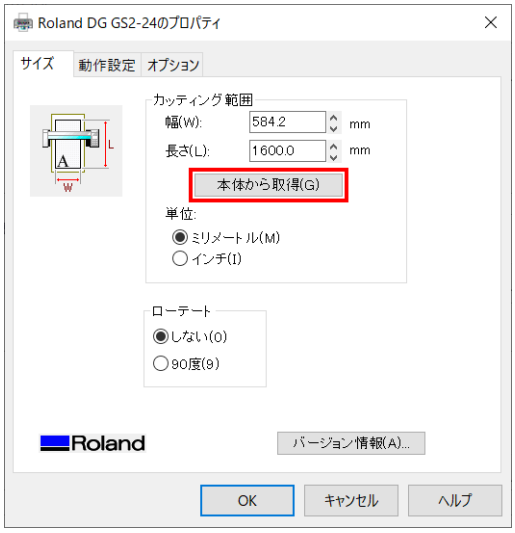


3. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。



4. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示を更新します。

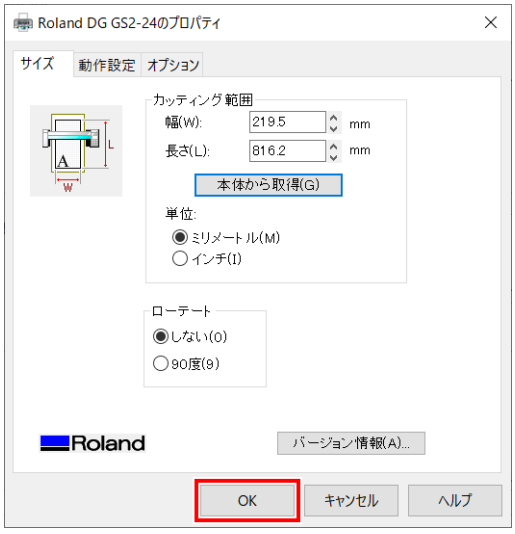


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

5. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

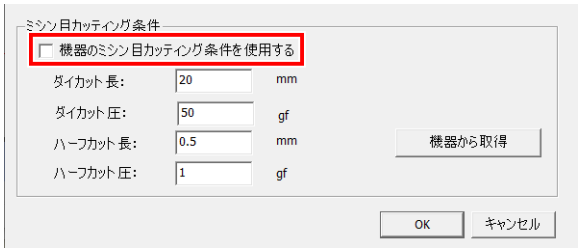
6. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]がオンになっています。

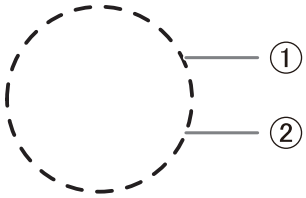
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

7. [**機器のミシン目カッティング条件を使用する**]をオフにする。

[**ミシン目カッティング条件**]に数値を入力できるようになります。

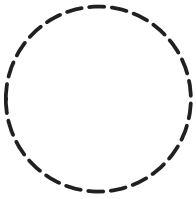
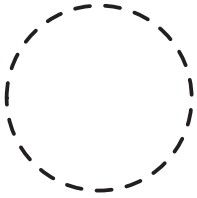
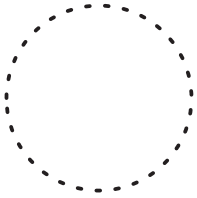


8. **[ミシン目カッティング条件]の[ダイカット長]、[ダイカット圧]、[ハーフカット長]、[ハーフカット圧]を設定する。**



- ①：ダイカット長
  シートを切り抜く部分の長さ
- ②：ハーフカット長
  カット圧を弱くしてシートを切り抜かない部分の長さ

ダイカット圧、ハーフカット圧は使用するシートの材質によって調整してください。

[ダイカット長] > [ハーフカット長]	[ダイカット長] = [ハーフカット長]	[ダイカット長] < [ハーフカット長]
		
ダイカット長：20 mm	ダイカット長：20 mm	ダイカット長：1 mm
ハーフカット長：1 mm	ハーフカット長：20 mm	ハーフカット長：20 mm

9. **[OK]をクリックする。**

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安
- P. 190 カット圧を設定する
- P. 239 機体でミシン目カット条件を設定する

3. ミシン目カットする

手順

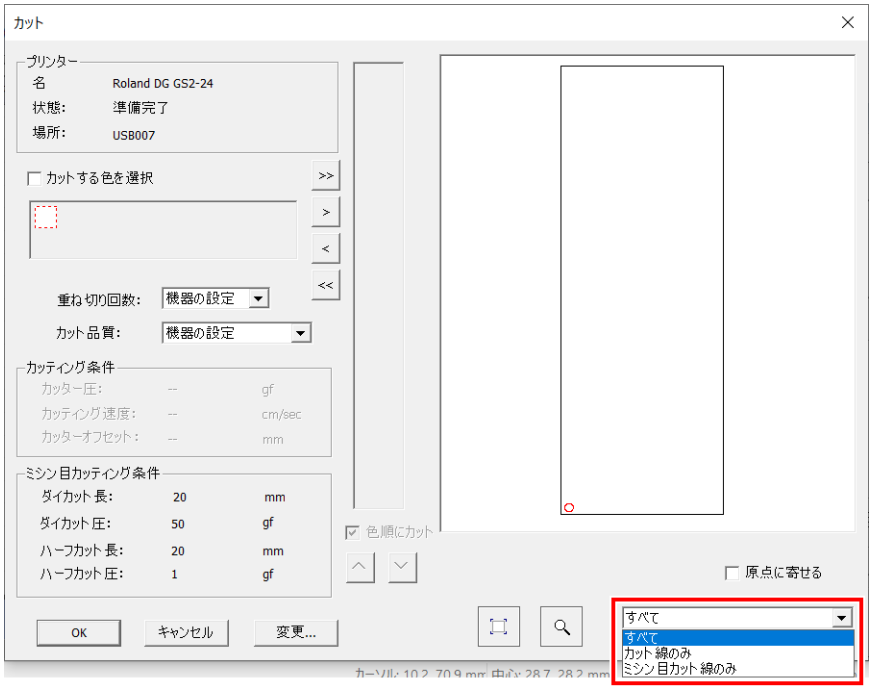
1. シートがセットされていることを確認する。

2. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

3. 出力するカット線を選択する。

[**すべて**]	カット線とミシン目カット線を出力する
[**カット線のみ**]	カット線だけを出力する
[**ミシン目カット線のみ**]	ミシン目カット線だけを出力する



4. [**OK**]をクリックする。

カットが開始されます。

5. カット結果を確認する。

必要に応じてカット条件を調整してください。

関連情報

- P. 219 ミシン目カット条件を設定する
- P. 189 カットの設定を調整する

CorelDRAW でミシン目カットデータを作成するとき

1. ミシン目カット用のカットデータを作成する

事前に本機にシートをセットし、カット出力の準備を完了しておいてください。

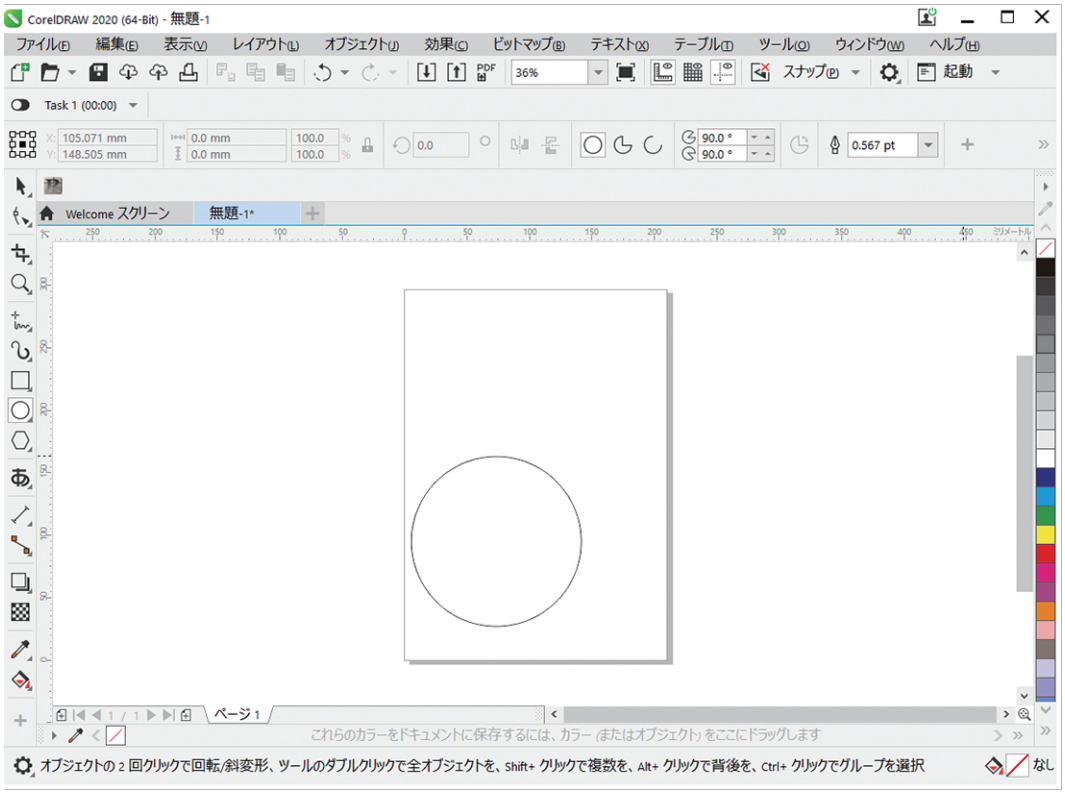
P. 27 シートのセットアップ
P. 41 カット出力の準備

ここでは、CorelDRAW 2020 でミシン目カット用のカットデータを作成する方法を説明します。他のバージョンでも操作方法は同じです。

手順

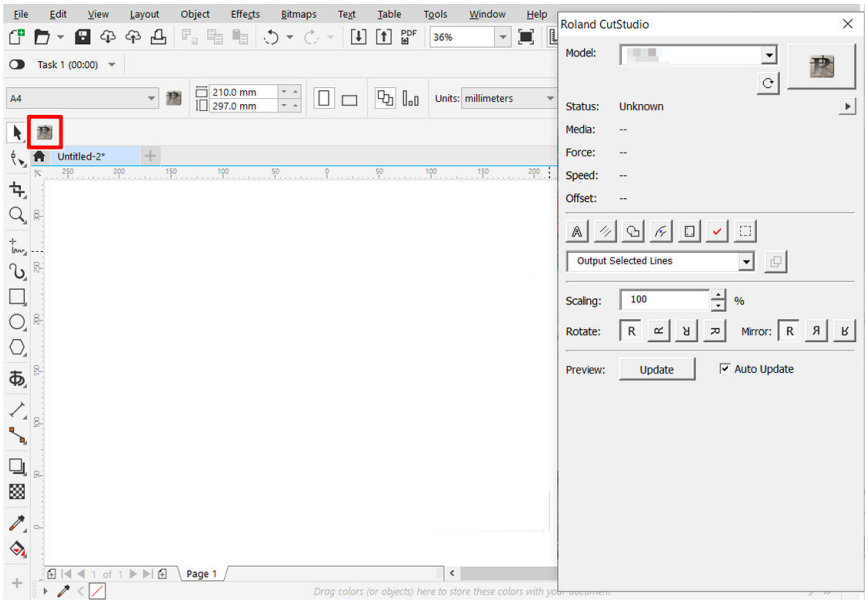
1. 新規ドキュメントを作成して図形を描く、または既存のファイルを開く。

ここでは下図のように作図します。



2. ツールバーの をクリックする。

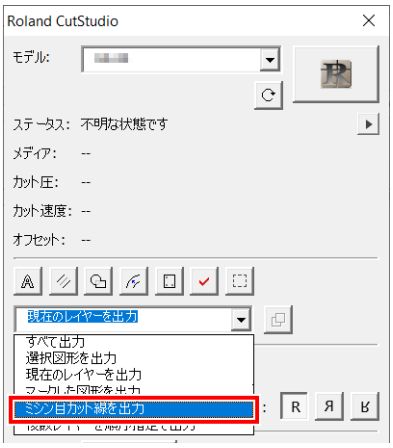
[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。



3. ミシン目カットを設定するオブジェクトを選択する。

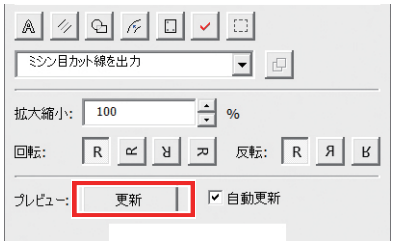
4. をクリックする。

5. [**ミシン目カット線を出力**]を選択する。



6. [**更新**]をクリックする。

プレビュー画面に出力したいカット線が表示されていることを確認します。



7. をクリックする。

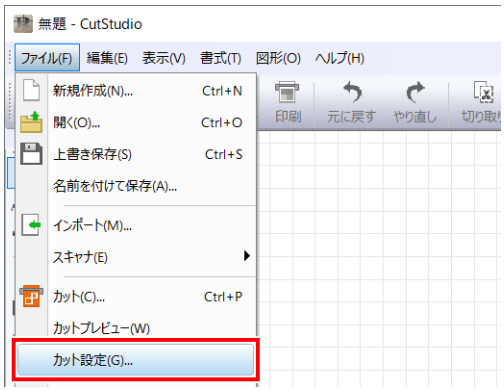
CutStudio が起動し、カットデータが CutStudio に送られます。出力されたデータは CorelDRAW 上の配置にかかわらず、常に CutStudio の原点に合わせて配置されます（クロップマークのデータは除きます）。

2. ミシン目カット条件を設定する

手順

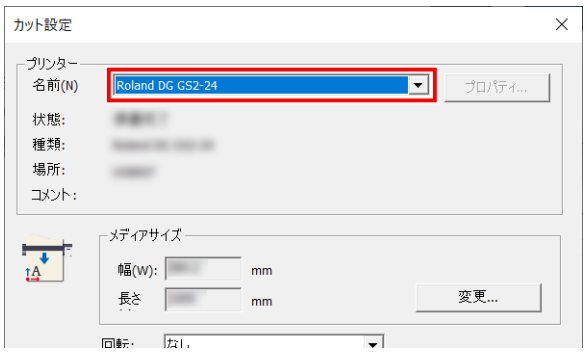
1. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。

[**カット設定**]画面が表示されます。

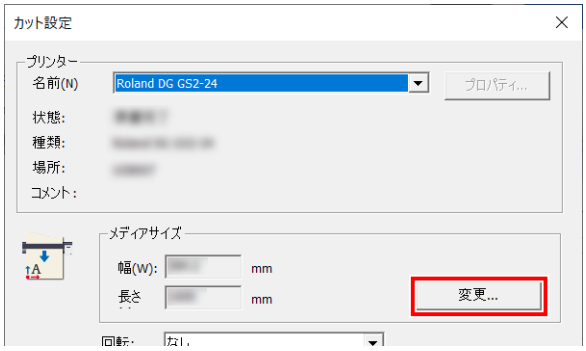


2. [**プリンター**]の[**名前**]で[**Roland DG GS2-24**]を選択する。

機種が設定されます。

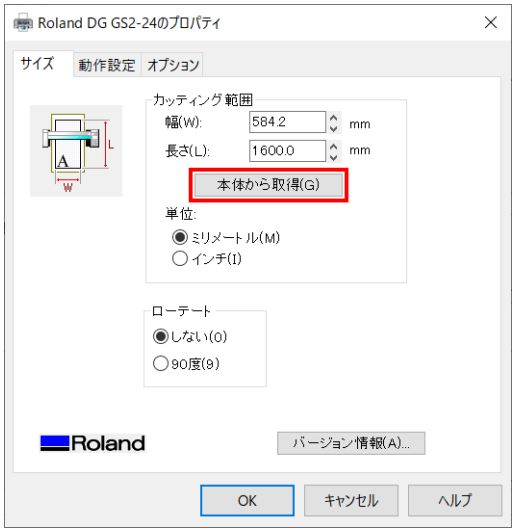


3. [**メディアサイズ**]の[**変更**]をクリックする。



4. [**本体から取得**]をクリックする。

接続した機体からカット可能な範囲を取得し、[**カッティング範囲**]の[**幅**]と[**長さ**]の表示を更新します。

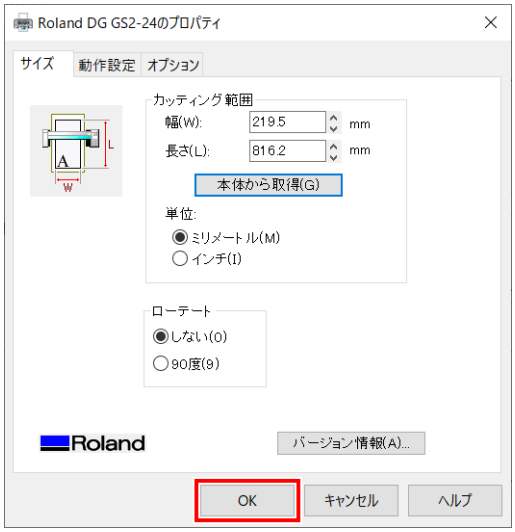


メモ

[**機器から応答がありません**]と表示された場合は、機体とコンピューターの設定を確認してください。

P. 276 機体が動作しない

5. [**OK**]をクリックする。



設定が保存され、[**カット設定**]画面が表示されます。

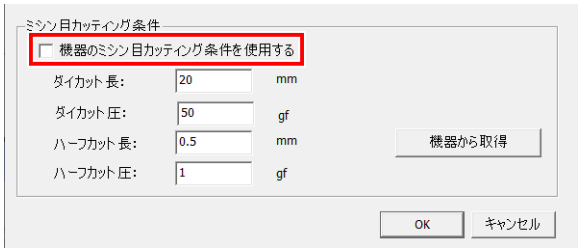
6. カット条件を設定する。

通常は[**機器のカッティング条件を使用する**]がオンになっています。

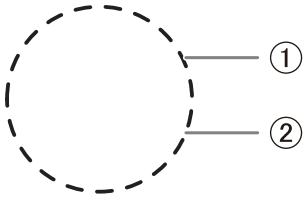
カット条件を変更する場合は、[**機器のカッティング条件を使用する**]をオフにし、数値を入力します。

7. [**機器のミシン目カッティング条件を使用する**]をオフにする。

[**ミシン目カッティング条件**]に数値を入力できるようになります。

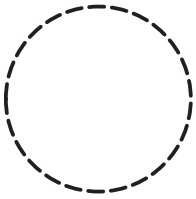
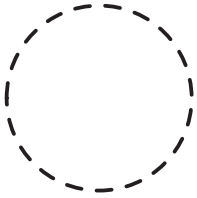
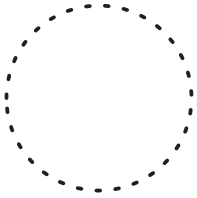


8. **[ミシン目カッティング条件]の[ダイカット長]、[ダイカット圧]、[ハーフカット長]、[ハーフカット圧]を設定する。**



- ①：ダイカット長
  シートを切り抜く部分の長さ
- ②：ハーフカット長
  カット圧を弱くしてシートを切り抜かない部分の長さ

ダイカット圧、ハーフカット圧は使用するシートの材質によって調整してください。

[ダイカット長] > [ハーフカット長]	[ダイカット長] = [ハーフカット長]	[ダイカット長] < [ハーフカット長]
		
ダイカット長：20 mm	ダイカット長：20 mm	ダイカット長：1 mm
ハーフカット長：1 mm	ハーフカット長：20 mm	ハーフカット長：20 mm

9. **[OK]をクリックする。**

カット範囲とカット条件が保存されます。

メモ

CutStudio で白く表示された領域がカット範囲です。この範囲の外に描かれた文字や図形はカットされません。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安
- P. 190 カット圧を設定する
- P. 239 機体でミシン目カット条件を設定する

3. ミシン目カットする

手順

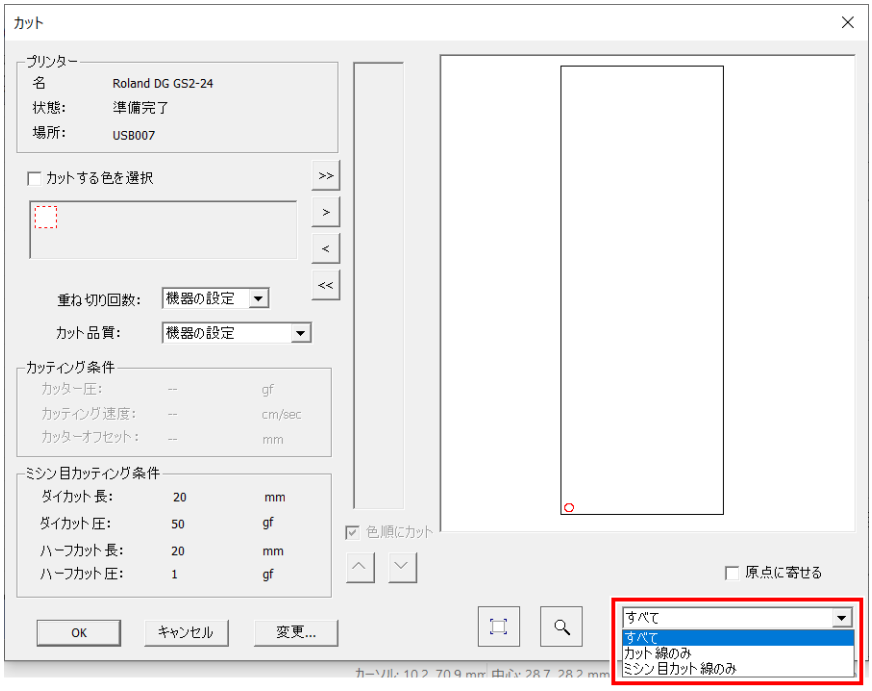
1. シートがセットされていることを確認する。

2. をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

3. 出力するカット線を選択する。

[**すべて**]	カット線とミシン目カット線を出力する
[**カット線のみ**]	カット線だけを出力する
[**ミシン目カット線のみ**]	ミシン目カット線だけを出力する



4. [**OK**]をクリックする。

カットが開始されます。

5. カット結果を確認する。

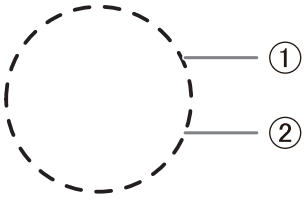
必要に応じてカット条件を調整してください。

関連情報

- P. 219 ミシン目カット条件を設定する
- P. 189 カットの設定を調整する

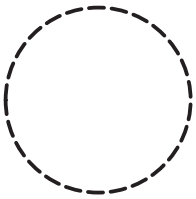
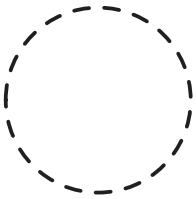
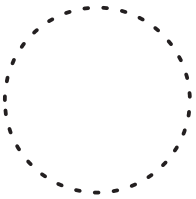
機体でミシン目カット条件を設定する

機体の操作パネルでミシン目カット条件を設定します。この場合は、〔ハーフカットチョウ〕、〔ハーフカットアツ〕、〔カットチョウ〕を設定します。



- ①：〔カットチョウ〕
  シートを切り抜く部分の長さ
- ②：〔ハーフカットチョウ〕
  カット圧を弱くしてシートを切り抜かない部分の長さ

〔ハーフカットアツ〕は使用するシートの材質によって調整してください。

〔カットチョウ〕＞〔ハーフカットチョウ〕	〔カットチョウ〕＝〔ハーフカットチョウ〕	〔カットチョウ〕＜〔ハーフカットチョウ〕
		
カット長：20 mm	カット長：20 mm	カット長：1 mm
ハーフカット長：1 mm	ハーフカット長：20 mm	ハーフカット長：20 mm

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▲］［▼］を押して、以下の画面を表示する。

```
ミシンメカット オフ
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］を押して、〔オン〕を選択する。

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. ［▶］を 2 回押して、以下の画面を表示する。

ハーフカット長を設定します。

```
ハーフカットチョウ  0.5
```

(1) ［▶］を押す。

(2) ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

```
ハーフカットチョウ  0.5
* 0.5mm
```

(3) ［ENTER］を押して決定する。

9. ［▼］を押して、以下の画面を表示する。

ハーフカット圧を設定します。

```
ハーフカットアツ    5
```

(1) ［▶］を押す。

(2) ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

```
ハーフカットアツ    5
* 5gf
```

(3) ［ENTER］を押して決定する。

10. ［▼］を押して、以下の画面を表示する。

カット長を設定します。

```
カットチョウ  15.5
```

(1) ［▶］を押す。

(2) ［▲］［▼］を押して、値を選択する。

```
カットチョウ  15.5
  15mm
```

(3) ［ENTER］を押して決定する。

11. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安

カットデータを複数のシートに分割して出力する

分割出力とは

カット可能な範囲より大きなデータをカットする場合に、複数のシートに分割して出力します。

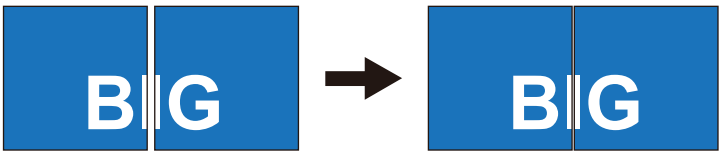
重要

プリント＆カットデータは分割出力を設定できません。

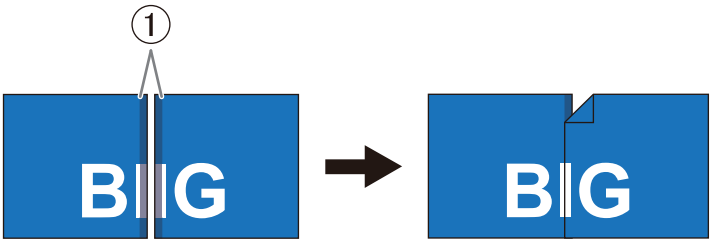
重ねしろ機能

シートを繋ぎ合せるときに隙間ができないよう、分割出力する各シートの境目に同データを余分にカットします。余分にカットされる部分を重ねしろ（①）といいます。必要に応じて「重ねしろ」を設定することができます。

- 重ねしろなし： シートを合わせたとき、境目に隙間ができる

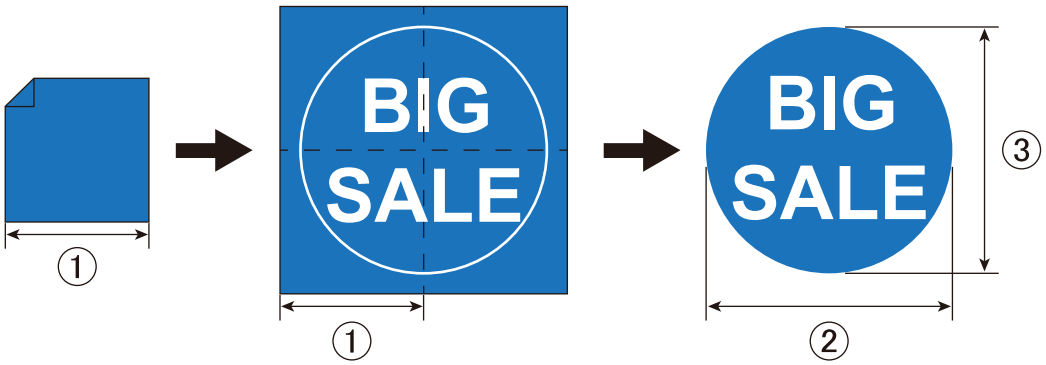


- 重ねしろあり： シートを合わせたとき、境目に隙間ができない



Step 1: データを何枚のシートに分割するか決める

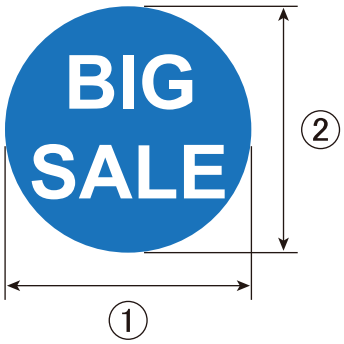
カットデータを分割出力するときは、あらかじめ完成サイズをイメージしてから作業を進めるとよいでしょう。
ここでは、下図のような大きなサイズのデータをカットする場合を例にして説明します。



①	550 mm
②	1,000 mm
③	1,000 mm

手順

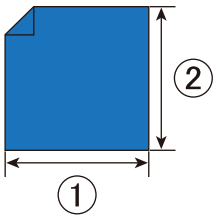
1. データの出力サイズを決める。



①	1,000 mm
②	1,000 mm

2. シートのサイズを確認し、使用する枚数を決める。

今回の例では、1 つのデータを縦 2 枚、横 2 枚のシートに分割して出力します。シートを合わせたときのサイズが、データの出力サイズよりも大きくなることを確認してください。



①	550 mm
②	550 mm

Step 2: 分割出力の条件を設定する

分割出力と重ねしろの有無を設定します。
事前に本機にシートをセットし、カット出力の準備を完了しておいてください。

P. 27 シートのセットアップ
P. 41 カット出力の準備

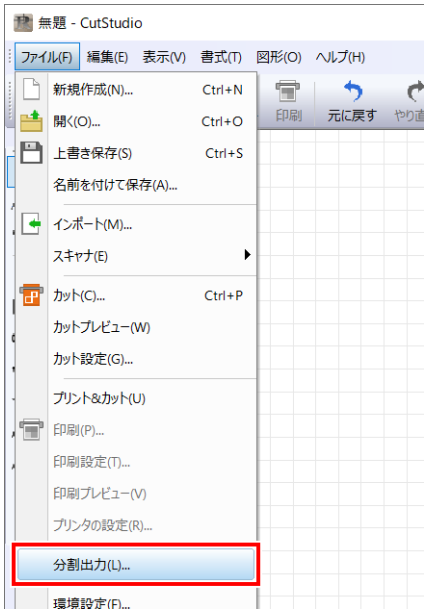
手順

1. CutStudio を起動する。

CutStudio の起動方法

2. [**ファイル**]>[**分割出力**]をクリックする。

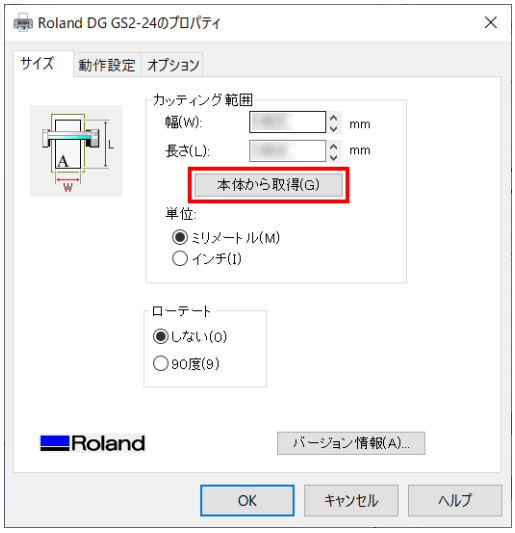
[**分割出力**]画面が表示されます。



3. [**サイズ変更**]をクリックする。

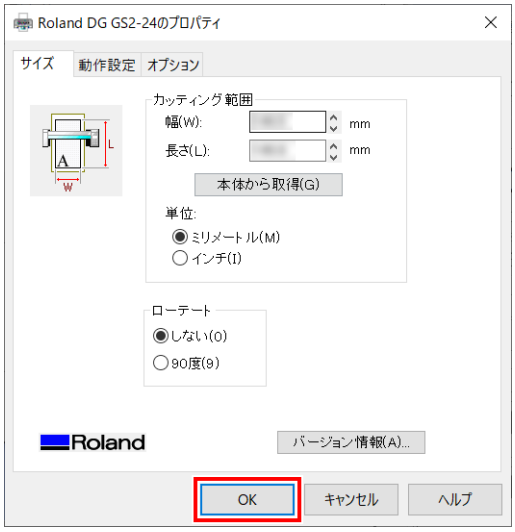
4. [**本体から取得**]をクリックする。

接続している機体からカット範囲を取得し、値が自動入力されます。

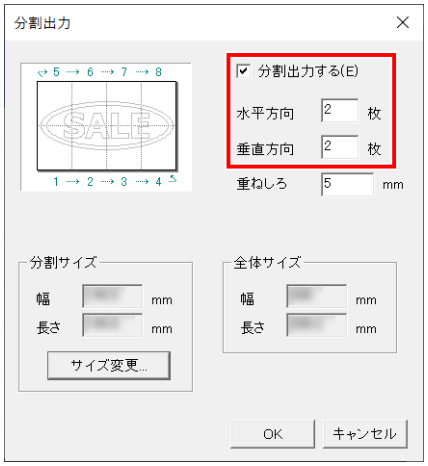


5. 自動入力されたら、[**OK**]をクリックする。

シートサイズが更新されます。

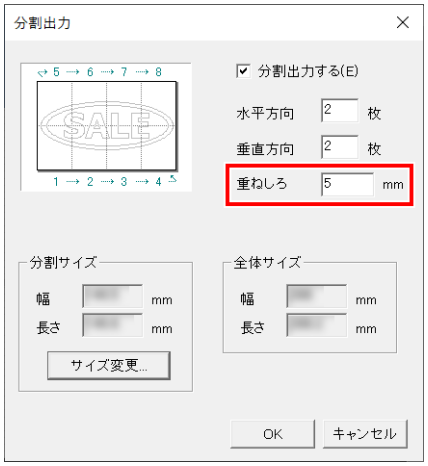


6. [**分割出力する**]をオンにして、分割する枚数を入力する。



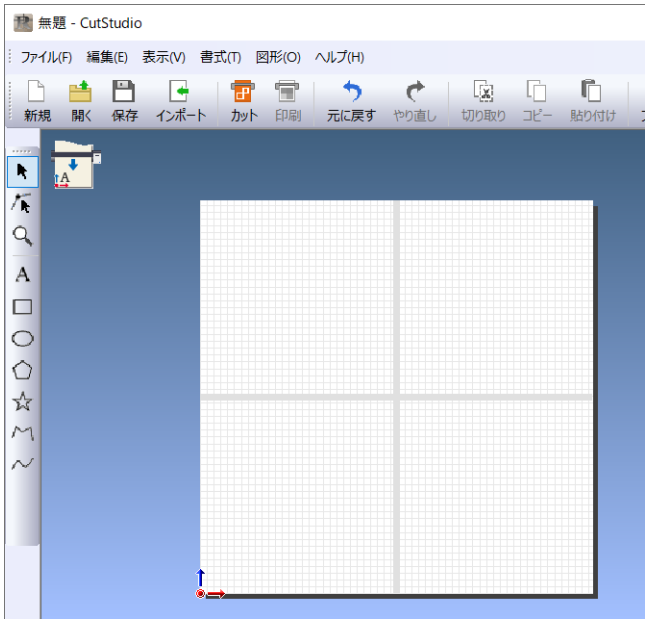
7. 重ねしろを設定する。

[**重ねしろ**]を入力すると、自動で[**全体サイズ**]に反映されます。[**全体サイズ**]が出力サイズより大きくなるようにしてください。



8. [**OK**]をクリックする。

ドキュメントが表示されます。 重ねしろを設定していない場合でも、分割する位置が表示されます。



関連情報

- P. 241 分割出力とは
- P. 242 データを何枚のシートに分割するか決める

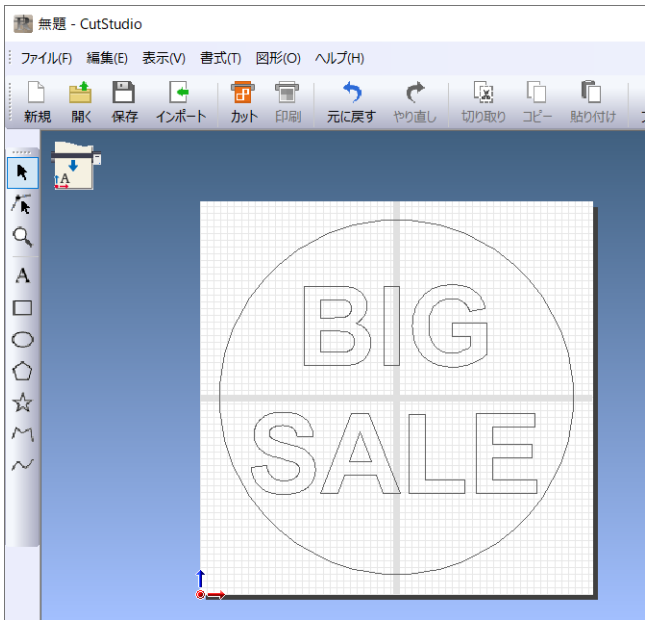
Step 3: カットデータを作成する

カットデータを作成し、出力される順番や実際にカットされる状態をプレビューで確認します。

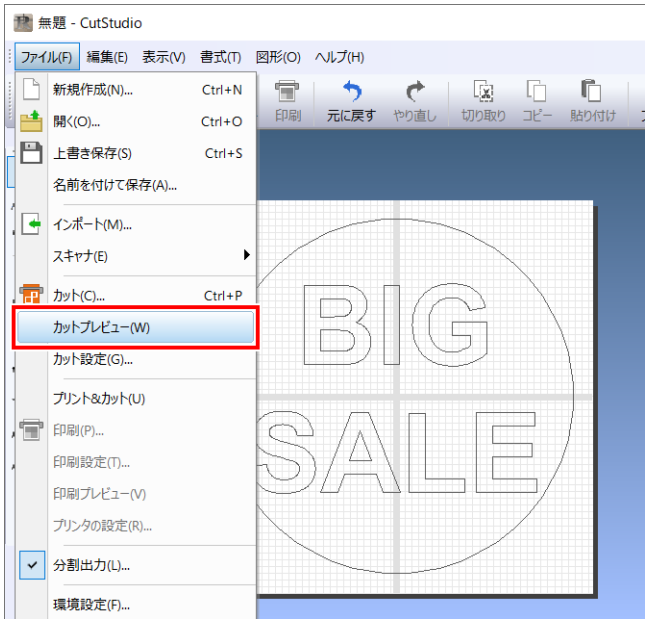
手順

1. 任意の文字や図形を入力する。

ここでは下図のように入力します。

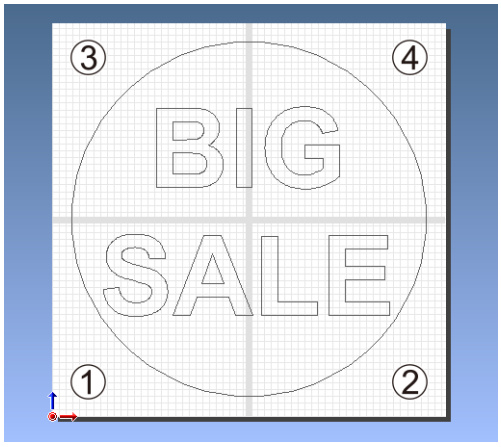


2. [**ファイル**]>[**カットプレビュー**]をクリックする。



[**次ページ**]をクリックすると、カット順に表示されます。

カット順



3. カットデータを確認したら、プレビューを閉じる。

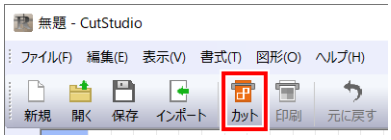
Step 4: カットする

分割カットを開始します。

手順

1. シートがセットされていることを確認する。

2. をクリックする。

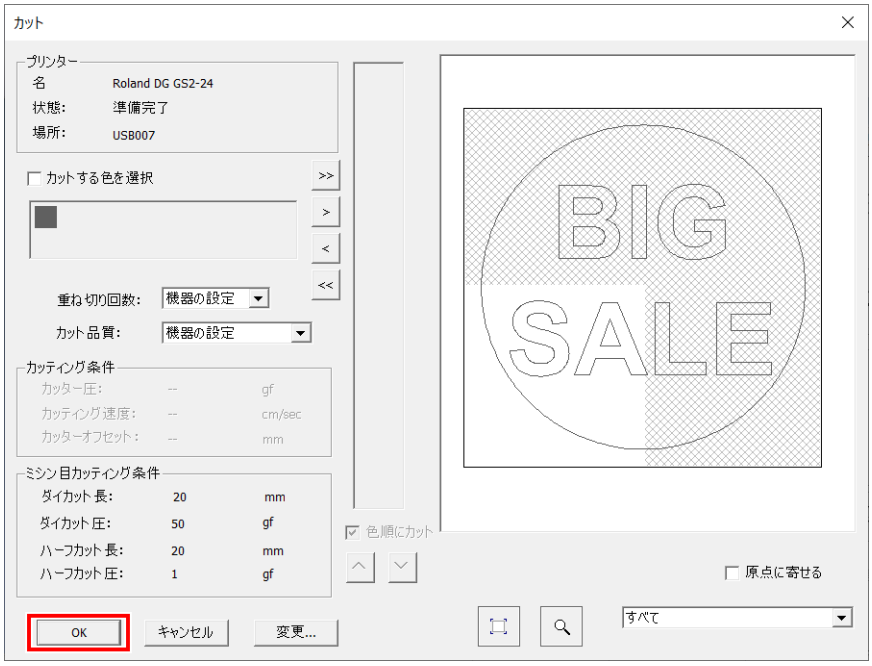


[**分割ページ**]画面が表示されます。

3. [**OK**]をクリックする。

[**カット**]画面が表示されます。

4. [**OK**]をクリックする。



カットが開始されます。

カットが完了すると、メッセージ画面が表示されます。

メモ

平型シートをお使いの場合は、新しい平型シートをセットしてください。

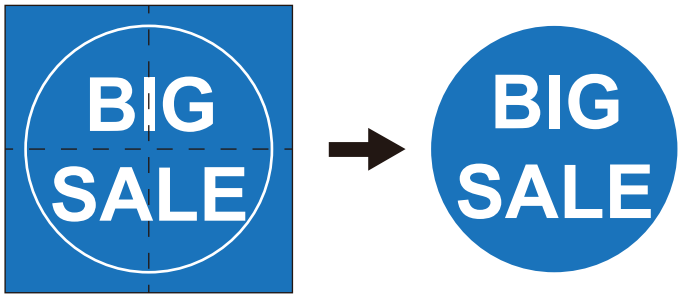
5. [OK]をクリックする。

6. 手順 4~5 を繰り返す。

設定した分割枚数分を出力します。

7. 出力したシートを合わせる。

重ねしろ部分を合わせて完成です。


BIG
SALE
BIG
SALE

業務管理を最適化する

機体の基本設定を管理する..... 252
表示言語を変更する..... 252
表示する長さの単位を変更する..... 252
ディスプレイの明るさを調整する..... 254
すべての設定を初期設定に戻す..... 255

機体の基本設定を管理する

表示言語を変更する

手順

1. 機体の電源がオンのときは、電源ボタンを 1 秒以上押して電源をオフにする。

2. ［MENU］を押しながら電源ボタンを押す。
   以下の画面が表示されます。

```
LANG  ENGLISH  ⇕
*ENGLISH       ↵
```

3. ［▼］を押して、ディスプレイで表示したい言語を選択する。

```
LANG  ENGLISH  ⇕
ニホンゴ       ↵
```

4. ［ENTER］を押して決定する。

表示する長さの単位を変更する

ディスプレイの表示に使う単位を変更します。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
カットジョウケン  ◀⇕
                 ▶
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
アンセットアップ  ◀⇕
                 ↵
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ソノホカ ノ セッテイ  ◀⇕
                     ▶
```

3. ［▶］［▼］［▶］の順に押す。

```
タンイ ミリ      ◀⇕
*ミリ            ↵
```

4. ［▲］［▼］で単位を選択する。
   ミリ / インチを選択できます。

5. ［ENTER］を押して決定する。

6. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

ディスプレイの明るさを調整する

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｺﾝﾄﾗｽﾄ 5
```

5. ［▶］を押す。

6. ［▲］［▼］で画面の明るさを選択する。

```
ｺﾝﾄﾗｽﾄ 5
*5
```

- 設定範囲：1~5

7. ［ENTER］を押して決定する。

8. ［MENU］を押して、もとの画面に戻る。

すべての設定を初期設定に戻す

すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

メモ

この操作をすると、すべての設定が初期設定値に戻るため、それまでの各種設定が消去されます。カット条件など必要な情報を記録しておいてください。
ただし、言語設定は現在の状態が保存されます。

手順

1. ［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ        ◀◆
                  ▶
```

メモ

シートがセットアップされているときは、［MENU］を何回か押して、以下の画面を表示します。

```
ｱﾝｾｯﾄｱｯﾌﾟ        ◀◆
                  ↵
```

2. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｿﾉﾎｶ ﾉ ｾｯﾃｲ      ◀◆
                  ▶
```

3. ［▶］を押す。

4. ［▼］を何回か押して、以下の画面を表示する。

```
ｺｳｼﾞｮｳｾｯﾃｲ      ◀◆
                  ▶
```

5. ［▶］を押して、以下の画面を表示する。

```
ｺｳｼﾞｮｳｾｯﾃｲ      ◀
*ﾓﾄﾞｽ            ↵
```

6. ［ENTER］を押して実行する。

以下の画面に戻ります。

```
ｼｰﾄ ﾉ ｾﾝﾀｸ       ◆
ﾛｰﾙ              ↵
```

メンテナンス

清掃と消耗部品

清掃 258
機体の清掃 258
カッターホルダーキャップの清掃 260
消耗部品 261
カッター 261
カッターホルダー 263
カッタープロテクション 263

清掃

清掃はきれいにカットするための重要なポイントです。定期的に清掃を行ってください。

⚠警告

必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が思わぬ動作をして、けがややけどをすることがあります。

⚠警告

清掃に、ガソリン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使わない。
火災の原因になります。

機体の清掃

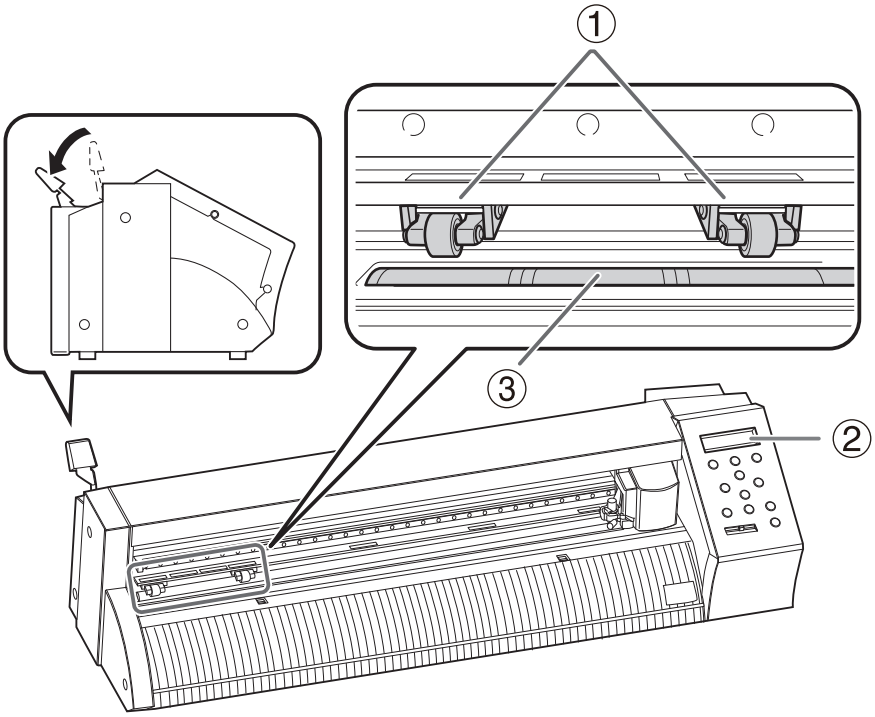
水を含ませてかたくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

重要

清掃は、電源をオフにしてから行ってください。

重要

清掃は、ローディングレバーを下げてから行ってください。



①	ピンチローラー	ローラーの回転を手でおさえ、ピンチローラーのゴム部に付着した汚れやシートくずを拭き取ってください。その後、乾いた布で拭いてください。
②	ディスプレイ	乾いた布で軽く拭いてください。

⑤	グリットローラー	ピンチローラーを上げてグリットローラーを回転しながら、ブラシ*1 で表面のほこりを取り除いてください。

*1　金属ブラシは使用しないでください。

カッターホルダーキャップの清掃

長期間使用したカッターホルダーは、カッターを支持している軸受け部の劣化により、カッターが回転しにくくなります。そのまま使い続けると、刃先がうまく回転しないため、きれいなカットができなくなります。

以下の症状が発生する場合は、カッターホルダーキャップ部の清掃を行ってください。

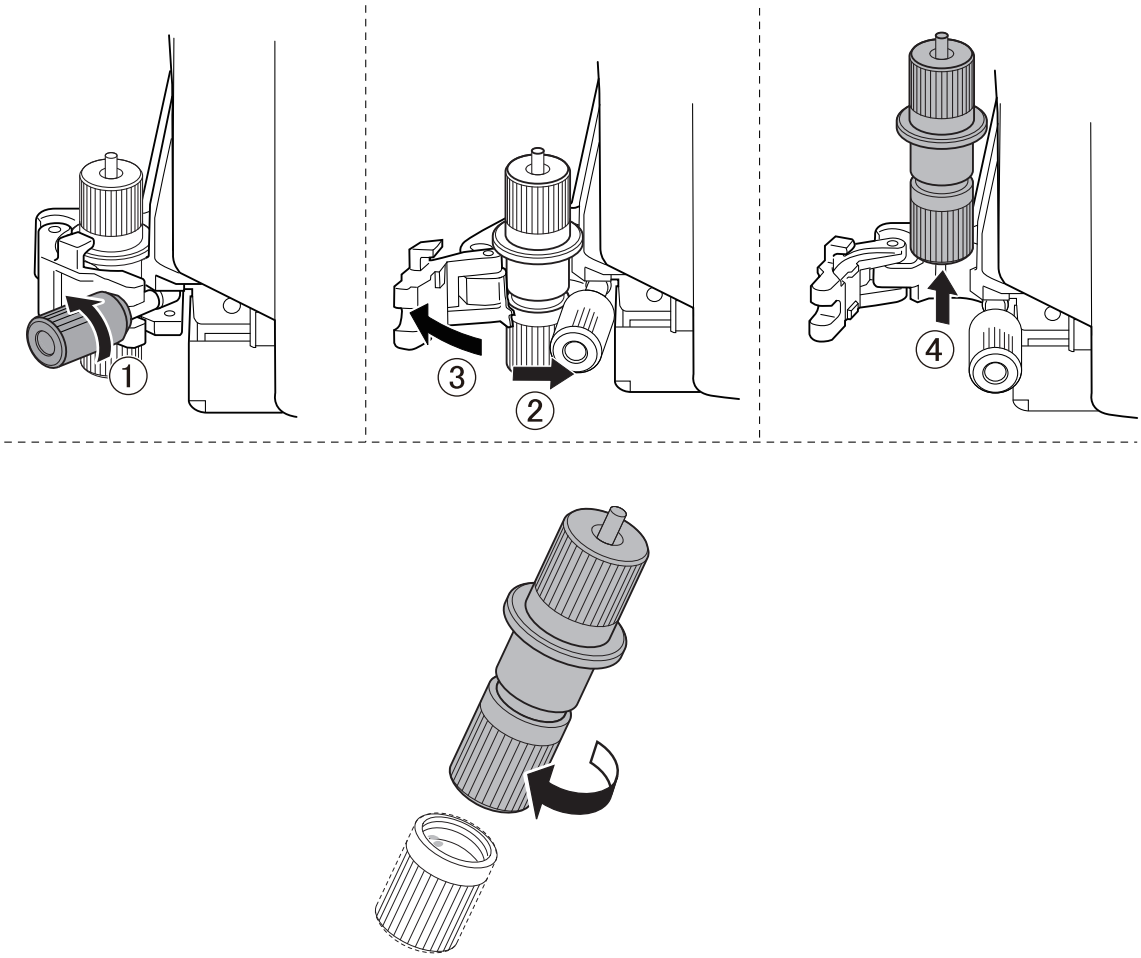
- コーナー部や曲線部がきれいでない場合
- カットがミシン目状になる場合

⚠ 注意

カッターの刃先に触らない。

けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

キャップを緩めて取り外し、キャップ内に付着したシートくずやほこりを取り除いてください。



メモ

清掃をしてもカットが改善されない場合は、新しいカッターホルダーに交換してください。

関連情報

- P. 261 カッターを交換する

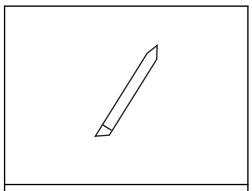
消耗部品

消耗品の購入については、当社 HP または本機を購入した販売店までお問い合わせください。

関連情報

- https://www.rolanddg.co.jp/

カッター



カッター

以下のような場合は、カッターの寿命です。新しいものと交換してください。

- 刃先が欠けてしまった
- カッター圧を 50～60 gf 上げても切り残しができる
- 以前と比べて切り跡が汚くなった
- 細かいカットや角をカットするとき、台紙からシート部分がめくれ上がるように なった

長期間使用または固いシートをカットしたカッターは刃先が減っている場合があります。このような場合もきれいにカットできなくなりますので、新しいカッターと交換してください。

関連情報

- P. 261 カッターを交換する

カッターを交換する

カッターの切れ味が悪くなったら、新しいカッターと交換してください。

⚠ 警告

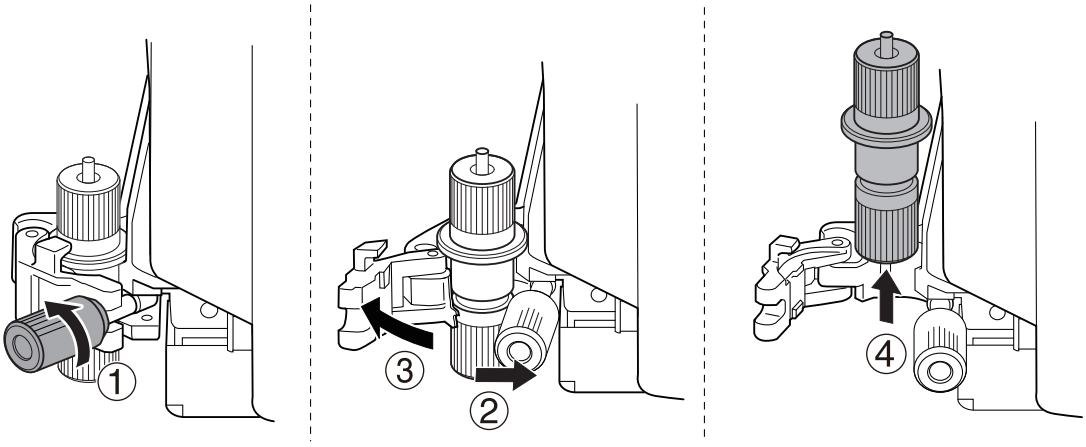
必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が思わぬ動作をして、けがややけどをすることがあります。

⚠ 注意

カッターの刃先に触らない。
けがをすることがあります。またカッターの切れ具合が悪くなります。

手順

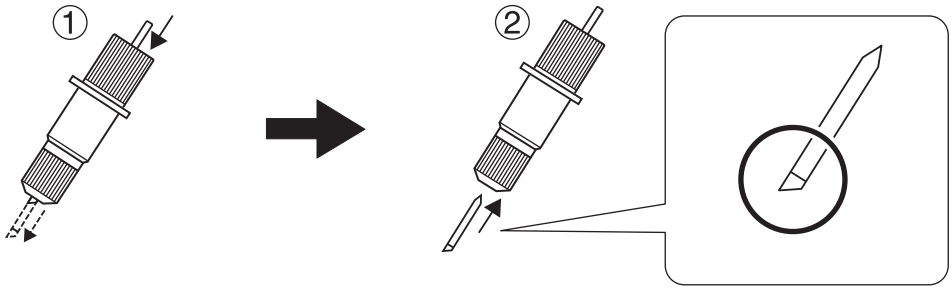
1. シートが取り付けられている場合は、シートを取り外す。
2. カッターホルダーを取り外す。



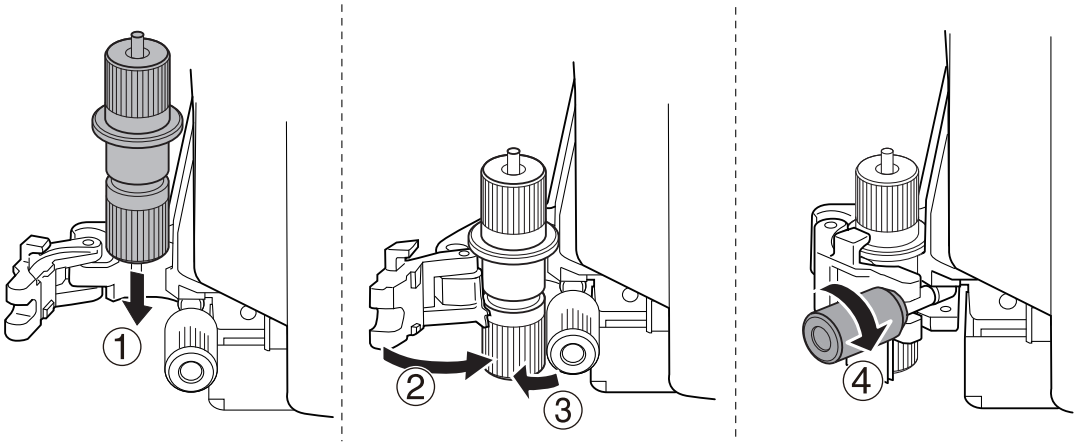
3. カッターを交換する。

(1) ピンを押して古いカッターを押し出す。

(2) 新しいカッターを差し込む。



4. カッターホルダーをカッティングキャリッジに取り付ける。

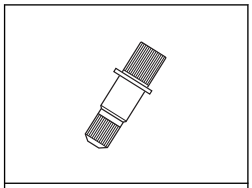


5. ネジがしっかりと締められていることを確認する。

関連情報

- P. 160 シートを取り外す
- P. 189 切り込み量を調整する

カッターホルダー



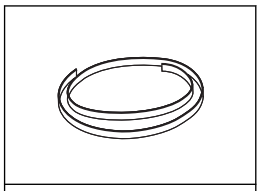
カッターホルダー

刃先調整をしてカットを行うと、カッターホルダーのキャップ部とシートがこする状態でカットするため、キャップの先端が徐々に摩耗します。摩耗が進んだ状態では、正しい刃先調整が行えず、きれいなカットができなくなります。カッターホルダーを新しいものに交換してください。

関連情報

- P. 260 カッターホルダーキャップの清掃

カッタープロテクション



カッタープロテクション

刃先突出量やカッター圧が適切に調整されていない状態でカットを行うと、刃先がシートの台紙を貫通してカッタープロテクションを傷つけてしまう場合があります。カッタープロテクションに傷が入った状態でカットを行うと、きれいなカットができなくなります。

以下のような場合は、カッタープロテクションを交換してください。

- カッタープロテクション表面が切り傷などによって変形している
- 劣化によって破れたり破損したりしている

関連情報

- https://www.rolanddg.co.jp/

トラブルへの対応方法

カットのトラブル

プリントとカットがずれる **266**
厚手のシートを使用していませんか？ 266
カット前にシートが引き出されるように設定していますか？ 266
切り残しがある/カットした線がきれいでない **267**
カッター、カッターホルダーはしっかりと取り付けられていますか？ 267
カッターの刃先が欠けていませんか？ 267
刃先にほこりやシートの糊がついていませんか？ 267
カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？ 267
厚手のシートを使用していませんか？ 267
カット圧、カット速度は適切ですか？ 267
カッター刃先のオフセットは適切ですか？ 268
カット前にシートが引き出されるように設定していますか？ 268
〔スムージング〕が〔オフ〕になっていませんか？ 268
カッタープロテクションが傷ついたり、変形したりしていませんか？ 268
台紙をカットしてしまう **269**
カットするシートに対して、カッターの刃先調整、カッター圧は適切ですか？ 269
二度切りされてしまう **270**
CutSutudio の[**重ね切り回数**]は[**0**]になっていますか？ 270
機体の重ね切り設定が「1~10」になっていませんか？ 270
線が重なっていませんか？ 270
クロップマークを検出できない **271**
シートを正しく取り付けましたか？ 271
白色以外、または光沢の強いシートを使っていませんか？ 271
透明なシートを使っていませんか？ 271
シートに折り目やしわがついていませんか？ 271
クロップマークがかすれているか、黒以外の色ではありませんか？ 271
クロップマークの大きさや形は正しいですか? 272
クロップマークは正しい位置に配置されていますか？ 272
〔カイテン〕メニューを〔90 ド〕に設定していませんか？ 272
直射日光や室内照明の強い光が当たっていませんか？ 272
シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？印刷結果が斜めになっていませんか？ 272
ソフトウェアで指定したクロップマーク間の距離は本機に入力した距離と同じですか?（マニュアルモード） 273
拡大／縮小印刷をしていませんか? 273
カッティング中、ピンチローラーからシートが外れる **274**
ローディングレバーが下がっていませんか？ 274
シートがガイドラインと平行に取り付けられていますか？ 274
カット中にシートが障害物に当たっていませんか？ 274
シート送りを確認せずにカットを実行しませんでしたか？（ロールシートの場合） 274
ピンチローラーでシートの両端を固定していますか？ 274

プリントとカットがずれる

関連情報

- P. 207 カット位置を調整する
- P. 209 印刷位置を調整する

厚手のシートを使用していませんか？

厚手のシートをご使用になる場合は、〔ヒンシツ〕を〔オモイ〕に設定してください。

関連情報

- P. 192 カット速度を設定する

カット前にシートが引き出されるように設定していますか？

ロールシートまたは長さ 1.6 m を超える平型シートを使用する場合、カットデータに必要なシート長さが引き出されていない状態でカットすると、シートがずれたり、モーターエラーによって動作が停止したりすることがあります。
カット前にシートが引き出されるよう設定してください。

関連情報

- P. 40 シート送りを確認する

切り残しがある/カットした線がきれいでない

カッター、カッターホルダーはしっかりと取り付けられていますか？

カット中にネジが緩まないようにしっかりと取り付けてください。

関連情報

- P. 261 カッターを交換する

カッターの刃先が欠けていませんか？

新しいカッターに交換してください。

関連情報

- P. 261 カッターを交換する

刃先にほこりやシートの糊がついていませんか？

カッターを取り外し、刃先を掃除してください。

関連情報

- P. 261 カッターを交換する

カッターホルダーの内部にシートやほこりが入り込んでいませんか？

カッターホルダーの先端を取り外し、中に入り込んだシートやほこりを取り除いてください。

関連情報

- P. 260 カッターホルダーキャップの清掃

厚手のシートを使用していませんか？

厚手のシートをご使用になる場合は、〔ヒンシツ〕を〔オモイ〕に設定してください。

関連情報

- P. 192 カット速度を設定する

カット圧、カット速度は適切ですか？

テストカットを行い、うまくカットできるまで適切な値に設定してください。

関連情報

- P. 190 カット圧を設定する

- P. 198 カット中の速度を設定する
- P. 45 テストカットする

カッター刃先のオフセットは適切ですか？

カッター刃先のオフセットが正しくセットされていないと、角が丸くなったり、ツノができたりします。
カッター刃先のオフセットを適切な値にしてください。

関連情報

- P. 193 カッター刃先のオフセットを設定する

カット前にシートが引き出されるように設定していますか？

ロールシートまたは長さ 1.6 m を超える平型シートを使用する場合、カットデータに必要なシート長さが引き出されていない状態でカットすると、シートがずれたり、モーターエラーによって動作が停止したりすることがあります。
カット前にシートが引き出されるよう設定してください。

関連情報

- P. 40 シート送りを確認する

〔スムージング〕が〔オフ〕になっていませんか？

曲線をきれいにカットする場合は、〔スムージング〕を〔オン〕にしてください。

関連情報

- P. 199 円弧等の曲線をなめらかにカットする（スムージング）

カッタープロテクションが傷ついたり、変形したりしていませんか？

カッタープロテクションに傷がついていると、本機の設定およびカッターやカッターホルダーの取り付け方が正しくても、シートがうまく切れないことがあります。このような場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

関連情報

- P. 263 カッタープロテクション

台紙をカットしてしまう

カットするシートに対して、カッターの刃先調整、カッター圧は適切ですか？

テストカットを行い、適切な刃先調整およびカット圧調整を行ってください。

関連情報

- P. 188 カット条件の目安
- P. 45 テストカットする
- P. 189 切り込み量を調整する

二度切りされてしまう

CutSutudio の[重ね切り回数]は[0]になっていますか？

[**カット**]画面で[**重ね切り回数**]を[**0**]以外に設定していると、カット回数に加算されます。[**重ね切り回数**]を[**0**]に設定するか、機体の設定で[**カサネギリ**]を[**オフ**]にしてください。

関連情報

- P. 75 カットする

機体の重ね切り設定が「1～10」になっていませんか？

機体の〔カサネギリ〕設定を〔オフ〕にします。

関連情報

- P. 200 同じ位置でくり返しカットする（重ね切り）

線が重なっていませんか？

同じデータがコピーされて線が重なっていることがあります。データを確認してください。

クロップマークを検出できない

クロップマークが読みとれないとき、以下のエラーメッセージを表示し動作を停止します。

- 〔<ツールモード>ニ キリカエテクダサイ〕
- 〔ナガサガアイマセン〕
- 〔ハバガアイマセン〕
- 〔カタムキガオオスギマス〕

このとき操作パネルのキーをどれか一つ押してください。一旦シートを取り外し、以下の内容を確認してから取り付け直してください。

シートを正しく取り付けましたか？

シートを正しくセットしてください。

関連情報

- P. 27 シートのセットアップ

白色以外、または光沢の強いシートを使っていませんか？

模様や色がついているとクロップマークを検出できません。また白色でも光沢の強いシートはクロップマークを検出できないことがあります。
光沢のない（光沢の弱い）白色のシートを用意して、印刷から作業をやり直してください。

関連情報

- P. 15 使用可能なシートの条件

透明なシートを使っていませんか？

透明なシートの場合、クロップマークを検出できません。使用するシートを変更してください。

関連情報

- P. 15 使用可能なシートの条件

シートに折り目やしわがついていませんか？

折り目やしわがついているシートを使うとクロップマークが読み取れないことがあります。
折り目やしわを伸ばしてから、もう一度シートを取り付けなおしてください。それでも読み取れない場合は、折り目やしわのない新しいシートを用意して、印刷から作業をやり直してください。

クロップマークがかすれているか、黒以外の色ではありませんか？

クロップマークの色を黒にし、お使いのプリンターで印刷濃度を 100 %に指定して印刷し直してください。

関連情報

- P. 17 クロップマーク

クロップマークの大きさや形は正しいですか?

本機では決められた形以外のクロップマークは検出できません。
クロップマークを、直径 10 mm の真円にしてください。

関連情報

- P. 17 クロップマーク

クロップマークは正しい位置に配置されていますか？

クロップマークを正しい位置に配置してください。

関連情報

- P. 316 余白 / クロップマーク間の距離

〔カイテン〕メニューを〔90 ド〕に設定していませんか？

クロップマークを使うときは、〔カイテン〕メニューを必ず〔0 ド〕に設定してください。〔90 ド〕にするとクロップマークを読み取れなくなります。

関連情報

- P. 194 カット座標の向きを設定する

直射日光や室内照明の強い光が当たっていませんか？

カッティングキャリッジのセンサーに直射日光や室内照明が当たると、クロップマークを検出できないことがあります。
直射日光や室内照明が当たらないように本体の設置場所を変えてください。
上記の内容を実行しても解決しない場合は、〔ツールモード〕で位置合わせを行ってください。

関連情報

- P. 165 ツールモードでプリント＆カットする

シートはまっすぐきちんとセットしてありますか？印刷結果が斜めになっていませんか？

次の場合、クロップマークを検出できません。クロップマークに傾きがないようにシートをセットまたは印刷してください。

- 左右のクロップマークがカッティングキャリッジの移動方向に対して 5 度以上傾いている
- シート送り方向に 20 mm 以上ずれている

関連情報

- P. 67 印刷したシートを取り付ける

ソフトウェアで指定したクロップマーク間の距離は本機に入力した距離と同じですか?（マニュアルモード）

ソフトウェアで指定した距離を本機に正しく入力してください。

関連情報

- P. 178 位置合わせ方法を設定する（マニュアルモード）

拡大／縮小印刷をしていませんか?

印刷するときに、サイズを拡大／縮小すると、カットするときにクロップマークが読みとれません。
倍率は 100 %に指定して印刷してください。

カッティング中、ピンチローラーからシートが外れる

ローディングレバーが下がっていませんか？

シートが固定されていません。左右のピンチローラーがシートの内側にあることを確認し、ローディングレバーを上げてください。

シートがガイドラインと平行に取り付けられていますか？

左右端が平行なシートを使用し、シートの左端がガイドラインと平行になるように取り付けてください。

関連情報

- P. 27 シートのセット位置

カット中にシートが障害物に当たっていませんか？

カット中、シートの左右端が本機の内側面に当たらないようにしてください。シートが傷むだけでなく、正常なシート送りができなくなり、シートの位置がずれてきます。

シート送りを確認せずにカットを実行しませんでしたか？（ロールシートの場合）

シート送りを確認せずにカットを始めると、シートがうまく送れなかった場合、正しいカット結果が得られないだけでなく、エラーや故障、シートの破損の原因となることがあります。

関連情報

- P. 40 シート送りを確認する

ピンチローラーでシートの両端を固定していますか？

グリットローラーの範囲内にピンチローラーが配置されていないと、シートが固定されず、正常にシートが送られません。
シートをセットしなおしてください。

関連情報

- P. 27 シートのセット位置

機体のトラブル

機体が動作しない **276**
ケーブルは正しく接続されていますか？ 276
電源がオフになっていませんか？ 276
シートのセットアップは完了していますか？ 276
アプリケーションソフトウェアの設定が間違っていませんか？ 276
電源をオフにできない **277**
電源ボタンを 1 秒以上押し続けましたか？ 277
カットシートを〔ハザイ〕でセットアップできない **278**
1.6 m 以上の長さのシートを取り付けていませんか？ 278
1 台のコンピューターに 2 台以上の機体を接続したい（Windows をお使いの場合） **279**
USB ケーブルで接続する 279
イーサネットで接続する 282
1 台のコンピューターに 2 台以上の機体を接続したい（Mac をお使いの場合） **285**
イーサネットで接続する (IP アドレスを手動で設定) 285
イーサネットで接続する (IP アドレスを自動で設定) 290

機体が動作しない

ケーブルは正しく接続されていますか？

電源コードや USB ケーブル、イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。
USB ケーブルとイーサネットケーブルを同時に接続していると、機体が動作しないことがあります。どちらかのケーブルのみを接続してください。

電源がオフになっていませんか？

本機の電源をオンにしてください。

関連情報

- P. 20 電源オン

シートのセットアップは完了していますか？

ディスプレイが以下の表示になっているときは、データを送ってもカットできません。
取り付けたシートを選択してから、[ENTER] を押してセットアップを完了します。

```
シート ノ センタク      ◆
ロール                 ↵
```

関連情報

- P. 27 シートのセットアップ

アプリケーションソフトウェアの設定が間違っていませんか？

本機に対応したドライバーを選択してください。選択方法は、お使いのアプリケーションソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

電源をオフにできない

電源ボタンを 1 秒以上押し続けましたか？

電源をオフにするには、電源ボタンを 1 秒以上押し続けてください。それでも電源がオフにならない場合は、本機から AC アダプターを抜いてください。

カットシートを〔ハザイ〕でセットアップできない

1.6 m 以上の長さのシートを取り付けていませんか？

1.6 m 以上の長さの平型シートを〔ハザイ〕でセットアップすると、ロールシートとして認識されます。

関連情報

- P. 15 シートの種類について

1 台のコンピューターに 2 台以上の機体を接続したい（Windows をお使いの場合）

USB ケーブルで接続する

1 台のコンピューターに対して GS2-24 を最大 5 台まで接続できます。USB 接続で複数の GS2-24 と接続する場合は、出力先を判別するために機体の USB ナンバーを変更します。本機は初期設定が〔A〕となっています。2 台目以降は、データの出力先を判別するために〔A〕以外に設定する必要があります。

Step 1 から 3 を実施して接続設定を行います。3 台目以降も同じ手順で設定します。

Step 1: 機体の USB ナンバーを変更する

重要

ここではまだ追加する機体とコンピューターを USB ケーブルで接続しないでください。正しく設定が行えない場合があります。

手順

1. 機体の電源をオフにする。

2. ［TEST］と電源ボタンを同時に押す。

以下の画面が表示されます。

```
USBﾅﾝﾊﾞｰ[A]      ◆
*A              ↵
```

3. ［▲］［▼］を押して、〔A〕以外に設定する。

〔B〕 - 〔E〕を選択できます。ここでは〔B〕と設定します。

4. ［ENTER］を押す。

5. 電源を入れなおす。

以下の画面が表示されます。手順 3 で設定したナンバーが表示されることを確認します。

```
Roland GS2-24
[B]  Main:V***
```

Step 2: コンピューターのプリンター設定を変更する

手順

1. 機体とコンピューターを USB ケーブルで接続する。
   ドライバーがインストールされます。

2. [**デバイスとプリンターの表示**]を開く。
   - Windows 11 の場合
     a. [**スタート**]>[**すべてのアプリ**]>[**Windows ツール**]をクリックする。
     b. [**コントロールパネル**]をダブルクリックする。
     c. [**デバイスとプリンターの表示**]をクリックする。
   - Windows 10 の場合
     a. [**スタート**]>[**Windows システムツール**]>[**コントロールパネル**]をクリックする。
     b. [**デバイスとプリンターの表示**]をクリックする。

   [**Roland DG GS2-24 (1)**]（または[**Roland DG GS2-24 (1 コピー)**]）が作成されています。

3. [**Roland DG GS2-24 (1)**]（または[**Roland DG GS2-24 (1 コピー)**]）を右クリックし、[**プリンターのプロパティ**]を選択する。

4. [**Roland DG GS2-24 (1)**]（または[**Roland DG GS2-24 (1 コピー)**]）を[**Roland DG GS2-24 (B)**]に変更する。

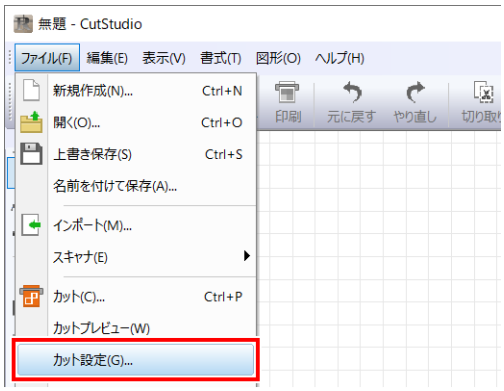
5. [**OK**]をクリックする。

Step 3: 2 台目の GS2-24 がインストールされたか確認する

手順

1. CutStudio を起動する。
   CutStudio の起動方法

2. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。



3. [**プリンター名**]をクリックする。
   [**Roland DG GS2-24 (B)**]が表示されていれば、2 台目の機体は正常に接続されています。

イーサネットで接続する

1 台のコンピューターに対して GS2-24 を最大 5 台まで接続できます。イーサネット接続で複数の機体と接続する場合は、機体を追加するごとにドライバーをインストールします。
Step 1 から 3 を実施して接続設定を行います。3 台目以降も同じ手順で設定します。

Step 1: 追加する機体のドライバーをインストールする

手順

1. 追加する機体とコンピューターをイーサーネットケーブルで、同一の LAN ネットワークに接続する。

2. コンピューターにドライバーをインストールする。
   「インストールと初期設定 Windows 版」マニュアルの「IP アドレスを自動で設定してインストールする」（https://downloadcenter.rolanddg.com/GS2-24）を参照して、コンピューターにドライバーをインストールします。

Step 2: コンピューターのプリンター設定を変更する

手順

1. [**デバイスとプリンターの表示**]を開く。
   - Windows 11 の場合
     a. [**スタート**]>[**すべてのアプリ**]>[**Windows ツール**]をクリックする。
     b. [**コントロールパネル**]をダブルクリックする。
     c. [**デバイスとプリンターの表示**]をクリックする。
   - Windows 10 の場合
     a. [**スタート**]>[**Windows システムツール**]>[**コントロールパネル**]をクリックする。
     b. [**デバイスとプリンターの表示**]をクリックする。

   [**Roland DG GS2-24 (1)**]（または[**Roland DG GS2-24 (1 コピー)**]）が作成されています。

2. [**Roland DG GS2-24 (1)**]（または[**Roland DG GS2-24 (1 コピー)**]）を右クリックし、[**プリンターのプロパティ**]を選択する。

3. [**Roland DG GS2-24 (1)**]（または[**Roland DG GS2-24 (1 コピー)**]）を[**Roland DG GS2-24 (B)**]に変更する。

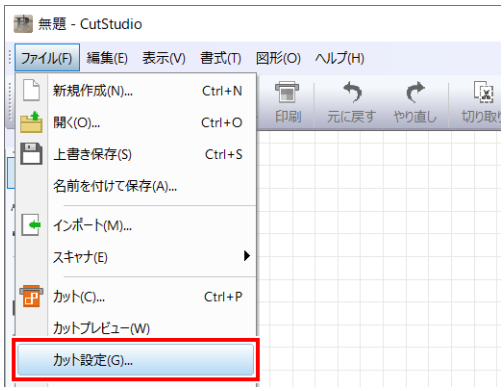
4. [**OK**]をクリックする。

Step 3: 2 台目の GS2-24 がインストールされたか確認する

手順

1. CutStudio を起動する。
   CutStudio の起動方法

2. [**ファイル**]>[**カット設定**]をクリックする。



3. [**プリンター名**]をクリックする。
   [**Roland DG GS2-24 (B)**]が表示されていれば、2 台目の機体は正常に接続されています。

1 台のコンピューターに 2 台以上の機体を接続したい（Mac をお使いの場合）

メモ

コンピューターと機体を USB 接続している場合は、複数台接続ができません。
USB で接続している場合は、コンピューターとすべての機体をイーサネット接続に変更してください。

イーサネットで接続する (IP アドレスを手動で設定)

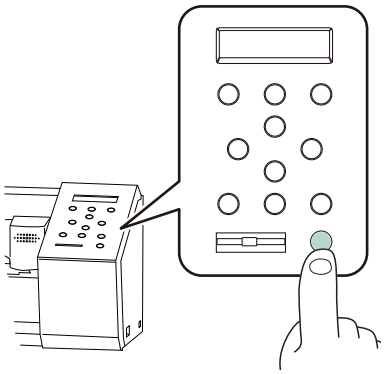
Macintosh のコンピューターをお使いの場合は、Adobe Illustrator の Plug-in を使用して本機に出力をします。本機を複数台接続するときは、コンピューターとそれぞれの機体をイーサネット接続します。

Step 1: LAN ケーブルの接続

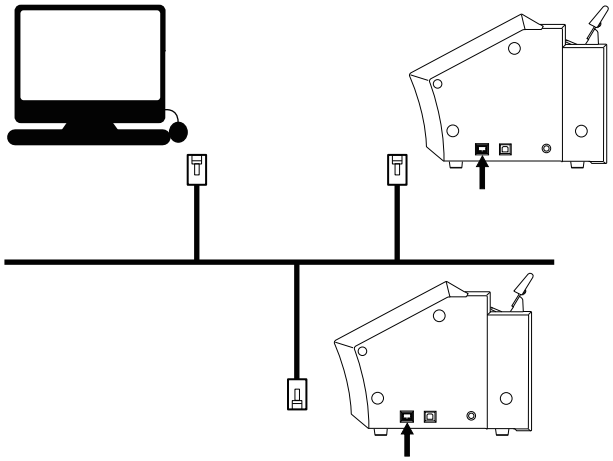
手順

1. コンピューターを起動する。

2. 電源ボタンを押して、接続する機体を起動する。



3. 接続する機体とコンピューターを LAN ケーブルで接続する。



Step 2: 接続する機体の IP アドレスを設定する

手順

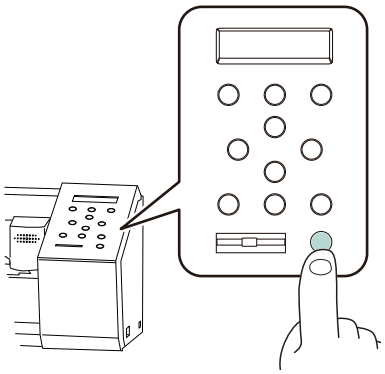
1. 機体の IP アドレスを決める。

コンピューターの IP アドレスを確認して、機体の IP アドレスを決定します。

コンピューターの IP アドレスが 192. 168. 0. xxx　のとき

- 機体の IP アドレス: 192. 168. 0. yyy
  [yyy] は、 1 ～ 254 の任意の番号を入力してください。他のネットワーク機器と重複しない番号にしてください。

2. 機体が起動していない場合は、 電源ボタンを押して機体を起動する。



3. [**MENU**]を 2 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

4. [▼]を 1 回 押して、以下の画面を表示する。

```
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ
```

5. [▶]を 1 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ
ﾓﾃﾞﾙ
```

6. [▼]を 3 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ
ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
```

7. [▶]を 2 回押して、以下の画面を表示する。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ
DHCP ｵﾝ
```

8. [▶][▼]の順に押して、DHCP をオフにする。

```
DHCP オン        ◀◆
 オフ             ▶
```

9. [**ENTER**]を押す。

10. [▼]を 1 回押して、以下の画面を表示する。

```
ネットワーク      ◀◆
IP アドレス       ▶
```

11. [▶]を 2 回押す。

a. [▲]または[▼]を押して、手順 1 で決定した機体の IP アドレスを入力する。
[◀]または[▶]を押すとカーソルが移動します。

b. [**ENTER**]を押す。

12. [**MENU**]を押して、元の画面に戻る。

13. 手順 1 から 12 を繰り返して 2 台目の機体の IP アドレスを設定する。

Step 3: Adobe Illustrator Plug-in の出力設定をする

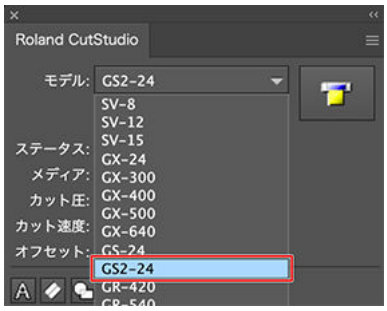
手順

1. Adobe illustrator を起動する。

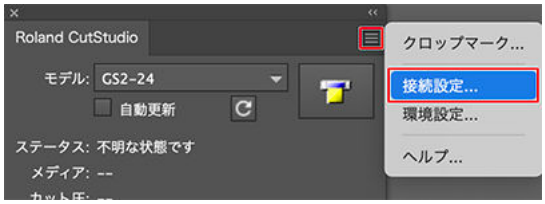
2. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。

[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

3. [**モデル**]から[**GS2-24**]を選択する。



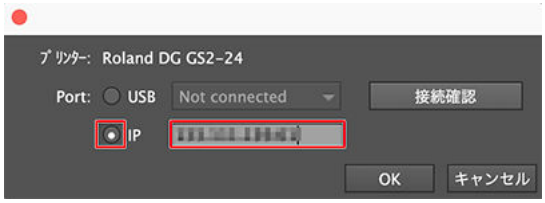
4. ☰をクリックして、[**接続設定**]を選択する。



5. [**IP**]を選択して、[**Step 2: 接続する機体の IP アドレスを設定する**] の手順 1 で決定した IP アドレスを入力する。

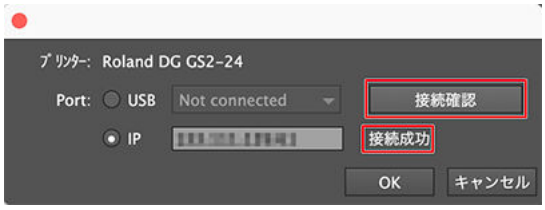
入力例：

機体の IP アドレスが [192.168.000.061] の時は、[192.168.0.61] と入力します。



6. [**接続確認**]をクリックする。

機体との接続が成功すると、[**接続成功**]が表示されます。



[**接続失敗**]が表示された場合は、IP アドレスが正しく入力されているか確認してください。

7. [**OK**]をクリックする。

8. 手順 4 から 7 を繰り返して 2 台目の機体の接続設定をする。

メモ

Adobe Illustrator Plug-in に出力する機体の IP アドレスを入力することで、出力する機体を切り替えます。

イーサネットで接続する (IP アドレスを自動で設定)

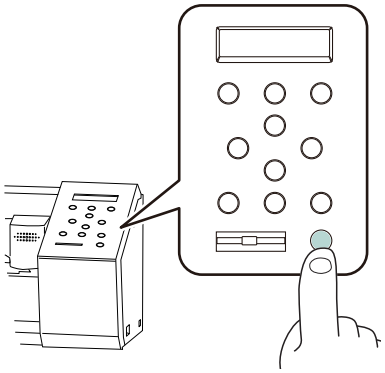
Macintosh のコンピューターをお使いの場合は、Adobe Illustrator の Plug-in を使用して本機に出力をします。本機を複数台接続するときは、コンピューターとそれぞれの機体をイーサネット接続します。

Step 1: LAN ケーブルの接続

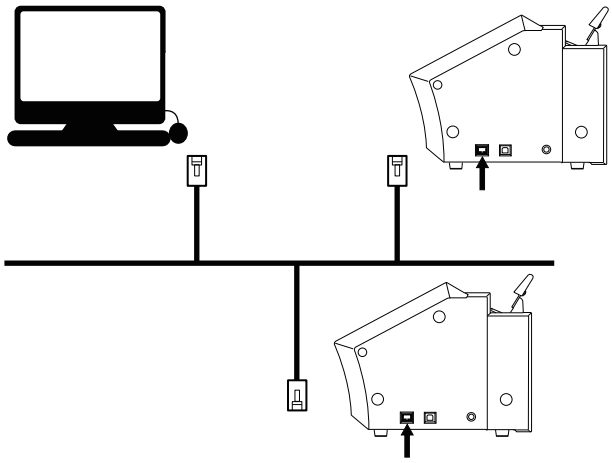
手順

1. コンピューターを起動する。

2. 電源ボタンを押して、接続する機体を起動する。



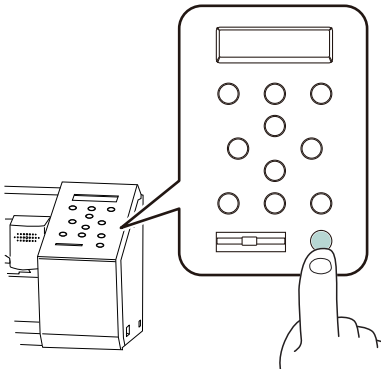
3. 接続する機体とコンピューターを LAN ケーブルで接続する。



Step 2: 接続する機体の設定を確認する

手順

1. 機体が起動していない場合は、 電源ボタンを押して機体を起動する。



2. [**MENU**]を 2 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｶｯﾄｼﾞｮｳｹﾝ
```

3. [▼]を 1 回 押して、以下の画面を表示する。

```
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ
```

4. [▶]を 1 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ
ﾓﾃﾞﾙ
```

5. [▼]を 3 回押して、以下の画面を表示する。

```
ｼｽﾃﾑｼﾞｮｳﾎｳ
ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ
```

6. [▶]を 2 回押して、以下の画面を表示する。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ
DHCP ｵﾝ
```

DHCP がオフの場合は、[▶][▼]の順に押して DHCP をオンにして[**ENTER**]を押す。

7. [▼]を 1 回押して、以下の画面を表示する。

```
ﾈｯﾄﾜｰｸ
IP ｱﾄﾞﾚｽ
```

8. [▶]を 1 回押す。

9. 表示された IP アドレスをメモする。

10. [**MENU**]を押して、元の画面に戻る。

11. 手順 1 から 10 を繰り返して 2 台目の機体の設定を確認する。

Step 3: Adobe Illustrator Plug-in の出力設定をする

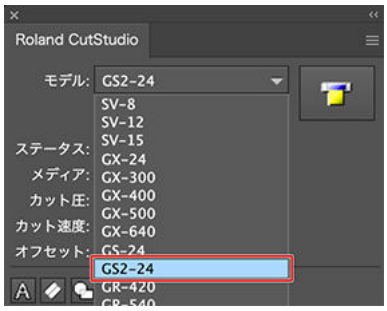
手順

1. Adobe illustrator を起動する。

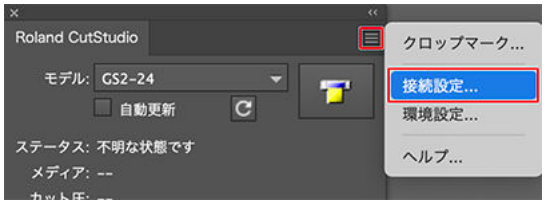
2. [**ウィンドウ**]>[**エクステンション**]>[**Roland CutStudio**]をクリックする。

[**Roland CutStudio**]パレットが表示されます。

3. [**モデル**]から[**GS2-24**]を選択する。



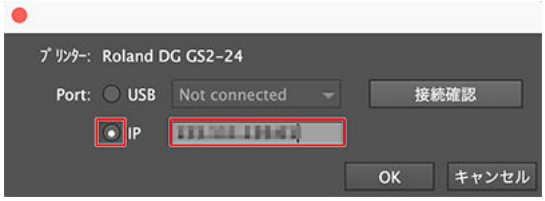
4. ☰をクリックして、[**接続設定**]を選択する。



5. [IP] を選択して、[**Step 2: 接続する機体の設定を確認する**] の手順 9 でメモした IP アドレスを入力する。

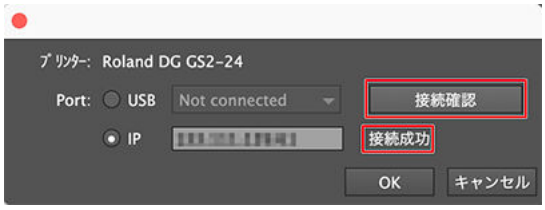
入力例：

機体の IP アドレスが [192.168.000.061] の時は、[192.168.0.61] と入力します。



6. [**接続確認**]をクリックする。

機体との接続が成功すると、[**接続成功**]が表示されます。



[**接続失敗**]が表示された場合は、IP アドレスが正しく入力されているか確認してください。

7. [**OK**]をクリックする。

8. 手順 4 から 7 を繰り返して 2 台目の機体の接続設定をする。

メモ

Adobe Illustrator Plug-in の[**接続設定**]で、出力したい機体の IP アドレスを選択して、出力先を切り替えます。

ソフトウェアのトラブル

ドライバーをインストールできない **296**
ドライバーを再インストールする（Windows 10）..... 296
ドライバーを再インストールする（Windows 11）..... 297
ドライバーを再インストールする（Mac）..... 298
ドライバーをアンインストールしたい **299**
ドライバーをアンインストールする（Windows 10）..... 299
ドライバーをアンインストールする（Windows 11）..... 300
ドライバーをアンインストールする（Mac）..... 301
インストール時にドライバーが[未指定]になる **302**
ドライバーを正しくインストールできない（Windows 10）..... 302
ドライバーを正しくインストールできない（Windows 11）..... 303

ドライバーをインストールできない

インストールを中断したときや、USB ケーブルを接続してもウィザードが表示されないときは、以下の手順でドライバーをインストールしてください。

ドライバーを再インストールする（Windows 10）

手順

1. 機器とコンピューター間を USB ケーブルで接続して、機器の電源をオンにする。
2. [**新しいハードウェアの検出**]が表示されていたら、[**閉じる**]をクリックして閉じる。
   本機以外のプリンターの USB ケーブルを抜いておきます。
3. 「スタート（右クリック）」から[**デバイスマネージャー**]をクリックする。
4. [**表示**]メニューから[**非表示のデバイスの表示**]をクリックする。
5. リストで[**プリンター**]もしくは[**ほかのデバイス**]を探し、それをダブルクリックする。
   その下に表示されたお使いの機種名または[**不明なデバイス**]をクリックして選択します。
6. [**操作**]メニューから[**デバイスのアンインストール**]をクリックする。
7. [**デバイスのアンインストール**]画面で、[**アンインストール**]をクリックする。
8. [**デバイスマネージャー**]を閉じる。
9. コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動する。
10. 以下の手順に従って、ドライバーをアンインストールする。
    P. 299 ドライバーをアンインストールする（Windows 10）
11. 以下の手順に従って、最初からインストールをやりなおす。
    GS2-24 インストールと初期設定 Windows 版

ドライバーを再インストールする（Windows 11）

手順

1. 機器とコンピューター間を USB ケーブルで接続して、機器の電源をオンにする。
2. [**新しいハードウェアの検出**]が表示されていたら、[**閉じる**]をクリックして閉じる。
   本機以外のプリンターの USB ケーブルを抜いておきます。
3. 「スタート（右クリック）」から[**デバイスマネージャー**]をクリックする。
4. [**表示**]メニューから[**非表示のデバイスの表示**]をクリックする。
5. リストで[**プリンター**]もしくは[**ほかのデバイス**]を探し、それをダブルクリックする。
   その下に表示されたお使いの機種名または[**不明なデバイス**]をクリックして選択します。
6. [**操作**]メニューから[**デバイスのアンインストール**]をクリックする。
7. [**デバイスのアンインストール**]画面で、[**アンインストール**]をクリックする。
8. [**デバイスマネージャー**]を閉じる。
9. コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動する。
10. 以下の手順に従って、ドライバーをアンインストールする。
    P. 299 ドライバーをアンインストールする（Windows 10）
11. 以下の手順に従って、最初からインストールをやりなおす。
    GS2-24 インストールと初期設定 Windows 版

ドライバーを再インストールする（Mac）

手順

1. 以下の手順に従って、ドライバーをアンインストールする。
   ドライバーをアンインストールする（Mac）（P. 301）
2. アップルメニューから[**システム設定...**]をクリックする。
3. [**プリンタとスキャナ**]をクリックする。
4. [**プリンタ**]で[**GS2-24**]の ＞ をクリックする。
5. [**プリンタを削除...**]をクリックする。
   確認画面が表示されます。
6. [**プリンタを削除**]をクリックする。
   [**プリンタ**]から[**GS2-24**]が消えていればアンインストール完了です。
7. 以下の手順に従って、最初からインストールをやりなおす。
   GS2-24 インストールと初期設定 Macintosh 版

ドライバーをアンインストールしたい

ドライバーをアンインストールするときは、次の手順で行ってください。

ドライバーをアンインストールする（Windows 10）

手順

1. 機器の電源を切り、コンピューターと機器間の接続ケーブルを外す。
2. 「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンする。
3. [**スタート**]>[**Windows システムツール**]>[**コントロールパネル**]>[**プログラムのアンインストール**]をクリックする。
4. 削除する機器のドライバーをダブルクリックし、[**はい**]をクリックする。
   [**ユーザーアカウント制御**]画面が表示されたら、[**許可**]または[**はい**]をクリックします。
5. 削除確認のメッセージが表示されたら、[**はい**]をクリックする。
6. 「スタート（右クリック）」から[**エクスプローラー**]をクリックする。
7. エクスプローラーを起動し、ダウンロードしたときにドライバーのインストール先に指定したフォルダーを開く。
8. [**SETUP64.EXE**]をダブルクリックする。
   [**ユーザーアカウント制御**]画面が表示されたら、[**許可**]または[**はい**]をクリックします。
   ドライバーのインストーラープログラムが起動します。
9. [**アンインストール**]を選択して、[**開始**]をクリックする。
10. コンピューターの再起動を求める画面が表示されたら、[**はい**]をクリックする。
    コンピューターの再起動が終了したら、アンインストールは終了です。

ドライバーをアンインストールする（Windows 11）

手順

1. 機器の電源を切り、コンピューターと機器間の接続ケーブルを外す。
2. 「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンする。
3. [**スタート**]>[**すべてのアプリ**]>[**Windows ツール**]をクリックする。
4. [**コントロールパネル**]をダブルクリックする。
5. [**プログラムのアンインストール**]をクリックする。
6. 削除する機器のドライバーをダブルクリックし、[**はい**]をクリックする。
   [**ユーザーアカウント制御**]画面が表示されたら、[**許可**]または[**はい**]をクリックします。
7. 削除確認のメッセージが表示されたら、[**はい**]をクリックする。
8. 「スタート（右クリック）」から[**エクスプローラー**]をクリックする。
9. エクスプローラーを起動し、ダウンロードしたときにドライバーのインストール先に指定したフォルダーを開く。
10. [**SETUP64.EXE**]をダブルクリックする。
    [**ユーザーアカウント制御**]画面が表示されたら、[**許可**]または[**はい**]をクリックします。
    ドライバーのインストーラープログラムが起動します。
11. [**アンインストール**]を選択して、[**開始**]をクリックする。
12. コンピューターの再起動を求める画面が表示されたら、[**はい**]をクリックする。
    コンピューターの再起動が終了したら、アンインストールは終了です。

ドライバーをアンインストールする（Mac）

手順

1. [管理者]として Mac にログオンする。
2. 次の URL にアクセスする。
   https://downloadcenter.rolanddg.com/GS2-24/#software
3. [Roland DG GS2 Driver]をクリックする。
4. [Roland DG GS2-24 Driver Mac インストーラー/アップデーター[20**-**-**]]をダウンロードする。
   必要項目を入力して送信すると、ソフトウェアのダウンロード画面が表示されます。
5. ダウンロードした[Roland DG GS2 Driver.dmg]をダブルクリックする。
6. [RolandDG_GS2-24_Uninstaller.pkg]をダブルクリックする。
   インストールウィザードに従ってアンインストールを完了させてください。
7. アップルメニューから[**システム設定...**]をクリックする。
8. [**プリンタとスキャナ**]をクリックする。
9. [**プリンタ**]で[**GS2-24**]の ＞ をクリックする。
10. [**プリンタを削除...**]をクリックする。
    確認画面が表示されます。
11. [**プリンタを削除**]をクリックする。
    [**プリンタ**]から[**GS2-24**]が消えていればアンインストール完了です。

インストール時にドライバーが[未指定]になる

ドライバーを正しくインストールできなかった場合、インストールしたドライバーがコンピューター上で[**未指定**]に分類されることがあります。そのような場合は、次の手順でインストールしなおしてください。

ドライバーを正しくインストールできない（Windows 10）

手順

1. 「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンする。
2. [**スタート**]>[**Windows システムツール**]>[**コントロールパネル**]をクリックする。
3. [**デバイスとプリンターの表示**]をクリックする。
4. [**未指定**]に分類されている、お使いの機器のドライバーを右クリックして、[**プロパティ**]をクリックする。
   機器とコンピューターを接続していないと[**未指定**]にドライバーが表示されません。表示されていない場合は、機器の電源をオンにしてコンピューターと接続してください。
5. [**ハードウェア**]タブをクリックし、お使いの機種名をダブルクリックする。
6. [**全般**]タブで[**設定の変更**]をクリックして、[**設定の変更**]の表示を消す。
   [**設定の変更**]がはじめから表示されていないときは、そのまま次の手順に進んでください。
7. [**ドライバー**]タブをクリックし、[**デバイスのアンインストール**]をクリックする。
8. [**デバイスのアンインストール**]画面で、[**アンインストール**]をクリックする。
   まだこの時点では、お使いの機器のドライバーは[**未指定**]に表示されたままです。
9. ドライバーをアンインストールする。
   P. 299 ドライバーをアンインストールする（Windows 10）
10. ドライバーを再インストールする。
    GS2-24 インストールと初期設定 Windows 版

ドライバーを正しくインストールできない（Windows 11）

手順

1. 「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンする。
2. [**スタート**]>[**すべてのアプリ**]>[**Windows ツール**]をクリックする。
3. [**コントロールパネル**]をダブルクリックする。
4. [**デバイスとプリンターの表示**]をクリックする。
5. [**未指定**]に分類されている、お使いの機器のドライバーを右クリックして、[**プロパティ**]をクリックする。
   機器とコンピューターを接続していないと[**未指定**]にドライバーが表示されません。表示されていない場合は、機器の電源をオンにしてコンピューターと接続してください。
6. [**ハードウェア**]タブをクリックし、お使いの機種名をダブルクリックする。
7. [**全般**]タブで[**設定の変更**]をクリックして、[**設定の変更**]の表示を消す。
   [**設定の変更**]がはじめから表示されていないときは、そのまま次の手順に進んでください。
8. [**ドライバー**]タブをクリックし、[**デバイスのアンインストール**]をクリックする。
9. [**デバイスのアンインストール**]画面で、[**アンインストール**]をクリックする。
   まだこの時点では、お使いの機器のドライバーは[**未指定**]に表示されたままです。
10. ドライバーをアンインストールする。
    P. 300 ドライバーをアンインストールする（Windows 11）
11. ドライバーを再インストールする。
    GS2-24 インストールと初期設定 Windows 版

データのトラブル

Illustrator データを読み込み（インポート）できない **305**
データは AI8.0 / EPS8.0 で保存されていますか？ 305
サンプルデータが見つからない **306**
隠しフォルダーが表示されない設定になっていませんか？ 306

Illustrator データを読み込み（インポート）できない

データは AI8.0 / EPS8.0 で保存されていますか？

Illustrator で作成したデータを CutStudio でインポートするときは、AI8.0 / EPS8.0 しか読み込めません。バージョンを落として保存し直してください。

関連情報

- P. 59 プリントデータを配置する

サンプルデータが見つからない

隠しフォルダーが表示されない設定になっていませんか？

サンプルデータ置き場

CutStudio のインストール先のフォルダー（通常は C ドライブの[**Program Files (x86)**]>[**CutStudio**]）にある[**Sample.bmp**]

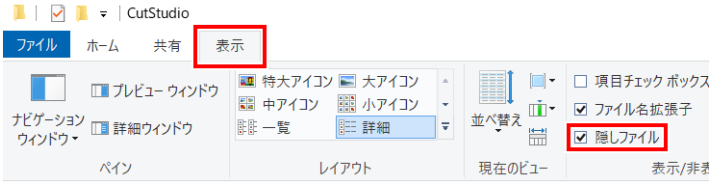
コンピューターの設定によって、サンプルデータが表示されない場合があります。その場合は下記の設定を行い、再度データ置き場を確認してください。

手順

1. [**エクスプローラー**]を開く。
   デスクトップの左下にあるフォルダーをクリックします。

2. [**表示**]タブをクリックする。

3. [**隠しファイル**]をオンにする。



操作パネルのメッセージ

エラーメッセージ..... 308
〔エラー 1：コマンド エラー〕..... 308
〔エラー 2：パラメータ カズ〕..... 308
〔エラー 3：ハンイガイ〕..... 308
〔オリジン エラー〕..... 308
〔クロップマーク エラー〕..... 308
〔クロップマーク エラー〕〔カタムキガオオスギマス〕..... 308
〔クロップマーク エラー〕〔ナガサガアイマセン〕..... 310
〔クロップマーク エラー〕〔ハバガアイマセン〕..... 310
〔カッティングハンイガイデス〕..... 310
〔シートガ ハズレテイマス〕..... 310
〔<センサーモード>ニ キリカエテクダサイ〕..... 311
〔<ツールモード>ニ キリカエテクダサイ〕..... 311
〔データガ オオキスギマス〕..... 311
〔ピンチイチ エラー〕..... 311
〔モーターエラー〕..... 312
〔EEPROM エラー〕/〔SOLENOID エラー〕..... 312

エラーメッセージ

本機の表示画面に表示されるエラーメッセージとその対処方法です。ここで説明する対処をしても復帰できない場合や、ここにないエラーメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

〔エラー 1：コマンド エラー〕

本機で解釈できないデータが送信された。

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。コンピューターから送信するデータを見直して、正しいデータを送信しなおしてください。

〔エラー 2：パラメータ カズ〕

指定できるパラメータの数が、規定値と異なる。

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。コンピューターから送信するデータを見直して、正しいデータを送信しなおしてください。

〔エラー 3：ハンイガイ〕

指定したパラメータの値が、規定値の範囲外 。

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。コンピューターから送信するデータを見直して、正しいデータを送信しなおしてください。

〔オリジン エラー〕

本機に直射日光や室内照明の強い光が当たり、電源オン直後の原点検出ができなかった。

電源をオフにし、本機を直射日光や強い光の当たらない場所に移動してください。その後、電源をオンにします。

〔クロップマーク エラー〕

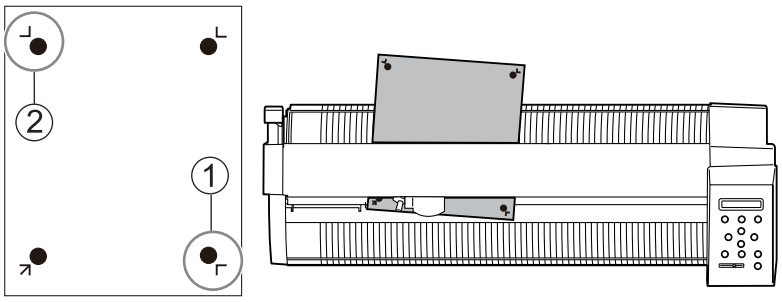
クロップマークの形や色、またはシートの色や光沢度合が本機に適していない。または、その他の機械的な故障。

クロップマークが読み取れませんでした。クロップマークの形や色、またはシートの色や光沢度合を確認してください。

クロップマークの形や色、またはシートの色や光沢度合を見直しても、同じエラーが出る場合は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでご連絡ください。

〔クロップマーク エラー〕〔カタムキガオオスギマス〕

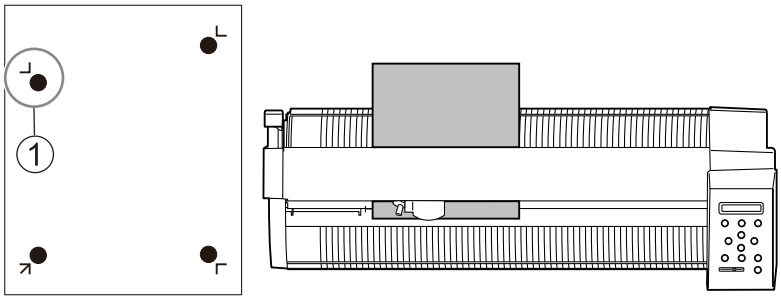
クロップマーク 2、または 3 が 5 度以上傾いている。



①：クロップマーク 2
②：クロップマーク 3
何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。シートを取り付け直してください。

〔クロップマーク エラー〕〔ナガサガアイマセン〕

クロップマーク 3 がシートの送り方向に 20 mm 以上ずれている。

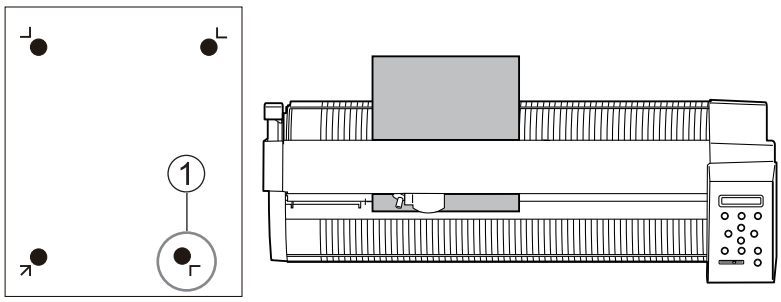


①：クロップマーク 3

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。シートを取り付け直すか、クロップマーク 3 の位置を見直してください。

〔クロップマーク エラー〕〔ハバガアイマセン〕

クロップマーク 2 がカッティングキャリッジ移動方向に 20 mm 以上ずれている。



①：クロップマーク 2

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。シートを取り付け直すか、クロップマーク 2 の位置を見直してください

〔カッティングハンイガイデス〕

クロップマーク、または原点がシートの外に指定されている。

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。クロップマークの位置、または原点がシートの外に設定されていないか確認し、設定しなおしてください。

〔シートガ ハズレテイマス〕

シートを取り付けずにセットアップ状態にしようとした／セットアップ状態のときにシートがはずされた／カットの最中にシートが外れた。

何かキーを押すと、セットアップが解除されてエラーメッセージが消えます。 シートを正しくセットしてから、セットアップ状態にします。

関連情報

- P. 27 シートのセット位置

〔<センサーモード>ニ キリカエテクダサイ〕

マニュアルモード時にクロップマークデータが送られた。

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。本機の設定をセンサーモードに切り替えてから、データを送りなおしてください。

関連情報

- P. 71 自動で位置合わせするように設定する

〔<ツールモード>ニ キリカエテクダサイ〕

センサーモード時、クロップマークが読み取れない。

何かキーを押すと、エラーメッセージが消えます。本機の設定をツールモードに切り替えてから、データを送りなおしてください。その際、クロップマークは 4 点にしてください。ツールモードの場合、3 点のクロップマークではカットできません。

クロップマークを 3 点にしたい場合は、センサーモードのまま、クロップマークの形や色を見直すか、シートの色や光沢度合を見直してください。

関連情報

- P. 17 クロップマーク/ツールマーク
- P. 271 クロップマークを検出できない

〔データガ オオキスギマス〕

機体に蓄積されたデータ量が大きすぎて〔リプロット〕が実行できない。

手順

1. 機体に保存されているデータを消去する。
2. コンピューターから送るデータの容量を小さくしてから、送信しなおす。
3. 〔リプロット〕を実行する。

関連情報

- P. 213 同じデータをくり返しカットする

〔ピンチイチ エラー〕

ピンチローラーがシートを挟めない位置にある。

何かキーを押すと、セットアップが解除されてエラーメッセージが消えます。 ピンチローラーを正しい位置に移動し、シートを取り付け直してください。

メモ

ピンチローラーを正しい位置に移動してもメッセージが表示されるときは、本機に直射日光や室内照明の強い光が当たっていることがあります。電源をオフにし、直射日光や強い光の当たらない場所に本機を移動してください。

移動後、電源をオンにします。

関連情報

- P. 29 平型シートを取り付ける
- P. 35 ロールシートを取り付ける

〔モーターエラー〕

モーターに大きな負荷がかかって動作が停止した。

以下のような理由で本機に過負荷がかかったとき、〔モーターエラー〕が表示されます。

- 厚手のシートを取り付けてカットを行った
- あらかじめシートの送り出しを行わずにカット時に急激にロールからシートを引き出した
- シートづまりを起こした

電源をオフにし、ローディングレバーを下げ、シートを取り付けなおしてください。

ロールシートにカットする場合

カットを行う長さだけロールからシートを引き出しておいてください。また、カットを開始する前に、試し送りをしてください。

その際、ディスプレイメニューの〔エリア〕には、カットデータの長さよりも 20 cm 程度長い値を設定してください。

厚手のシートをカットする場合

品質設定を〔オモイ〕にしてください。

〔EEPROM エラー〕/〔SOLENOID エラー〕

電源をオフにし、本機をお買い上げの販売店、または当社コールセンターへご連絡ください。

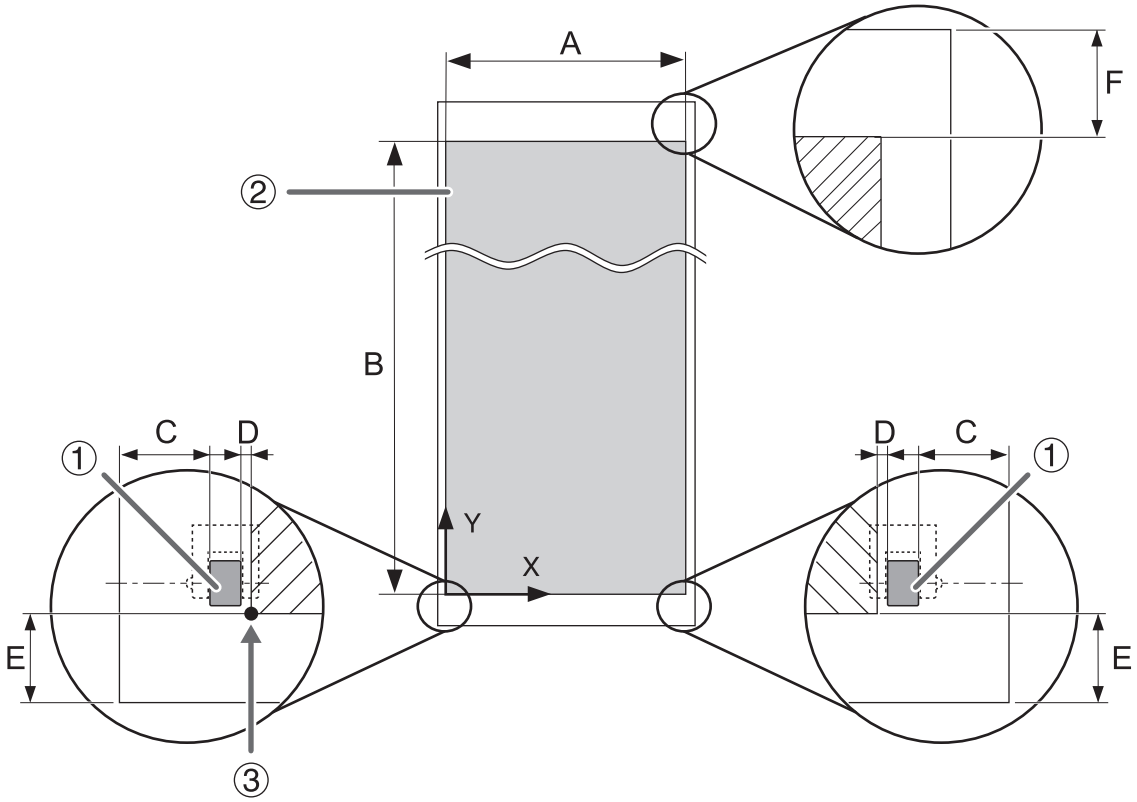
付録

主な仕様

カット領域 315
余白 / クロップマーク間の距離 316
クロップマークつきの印刷領域（CutStudio でカットデータを作成しているとき） 316
クロップマークつきの印刷領域（Adobe Illustrator/CorelDRAW でカットデータを作成しているとき） 318
仕様一覧表 320
Memo 322

カット領域

シートの横方向（カッティングキャリッジの移動方向）のカット領域は、ピンチローラーの位置によって決まります。左右のピンチローラーのそれぞれ約 1 mm 内側がカット可能な範囲です。



①	ピンチローラー
②	カット領域
③	カット座標原点
A	最大 584 mm
B	**指定したシートの種類** • 〔ロール〕 / 〔ハシ〕 最大 25,000 mm*1 • 〔ハザイ〕 最大：検出した長さ*2
C	10 ~ 25 mm
D	約 1 mm
E	15 mm
F	50 mm 以上

*1 精度保証範囲は、最大で 1,600 mm です。

*2 検出した長さが 1.600 mm 以上だったときは〔ロール〕と判断され、カット領域の長さは約 25,000 mm に設定されます。ただし、ディスプレイに長さは表示されません。

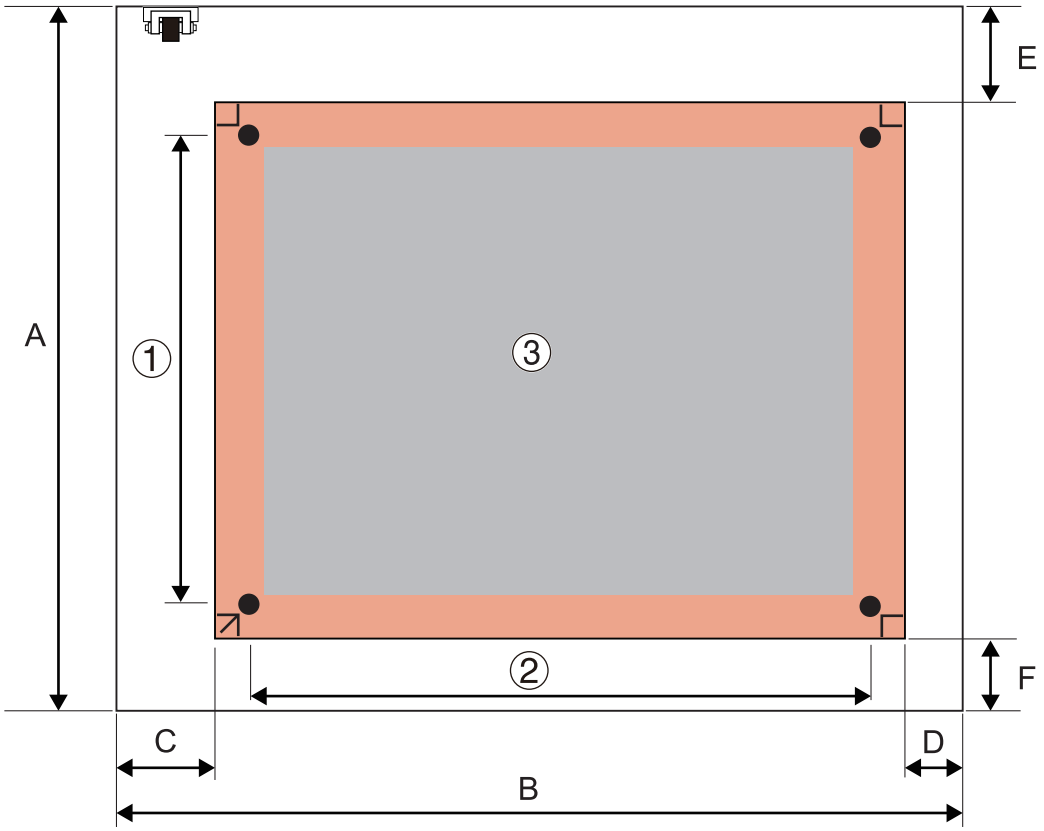
余白 / クロップマーク間の距離

余白とクロップマーク間の距離を設定します。シートのカットに必要な余白を考慮し、クロップマークの位置を設定します。

クロップマークつきの印刷領域（CutStudio でカットデータを作成しているとき）

メモ

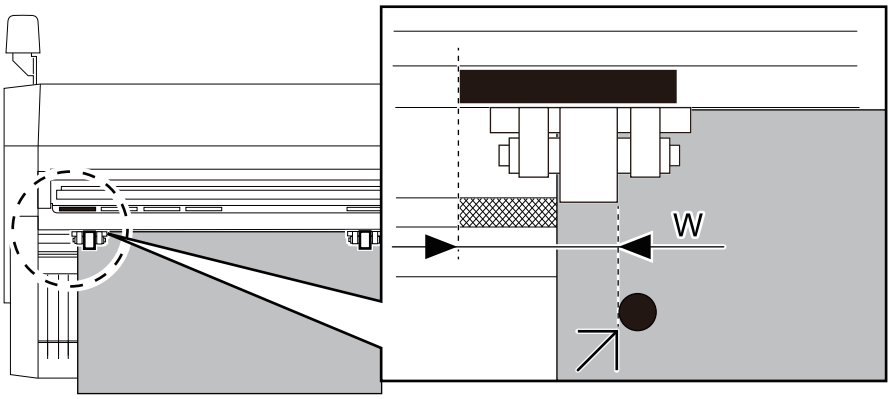
クロップマークが配置される範囲には、クロップマーク以外のイラストや汚れがないようにしてください。



①	クロップマーク間の長さ（L）
②	クロップマーク間の幅（W）
③	印刷可能な範囲
A	500 mm 以内
B	610 mm 以内
C	10 ~ 60 mm*1
D	10 ~ 42.5 mm
E	50 mm 以上
F	20 mm

*1　クロップマークの位置を手動で設定し、A3、A4、B4 以外のシートを使用するときは、次のことに注意してください。

- 一番左のグリットマークの範囲でピンチローラーを使用するときは、左グリットマーク左端からクロップマークまでの距離を 30 mm（W）以上確保してください。30 mm 以上確保しないとクロップマークを読み取ることができません。



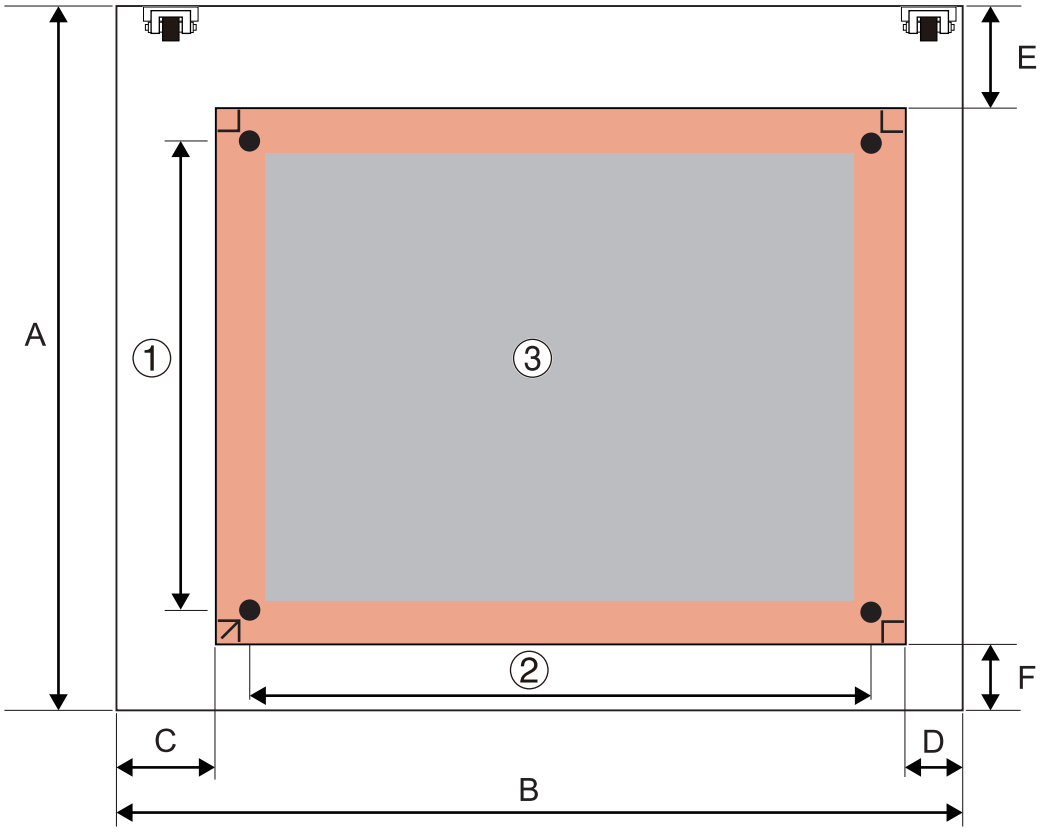
関連情報

- P. 62 プリント条件を設定する

クロップマークつきの印刷領域（Adobe Illustrator/CorelDRAW でカットデータを作成しているとき）

メモ

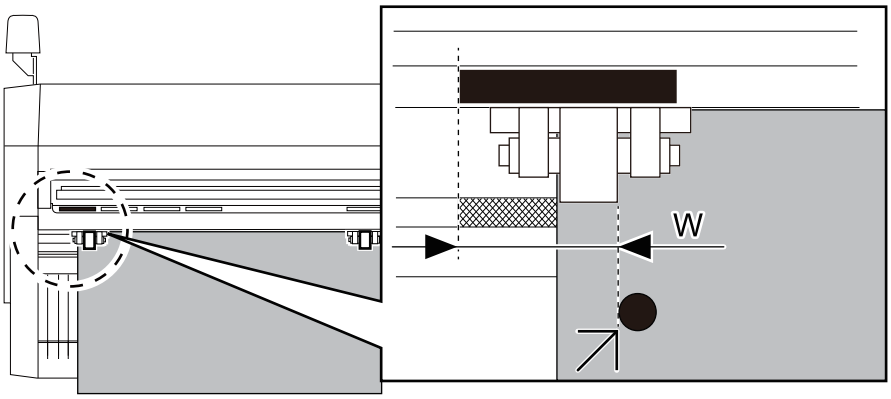
クロップマークが配置される範囲には、クロップマーク以外のイラストや汚れがないようにしてください。



①	クロップマーク間の長さ（L）
②	クロップマーク間の幅（W）
③	カット可能な範囲
A	1500 mm 以内
B	シート幅
C	10 mm 以上*1
D	10 mm 以上
E	50 mm 以上
F	20 mm

*1 クロップマークの位置を手動で設定し、A3、A4、B4 以外のシートを使用するときは、次のことに注意してください。

- 一番左のグリットマークの範囲でピンチローラーを使用するときは、左グリットマーク左端からクロップマークまでの距離を 30 mm（W）以上確保してください。30 mm 以上確保しないとクロップマークを読み取ることができません。



関連情報

- P. 92 プリント条件を設定する
- P. 141 プリント条件を設定する

仕様一覧表

駆動方式		デジタルコントロールサーボモーター
カッティング方式		メディアムーブ方式
取り付け可能なシートサイズ	幅	50 ~ 700 mm
	長さ	ロールシート：制限なし 平型シート：100 mm 以上
最大カッティング範囲		584 mm (幅) × 25,000 mm (長さ)
使用可能なツール		• CAMM-1 シリーズ用カッター（ZEC-U5032 / U5022 / U5025 / U3017） • フラットベット用刃物（ZEC-U1715 / U3050 / U3075 / U3100） • カーフィルム専用刃物（ZEC-U5010）
カッティング速度		10 ~ 850 mm/s (全方向)
カット圧設定範囲		30 ~ 500 gf
機械的分解能		0.0125 mm/step
ソフトウェア分解能		0.025 mm/step
距離精度*1		移動距離の±0.2 %以下または 0.1 mm 以下のうち大きい値
反復精度*1*2		0.1 mm 以下
印刷したシートを取り付けたときの印刷とカッティングの位置合わせ精度*1*3		シートの送り方向の移動距離 210 mm 以内、幅方向の移動距離 170mm 以内で±1 mm 以下（ただし、プリンター、シートによる影響を除く）
インターフェース		• Ethernet（10BASE-T / 100BASE-TX 自動切替） • USB（USB 2.0 FULL SPEED 準拠）
リプロットメモリー		2 M バイト
命令体系		CAMM-GLⅢ
電源		専用 AC アダプター 入力：AC 100 ~ 240 Vac、50/60 Hz 出力：DC 24 Vdc 2.7 A
定格電流		1.0 A
消費電力		24 W
動作音	動作時	70 dB (A) 以下
	待機時	40 dB (A) 以下
外形寸法		860 mm (幅) × 319 mm (奥行) × 235 mm (高さ)
質量		13.5 kg
環境		• 温度：5 ~ 40 ℃ • 湿度：20 ~ 80 %RH（ただし結露のないこと）
付属品		電源コード、AC アダプター、カッター、カッターホルダー、シートベース、USB ケーブル、アライメントツール、マニュアル類

*1 当社指定のシートとカッティング条件によります (別売スタンド PNS-24 使用)。

*2 • メディアの伸縮は除く
• メディア送り方向の長さが 1,600 mm 以内であること

*3 当社測定基準によります。
• ソフトウェアは当社付属ソフトであること
• プリンターはレーザープリンター、またはインクジェットプリンターで、解像度が 720 dpi 以上であること
• 光沢シート、ラミネート加工されたシートを除く

- プリンター精度による印刷のゆがみ、シートの伸縮・反りの影響を除く
- 印刷に使用するプリンターのインク（黒色）によっては、センサーで正常に読み取れない場合があります

Memo

記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

Roland